髙田総統、大ブレイク！『ハッスル4』を総力特集!!
紙のプロレス
RADICAL
MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE
880 yen
『紙プロ』大賞2004
上半期結果発表！
MVPはブッチギリで
小川直也に
決定——ッ!!
"キャプテン・ハッスル"決意表明！
ハッスルは命懸けの大バクチだ!!
小川直也
プロレス大爆発へ
最後の挑戦！
ハッスルするなら
いましかねえ！
ハッスル4
2004.7.25[SUN]
YOKOHAMA ARENA
2004.6.28[MON]
KORAKUEN HALL
エメリヤーエンコ・ヒョードル
セルゲイ・ハリトーノフ
厳しくも、なお飄々と——
リベンジロード続行!!
桜庭和志
7・19『PRIDE武士道』正念場
日本vsBTT両軍大将にWインタビュー
中村和裕vsノゲイラ弟
小川の"盟友"と"宿敵"がまさかの対面！
破壊王がNEWハッスルポーズを伝授!!
橋本真也×
A・ホドリゴ・ノゲイラ
2人の"コンドウユウキ"が初対面！
近藤有己×近藤有希
祝！『無比人』映画化決定!!
SMバイオレンス対談!?
真樹日佐夫×菊田早苗
韓国VTビッグイベント
『グラジエーター』20P大特集!!
76
2004
『スマックダウン』日本ツアーを
楽しむための13の方法教えます！
月刊誌の限界に挑戦！
7・4闘龍門5周年記念大会速報
吉田豪&掟ポルシェ、
待望の新連載スタート!!
紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZINE MOOK 253
2004 NO.76
プロレス大爆発へ最後の挑戦!!
ハッスルするならいましかねえ!!
平成16年8月10日発行　編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地　電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　電話／03-3403-5188
ワニマガジン社　定価：本体838円＋税

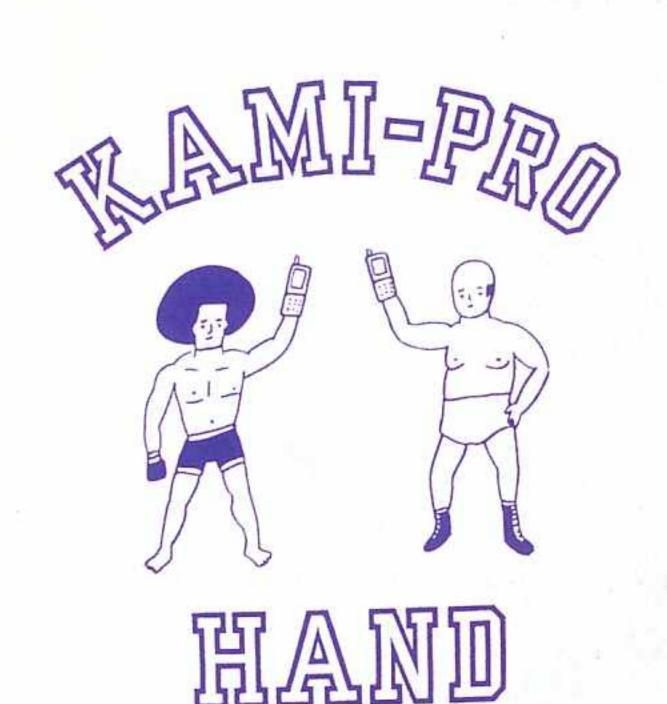
暑い夏には、手厚いサービスがよく似合う。ンムフフフ

携帯サイト『紙のプロレスHand』は、この夏もユーザー本位の手厚いサービスを約束します!!

『紙のプロレスHand』限定発売

「紙プロHand Tシャツ vol.1」絶賛発売中!!

感謝の気持ちを込めた特別価格
¥2,625(税込)
[サイズ/S・M・L・XL]

※このTシャツは携帯サイト『紙のプロレスHand』上のみの会員限定販売となります。通信販売、ショップでは購入できません。

中川画伯のカレンダー待画も絶好調!!

毎月描きおろし!! 超便利なカレンダー待画を毎月更新!!
カレンダー以外のイラストも大好評だ!

パンクラスGRABAKA・菊田早苗コラム絶賛連載中!!

菊田早苗の「明日はどっちだ!?」絶賛連載中!!

水曜コラム『紙プロいいとも!』では、
佐々木健介の"長男"中嶋勝彦くんからあの"男の中の男"へバトンタッチ!!
土曜コラム・吉田豪の『入院させてよ!』もスリリングに更新中!!

アクセス方法

DoCoMo	iMenu ▶	メニューリスト ▶	スポーツ ▶	格闘技/大相撲 ▶	
au/TU-KA	トップメニュー ▶	遊ぶ・楽しむ or インターネット ▶	スポーツ ▶	格闘技 ▶	
vodafone	メインメニュー ▶	ボーダフォン・ライブ ▶	メニューリスト ▶	スポーツ ▶	格闘技 ▶

ハッスルする携帯サイト
紙のプロレス Hand

「トップメニューからアクセスするのはめんどくさい……」というアナタ!!
hand@kamipro.com へ空メールを送信すれば『紙のプロレスHand』のアドレスが無料で送られてきます。(Docomo、au、ボーダフォン共通です)
※パケット代金、メール送信料金はお客様負担となります。

着メロ・待画は毎月1日アップ!! ターザンコラムも爆裂更新中ッ!!
マット界の最新情報を高速で毎日配信、1日たりとも見逃せない!!

[お問い合わせ] (株) ダブルクロス 03-3403-5188

ハッスルするならいましかねえ！

プロレス再生への
最後の闘いが始まった!!

NAOYA OGAWA

ハッスルするなら今しかねえ！
PRIDE・GP

“キャプテン・ハッスル”が語るプロレスへの熱き想い

『PRIDE・GP』2回戦突破！　ハッスルハウス大成功!!　マット界にハッスル旋風を巻き起こし、今まさに我が世のハッスルを迎えているが、小川に浮ついたところ一つもない。それどころか、「今こそハッスルするとき」と、本気でプロレスを変えようとしているのだ！

聞き手／堀江ガンツ　撮影／森“モーリー”鷹博

designed by matsu (Two Three)

―小川さん、今月もまたハッスルお願いします！

小川　ん？　編集長（山口日昇）は？

―昨日の深夜までは一緒に行くかもって言ってたんですけど、今日になったらまた例によって連絡が取れなくなりました（笑）。

小川　ま、最近凄いからね。もう偉くなっちゃってさ、やっぱり売れてる雑誌の編集長だから、もう一介の選手のインタビューには来てくれないね。いまや実売10万部ですか？

―四捨五入すると、“約”10万部になりますかね。数万部の誤差はあるかもしれませんが（笑）。

小川　凄いよね。俺はなぜか山口さんを「ハッスル大統領」って呼んでるから！

―だ、大統領ですか！（笑）。

小川　うん。もう俺みたいな一介の選手では格の違いを感じちゃうよ（笑）。

―逆にボクは小川さん相手だと非常に格の違いを感じるんですけど（笑）、とりあえず聞き手を担当させていただきますんで、よろしくお願いします！

小川　よし！　お互い地味にコツコツやっていこう!!

―は、はい（笑）。それにしても昨日（6月28日）は、その小川さんがコツコツと積み上げてきた成果がついに出たのか、『ハッスル・ハウス』はフルハウス。しかも異常な盛り上がりでしたよね。

小川　ね？　久々にシビれましたよ。あのシビれる感覚は去年の5・2新日のドームの裏でやった後楽園以来だね。ただ、あの5・2と違って、お客が乗る場面が試合じゃなくて、言葉のやりとり、いや、言葉のやりとりの奥にあるものを感じてくれて沸いたってことが大きいよね。こういうも

スクープ発言連発!
猪木、長州、さらに
“1・4事変”の真相までも激白!!

橋本、川田はまず過去を捨てなきゃ新しい時代なんか生き抜けねぇよ

のも『ハッスル』の売りだから。

——ああ、それを堂々と言っていただけると実に気持ちいいです（笑）。個々の試合だけではなくて、『ハッスル劇場』を含めた空間のパッケージが売りですよね。

小川　そうそう、だからマッチメイクで勝負するんじゃなくて、空間のパッケージであぁいう盛り上がりが生まれたことがホントよかった。

——次回の『ハッスル4』からは〝ファイティング・オペラ〟というサブタイも付いてそれが顕著になってきましたよね。

小川　浸透早ぇなって。だから『ハッスルハウス』は試みとしては大成功じゃない。

——観客が完全に『ハッスル』の世界を求めてましたからね。オープニングからして、〝おまえ誰だ？〟〝笹原です〟でお馴染みの笹原GMに「ササハラ」コールが起こってしまうんだから凄いですよ（笑）。

小川　あの〝中立の立場〟の人ね（笑）。いままでイジめられてきたのに、GMに就任したら急に変わっちゃって凄いよね。ホワイトボードばんばん叩いちゃってさ、「GMの笹原です」「例え小川直也であろうとハッスルしてなければリングに上げません！」「シャ〜ラ〜ップ！」だから。

——『ハッスル』は間隔があるから〝点〟しか見せれないという欠点を、会見が見事に埋めてますね。昨日もリング上で中村カントクとヤドカリを黙らせましたしね（笑）。

小川　カントクもすごいけどね、弾けちゃって。昨日はみんないい味出してたよ。みんながみんな適材適所っていうの？　自分のポジションをしっかり踏まえた上で競い合ってたでしょ。それは何も表に出る人間だけじゃなくて、裏方さんや演出チームも含めて、みんなが自分の役場で力を発揮した結果、パッケージとしてのイベントが成功したっていうのが大きな収穫だよ。

——ホント昨日の『ハッスル・ハウス』は、スキットにしても、『ハッスル劇場』にしても、試行錯誤してきたものが、ようやく実を結んできた感じはありましたよね。

小川　それが後楽園という一番ちっちゃな規模だけじゃなく、早く横浜アリーナ規模になってくれたら一番いいんだけど。大会場では味わえない熱とか臨場感があったからね。昨日はいい意味でお客さんに乗っけられてた部分もあるよね。

——髙田総統も史上最大級にノリノリでしたからね（笑）。

小川　っていうかさ、総統の場合はお客さんの方が乗せられてたじゃん！

——ああ、そういえばそうですね。

小川　後楽園のお客さんを手の平に乗っけるっていうのは、敵ながら大したもんだよ。総統の一挙手一投足にファンがもう踊ってたからね。観客を手のひらの上に乗せるっていうのは、ウチの師匠がやってきたことだけどさ、まさにそれを絵に描いたようだったから、「敵ながらアッパレだな、総統の野郎！」「クッソーッ！」って思ったよね。

——ホント、髙田総統の〝ハッスル度〟はズバ抜けてますよね（笑）。

小川　出てきただけでどよめきが起こっちゃうんだから。本来はブーイングを受けるべき存在なのに、「おぉ〜〜！」だからね。悔しいけど、いま客乗っけてるのは総統だけだよ。

——髙田総統と一緒に、もう1人新加入の〝恐れを知らない〟大男がいましたけど、あの人についてはどうですか？

小川　ああ、あれね。あれは単なる「大男」でいいよ、もう。なんかハッスルしないで、駆け引きしてても何も生まれない。そんなねぇ野郎には、俺から名を出す必要はない。単なる「大男」！

NAOYA OGAWA

——単なる「大男」！（笑）。

小川　やっぱり針を振り切ってる人間が勝つ世界なんだよ。その点、悔しいかな、髙田総統は俺たちの十歩ぐらい先を行ってるよ。

——そ、そこまで認めますか？

小川　認めたくねぇけどさ、総統とかモンスター軍はハッスルできてんのに、こっちはできてねぇじゃん。だから悔しいんだよね。俺もそうだけど破壊王……いや、〝ハッスルキング〟か。ハッスルキングにしてもさ、それからあと〝デンジャラスK〟なんてホント、引きこもりキャラクターそのままだしさ。髙田総統が言ってることは全部ホントのことなんだよ。

——極めてリアルでシュートな指摘でしたか（笑）。

小川　『ハッスル』って謳ってる者がハッスルしねぇでどうするんだっていう話でさ。それで昨日はブチ切れたんだよ。

——あのリング上での、「橋本、おまえ全然ハッスルしてねぇよ！」「いまハッスルしないでいつハッスルするんだ。いまハッスルしないとプロレス界は終わっちまうぞ！」っていうセリフですね。

小川　ホントにそうだよ。いまハッスルしねえでさ、いつハッスルするんだよ。でも、川田、橋本の両巨頭っていうのはさ、やっぱりいままでのものが大事なんだろうね。いままで築いてきたイメージとかを捨てられねぇんだよ。なんか、それってプロレスをダメにする原因じゃねぇかなって思うんだよね、ハッキリ言って。昔の栄光を引きずるのもいいんだけどさ、過去を引きずって次の時代なんか乗り越えられるわけないじゃん。失敗するか成功するかわかんないけど、まず過去を捨て去らなきゃ。それなのになんかね、破壊王は……破壊王じゃねぇ……ハッスルキングはね、ちょっと迷っちゃってる。

——でも、『ハッスル』に完全に振り切るっていうのは、いままでのプロレス、それからプロレスファンも捨てなきゃいけないっていう部分もあるじゃないですか。

小川　ファンは確かに大切！　だけど、要望をいちいち聞いてたら成り立たない。ファンに「なんでこうするの？」って考えさせるのも大事なことなんだから。『ハッスル』に針を振り切ることで一時的に従来のファンが離れたとしてもさ、自分の信念があれば、いくらでも盛り返せる。頑張れば

またファンは来るんだよ。でも、そのためには“キング”にちゃんとやってもらわないとさ。OH砲の“H”がついて来ないとダメだから。

——“ハッスルキング”がハッスルしないことには、成功するものもしなくなるということですね。

小川 そう。だから昨日は、敢えて「橋本！」と「川田！」って呼び捨てにさせてもらったけど、要するに先輩後輩じゃねぇんだよ。そんなこと気にしてたらプロレス界自体がダメになっちゃうよっていうメッセージが入ってるんだよ。誰が先輩で誰が後輩なんて俺たちの事情でしょ？ だからハッキリ言って、長州なんかもハッスル軍にいるんだったら、俺は“キャプテン・ハッスル”として、“長州改革”を言い渡すよ！

——“革命戦士”に“長州改革”！

小川 もう長州のキャラクターをすべてブッタ斬るぐらいのことをしないと。

——聖域なき構造改革と同じで、長州力も聖域ではない、と？

小川 長州力は……みんな甘やかしすぎだよ！ ハッキリ言ってさ、世の中は早期退職とかさ、リストラされる時代でしょ？ そんな中で、高田総統が言うようにゲスト気分でノコノコ現れてハッスルしねぇんだったら「どうぞ、来ないでくれ」って言いたいよ、俺は。自分のいままでのモンを壊したくないとか、そんなこと言ってんだったら、結構ですって。今後はそういう姿勢でやりますよ。

ハッスルするなら今しかねえ！
PRIDE・GP

6・28『ハッスル・ハウス』で、ビビってたじろぐマシンガントークで観客の心を鷲掴みした高田総統! “高山善廣似の男”がモンスター軍入りするなど、そのドゥ・ザ・ハッスルぶりは止まることを知らない。なんとか挽回したいオーちゃんは、破壊王に「アンタ、全然ハッスルしてねえんだよ!!」と渇を入れる!『ハッスル』にすべてを懸けるオーちゃんの叫びに対して、破壊王は「お前は先にハッスルしただけだ!」と奮起を約束!!

——ホント、いまは『ハッスル』に追い風が吹いてるんだから、プロレス界を一気に大変革するチャンスなんですよね。

小川 ま、プロレス界と言っても、他はどうでもいいんだけどね！

——他はどうでもいい（笑）。

小川 『紙プロ』だってそうでしょ？ 新日本なんか取材しないんだから、放っときゃいいじゃん、そんなの。おたくの大統領も言ってたよ。「もともとウチは新日に触ってねぇですから。もともといらない」って。いいこと言うよ。

——い、いいことですか（笑）。

小川 全然OK！

——じゃあ、7・25『ハッスル4』の周辺には、たとえばノアの東京ドームとか、全日本の両国大会っていう他団体のビッグマッチがありますけど、全然意識はされてないですか？

小川 全〜然。だって『ハッスル』のお客さんでそういうの見に行くヤツっている？

——ダハハハ！ いや、いるんじゃないんですか？（笑）。

小川 俺は行かないと思ってるけどね（笑）。だって『ハッスル』見て楽しむ人が他のプロレス行っても期待するものが違うじゃない。他のプロレスっていうのは、ただ単に選手がリングに入って、下がって、どっちが強いんだろうっていう大会なわけだろ。極端に言えばそうでしょ？

——かなり極端に言えばそうですけどね（笑）。

小川 「どっちが強いんだ」って言ってるプロレスを『ハッスル』のお客さんが見に行くのかな？って逆に聞きたくなっちゃうよね。

——まぁ、ホントにどっちが強いのかを見たかったら、8・15『PRIDE・GP』に行くでしょうからね。

小川 と思うけどね。いろんなファンがいるだろうけど、少なくとも昨日『ハッスル』で盛り上がってたお客さんで行く人がいたとしても、“一応見ておかなきゃ”って感じじゃない？ 心から行きたい人って思うのはいないんじゃない？ 逆にそういうとこに心から行きたい人は『ハッスル』に来ないだろうし。

——プロレスの一番の売り物だった勝負論を『PRIDE』やK—1に根こそぎ奪われたことが、プロレスが衰退したひとつの原因でもありますしね。

小川 だから本来は『PRIDE』やK—1にできないことをやるのがプロレスだろう。別に逃げるわけじゃないけど、そういったものを作り上げることって簡単じゃないし、一丸になって「プロレス」ってモノをもう一度再構築しなきゃならないときにみんな“ケーフェイ”だなんだってさ、次元の低いこと言ってるからますます取り残されていくんだよ!!

——ケ、ケーフェイまでを次元が低いと斬り捨てますか！

小川 だってそうだろう？

——プロレスを守ろうとしすぎて、新しい一歩が踏み出せないということはあるでし

GM就任会見では、恒例となった小川の「お前、誰だ？」の問いかけに、「GMの笹原です!!」とホワイトボードをバンバン叩いて応戦していたGM。『ハッスル・ハウス』でまさかの大「笹原！」コールが発生!!

カミングアウトなんて関係ない もうそういう次元じゃないから

ょうね。
小川　もうそういう時代じゃないんだから。既存のプロレスがそういう状態なんだったら、1歩も2歩も先に『ハッスル』が行かなきゃいけないんだよ。カミングアウトだとかそういうことは、もう俺たちは関係ないんだから。
――か、カミングアウトは関係ない？
小川　だってそうでしょ？　ＷＷＥは時代が時代だったから、いまの形になる前にカミングアウトしなきゃならなかったわけだけど、いまは別にもう、そういう次元で話す必要はないじゃない。
――言わなくてもわかるだろう、と。
小川　だから「時代の追い風」っていうことで言えば、ＷＷＥみたいにそういう説明なしで『ハッスル』というものをお客さんに提供できるってことだよね。ハッキリ言って、いま「ガチンコ」って言葉が流行ってるけどさ、『ハッスル』見てそういうふうに定義する人いると思う？
――まあ、いらっしゃらないでしょうね（笑）。
小川　そりゃ確かに、「これは痛そうだな」「これは凄ェ」ってものはなきゃいけないんだけど、もうそういう次元じゃないんだよね。だからさ、プロレス雑誌なんかもいまだに勝ち負けの勝負論を軸にして記事を書いてたりするけど、いい加減にやめてほしいよ。勝ち負けを超えたドラマを見るのがプロレスだろう。それがなんでプロレス雑誌で勝った負けたばっかり書いてるのか、よくわかんないよね。
――まぁ、いまのプロレス週刊誌を読んでる読者は、プロレスの勝った負けたを興味深く見てるのかもしれませんけどね。
小川　そう？　昨日の『ハッスル』でさ、誰か勝ち負け求めてた？
――〝敗者アフロマッチ〟には求めてたかもしれないです（笑）。
小川　そういうことだよ。プロレスで勝ち負けを見るためにはストーリーとドラマが必要なんだよ。同じハッスル軍としてこんなこと言っちゃいけないのかもしれないけど、俺も橋本のアフロは見たかったんだよ（笑）。でも、残念ながら〝キング〟が勝っちゃったけどさ、次は変わると思うよ。次の〝キング〟だったらたぶんね、「俺の肩を刈れ！」って差し出してね、潔く自らアフロになると思うよ（笑）。
――まあ、『ハッスル４』のポスターでは、アフロを通り越して大仏になってるくらいですからね（笑）。
小川　まぁね。だからアフロマッチは別としても、昨日なんて、勝ち負けだけじゃないと思うんだよね。要はイベントとして良かったか悪かったか。自分が没頭できたか否か、感動できたか否かでさ。ホントにそういう次元でやってほしいよね。スカッと見れてさ、お客さんに「よかった、また行きたいな」って思わせるのがプロレスラーの使命でもあるし、仕事だよ。そういうの、いまプロレスラー同士の闘いでは難しいから演出を豪華にしたり綿密にやったりテコ入れしてるわけじゃない。だからもう勝負論にだけ頼るのはやめてほしいっていうのがある。こっちはいろんなとこで「勝負論なんかいらねえ」とか、「うるせえぞ、コノヤロウ」って言ってるんだから。

NAOYA OGAWA

――『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』に出て言ってるぐらいですからね（笑）。
小川　嫌になっちゃったよ（笑）。毎回同じこと聞かれてさ、〝馬鹿だな、こいつ〟とか思ってもさ、キャラクターだから言わなきゃならないんだよな。
――それにしても、小川さんって、新日本に上がってたころは、「プロレスと格闘技は一緒」っていうのがテーマだったじゃないですか。それがどういうきっかけで、いまの『ハッスル』のような発想になったんですか？
小川　身体と心を張ってやるのはどっちも一緒だけど、やっぱり『ＰＲＩＤＥ』が市民権を得てきて、勝負論というものが、そっちに流れていったからということが大きいよね。あとは俺って結局、新日本にいたって外様じゃない？　だから俺がたとえハッスル的なものを持ち込もうとしても受け入れられなかったっていうのが事実だし。その背景には、新日本に長州がいて、その当時の新日本のプロレス哲学っていうのは、すべてがまず長州ありきっていうものがあったから。そういう時代背景の中では、やっぱり無理だったよね。何を言っても「あいつはまだ若いんだし」っていう。要するに年功序列がガッチリしてたから。〝もういいや、そんなの〟っていうのもあったよね。
――そうすると小川さん的には、当時からハッスル的思想というか、そういうものがすでにあったわけですか？
小川　あったよ。だって俺の修行時代、猪木さんとアメリカに行ってたころって、ＷＷＥとかＷＣＷが全盛だったじゃない。そのときに俺は猪木さんに「プロレスは本来こうでなきゃいけないんだ」っていつも言われてましたからね。
――え！　そうなんですか⁉
小川　「俺らの時代は時代背景が憎しみ、憎悪とかそういうので成り立っていたけど、次はこういうものをやっていかなきゃいけない」って猪木さん自身が言ってたからね。だから猪木さん自身も新日本のオーナーでありながら、手ぐすね引いてるみたいな状態ではあったんだよ。
――はぁ～、猪木さんはホントはＷＷＥや『ハッスル』みたいなことがやりたかったわけですか！
小川　だって猪木さん、実際いろいろやってるじゃない。なんかボロを着たりさ、こないだまで乞食やってた人間が次から金持ちになったりさ、そういう発想じゃない。
――白覆面被ったりとか（笑）。考えてみれば確かにそうですね！
小川　白覆面Ｘだってさ、俺が引き継いでやってますよ（笑）。そういう猪木さんの発想をわかろうとしなかったのが新日本だから。猪木さん自身はそういう路線で行

ポスターデザインがイベントとリンクする『ハッスル』。となると次回、小川は孫悟空、坂田が沙悟浄、ＧＭが三蔵法師、そして猪八戒であるはずの〝キング〟は釈迦様に変身か⁉

○小川直也vs ジャイアント・シルバ×

［1R3分29秒　マウントパンチ→KO］

1回戦をあっと驚くジャイアント・アームロックで勝ち抜いた"進化する大巨人"シルバも、やはりオーちゃんの敵ではなかった。身長差37センチ、体重差44キロをもろともせず胴タックルで懐に飛び込んだ小川は、すぐさま外掛けでテイクダウン。シルバの巨体をややもてあましながらも、抜群の押さえ込みで動きを制し、マウントパンチでKO！ いよいよ次はノゲイラ、ヒョードル、ハリトーノフらとの一戦がついに実現する!! なおシルバはノーコメント。

ハッスルするなら今しかねえ！
PRIDE・GP

こうという気持ちだったんですよ。でも、そういう考えはなかなか受け入れられない。だから橋本vs小川戦（99・1・4）っていうのは、一回そういうものを壊すために猪木さんが入れた起爆剤じゃないですか。

――はぁ〜！ エンターテインメント方面に移行させるため、"長州式ストロングスタイル"をブチ壊すためにやったのが、あの"1・4事変"でしたか！

小川 それが終わってから、徐々に変えていくっていう猪木さんの構想だったんですよ。間違いなく『PRIDE』とかが"来る"っていうことも気づいてたから、手を打っておこうということだったと思うし。でも、結局猪木さんは新日本でそういうことしたかったんだけど、ダメだった。で、次なるステップで猪木さんは猪木さんで、格闘技の魂があるのかもしれないけど、『PRIDE』っていう舞台を選んだ。そういう背景があったんですよ。それで俺自身はアメリカンプロレスを「参考にしろよ、よく見とけよ」ってずっと言われて見てたから。それが原点ですよ。

――なるほど！

小川 だから（ブラッド・）レイガンスさんのとこに行って練習しても、こないだ亡くなっちゃったけど、カート・ヘニングが教えてくれたり、アメリカン・プロレスをずっと習ってましたからね。

――小川さんのプロレスの原点っていうか、そもそも猪木さんの教えから『ハッスル』は芽生えたわけですね。

小川 発想はね。ただ、それ以外は教わってないんだもん（笑）。

――ダハハハハ！

小川 あとは独学だよ。一応自分で見聞広めて、いろんな団体見てさ。ZERO―ONEにいた3年半も……まあ、これから出ないわけじゃないけど、その3年半も、いろいろ地方を周りながら、要するにライブ感覚っていうか、お客さんの対応っていうのもその場その場で勉強していったしね。たまにトリとかやらしてもらったりとかして、メインイベンターっていうのは、次にまたこの土地に来るとき、今日来ているお客さんにまたそっくり来てもらう、それ以上に連れて来てもらうっていうのが仕事じゃない。そういうのを任されながら勉強してきたわけだからね。

――いわゆるプロレスの興行とはなんたるか、メインイベンターとはなんたるかをZERO―ONEで学んだ、と。

小川 そういった意味では、この3年半っていうのは非常にムダじゃなかったな、と。

――それにしても、さっきの話は興味深いですね。あれはいわゆる長州政権のプロレスを打破するというか、これからの時代は、『ハッスル』的なものと、『PRIDE』的なもの両極が必ず突出してくるから、当時の政権をいったん壊さなきゃいけないっていうことでやったと。

小川 そう。あと、もう時効だから言ってもいいかなって思うんだけど、あのころの新日本は、要はくだらない政権争いしてたんだよ。よく会社である話じゃない？ 優良企業に限ってそうなっちゃうのよ、どうしても。

――儲かってるときこそ取り分で揉めたり（笑）。

小川 次は自分が牛耳るっていう、いろんな人にそういう思いがあったんだよね。そういうのもやっぱり猪木さん自身は打ち崩したかったんじゃないかな。要は「そんなことしてる場合じゃねえよ」って。いまは儲かってるからいいかもしれないけど、両端からどんどん『PRIDE』やWWE

俺の言うハッスル査定試合というのは ハッスルに対する世間の査定なんだよ

NAOYA OGAWA

みたいなものが攻めてきてんだから。外は大火事なのに、中ではまだ誰の取り分だとか俺の取り分だとかそういうことをやってたから。そこで「バカ野郎！」っていうことだったんだと思うよ。

――なるほど。小川さんが『ハッスル』と『PRIDE』の両方をやっている根本のことがわかりましたよ。

小川　別に両方やりたいわけじゃないんだけどね。最初に向こう（DSE）からの提案っていうのは、『ハッスル』を広めるために、と。どうするかな？っていう思いが俺の中にあったんですよ。『ハッスル』を広めるためには、先頭切ってやるのは誰だっていうさ。自分のやりたい仕事ができるんであれば、やるしかねえのかなっていうことだよね。だから自分の中で、『PRIDE・GP』で勝つことが使命とかじゃなく、要は『ハッスル』を広めるための手段として『PRIDE・GP』に出るのが使命かな、と。

――小川さんが『PRIDE・GP』参戦を表明した当初は、『ハッスル』を存続させるために、小川直也が嫌々出てるんじゃないかっていうような見方もされてましたけどね。

小川　嫌々じゃないよ！　何度も言うように、これは俺にとっての〝ハッスル査定試合〟だから。でも、「俺が『ハッスル』に出るための査定」っていうのは、アングル上言ってるだけの話であって、本音から言えば、『『ハッスル』というものに対しての世間からの査定」なんだよ。それを被せて言ってるだけの話でさ。ホントは『ハッスル』を世間に知ってもらいたいというのがこっちの願望。まずそれを知ってもらうには、広告塔になんなきゃいけない。そういうことをいろいろ考えたら、GPしかねえのかなって。一番の話題ってこれしかないんだから、これは乗るしかない、と。しかも、乗るんだったら小さな波じゃなくて、大きな波に乗らなきゃ意味がないっていうかさ。

――だから業界の中には、「ガチンコ嫌いの小川直也があれに出るのは、『ハッスル』開催とバーターで嫌々出てるんだ」と思ってる人が、いまだにいるんですよね。

小川　だからダメなんだよね、この業界は。安っぽいよな。そうじゃねえんだよ！　合併とか業務提携っていうのは、お互いにメリットがあるからあり得るわけだろ。こっちは『ハッスル』を広めて盛り上がるし、向こうは向こうで俺が出た話題で盛り上がる。それで結果的に、『ハッスル』は知名度が上がったし、向こうは向こうでお客さん来てるし、視聴率も取れてるし、一番いいパターンじゃない。俺はそういう感覚でしか考えてねぇから。だからガチンコが嫌いだとかうんぬんとか、そんなことはどうでもよくて、プロレスにとって総合格闘技っていうジャンルは、いわばライバル企業なんだよ。それに勝つにはどうすればいいのかな？って考えたら、今回は一緒にやっていくのが一番いいという結論になったというだけだからね。

――これまで単純にガチンコが嫌いだから『PRIDE』を避けてたとか、そういうことじゃないってことですよね。

小川　『PRIDE』だってさ、わかってる人もいると思うけど、俺が嫌いなのは…『PRIDE』の以前のスタッフとは合わなかったんだよ！　ハッキリ言っちゃうとね。

――またハッキリ言いますね（笑）。

小川　だって、なんで選手が出るのに命令されなきゃいけないの？　おかしいじゃん、「出ろ」とか「出るな」とかさ。そういうのをヨシとする選手もいるのかもしれないけど、出る出ないは、ファイターが決める問題だから。それをなんか知らないけど、「出なきゃいけない」とかさ。で、次なる手はさ、「あいつはギャラがどうのこうの」「銭ゲバだ」って言いたいこと言ってさ…　…ふざけんな！って話だよ。それでも出なかったら次は「あいつは（バーリ・トゥード）嫌いなんだ」とかさ、次から次へと精神的に揺さぶってくるんだよな（笑）。

――まあ、「銭ゲバ」や「チキン」っていうのはそこから生まれてますもんね。

小川　まあ、チキンという言葉のお陰で、いいキャラクターもらったんだけどな。チキンTシャツも大好評だし……いま品切れになってしまいました、すいません。これからってときに品切れちゃうんだから、嫌だねぇ（笑）。

――ダハハハハ！　『ハッスル4』までには刷り上げないと。

小川　そうだよね、頑張ります！　俺が頑張るわけじゃないけど（笑）。だからそういう発想が嫌でね。ウチの先生もよく同じこと言われててね、「しょうがないんだよ、それは。世の常なんだよ。言われないよりは言われた方がマシだからって発想でいれば、どうってことねえよ」っていうのが師匠の口癖で。だからそういうの……逆境に立てば立つほど、師匠の教えっていうのはなかなか身になりますよ。どうってことねえよ、と。開き直りの「どうってことねぇよ」が。

――〝開き直りパワー〟！

小川　開き直りパワーがすべてでしょ。自分のしたいことをやればいいや、と。

――その自分のやりたいことが『ハッスル』で、『ハッスル』を盛り上げるためなら、率先して『PRIDE・GP』にも出るというスタンスが、今回なわけですね。でも、何度考えても凄いモチベーションですよ。

小川　俺はプロレスというものに携わってきて、そのプロレスを成功させるためにや

いまだ謎が多い“1・4事変”だが、今回、オーちゃんの口から、やはり長州力の存在が鍵であったことが明かされた。現在、長州は『ハッスル』で「なにがやりたいんだ」おじさんとなっているが、そのようなハッスル戦士に変貌される気か？

ってるだけの話だから。逆にね、カッコいいかどうか知らないけど、もし最初に格闘家として吉田（秀彦）君みたいに転身していたら、それは違った感覚でやっていたかもわからないし。それは“たら・れば”だからわからないけど。いまの俺の立場っていうのは、プロレスラーだから。後戻りしたってしょうがないんだから、強引にでも進むしかないんだよ！

――“格闘家”というスタンスにコンプレックスがないんでしょうね、小川さんは。

小川　GPだけじゃなく、ワンマッチだけゲストで出るっていう話もあったんだよ。でも、1回ゲストで出たって大きな効果もないし、メリットもないし、背景が違う。（GP出場というのは）確かに苦しい選択だったかもしれないけど、苦しい選択だからこそみんな見てくれるわけじゃない。だから（GP出場を）提示されたら、これしかねえのかなって。自分のことも第三者的に見て、俺がワンマッチだけ出るのは、自分だけのことであって、『ハッスル』を背負って出る甲斐もないよね。だからこれは出る意味ないなって。じゃあ、GPというものにトライして大波に乗るっていうだけだよ。人生一度しかないんだからさ。

――「男には一生に一度、ハッスルしなければならない時がある！」ってヤツですね（笑）。でも今回は『ハッスル』のために大きな博打を打ったという感じですか？

小川　博打というかね、ハッキリ言って『PRIDE』には悪いけど、『ハッスル』の宣伝にしか使わない（笑）。そう思わないとブレちゃうじゃん、自分のプロレス観の軸が。勝ち負けの理論に入っちゃえば、『ハッスル』は『PRIDE』より凄いものになればいいだけの話で。将来的には『ハッスル1』と『男祭り』を逆の現象に

ハッスル的発想っていうのはそもそも最初に猪木さんから教えられたんだよ

させるぐらいの気持ちでいるから。まぁ、主催者側のDSEにしてみりゃ、両方が成り立てばいいんだろうけどね。やってる側っていうのは、たとえ同じ主催者であっても、競い合うことでいい関係ができるからさ。俺は『ハッスル』を大きくして、『PRIDE』を蹴落とすぐらいの気持ちでいるから。そしたら向こうも負けてなるものかって、相乗効果が生まれるんじゃないの？

――『PRIDE』に出場しながら、『PRIDE』と勝負してるわけですね。

小川　いまは正直、『PRIDE』で得た資金力にお世話になって、『ハッスル』っていうものを開催してるけど、最後は逆に「なに？『PRIDE』開催に1億円必要？　よし、『ハッスル』で儲けた資金使っていいよ」ってぐらいになりたいな、みたいなね（笑）。

――でも、今回の『PRIDE・GP』で小川選手が優勝したとするじゃないですか。その優勝した小川選手が「ホントに大事なものは『ハッスル』だ」って言ったら、その瞬間、ホントに『ハッスル』が上位概念になるんですよね。

小川　まぁ、俺自身はどんな結果になっても『ハッスル』が上位概念なのは崩さないよ。『ハッスル』を宣伝するためにやってきたんだから、最後まで宣伝するのが俺の役目かなとも思うし。逆に自分が頑張れなくなれば、お役目御免なんだから去ればいいし。それはやっぱりプロであるわけだからね。

――ホントに『ハッスル』を背負って闘いに挑んでるわけですね。

小川　そのうち俺も「『ハッスル』ではご用済みです、ご苦労さん」って言われるかもわかんないしね。そんとき一番笑ってるのはさ、S代表と大統領だから（笑）。

――そ、そうなんですか？（笑）。

小川　俺なんか所詮雇われだから。もう、S代表と大統領には頭上がんなくて大変だよ。でもさ、『ハッスル』はね、これから凄いことになるよ。

――そんないろんな話があるんですか？

小川　これはすごいことになる前触れとして言っとくけど、いま政財界でもハッスルポーズが流行ってるだろ。

――自民党・安倍幹事長もやってましたね。

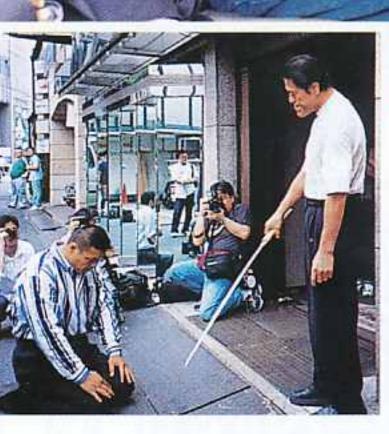
小川　そうでしょ、やっぱりね……これ教えておこうかな。7月2日に大分まで行って伝授してきますよ。ハッスルポーズは最初に飛び火したのは野球界だったじゃない。でも俺は、野球界ももちろんだけど、日本中全部にやってもらいたいと思ってたからね。

――日本全国ハッスルポーズ！（笑）。

小川　そうだよ。ハッスルポーズには不思議な力があるんだよ。これは野球解説者の

六本木路上でオーちゃん＆佐山皇帝が正座で日本刀をつきつけられるなど、まさに早すぎたハッスル劇場を連発していた初期UFO。"怪人"ミスター・ウォーリーにいたっては、これまた早すぎた高田総統的な化身と言えるだろう。オーちゃんのハッスル思想の原点はやはりこの辺りにあったのだ。

金村（義明）さんに聞いたんだけど、清原選手はハッスルポーズのお陰で、一気に2000本安打がいけたんだって。

——ハッスルポーズのお陰ですか！

小川　そう。ハッスルポーズをやってから、ベンチが明るくなって、いいガス抜きになってホームラン連発し始めたって聞いたからね。ま、これは金村さんの見る角度なんだろうけど、凄ェなハッスルポーズと思ってね。あとはゴルフの片山プロも『PRIDE・GP』2回戦の日、大阪で大事な試合があったのを早くやっつけて、新幹線乗り継いで駆けつけてくれたらしいからね。

——大阪からさいたままで！

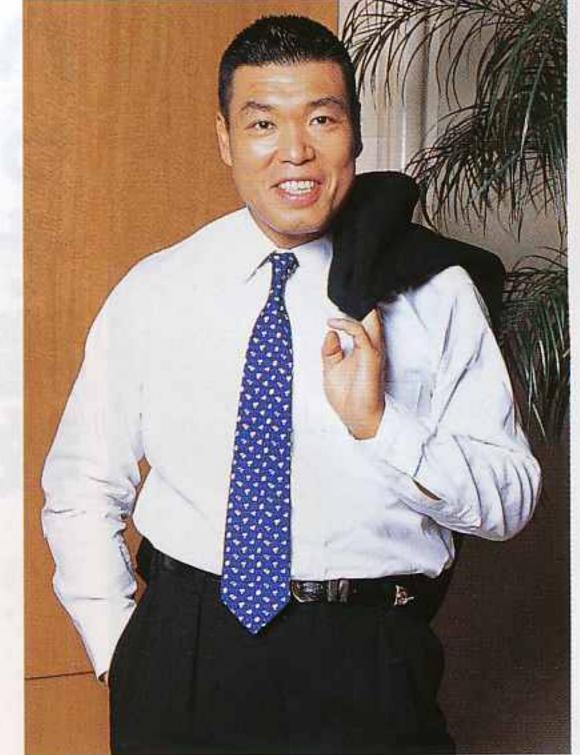
小川　乗り継いで、乗り継いでね。ありがたいことだよ。こうやってハッスルの輪を広げていって、最終的には「小泉首相をハッスルさせるぞ！」っていう野望も現実味を帯びてきたからね。だから今度、安倍幹事長に、「参院選で自民党が勝った晩には、小泉首相もハッスルしてくれ」ってお願いしてくるから！　これが実現したら、ますます『ハッスル』が広がるよ。

——その『ハッスル4』本番も近づいてまいりましたが……。

小川　そろそろ締めの時間？『ハッスル・ハウス』はね、あんな感じで非常に盛り上がって、いい方向には間違いなく進んでるんで、この波を消さないようにハッスルしてやるぞ！　と。

——4回目、正念場ですよね。

参院選で自民党が勝った暁にはハッスルポーズを小泉首相にやってほしい

小川　正念場だけど、いい追い風がね、『ハッスル・ハウス』で見えてきたんで。スタッフも選手も、あと俺はホントにハッスル軍の両巨頭、〝ハッスル・キング〟と〝なんとかK〟を、もっとどうやってハッスルさせるかも絶対的なテーマだろうし。『ハッスル』を始めたからには、ちゃんと出てる選手がハッスルして、お客さんもハッスルして、そのお客さんが次の『ハッスル5』にね、どんどん新たなお客さんを連れてきてくれるように。家族で見ても楽しい『ハッスル』を期待してください！

NAOYA OGAWA

——『ハッスル』のナンバーシリーズは、ちょっと会場が大きすぎる気がするんですけど、どうですか？

小川　うん、でも夢は大きくだよ。だってそれを言ったら『1』は『PRIDE・GP』と同じさいたまスーパーアリーナの一番大きなとこだろ。

ハッスルするなら今しかねえ！
PRIDE・GP

——無謀を通り越してますね（笑）。

小川　本当は5000人規模でやりたいんだけど。でもね、『ハッスル・ハウス』があれだけ大盛況だったってことは、間違いなくそれぐらいの人数は『ハッスル』を求めて来るんで、今度は博多スターレーンとか大阪府立第2、あと札幌メディアパーク・スピカなんかでやりたいね（笑）。

——『ハッスル・ハウス』で全国展開ですか！

小川　そうそう、全国展開をできたらいいなって。それをやるには、まだ『PRIDE』で儲けてる部分をちょっと拝借しないといけないけどね（笑）。あとは俺の地元、茅ヶ崎にも体育館があってね、1000人ぐらいの規模なんだけど、そこも使って欲しいな、みたいなね（笑）。

——小川直也凱旋、『ハッスルハウス』in茅ヶ崎はいいですね！

小川　いいでしょ？　でも、エアコンないから秋口にしよう（笑）。でも、土日はアマチュア優先だから、平日開催になっちゃうんだけどね。

——そこまでリサーチ済みですか！（笑）。『ハッスルマニア』を茅ヶ崎球場でもやってほしいですけどね。

小川　まぁ、茅ヶ崎球場ももちろん夢としてあるけど、まずは体育館で『ハッスル・ハウス』。地道にコツコツと（笑）。

——そのときは、桑田佳祐さんに『ハッスルの唄』も作って欲しいですね（笑）。

小川　それはいいな！『PRIDEの唄』があって『ハッスルの唄』がないのもね。『ハッスルの唄』も作ってほしいなあ〜。

モーリー　（UFO公式出入り禁止カメラマン）なんかいま、「小川さんの歌」ってありますよね？　この間テレビ見てたら川さんの歌を桑田さんが……。

小川　だから、あれが『PRIDEの唄』だろ！

モーリー　えっ……あれが『PRIDEの』……⁉

小川　お前、そんなことも知らねぇのかよ⁉　ホントは俺のこと全然興味ないだろ！

モーリー　いや……小川さんのこと歌ってるなぁと……。

小川　やっぱりお前、『ハッスル』出入り禁止だよ！　通算3回目の出入り禁止‼

——ダハハハ！　では、改めてモーリーが出入り禁止になった模様をお伝えして、インタビューを終わります（笑）。小川さん、来月もよろしくお願いします！

小川　ハッスルハッスル！

【6月29日都内某ホテルにて収録】

安倍幹事長にハッスル伝授 次は小泉総理とハッスルだ!!

7月2日、自民党・安倍幹事長の大分遊説にオーちゃんが訪れ、一緒に「ハッスル、ハッスル!!」。官邸の会見で記者陣の要請に従い、ハッスルポーズを披露していた阿部幹事長に、選挙カーの上で正調ハッスルをしっかりと伝授したオーちゃん。選挙の結果次第では、小泉首相と「ハッスル、ハッスル!!」する約束を安倍幹事長に取り付けた。"ハッスル伝道師"の官邸出撃はなるのか!?

小川公約取った 小泉ハッスル!!

ハッスルスクープ!!

ノゲイラと破壊王(ハッスル・キング)が都内某所で密会!!

まさか、OH砲にヒビが……!?

一体何を企んでいるんだ!

←真相は次のページに!!

Indians
19
Tribal
94
BASE CO. TEAM
これがハッスルポーズ（リオのカーニバルバージョン）だ!!
まず最初はな、胸の前で十字を作るんや! それからカメラ目線! 両足は肩幅と同じぐらい開けよ!!
ここからが今までのハッスルと違うとこだからよ～く見とけ! 腰の振りは前後でも上下でもないぞ!
リオのカーニバルを思い出してグルングルンと腰をローリングさせるんや! イイ感じになってきたぞ!
最後はいつもと同じ要領だから! 脇を締めて、思いっきり腰を前に突き出して、ハッスルハッスル!!
ドリゴ・ノゲイラ

小川が阿倍幹事長なら……

俺はノゲイラにハッスルポーズを伝授するゾ!!

しかも“リオのカーニバルバージョン”や!!

大興奮の6・20『PRIDE・GP』翌日、ヒーリングを撃破したノゲイラのもとへ1人の男が訪ねてきた。その男の名は“ハッスル・キング”橋本真也。8月大会では小川戦を熱望するノゲイラの前に橋本が現れた真意とは!? さらに橋本は驚ガクのNEWハッスルポーズまで伝授! 一体どうなってるの!?

聞き手/堀江ガンツ　撮影/森モーリー鷹博　試合写真/乾晋也
designed by hisa (Two Three)

“ハッスル・キング”

橋本真也×

“ハッスル柔術マジシャン”

アントニオ・ホ

俺とノゲイラは全然似てないのにな。親父によろしく言っておいて下さい

ノゲイラ　ハシモトさ～ん、ハジメマシテ。

橋本　初めましてじゃないよ。小川とタッグで新日本のドームに出たとき（2002年5月2日）に会ってるよ。

ノゲイラ　覚えてます。でも、こうしてちゃんと話をするのは初めてなんで、今日は楽しみにしてたんですよ。

橋本　大丈夫？　俺のこと知ってる？

ノゲイラ　問題ないです。よく雑誌で見かけてて、応援してます（ニッコリ）。

橋本　私も最近よくテレビでお見かけしてます（笑）。最初にひとつ聞いていいか？

――なんでしょうか。どうぞ。

橋本　ノゲイラ、お前兄弟いるだろ！

――ダハハハハ！　何をいまさら（笑）。

ノゲイラ　双子の弟がいます。

橋本　やっぱりそうか。それじゃあ、紹介されてもどっちがどっちか分からねぇな。

ノゲイラ　よく彼女に間違えられるんです。弟の彼女にキスされたり（笑）。

橋本　そっち方面でも〝兄弟〟になっちまってるんじゃないだろうな！

――何を言ってるんですか（笑）。そういえばノゲイラのお父さんが、橋本さんに似てるらしいんですよ。

橋本　俺とノゲイラは全然似てないのに、親父とは似てるのか。

ノゲイラ　ハシモトさんに似てて、凄くハンサムですよ（笑）。

橋本　お父さんって顔が丸いの？

ニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

ノゲイラ　そうですね。髪型とそれからモミアゲも似てるんですよ。

橋本　そうか。じゃあ、よろしく言っておいて下さい。

ノゲイラ　はい。僕ら兄弟はそういう意味でハシモトさんには親近感を抱いていて、プロレスでいつも応援してるのはハシモトさんなんですよ。

橋本　じゃあ、こっちもずっとノゲイラのことを応援しなきゃいけないな。この前はウチの横井（宏考）がお世話になったしね。

ノゲイラ　ヨコイは橋本さんのところの選手なんですか？　初めて知りました。

橋本　ノゲイラとやったあと、横井が「負けましたあ」ってベソかきながら報告に来たよ（笑）。

ノゲイラ　でも、彼とは凄くいい試合ができましたよ。彼はスタイル的にもいいファイターだし将来性もあるから、これからは日本のホープになると思います。

橋本　ありがとうございます。ノゲイラと闘えて、彼自身にとって凄く勉強になったと思うよ。横井の名前もずいぶん上がったしな。でも、あんまりそっちの世界に引っ張られるとウチの選手いなくなっちゃうから（笑）。

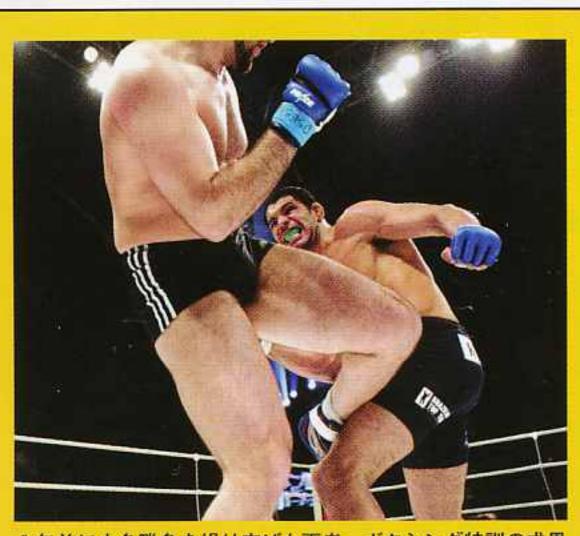
ノゲイラ　昨日のオガワの試合（6・20シルバ戦）は観に行きましたか？

橋本　会場には行ってないけど、テレビで観ましたよ。

ノゲイラ　どう思いました？

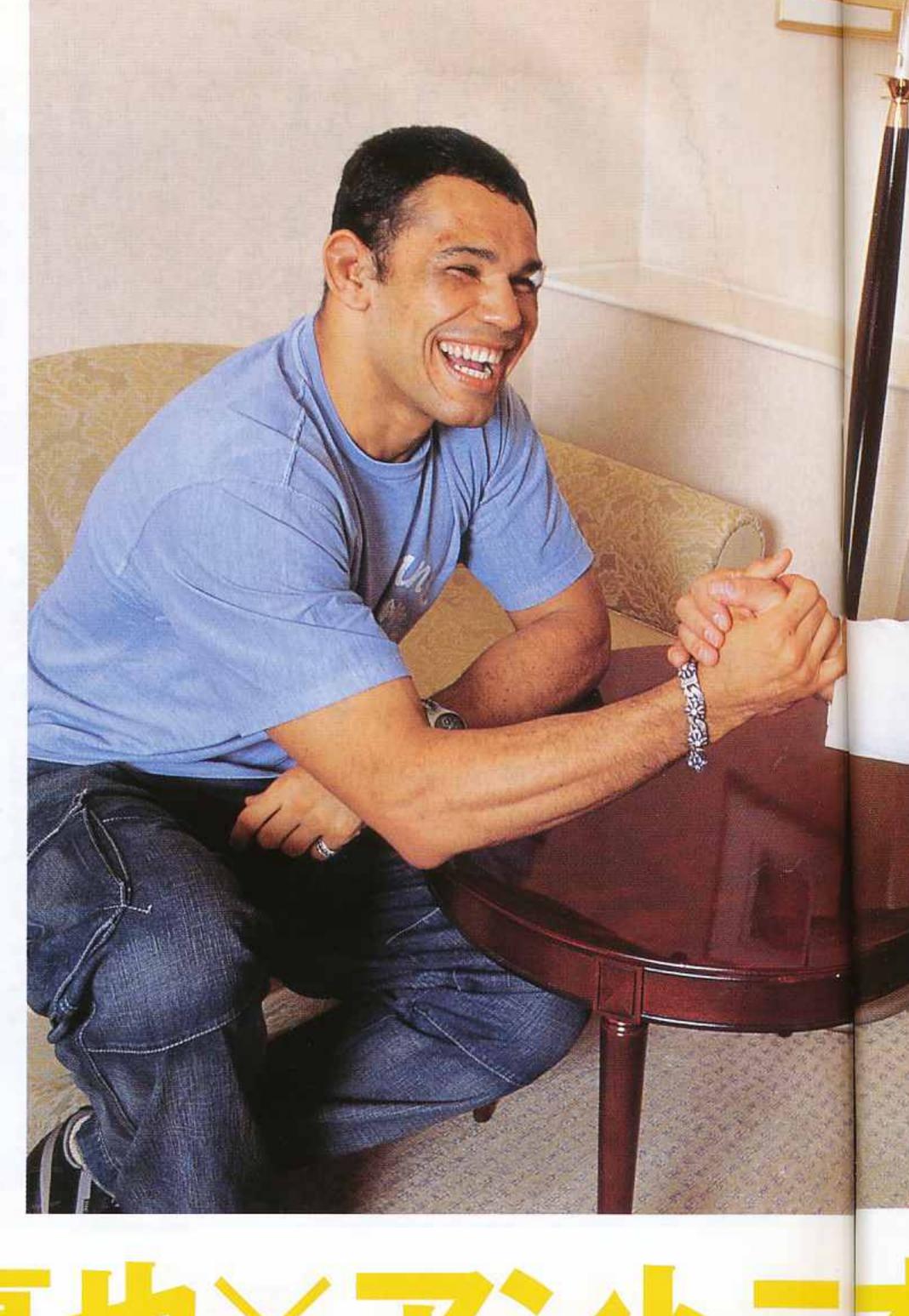
橋本　いや、逆にプロの評価を聞かせてくれよ。ノゲイラから見ると、小川の試合はどうだったの？

ノゲイラ　オガワとシルバは比較ができないほど、実力の差がありましたね。シルバは凄くパワーがあるんですけど、いざ試合

腕十字を狙うノゲイラの動きに合わせて、ヒースが一瞬で上を取り返す。しかし、その直後、ノゲイラの素早いオモプラッタが炸裂！

3年前にも名勝負を繰り広げた両者。ボクシング特訓の成果を発揮するノゲイラはヒースのローにパンチを合わせていく

6.20 PRIDE GP 2nd ROUND

秘技スピニングチョークまたしても炸裂!! ノゲイラ、ヒースに快勝!!

○アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
［2R 0分30秒 スピニングチョーク］
×ヒース・ヒーリング

が始まったら全然相手になりませんでした。得意の柔道技で倒したら、そこで終わりですからね。

橋本　そうか。たいしたもんだよな。ノゲイラはもともと格闘技の基盤は何なの？

ノゲイラ　柔術です。4歳で柔道を始めたので、最初に身につけたのは柔道ですけど、いまの自分のベースになっているのはすべて柔術ですね。

橋本　向こうは柔道と柔術が区別されてるのが凄いな。俺がまだ小っちゃい頃、柔道の裏技の本があったわけだよ。昔はルールでも認められてたんだけど、いまは禁止になってる技ばっか載ってる本があって、おれはよくそれを読んでたんだけど、ノゲイラたちがやってる柔術っていうのは要はそっちなんだよな。投げて終わりじゃないっていう。

ノゲイラ　そうですね。柔術の方がより実践的なんです。やっぱり柔道はスポーツ化されることによって、かなり真実から離れてしまったんでしょうね。

橋本　まあ、それは現代だからしょうがない。でも『PRIDE』みたいなイベントで開花することができたからよかったよな。

ノゲイラ　そういう総合格闘技界で原点に戻っていくんだと思います。ハシモトさんも柔道をやってたんですよね？

橋本　柔道と極真空手ね。

ノゲイラ　日本の柔道は、練習がとても厳

ボクのお父さんは顔も髪形もモミアゲもハシモトさんに似てます

橋本真也×アントニオ

しいんですよね？

橋本　そうだな。俺らが学生のときは原始的な練習が多かったから。ダンベルとかは使わなかったし、脇締めて匍匐前進で進んだりさ、自衛隊っぽいんだよ。

ノゲイラ　ロシアのアマチュアレスリングも、そんな感じなんですよね。

橋本　結局みんなそうじゃない。バーベルで作る余分な筋肉は必要ないんだよな、最低限の実戦で使える筋肉があればいいわけだからさ。私の場合はお腹に余分なものがついてるんだけど（笑）。

ノゲイラ　アハハハハ！

橋本　俺は評論家じゃないけど、ノゲイラなんかは体型からしても、余分なものがついてないよな。それで手足が長いから凄い有利だよね。前腕見ても分かるように、こういう手は締め技とか強いんだよ。

ノゲイラ　よくコーチに、もっと肉を付けるように言われるんですけど、でも自分自身は、いまがベストだと思ってます。ハシモトさんはいま『ハッスル』に出てるんですよね？

橋本　そう。俺には『ハッスル』しか残されてないから。

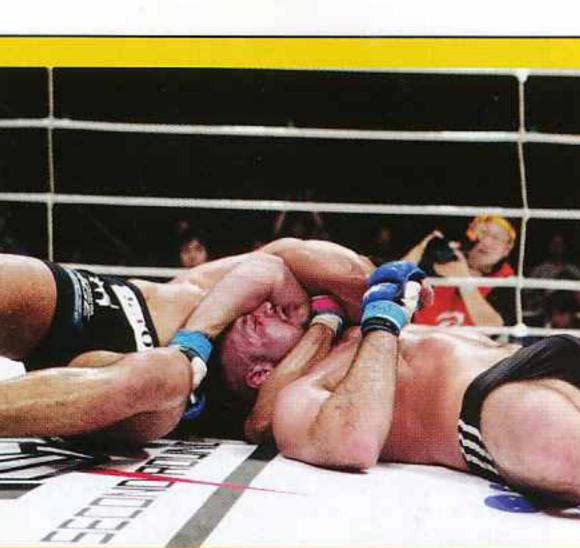
――そんなことはないでしょう（笑）。

ノゲイラ　そういう自分が主役のイベントが持てるっていうのは素晴らしいと思います。うらやましいですね。

橋本　そうか。じゃあ将来、待ってるからな！（笑）。1年先か2年先かわからないですけど、ノゲイラにもプロレスってもんを体験してもらいたいね。

ノゲイラ　でも、プロレスはバーリトゥードより難しいですよね？

橋本　まぁ、ある意味究極だからな。でも頭いい人は絶対両方いけるから、大丈夫。ただな、プロレスラーっていうのはケガし

ヒースに完勝し、大方の予想通りベスト4へ進出したノゲイラ。試合後は『PRIDE』をアマチュア扱いした小川との対戦をブチ上げた

2R、打撃で追い込まれたヒースは苦し紛れのタックル。それをガブったノゲイラは伝家の宝刀スピニングチョークでヒースを撃破！

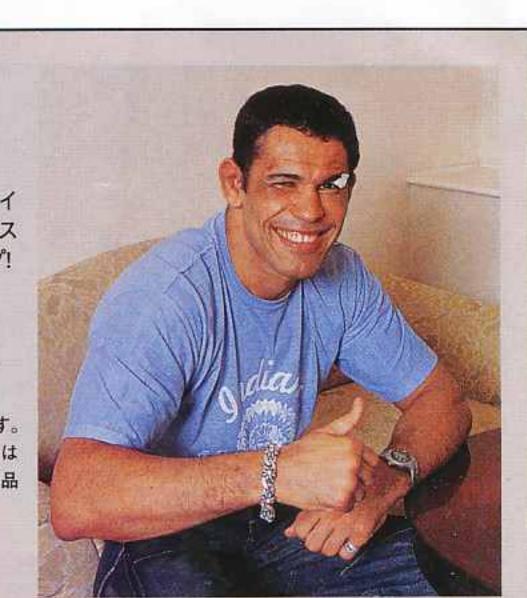
再三、腕十字を狙うノゲイラ。ヒースはがっちり腕をロックし首を抜いて脱出。1Rの10分間、主導権は常にノゲイラが握っていた

ても試合にでなきゃいけないからな。
ノゲイラ　そうなんですか？
――橋本さんは肩を脱臼しても自分の団体のために試合に出続けてたんですよ。
ノゲイラ　それは凄いですね！
橋本　しかも安いギャラでな。どうだ、やりたくなくなったやろ？（笑）。
ノゲイラ　ちょっと難しくなりました（笑）。
橋本　ダハハハハ。
ノゲイラ　でも、『ハッスル』の方たちは、みんな大金持ちだって聞いてますよ（笑）。
橋本　みんなローンで大変なんだよ！
――ローンでしたか（笑）。橋本さん、ノゲイラ選手はいまリオのビーチフロントにある凄い豪邸に住んでるんですよ。
橋本　そうか。じゃあ、俺が遊びに行ったら、一部屋貸してくれるか？
ノゲイラ　もちろん。用意して待ってます。今度リオのカーニバルも観に来て下さい。
橋本　リオ・カーニバルはずっと見に行きたいんだよ。でも、知り合いがいなかったから行けなかったんだよな。マルシア知ってる？
ノゲイラ　マルシア？
橋本　（大鶴）義丹と別れたんだけど、知らねぇか。
――まだ正式に別れてないですよ（笑）。
橋本　あ、そっか（笑）。俺のブラジルの知り合いというと彼女しかいなかったんだけど、マルシアは向こうに住んでるわけじゃないからな。
ノゲイラ　じゃあ、これからはボクに連絡してください。ボン・キュッ・ボンの女性も用意しておきますんで（笑）。
橋本　ボン・キュッ・ボンか!?（笑）。そりゃますます行かなきゃいけないな（笑）。
ノゲイラ　ブラジルでハッスルのイベントをやったらどうですか？
橋本　ブラジルでやったら儲からないやろ！（笑）。どうなの、向こうでプロレスっていうのは？
ノゲイラ　20年前ほど前のお父さんの世代ぐらいまでは、ブラジルでもプロレスが人気があったんですよ。でも最近はほとんど聞かなくなりましたね。
橋本　それはね、あなたたち（格闘家）のせいだよ！（笑）。
――あなたたちのせい（笑）。
ノゲイラ　でも、自分が子供のころは、もう人気がなかったですよ。

ブラジルに来たら連絡下さい。ボン・キュッ・ボンの女性を用意します（笑）

橋本　いま日本でも同じことが起こりつつあるからね。でも、あなたが何年かあとにプロレスやれば、プロレスの人気が戻るよ。
ノゲイラ　では、いつかやります。ブラジルに昔、ベルドゥーグっていうマスクを被ったプロレスラーがいたんですけど、ご存じですか？
橋本　名前は聞いたことあるけど、日本ではそんなに知られてないな。
ノゲイラ　ボクは子供のころ体が大きかったんで、ベルドゥーグってアダ名で呼ばれてたんですよ（笑）。
橋本　そうか。じゃあ、マスク被ってプロレスやりゃあいいんだよ。『PRIDE』には素顔で出て、プロレスはノゲイラじゃない別人になって出ていくとかね。マスク被ると自分じゃなくなるから。
ノゲイラ　ハシモトさんはマスクを被ったりしないんですか？
橋本　俺は身体でバレちゃうやろ！
ノゲイラ　ハハハハハ！
――白覆面とかもありましたけどね（笑）。
橋本　いや、あれは俺じゃねえよ！（笑）でもさ、ノゲイラは明るくていいよね。ブラジルの格闘家って、どっちかというと暗い人が多かったから。
――グレイシー一族とかとのイメージとは違いますよね。
橋本　人気が出るのもわかるよ。
ノゲイラ　ボクから見ると、ハシモトさんからは凄くカリスマ性を感じますね。
橋本　カリスマなんてとんでもない。俺はカリクビしか感じないよ（笑）。
――ガハハハハ！
橋本　これは訳さなくていいゾ！（笑）。
――橋本さん、ノゲイラ選手は六本木が凄く好きなんですよ。今度、先輩として正しい遊び方教えてあげたらどうですか？
橋本　六本木のどこ行ってるの？
ノゲイラ　スポーツカフェですね。
橋本　そんなのは待ち合わせ場所やろ！　そうじゃなくて、そのあとに行くところだよ。店の名前！
ノゲイラ　（破壊王に耳打ちするノゲイラ）
橋本　あぁ聞いたことあるな（笑）。
ノゲイラ　そこはホントの待ち合わせ場所というか、出会いの場所です（笑）。でも最近は、あまり出掛けてないんです。昨日でさえ行かなかったですから。
橋本　じゃあ、今日あたり行くな（笑）。
ノゲイラ　いや、GPが終わるまでは闘いに集中しようと思ってるんですよ。だから次にロッポンギ行くのは8月の大会が終わった後ですね。
橋本　俺、今日行くかもしれねぇけどな（笑）。
ノゲイラ　いつか一緒に行きましょう（笑）。
橋本　まぁ、ケガをすることもあるけど、ノゲイラにはこれからも快進撃して欲しいよね。何でかって言うとな、ブラジルってこれから成長する国だから、夢を持ってるヤツがいっぱいいるわけだよ。ところがいまは日本に夢を持ってる人が少なくなった

ニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

迷わず付けろ！ 付ければわかるさ！ 橋本真也FELLOW COLLECTION

ノゲイラがしているブレスレットは、破壊王がプレゼントした天然ダイヤモンド装着モデル。値段はなんと100万以上だとか。さすがはハッスルキング！ 現在販売中のブレスレットのラインナップは次の4タイプ！

1.シルバーのみを使用した2タイプ

2.シルバーとストーンを使用した2タイプ

●ストーンカラーバリエーション：クリア・ブラック・レッド・ブルー・ブラウン
●ストーンの種類：天然ダイヤモンド・キュービックジルコニアダイヤモンド
●尚、天然ダイヤモンド・カラーチョイスの装着に関しては別途オーダーが必要です。
販売価格：シルバーのみのタイプ・31万円シルバーとストーン装着タイプ（カラーは上記より、お好きなカラーをお選びいただけます）39万円オプショナルオーダー商品（天然ダイヤモンド・カラーは、クリア・ブラックのみ）
販売価格：55万円～
［製造・販売］株式会社オリエンタルブランドブティックス
大阪店　06-6282-5959　東京渋谷店　03-5457-3511

橋本真也×アントニオ

んだな。現実ばっかでさ。やっぱり格闘家っていつも夢見て、それが現実を一つ一つ噛み砕いていくもんだと思うんだよ。だからノゲイラみたいに這い上がって来た人を見ると、俺も昔は貧乏人だったから、そういういいハングリー精神っていうものを思い出すんだよな。

ノゲイラ やっぱりブラジルは経済的にそんなに豊かな国ではないので、そういう夢を持たないと、なかなか這い上がれない状態なんですよ。

橋本 だからブラジルの若者にとっては、あなたみたいな天才がとる行動の一つ一つが、希望になるんだよね。そういう模範になるということは大変だけど、そこは選ばれた人だから、辛いかもしれないけど頑張って欲しいよ。

ノゲイラ ありがとうございます。頑張ります。

――ところで橋本さん、次の『PRIDE』ではノゲイラ選手と小川選手の試合が実現する可能性が非常に高いんですよ。この辺り複雑なんじゃないですか？

橋本 『PRIDE』ばっか儲けやがってな。セコンドつけねえじゃねえか！

――ダハハハハ！

ノゲイラ でも、ボクたちはプロですから。試合は試合で思い切り闘って、でも試合が終わったら、またいい関係に戻ればいいと思います。

橋本 それができるからいいんだよ、競技は。『PRIDE』にはね、プロ意識でやってても、いい意味でアマチュア的な競技制の仲間意識が凄く見えて、柔道とか空手をやってた頃を思い出すんだよ。格闘技のいいところだよな。

ノゲイラ プロレスラー同士の関係はそれとは違うんですか？

橋本 プロレスっていうのは舞台だから、嫉妬もあるし、そういうものを表に出す世界だから、裏で陥れられることもあるし、もっと汚れてるよ。汚れてるけど、舞台に立ったときが一番キレイに見えるんだよ。

ノゲイラ オガワとは昔から仲間だったんですか？

橋本 いや、小川とは最初はお互い無視し合って、憎しみあってた関係だよ。

ノゲイラ そうだったんですか。

橋本 まぁ、オフィスの代理戦争みたいな状態で使われたからそうなったんだけど、闘っていくうちにお互いに通じ合えて仲良くなれたんだよ。

ノゲイラ 仲が悪かったのに、闘ったら仲良くなったんですか？

橋本 そう。ノゲイラがいま一番憎ったらしいライバルって誰だ？

ノゲイラ ヒョードルですね。

橋本 じゃあ、ノゲイラとヒョードルが闘って、仲良くなったようなもんだよ。

ノゲイラ ちょっとそれは難しいなあ（笑）。

橋本 でも、俺と小川っていうのはまさにそれだったんだよ。勝っても負けても、しっかり試合ができたときに、初めて分かり合えるものができたんだよ。

ノゲイラ 二人が力を合わせることによって、さらに大きな力が生まれたんですか？

橋本 そうだな。やっぱり話題にもなったし。ホントに究極に大っ嫌い同士っていうのは、くっつくのも早いんだよ。逆に好き過ぎちゃうと離れていく。その辺は恋愛と似てるよな。

ノゲイラ オガワとタッグを組んで、どのぐらい経つんですか？

橋本 3年ぐらいか？

ノゲイラ じゃあ関係が古くなってきたんで、そろそろいいんじゃないですか？（笑）。

橋本真也×アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

橋本　そうだな、そろそろ割れなきゃならないか（笑）。
ノゲイラ　永遠の結婚というのはないんですか？
橋本　それはその人次第じゃないの？　誰か好きな人でもいるんか？
ノゲイラ　好きな人はたくさんいるんですよ（笑）。
橋本　その中でも一番好きな人はいるんだろう？
ノゲイラ　そうですね。一番好きな人はいますけど、いろんなところに目がいっちゃうんですよ（笑）。
橋本　でもな、一番大事な人が真ん中にちゃんといるから好きなことができるんだよ。その人っていうのは、もう他と比べる対象じゃないんだよな。
ノゲイラ　そうですね。
橋本　だから芯がしっかりしてれば、いくら目移りしたって構わないと思う。でも、日本にも悪い女がいるから気をつけてな。
ノゲイラ　はい。気を付けます。
橋本　どっかで俺と〝兄弟〟になったりしてな（笑）。
――ダハハハ！　では、いつの日か〝兄弟タッグ〟が実現することを期待して、今日はお開きにしましょう。橋本さん、最後にハッスルで締めてもらえませんか？
橋本　ノゲイラはハッスルポーズ知ってるのか？
ノゲイラ　オガワがやってるの見ました。やり方教えてください。
橋本　でも、ノゲイラに同じもん教えてもつまらないから、NEWハッスルポーズを教えるゾ。より腰の動きを激しくした〝リオのカーニバル・バージョン〟や！
――リオのカーニバル・バージョン！（笑）。
橋本　（実演しながら）こうやって、激しく腰をクネらせながら「ハッスル、ハッスル！」だ！
一同　ガハハハハ！
橋本　よし、いくぞ――ッ！
――おーッ！
橋本　3、2、1！
一同　ハッスル、ハッスル!!（腰を激しくクネらせながら）
橋本　よし、合格！

【04年6月21日／都内・某ホテルにて収録】

真夏のZERO-ONEスケジュール!!

『Rally of The Cage』※全戦金網マッチ
7月9日（金）試合開始18:30　東京・後楽園ホール
7月10日（土）試合開始18:30　新潟・新潟市体育館

『火祭り'04』
7月27日（火）福島・いわき市総合体育館（18:30）～開幕戦～
7月29日（木）東京・後楽園ホール（18:30）
7月30日（火）大阪・大阪府立体育会館第2競技場（18:30）
7月31日（土）東京・ディファ有明（18:00）
8月 1日（日）東京・後楽園ホール（18:30）～決勝戦～
［開催概要］
※A、B各ブロック5名による総当りリーグ戦（30分1本勝負）※A、B各ブロック最高得点者により決勝戦（時間無制限1本勝負）※優勝賞金500万円、火祭り刀贈呈
［出場決定選手］
小島聡（第3回大会優勝）、大谷晋二郎（第1&2回大会優勝）、大森隆男、田中将斗、横井宏考、金村キンタロー、黒田哲広、坂田亘、越中詩郎、他1名(選考中)

『ゼロ中祭 V』
8月15日（日）試合開始12:00　東京・後楽園ホール

［問い合わせ］
ZERO-ONE　03-5730-3401
http://www.zero-one.to/

ロシア格闘技界史上最大の“内戦”遂に勃発か!?

「ハリトーフ?彼の弱点は私が一番よく知ってるよ」

強い、強い、強すぎる!　6・20『PRIDE・GP』2回戦、ミルコを破り台風の目となったランデルマンを迎え撃ったヒョードルは、超高角度バックドロップで叩きつけられヒヤリとさせながらも、アッという間にリカバーしての一本勝ち。終わってみれば見事な横綱相撲で、その強さを見せつけた。これによりヒョードル、小川、ノゲイラ、ハリトーノフの4人が8月15日のファイナルに進出。いよいよ役者は出揃い、誰と当たっても夢のカードだが、ファンがヒョードルの相手として最も望むのは、かつて所属したロシアン・トップチームのハリトーノフ。その因縁の相手について聞くと、ヒョードルは静かにこう答えた。「彼の弱点は私が一番よく知っている」――

聞き手／堀江ガンツ　撮影／森モーリー鷹博　試合写真／乾晋也
designed by hisa (Two Three)

ハッスルするなら今しかねえ!
PRIDE・GP

PRIDE GP 2nd ROUNDはランデルマンに完勝!!

Emelia
FED

―それにしても、昨日の『PRIDE・GP』2回戦のケビン・ランデルマンは実に見事な完勝でした！ 昨日はヒョードル選手自身、パーフェクトな出来だったんじゃないですか？

ヒョードル いや、勝つことはできましたけど、決してパーフェクトとは言えませんね。むしろ課題が見つかった試合だと思います。

―あれでも、まだ不満がありますか！

ヒョードル 最初にタックルでテイクダウンを奪われてしまいましたし、後ろへの投げ技も防げませんでしたから。でも、彼のような優れた選手に勝つことができたことに関しては、満足しています。

―ランデルマンの投げ技で、もの凄い角度で落とされたので、一発KOされてもおかしくないように見えましたが、あのダメージはどの程度のものだったんですか？

ヒョードル もちろんノーダメージではありませんが、KOされるとは思いませんでしたね。

―ランデルマン陣営のセコンドは「あの投げでヒョードルは2～3秒は失神していた」と言っているんですが、投げられた直後、意識はあったんですか？

ヒョードル 投げられたあと、すぐに反撃していることでもわかるとおり、失神はしていません。セコンドの勘違いでしょうね。

―でも、あんな角度で落とされたら、セコンドが勘違いするのも無理はないですよ（笑）。リングで頭から落とされたり、交通事故に遭ったりしても無傷であるというのは、それだけ身体が強いのか、受け身が上手いのか、どうなんでしょうか？

ヒョードル まぁ、運が良かったんだと思います（微笑）。

―そんな幸運の持ち主でしたか（笑）。

ヒョードル あとは、いままでサンボや柔道で投げ技の練習をたくさんしてきたので、慣れているというのもあります。特に私は〝2階からの投げ技〟という、高い所から投げられるような訓練もしてきてるので、そのお陰じゃないでしょうか。

―それってどんな訓練なんですか？ 2階から飛び降りるとか⁉

ヒョードル 「2階から」というのは比喩ですね（微笑）。

―失礼しました（笑）。

ヒョードル 高く持ち上げていろんな角度からボンと落とすという訓練なんです。サンボにはいろいろな投げ技がありますから、どんな風に投げられても受け身を取る自信はありますね。

私は“2階からの投げ技”を練習しているので、受け身には自信があります

Emelianenko **FEDOR**

―なるほど。今回の試合前、ヒョードル選手が交通事故に遭ったということで、日本のファンは心配していたんですけど、改めて詳しい状況を教えてください。

ヒョードル トレーニング先からの帰宅途中、交差点で対向車が左に曲がろうとしていたんです。普通でしたら対向車が道を譲らなければいけないんですけど、そのまままぶつかってしまいました。

―それで車は大破したんですよね？

ヒョードル はい。すぐに廃車ですね。

―でもなぜかドライバーは無傷と（笑）。

ヒョードル 運が良かったんだと思います（微笑）。

―その数ヶ月前に弟のアレキサンダー選手も交通事故に遭ったという情報もあったんですけど、それは本当ですか？

ヒョードル そういう事実はないです。アレキサンダーはピンピンしてますし、いまは私以上に絶好調ですよ。先日もプラハでコマンド・サンボの大会があって、重量級で優勝しましたから。

―また優勝したんですか？ たしか、今年の始めにもコマンドサンボの大会で優勝してますよね？

ヒョードル 前回はロシアの中でチャンピオンになったんですけど、今回は世界チャンピオンになりました。

―それはおめでとうございます！ ヒョードル選手は昨年、コマンド・サンボの世界選手権で優勝してますから、兄弟揃って世界王者なんですね。

ヒョードル 本当は私自身、今回も出場したかったのですが、『PRIDE・GP』に集中するために回避したんですよ。でも、弟が世界チャンピオンになったのは、自分のことのように嬉しいですね。弟は、正直言って日本のファンのみなさんには、あまり評価されていないようなんですけど、非常にいい選手ですので、いずれ『PRIDE』でも活躍してくれると思います。

―やっぱりアレキサンダー選手が実力の割りには、あまりいいマッチメイクが組まれてないというのは、お兄さんとしては気になりますか？

ヒョードル もっと強い選手と対戦させてもらいたいっていう思いはあります。

―おそらく、アレキサンダー選手は他のヘビー級選手に比べても身体が大きいんで、ヘビー級のトップ選手はみんなやりたがらないんじゃないですか？

ヒョードル 私もそう思います。みんなが恐がってるんでしょう。アレキサンダーは、もし『PRIDE・GP』に出場できた

○エメリヤーエンコ・ヒョードル
[1R 1分33秒 チキンウイング・アームロック]
×ケビン・ランデルマン

『PRIDE・GP』2回戦でファンが見たいカード1位に選ばれたこの一戦。ミルコを破った勢いのまま皇帝に挑むランデルマンは、序盤からいきなりエンジン前回! もの凄い勢いのタックルでテイクダウンを奪うと、バックに回り信じられない角度で垂直落下式バックドロップ! またしても大金星か!?、と思った次の瞬間、ヒョードルは何事もなかったかのように体勢を入れ替え、得意のアームロックでタップアウト勝ち! 一体、ヒョードルはどこまで強いのか……?

ら、私と同じようにベスト4に上がってしかるべき実力がありますから。それは断言してもいいです。

—それにしても、エメリヤーエンコ兄弟とハリトーノフら活躍で、改めてロシアの選手の評価が上がってきているわけですけど、昨日はハリトーノフ選手の試合（vsセーム・シュルト戦）は観ましたか？

ヒョードル　はい、観ました。

—感想を聞かせてください。

ヒョードル　非常にいい印象を持ちました。セルゲイは頑張ってたし、偉いと思います。

—いまDSEでは準決勝の対戦カードについて、ファンにアンケートを取っているんですけど、もしファンがハリトーノフ選手との試合を望んだら、対戦をOKしますか？

ヒョードル　はい（即答）。

—以前は練習仲間で仲も良かったそうですけど、顔面を殴り合うことに問題はありませんか？

ヒョードル　いまは別々にトレーニングしていますし、セルゲイのことはライバルだと思っていますから、問題ありません。セルゲイとはお互いのいい部分と弱点を知ってるので、非常にいい試合になるんじゃないでしょうか。

—日本のファンにとってハリトーノフ選手は、まだ謎の部分が多いんですけど、やっぱりヒョードル選手は弱点を知ってるわけですね？

ヒョードル　彼の弱点は私が一番よく知っていると思います。ここでは言えませんが。

—では、ハリトーノフ選手が『PRIDE』わずか4戦でここまで登りつめた一番の要因は何だと思いますか？

ヒョードル　それも知ってますけど、内緒にしておきます（微笑）。でも、セルゲイ以外にも『PRIDE』に出場する実力の選手がロシアにはたくさんいますし、彼は決して特別だとは思いません。

—もし次にハリトーノフ選手と試合が組まれた場合、「ロシアン・トップチームvsチームを抜けたヒョードル」という感じで、〝因縁の試合〟のような打ち出し方になると思うんですけども、そう言われることについてはどう思いますか？

ヒョードル　別に、構いませんよ。実際そうですから。

—実際に因縁の対決でしたか（笑）。

ヒョードル　私はレッド・デビルの代表選手ですので、同じようにロシアン・トップチームを代表しているセルゲイと闘うだけですね。

—ハリトーノフ以外には、小川直也選手とノゲイラがベスト4に残りましたが、二人の試合はご覧になりましたか？

ヒョードル　ノゲイラは自分の前の試合だったので、残念ながら観ることができませんでした。オガワサン（小川直也）の試合は観ました。

—小川vsジャイアント・シルバを観てどんな感想を持ちましたか？

ヒョードル　残念ながら対戦相手に問題があったというか、ちょっと違うタイプの選手だったので……コメントしづらいですね。でも、オガワサンは柔道で素晴らしい実績を持っていることでもわかるとおり、優れた選手であることは間違いないと思います。8月に闘えるのなら光栄ですね。

—小川選手は押さえ込みが凄く強いと言われてますが、ヒョードル選手は逆に押さえ込みをひっくり返すのが得意ですよね。小川選手の押さえ込みをひっくり返す自信はありますか？

ヒョードル　押さえ込みという体勢だけで

“因縁の対決”と呼ばれるのは別に構いません。実際にそのとおりですから

考えることはしてません。試合になればいろんな状況になると思うので、選手としてどんな状況にも対応できるようにします。

──『PRIDE・GP』開幕の時点では「自分以外の15人全員がライバル」だと言ってましたけど、ベスト4まで絞られた現時点で、最大のライバルは誰かというのは見えてきましたか?

ヒョードル いえ、まだ誰が一番のライバルかは分からないです。やはり残った3人全員がライバルですね。私は8月のファイナルに向けて、全ての選手に対応できるように練習をするだけです。

──ファンの間では、やはりヒョードル選手が実力的に頭一つ抜けているように思われているみたいですよ。

ヒョードル ファンの皆さんにそう言っていただけるのは嬉しいですが、すべては8月に分かることだと思います。

──では、最後に8月へ向けてどういったトレーニングを積むか教えて下さい。

ヒョードル いつも通りです。スタンディング、グラウンド、パンチ、キックなどを練習して、ビデオを観て研究して課題を見付けて、それに向けて練習します。1、2回戦はどちらもレスリングの選手ということで、関節技に重点を置きましたが、次は全然違う試合になるでしょうからね。

──あ、そう言えば、コールマン戦、ランデルマン戦どちらも関節技で極めて、ヒョードル選手の代名詞であるパウンドを一度も見せてませんでしたよね?

ヒョードル もしかしたら次に見せられるかもしれません(微笑)。

──ついに最大の武器を解禁ですか! では、8・15『PRIDE・GP』での活躍を期待してます!

【04年6月21日/都内・某ホテルにて収録】

次号予告

幻想大国
ロシア特集

『紙プロ』次号、NO.77はいよいよ8･15『PRIDE･GP』ファイナル直前!
もちろん、どこよりも濃密な『PRIDE･GP』大特集をお届けします。
中でも幻想と謎に包まれたロシアの強さを徹底分析!
ファン待望、感涙の“あの男”の独占インタビューも予定しているので乞うご期待!

8月6日(金)発売!!

※一部地域では発売日が異なることがあります。

Tシャツ界に“北の最終兵器”登場!

ロシア・レジェンドシリーズ
堂々完成!!

もう売ってます!

この夏、ロシアが熱い! 『PRIDE』で大活躍するヒョードル、ハリトーノフらロシア勢の礎を築いた、ハン、コピィロフ、ミーシャの愛すべきレジェンドたちがTシャツになった! その彼らが持つ“ガス燈時代のプロレスラー”的なムードをゴキータが見事に表現。この夏はロシアレジェンドTシャツで決定だ。購入方法はP160参照——ッ!!

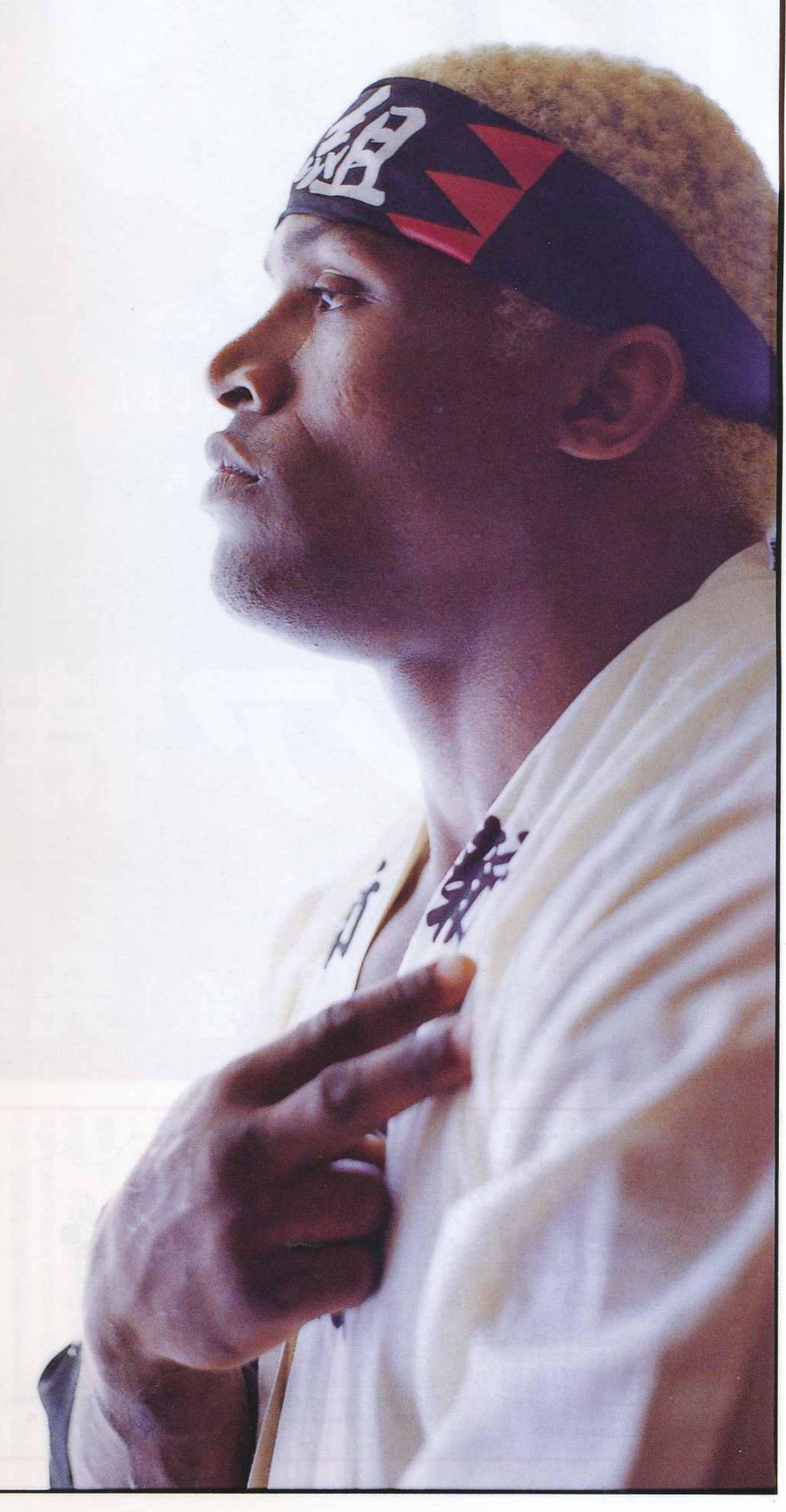
コピィロフTシャツ〈ホワイト〉
¥3.990 S or M or L or XL

ヴォルク・ハンTシャツ〈ホワイト〉
¥3.990 S or M or L or XL

ミーシャTシャツ〈ホワイト〉
¥3.990 S or M or L or XL

※料金はすべて税込み価格です。

父の死を乗り越えて

ケビン・ランデルマン

ヒョードル戦は残念な結果になっちまったけど、誰にでも誇れるファイトができたから、俺はそれで満足してるんだ。それに俺はもう、何が起きてもクヨクヨしないことに決めた。昔は自分の感情をコントロールできなかったけれど、はやる心を冷静に、そして平穏に保つこと。そうして人生を歩むことが大事だってことを教えてくれたのは、6月2日に、心臓発作で死んじまった親父なんだよ。今回のヒョードル戦は、天国の親父に捧げる試合だったんだ。

決して恐れを抱かず、何の不安を持たずに、勇敢に闘う。天国の親父にそんなケビン・ランデルマンを見せたかった。試合で負けることは怖くはねえよ。親しい人間を失うことのほうがよっぽど怖い。俺はまたひとつ、人生について大きなことを学ぶことができた。大切な人を失っても、精一杯生きていかなきゃならねえってことをな。いや、こうして喋っていても、親父の死は、心の中で整理が付いていない。ちょっとは落ち着けよ、ケビン。

正直なことを言っちまえば、俺は不安を胸いっぱいに抱えていた。父親が死んだこと以外にも、母親は倒れて手術を受ける重体に陥った。最悪だ。とても練習ができる環境じゃなかった。試合のことを考える状況ではなかった。揺らぐ感情をコントロールするのは難しかったよ。そりゃそうさ。父親が死んじまったんだからな……クソったれめが!!（目に涙を浮かべながら）。

俺はガキのころから、周囲の扱いや、社会の環境に対して、いつも怒りが湧き出ていた。その怒りを暴力に変えて、それを周囲に叩き付けることによって、俺はクソったれな人生を生き抜いてきた。つまり、俺は人生に対して、得体の知れない恐怖を抱いていってわけさ。親父は、そんな俺をいつも修整してくれた。恐怖を取り除いてくれたんだ。

母親は、非暴力の人、マーチン・ルーサー・キング・ジュニアを信奉していたから、黒人であることに誇りを持て、暴力を振るってはいけないと口にしていたよ。とはいってもよ、リングに一度上がれば、こっちが殴らないとやられちまう！ 俺はヒョードルとは仲がいいし、彼を傷つけたくはなかったから、リングで混乱してる部分はあったけどな。

ただし、ミルコと闘ったときは違う。彼をブッ倒すことしか頭になかったぜ。

ミルコは俺に復讐を誓ってるんだって？ 笑わせてくれるよな。

その答えはこうだ！（中指を突き上げながら）。

ミルコが何度、挑んできても、俺は奴をブン殴ってやる。4月25日の再現さ。俺がミルコをブン殴れば殴るほど、ミルコはいろんなものを失うってわけだ。いや、ミルコは強いファイターだよ。とても尊敬している。再戦が組まれれば、おそらく苦戦するだろう。奴を倒すのに、5分の時間も要するのは、絶対だと予言しておく（笑）。ヒョードルやノゲイラと比べれば、ミルコは実力的に一枚、落ちると俺は踏んでいるんだ。

現時点では、ヒョードルが世界最強だろうな。でもよ、その座にヒョードルは座り続けることはできねえぜ。マークにはチョークを取られかけて、俺にはスラムで投げ飛ばされた。ヒョードルも俺たちと同じく人間なんだって。太陽が一日中、大空を支配できないように、いずれはヒョードルも負ける日がくる。

日本のファンはチキン（小川直也）にかなりの期待を寄せているけれど、俺からすると、そこのカジノはお勧めできねえな。チキンがグランプリを優勝するためには、彼には十分な環境は整ってないと思うからだ。いや、チキンの能力が低いって言ってるわけじゃない。チキンはオリンピックで活躍したほどの選手。だからこそ、上から彼を見下ろして、しっかりと、きつい指導できる人間は、はたしているのかってことだよ。

ただ、俺が言うまでもないけど、チキンの野郎は、チキンだけど、まったくチキンじゃあない。言ってる意味はわかるだろ？ だって、『ハッスル』のためにグランプリに出てきたんだぞ。馬鹿だよ。馬鹿馬鹿しいほど勇気があるチキン！ 我らが『高田モンスター軍』に入った方が相応しいぜ。

8月のグランプリ決勝戦では、誰が頂点に立つのか、俺は見届けたいと思ってる。このグランプリシリーズは、俺にとって、大きな転換をはかることになったイベントだ。6月20日のあの夜、俺は最高の父の日を過ごすことができたんだしな。グッド・ファーザーズ・デイ。

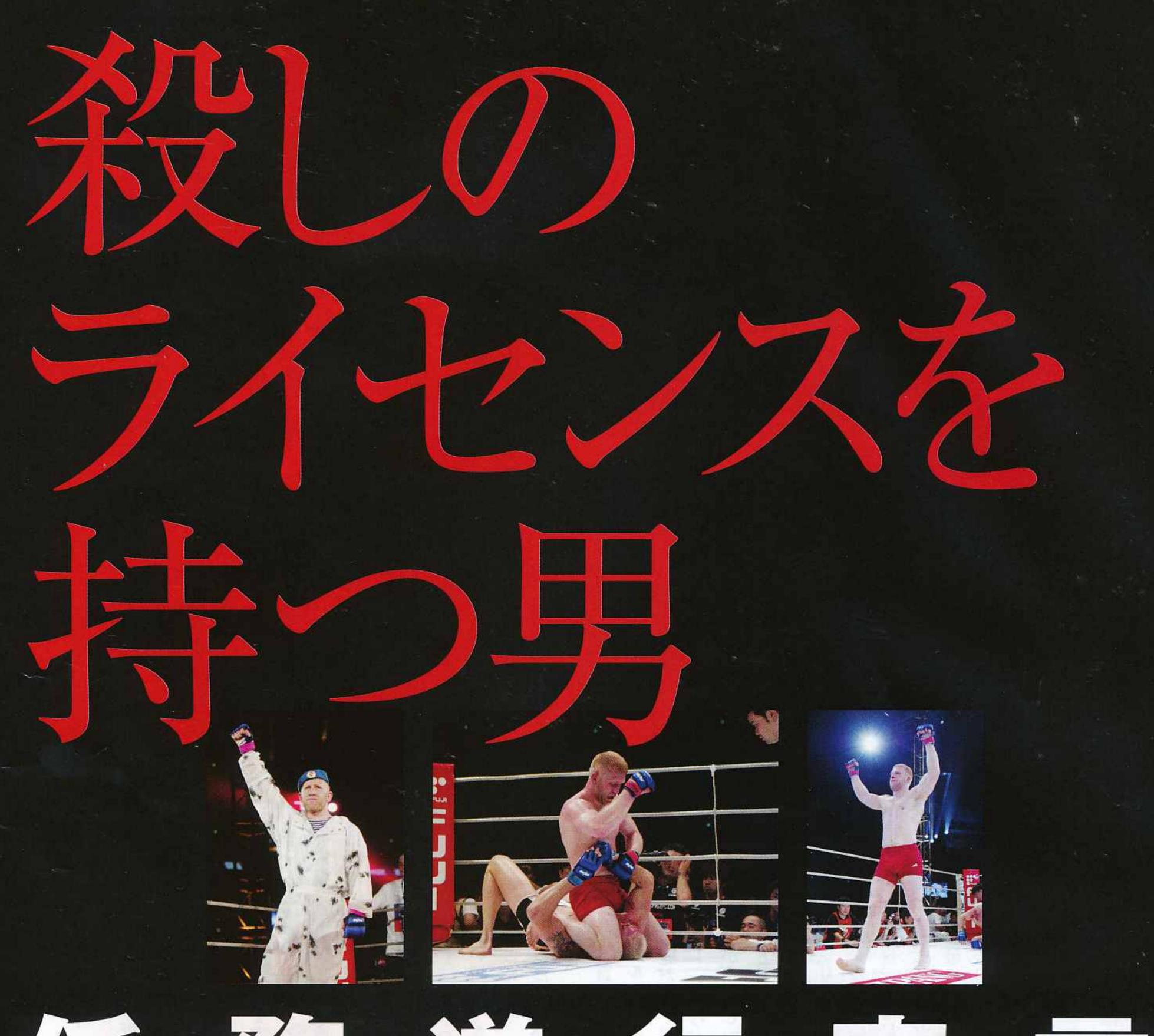
最後に。

悲劇なことに、こうしてるいまでも、戦争が起こっている。人が幾人も死んでいる。おい、テメエら。頼むから、いま隣にいる友だちを、愛情を持って抱きしめてくれ。そうすれば、この世の中は良くなると思う。俺は毎日、神様にお祈りを欠かしていないんだ。

正直なことを言っちまえば、
俺は不安を胸いっぱいに抱えてて試合に臨んだ。
揺らぐ感情をコントロールするのは難しかった。

構成／ジャン斉藤　撮影／松本崇　designed by hisa (Two Three)

殺しのライセンスを持つ男

任務遂行宣言

まさに今回のダークホース。ニンジャ戦、シュルト戦でまったく底が見えない不気味な強さを見せつけたのがこのハリトーノフだ。ロシア軍パラシュート部隊に所属する現役の軍人であり、戦場において素手で相手を仕留めるコマンドサンボを身につけた“殺しのライセンス”を持つ男。次の標的は、ズバリ、元同門エメリヤーエンコ・ヒョードルだ!

聞き手/堀江ガンツ　撮影/松本崇　試合写真/乾晋也
designed by hisa (Two Three)

ハッスルするなら今しかねえ!
PRIDE・GP

rgey
TONOV

ヒョードル、次は君の番だ。

Serg

KHARI

Sergey KHARITONOV

あと2～3発パンチが入っていたらシュルトは失明していただろう。

——まずはパコージンさん、今日は約束通り『紙プロ』を6冊持ってきました！（笑）。（なぜ6冊持ってきたのかは、P33からのパコージン＆ピチコフインタビュー参照ーーッ！）

パコージン　オーチン・ハラショー！　よしよし、ちゃんと6冊あるな。今日はなんでも聞いてくれたまえ（笑）。セルゲイも2冊持っていっていいぞ。

ハリトーノフ　いやぁ、自分が雑誌の表紙になるというのは嬉しいですね（※実際は裏表紙のTシャツ広告になっただけ）。

——ちょっと表紙とは違うんですが……喜んでいただければ幸いです（笑）。やっぱり雑誌の扱いとかは気になるものですか？

ハリトーノフ　もちろん気になるね。

——昨日（6・25）のセーム・シュルト戦はインパクト抜群だったんで、これから出る多くの雑誌で、ハリトーノフ選手の試合は大きく取り上げられると思いますよ。

ハリトーノフ　それは楽しみだなぁ（ニッコリ）。

——それにしても昨日のシュルト戦は見ていて背筋が凍りましたよ。相手を完全に戦闘不能に追い込んだいまの気持ちはいかがですか？

ハリトーノフ　（屈託なく）最高だね！

——さ、最高ですか！

ハリトーノフ　シュルトは試合に対する準備もしっかりしていて、大変いい選手だったよ。最後の最後までボクのパンチに耐えていたしね。レフェリーがいいところで止めてくれたと思うよ。もう2～3発パンチが入ってたら恐らく失明していただろうからね。

——し、失明寸前まで殴っていたわけですか……？

ハリトーノフ　でも、ジャッジが事故が起こらないように、ちゃんとした判断をしてくれたので良かったと思う。

——逆に言えば、もしレフェリーが止めなかったら、あのまま殴り続けていたと？

ハリトーノフ　やらざるを得なかったろうね。ホントは最後に腕の関節技にいきたくて、そっちの方向に向かってはいたんだけど、そこにいく前に終わってしまったんだ。

——あのパンチは的確に目を狙ってるような気がしたんですけども。

ハリトーノフ　眼球だけを狙っていたわけじゃないけど、シュルトも顔を背けるから、目に直接当たったパンチもあると思う。基本的には目や鼻を中心とした顔面を狙ったんだけどね。

——やっぱり顔の急所を狙ってたんですね（笑）。あのマウントを取りながら腕を殺して相手を制する動きというのは、コマンドサンボや軍隊で使っている技なんですか？

ハリトーノフ　コマンドサンボや白兵戦で使う技術に同じようなものはあるけど、まったく同じというわけではない。それらをアレンジしたものを、イリューヒン・ミーシャが教えてくれたんだ。

——あれはミーシャ直伝のマウントポジションだったわけですか。ボクはてっきり、相手の動きを制して、ナイフで首をカッ斬るための殺しの技術かと思ってたんですけど（笑）。

ハリトーノフ　もちろん、そういう技術も持ってるけどね（さらりと）。

——首を刈る技術を持ってる！（笑）。

ハリトーノフ　あとは逆にナイフを持った相手を組み伏せる技術とか。

——そういった技術はやはり『PRIDE』でも役に立ちますか？

ハリトーノフ　そのままスライドして使えるというわけじゃないけど、もちろん役には立っているよ。ただ、ボクが『PRIDE』で使う技術はそういったコマンドサンボの技をベースに、ミーシャとの練習で身につけたものが大半だね。ちなみにミーシャはいまとても調子がいいから、また『PRIDE』で活躍することができるんじゃないかな。

——ボクなんかは、「20年前のヴォルク・ハンはこんな感じだったんじゃないかな」とか思いながら、昨日のハリトーノフ選手の試合を見てたんですけど。

ハリトーノフ　もともとミーシャの技術はハンの技術だから、それはあながち間違いじゃないね。でも、ハンだったら20年前と言わず、10歳若かったら『PRIDE』で大活躍してたんじゃないかな。

——そのヴォルク・ハンがコマンド・サンボを日本で紹介してから、今年で13～14年ぐらいになるんですけど、まだまだ僕らにとっては謎だらけなんですよ。やっぱり公表していない禁じ手のような技もあるんですか？

ハリトーノフ　もちろんあるよ。使わないけどね。

——それは例えば首を折っちゃうとか、急所を狙うなど、使うには危険すぎるからなんですか？

ハリトーノフ　あくまでリング上ではなく、路上、戦場で使うモノだから、素手とは限らないし、いろいろあるんだよ。そういったものは、公表できるものじゃないしね。

○セルゲイ・ハリトーノフ

［1R 9分19秒 レフェリーストップ］

×セーム・シュルト

ハリトーノフがその恐ろしい強さを見せつけた！序盤、シュルトの長いリーチと深い懐に攻めあぐねるが、シュルトのヒザ蹴りをキャッチしてテイクダウンに成功。サイドからマウントへとポジションを移行し顔面を殴りつける。シュルトも一度、マウントを返すことに成功するが、ハリトーノフは再度マウントを取ると同時に足でシュルトの右腕の自由を奪い、そのまま顔面へピンポイントでパンチを振り下ろす。そしてシュルトの右目がみるみる腫れ上がりレフェリーストップ。残酷なまでに相手を痛めつけるハリトーノフの姿に戦慄が走った。

ハッスルするなら今しかねえ！
PRIDE・GP

コマンドサンボの禁じ手は戦場で使う技術 公表できるようなものじゃないよ

——毎回ハリトーノフ選手の試合を見て思うんですけど、入場のときとかも全然緊張してませんよね？

ハリトーノフ　そうだね。もちろん完全に平常心でいられるわけではないけど、ほどよい緊張感で試合には挑めているよ。

——それはやはり、戦場を想定した訓練を積んでいる賜ですか？

ハリトーノフ　もちろん、そういったことは役に立っているね。

——では、試合で恐怖心を感じたこととかはありませんか？

ハリトーノフ　落ち着かない気持ちになったりはするけど、恐怖は感じないね。

——入場時はいつもロシア軍空挺部隊のユニフォームでリングに向かいますけども、試合に臨むときと戦場にむかうときの気持ちは、全然違うものですか？

ハリトーノフ　共通点はあるよ。でも、言葉にするのは難しいなぁ。君が実際に戦場に行ったり、リングに上がってみないとその感覚は分からないと思うよ（微笑）。

——そりゃそうでしょうねえ（笑）。

ハリトーノフ　例えるならば、こういったことは言えるかもしれない。ボクはパラシュート部隊に所属していたんだけど、パラシュートというのは飛び降りる前は緊張するけど、一歩ヘリから足を踏み出したら、あとはどうやって着地するかというだけで、恐怖というモノは感じないんだ。『PRIDE』なんかも、試合前は落ち着かなかったりするけど、ゴングが鳴ってしまえば、あとはどうやって相手を倒すかというだけだから、ある意味共通するところがあるよね。

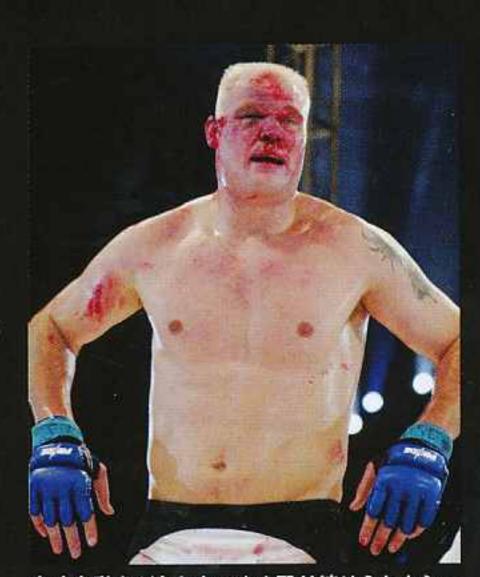
——一歩踏み出しさえすれば、怖いものはなくなると。

ハリトーノフ　というか、恐怖心を抱いているヒマなんてないんだよ。危険とは常に隣り合わせなんだから、仲良くしないとね（笑）。

——危険と仲良くする（笑）。そういった極限状態を想定した訓練も軍では行っているわけですか？

ハリトーノフ　軍の訓練というのは、基本的にそういうものだよ。

——いやぁ、なにかようやくハリトーノフ選手の強さの秘密が少しわかってきた気がします。ところで今回、セーム・シュルトに勝ったことによって、『PRIDE』参戦後、わずか4試合でベスト4という快挙を成し遂げたわけですけど、ご自身にとっては当然の結果だと思いますか？

ハリトーノフ　自分の人生のほとんどをスポーツに費やしてるから、そのお陰だと思っているよ。

全く身動きがとれないまま殴り続けられたシュルトの顔は見るも無惨な形相に。こんなの地上波で放送できるわけないよ！

――GPはハリトーノフ選手の他に3人の選手が生き残っているわけですけど、この中で最大のライバルというと誰になりますか？

ハリトーノフ　特に誰とかは言えないな。ボクにとっては次に対戦する相手というのが、常に最大のライバルだよ。

――準決勝の相手はヒョードルが有力と言われていますが、彼と闘うことに問題はありませんか？

ハリトーノフ　例えばどんな問題があるんだい？

――元チームメイトで、よく知った仲と闘うことに、やりにくさを感じるとか。顔面は殴りたくないとか、そういった気持ちはありませんか？

ハリトーノフ　『PRIDE』は顔面を殴り合うスポーツなんだから、それは仕方のないことだよね。ヒョードルとは知った仲だけど、リングに上がったら関係ないよ。一つしかない頂点の座を彼に譲る理由は何もないからね。

ロシアントップチームのコーチ陣はヒョードルの全てを知っている。彼にとっては嫌なことだろうね。

――実はヒョードル選手に先程インタビューしてきたんですけども「セルゲイは強いけれども、彼の弱点もよく知っている」と言ってたんですよ。この発言についてどう思いますか？

ハリトーノフ　まあ、それはこちらも同じことだからね（微笑）。それを言ったら彼の方がよっぽど不利だろう。我々ロシアン・トップチームには、彼に打撃を教えたピチコフコーチ、彼をプロ格闘技の世界へ導いたヴォルク・ハン、彼にサンボをコーチしたコピィロフ、ズーエフ、そして彼ともっともスパーリングを重ねたミーシャがいるんだからね。

――ヒョードルに関するあらゆる情報を体で知っていると。

ハリトーノフ　その通り。ヒョードルの強いところ、弱いところ、みんな知っているよ。これは彼にとって嫌なことだろうね。

パコージン　まぁ、ズーエフ、ピチコフ、ハン、ミーシャといったコーチたちがヒョードルを育てたが、それはセルゲイも同じこと。年齢差は5歳あるが、結果がどうなるか見てみようじゃないか。

――パコージンさんはどういう結果になると思いますか？

パコージン　強い者が勝つ。それしか言えないな。

――深いですねぇ。では、8月の決勝大会まであと2ヶ月ありますけど、どういったトレーニングを積んでいくつもりですか？

ハリトーノフ　気合の入った真剣なトレーニングを積むよ。ただし、その内容はシークレットだ。

――ズバリ、優勝する自信はありますか？

ハリトーノフ　自信はあるよ。絶対に勝てるとは言わないけどね。

――ハリトーノフ選手はこれまで、総合格闘技で負けたことはあるんですか？

ハリトーノフ　いや、まだない。

――無敗ですか。サンボなどの大会では？

ハリトーノフ　サンボは10歳からやってるから、小さい頃は多少負けることもあったよ。でも、ある程度の年齢になってから、公式戦で負けたことはないな。

――ほとんど負け知らずなわけですか。やっぱり凄いなぁ。

パコージン　セルゲイはまだ若いが、ベスト4に残れたということで、大きな一歩を踏み出せたと言える。そんな彼をサポートするために、ズーエフ、ミーシャ、そしてハンが8月は日本にやってくる予定だから、そちらも楽しみにしてほしい。

――ロシアの重鎮揃い踏みですか！　それも楽しみですね。では、8月15日、決勝大会での活躍を期待してます！

【04年6月21日／都内・某ホテルにて収録】

Sergey
KHARITONOV

セルゲイ・ハリトーノフ■1980年8月18日、ロシア・アルハンゲリスク出身。"ロシア軍最強の男"の異名を持つ、ロシアントップチームの新エース。サンボ公式戦14戦無敗、『PRIDE』でも現在4戦4勝。ニンジャ、シュルトを倒した冷酷な闘いぶりにファン急増中！　192cm、101kg。

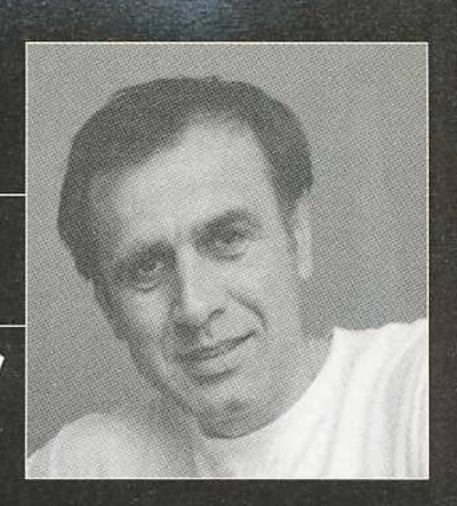
ウラジミール・パコージン

INTERVIEW

ニコライ・ピチコフ

最強格闘帝国のルーツ

リングス・ロシア

再検証

いよいよベスト4が出揃った『PRIDE・GP』。
4人ともいずれ劣らぬ実力者ばかりだが、その中の2人、ヒョードルとハリトーノフのルーツをたどると、
ロシアン・トップチームの全身、リングス・ロシアにたどり着く。
ソ連崩壊直後にスタートし、これまで日本にコマンド・サンボを持ち込み、
数々の名選手を輩出しながら、いまなお幻想につつまれるリングス・ロシアをここでは再検証してみよう。

聞き手／堀江ガンツ designed by bun-chan（Two Three）

――パコージンさん、今日もまたよろしくお願いします！

パコージン （苦渋の表情を浮かべながら）残念ながら今日もまた、お説教から始めなければいけないな。

――お、お説教ですか⁉

パコージン そう。毎回取材のたびに言っていることだが……なぜ、雑誌（紙プロ）を2冊しかもってこないんだ！

――いや、パコージンさんとピチコフコーチに一冊ずつ……。

パコージン （「信じられない」という顔をして）今回は、我々の他にハリトーノフ、ミーシャ、ヴィルジン（コーチ）、それからピチコフの奥さんも来てるんだよ。それからロシアへのお土産も含めて、あと6冊は必要だ。たった2冊ではインタビューを受けるわけにはいかない。だが、ロシア人は非常に心が優しい人種なので、チャンスを与えよう。明日、必ずあと6冊持ってくる、これを約束してくれるかな？

――りょ、了解です（笑）。

パコージン よろしい（笑）。では、インタビューを始めよう。今回は何の話をすればいいのかね？

――今日はですね、ハリトーノフやヒョードルといったロシア人選手の強さのルーツを探るために、リングス・ロシア時代からの歴史を振り返ってもらいたいんですよ。

パコージン おぉ、非常にいいテーマだ。これは何事にも共通することだが、今日の繁栄というのは、先人たちの功績の上に成り立っているものだからね。

――では、早速うかがいますが、そのそもパコージンさんが、91年に日本のリングスとビジネスをスタートさせるきっかけはなんだったんですか？

パコージン 我々が日本の格闘技界との関係をスタートさせるきっかけとなったのは、私の20年来の友人であるホリマイ（堀米奉文氏）というサンボ連盟の理事がいて、この人物の影響が大変大きい。

――リングスで審議委員長をやられていた、堀米さんですね。

パコージン そう。彼は非常にプロフェッショナルで、かつ心の優しい尊敬すべき人物だ。その彼が91年にマエダ（前田日明）と一緒にモスクワに私を訪ねてきて、「リングスという新しいスポーツをスタートさせたので、ゼヒそこへロシア人の格闘家を参戦させてもらえないか」と、持ちかけてきたんだ。これは私たちにとって新しい方向性であり、最初は難しい問題がたくさんあったんだが、ホリマイとマエダの助けもあり、我々ロシア人はプロの世界への第一歩を踏み出すことができたんだよ。

世界アマチュアサンボ連盟会長をつとめ、リングスでは審議委員長のポストについていた堀米奉文氏。古くからロシアスポーツ界との繋がりが深い堀米氏の尽力があったからこそ、「リングス・ロシア」は誕生したのだ。

――なぜパコージンさんがリングス・ロシアの代表になったんですか？

パコージン 私は当時、ソ連の国家トレーナーに認定されており、スポーツ省の副委員長として12のスポーツを担当していて、サンボだけでなく、レスリング、柔道などあらゆるスポーツマンに精通していたので、私がプロへの窓口を受け持つことになったんだよ。

――当時はソ連からロシアに変る直前でしたから、国家も絡んだ話だったわけですか？

パコージン もちろん。選手が個人的に契約して、海外でプロの試合に出るなんてことは遠い世界の話だったからね。

――リングス・ロシアができる2年ほど前に、新日本プロレスにソ連の選手が上がっていたことがありますが、彼らのことはご存じですか？　ショータ・チョチョシビリやサルマン・ハシミコフといった人たちなんですけど。

パコージン 知ってるもなにも、彼らは私の友人だよ（笑）。

――あ、友人なんですか！

パコージン チョチョシビリやハシミコフは、それぞれ柔道とレスリングのソ連時代のナショナルチームメンバーだからね。新日本プロレスについても、リングスとはまったく別のスポーツだが、彼らがそこで活躍していたことは知っているよ。

――そのある意味では先駆者だった彼らの消息を、UWFインターに少し出場して以降聞かないのですが、いま何をやってるかご存じですか？

パコージン もちろん知っているよ。まずチョチョシビリの方は今、グルジアで会社を経営している。

――ロシアじゃなくて、グルジアにいるんですか。

パコージン チョチョシビリは旧ソ連の中でもロシアではなく、グルジアの出身だから

日本のプロレスファン、格闘技ファンにコマンド・サンボの恐ろしさ、そして関節技の面白さを教えてくれた"リングス・ロシア第1世代"のヴォルク・ハンとコピィロフ。共に現在はビジネスに忙しい身だが、8・15『PRIDE・GP』には、ハリトーノフのセコンドとして、久々に来日するプランがあるそうだ。

前田と堀米が最初に我々を信頼してくれたからこそ今があるんだ

ヒョードルもセルゲイもピチコフに習うまで打撃は全くの素人だった

ね。彼とは1年ほど前にも会っているのだが、ちょっと健康に問題があって心配しているんだ。それからハシミコフもビジネスが成功して、いまはロシアとアメリカを行き来する忙しい日々を送っているよ。それにしても、10年以上も前のロシア人選手のことを覚えてくれていてくれる日本のファンというのは本当にありがたい。我々も初めて日本に行ったときは、日本のファンに対して感銘を受けたんだ。

――どんなことについて感銘を受けたんですか？

パコージン　日本のファンは、日本人もロシア人も分け隔てなく応援してくれ、また勝っても負けても拍手と歓声を送ってくれる。そこに我々は感動したんだ。ハン、コピィロフ、ズーエフらロシア第一世代が長く活躍できたのは、日本のファンの応援のお陰だと思う。それから運営しているリングススタッフの行き届いたオーガニゼーションに驚いたし、とにかくあらゆることにカルチャーショックを受けたよ。選手もみんな興奮していたし、私も大変興奮した。このときが、我々ロシアン・トップチームの原点だと言って間違いないだろう。

――リングス・ロシアの選手は初期からいい選手がたくさんいましたけど、ハン、コピィロフ、ズーエフ以降、長らく有望な選手が出てこなかったのはなぜなんですか？

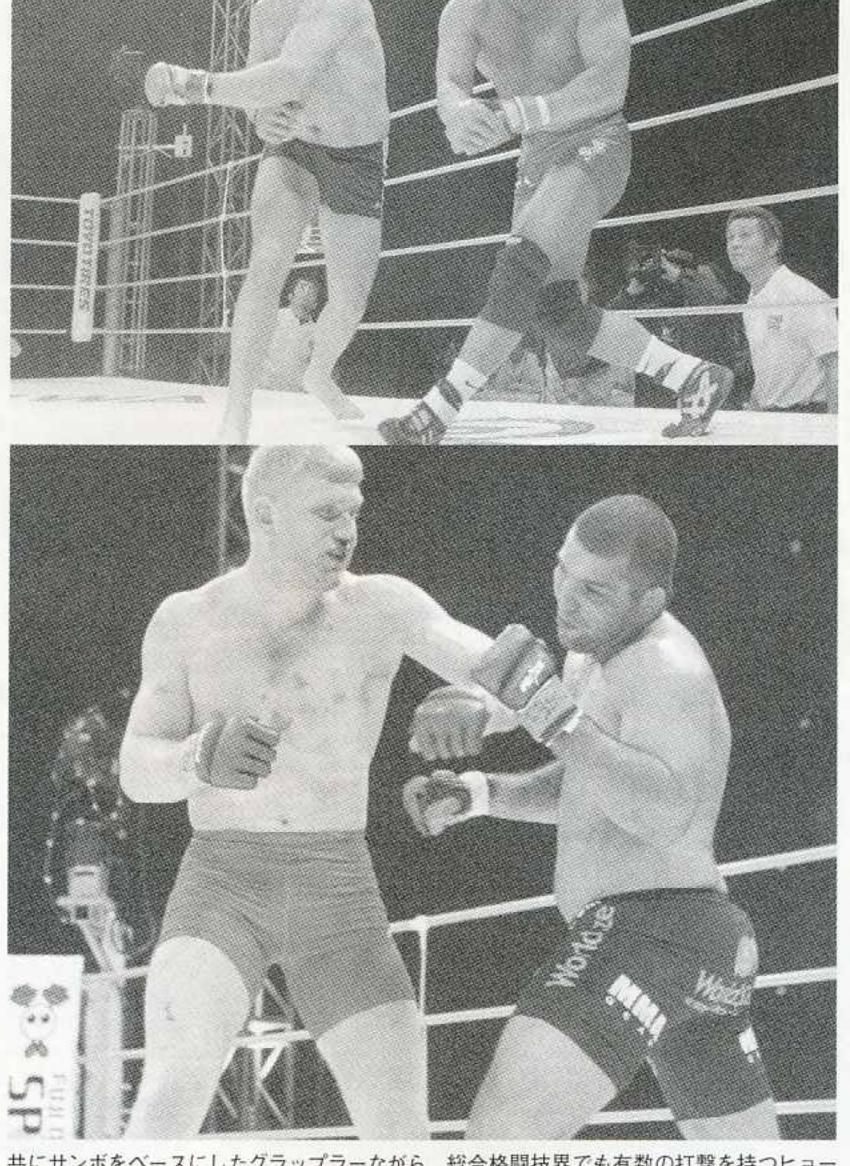
パコージン　ただ強いだけの選手だったらいくらでもいたんだ。でも、リングスのようなプロの舞台で力を発揮できる天才的な才能を持った選手というのは、10年に一度出るか出ないかだろう。そういった意味で、ハン、コピィロフ、ズーエフは特別だった。そして、この3人がロシアの道を切り開いてくれたおかげで、ヒョードル、ハリトーノフといった選手が生まれたんだよ。

――ピチコフコーチはいつからチームに参加したんですか？

ピチコフ　4年ほど前ですね。私はキックボクシングや空手をやっていたんですけど、ずいぶん前からハンやイリューヒン・ミーシャからチームに入るよう誘いは受けていたんですよ。でも、最初はコーチではなく、選手としてリングスに上がらないかという話だったんで、年齢的に新しいスポーツにチャレンジするには遅すぎたこともあって躊躇していたんです。ただ、2000年に当時、柔道のロシア選抜チームを抜けたばかりのヒョードルが私に打撃を習いたいと言ってきたので、私がこれはいい選手なんじゃないかと思い、私がハンに紹介したんです。それがきっかけとなって、私も彼を助ける形でコーチとしてチームに参加することになりましたね。

――ヒョードルのスカウトがきっかけだったわけですか。

ピチコフ　それで最初は普通にムエタイの技を教えていたんですけど、リングスや『PRIDE』のいろんな試合を見ていくにつれて、ムエタイや空手など〝競技のための打撃〟ではなく、〝総合格闘技における打撃〟と言うものが私もわかってきたので、それを選手たちには教えていくことにしました。これなどは、私がムエタイの他にも空手、散打など、いろんなタイプの打撃をマスターしていたことが役に立ちましたね。

パコージン　だから、我々RTTが『PRIDE』に順応するのに、ピチコフは大きな役目をはたしてくれたんだ。ヒョードルにしても、セルゲイにしても、ピチコフに習うまでは打撃に関してまったくの素人だったんだからね。

共にサンボをベースにしたグラップラーながら、総合格闘技界でも有数の打撃を持つヒョードルとハリトーノフ。彼らの独特の打撃技術は、ムエタイ、空手、散打をマスターしたピチコフコーチの指導によるものだったのだ。

――いまや打撃には定評がある2人ですけど、ピチコフさんがゼロからあそこまで成長させたわけですか。

ピチコフ　そうですね。ハリトーノフは少し経験がありましたが、ヒョードルに関しては、私の所に来るまで、打撃の経験はまったくありませんでした。しかし、2人とも大変練習熱心であり、才能にも恵まれていましたので、私が驚くほど短期間で成長してくれたと思います。

――ピチコフさんから見て、いま現在のヒョードルとハリトーノフの打撃を比べるといかがですか？

ピチコフ　ヒョードルは自分から踏み込んでパンチを売っていくタイプで、セルゲイはカウンターを合わせるのが得意ですから、まったくタイプが違うので、一概には比較できないと思います。しかし、ヒョードルがほぼ完成されているのに対して、セルゲイは年齢が若いこともあり、まだまだ伸びる要素がある。可能性があるのはセルゲイの方だと言えるでしょう。

――ちなみに、ピチコフさんがPRIDEファイターで「打撃が上手いな」と思う選手は誰ですか？

ピチコフ　ヴァンダレイ・シウバとミルコ・クロコップが双璧でしょうね。それからノゲイラのボクシングテクニックも侮れないと思います。あとは、フジタですね。

――フジタって……藤田和之選手ですか？

ピチコフ　はい。彼の場合はテクニック的に優れているというより、一発の破壊力ですね。この間、ミルコをKOしたケビン・ランデルマンと同じように、彼のフックは当たれば、トップクラスの選手をKOするのも可能なパンチだと思います。

――小川直也選手の打撃についてはどうですか？　ステファン・レコをパンチで倒しましたけど。

ピチコフ　いいと思いますが、理想的とは言い切れないです。『PRIDE』はハイレベ

ルな打撃を持つ選手がたくさんいますからね。ただ、それとは別に、オガワ選手は非常に面白くて私は好きですね。というのは、彼はお金や名誉のためというより、ファンのために闘っているように感じます。その辺りは、私の友人であるヴォルク・ハンに通じるところがあるんじゃないでしょうか。

――パコージンさんは小川選手のことをどのように評価してますか？

パコージン　オーチンハラショー。非常にいい選手だと思う。自分に自信を持って闘っているところがいい。ロシアで優秀な柔道家やサンビストを数多く見てきている私が言うのだから間違いないよ（笑）。

――旧ソ連スポーツ省副委員長の目に狂いはないと（笑）。そういえば、あのアレキサンダー・カレリンを日本に呼んだときも、パコージンさんはかなり尽力されたんですか？

パコージン　もちろん！　私がすべて根回ししたんだよ（笑）。

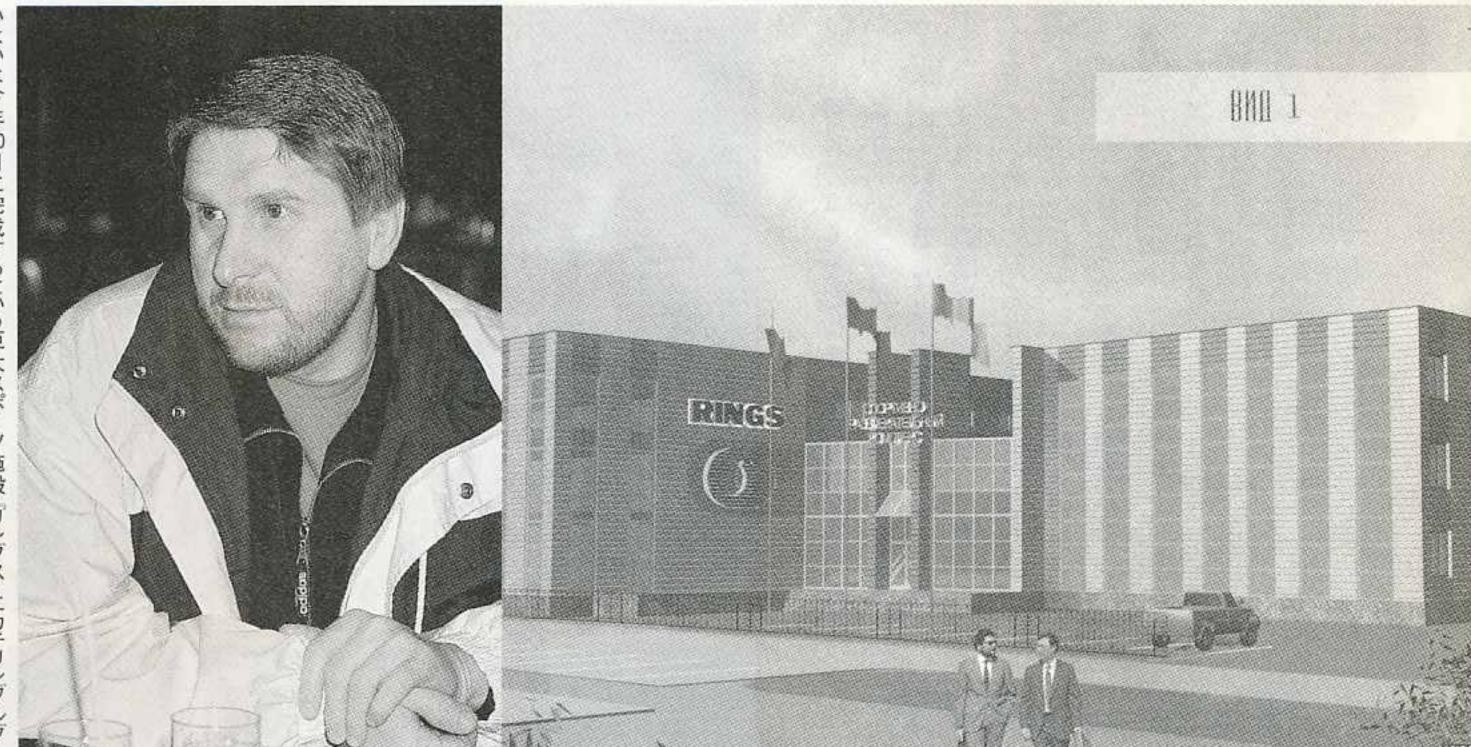
――すべてパコージンさんの力ですか（笑）。

パコージン　それは言い過ぎだな、訂正しよう（笑）。当時、カレリンは議員活動で忙しかったこともあってリングスへの招聘は非常に困難だったが、いろんな人の協力によって実現したんだ。カレリンはロシアだけでなく、世界で名を馳せたレスラーだからね。

――日本のファンは新しいスターに常に飢えているんで、アテネ五輪が終わったあと、そのパコージンさんの力で、またアマチュアの有望な選手をRTTにスカウトして『PRIDE』に送り込んでほしいと思っているのですが、どうでしょうか？

パコージン　まぁ、スターというのはいつも空に輝いているわけではないので、なかなか難しい作業だとは思う。特に『PRIDE』というレベルの高い舞台では、アマチュアのトップ選手とはいえ、すぐに活躍するというのはなかなか難しいだろう。しかし、ロシアは大きい国で才能がある人間もたくさんいるので、また必ず新しいスターが生まれると信じているよ。

――現在RTTには、ハリトーノフに続く有望な選手はいるんですか？

パコージン　もちろん準備している。元サンボ世界王者のスレン・バラチンスキーはまもなく『PRIDE』に参加できるだろう。彼は一度リングスに参加しているが、あのときとは全く違う驚きを提供できると確信しているよ。それからもうひとつのニュースとしては、ニコライ・ズーエフがエカテリン

いよいよ今年10月に完成するという巨大スポーツ施設「リングス・エカテリンブルグ・スポーツセンター」。かつてリングスで活躍したニコライ・ズーエフ（写真左）が建設したこの施設が完成すれば、ロシア格闘技界のメッカとなることは確実だ。

最強格闘帝国のルーツ
リングス・ロシア
再検証

リングスロシア主催興行に向けて各国と連絡を取り合っているよ

ブルグに建設中にスポーツセンターがこの10月にも完成する予定だ。

――あの「リングス・ロシアの殿堂」がついに完成しますか！　でも、ホントはもっと早く完成する予定じゃありませんでしたか？（笑）

パコージン　いま建設に関わっているのは国ではなくズーエフ本人で、彼は非常に計画的に建設しているので、10月には必ずオープン記念イベントが開催できるだろう。そうしたらまたリングスの新たな扉が開かれることになる。

――それは、大会を開くことも考えているということですか？

パコージン　それについては100％約束しよう。スポーツセンターが完成した暁には、リングス・ネットワーク各国から選手を招待し、リングス・ロシア自主興行を開催する予定だ。

――おぉ～！　それは楽しみですね。パコージンさんは、かつてのリングス・ネットワーク各国とはいまでも連絡を取り合う機会はあるんですか？

パコージン　連絡はいつも取り合っているよ。リングス・グルジアの代表だった（アルティミシュビリ・）ノダリや、グロム・ザザとは10日ぐらい前に話をしたばかりだ。それからブルガリア代表の（ニコラ・）ザハリエフ、リトアニア代表のドナタス（・シマネイティス）とは電話でよく連絡を取り合っている。みんな私のよき友人ばかりだからね。10月のオープンセレモニーでは、彼らにも協力してもらう予定だ。

――そのセレモニーには前田さんも呼ぶんですか？

パコージン　もちろん！　マエダ、ホリマイ、コグレ（RTT日本代理人の木暮氏）の3人は必ず招待する。友人というのは何事にも代えられないものだ。そして、この3人こそが我々をプロ格闘技の世界に導いてくれた恩人だからね。現在、残念ながらリングス・ジャパンは活動を休止しているが、今度は我々がその恩を返す番だと思っているよ。

――いやぁ、素晴らしい話ですね。その10月のオープニングセレモニーには、ボクも取材記者としてお邪魔させてもらってもよろしいでしょうか？

パコージン　さっきも言ったとおり、人間関係というのは重要だからね。今回のように雑誌を2冊しか持ってこないようだと、あまりいい返事は出せないな（ニヤリ）。

――えっ……そんなぁ……。

パコージン　まぁ、でもまだチャンスはある。明日までに6冊余計に持ってきたら考えよう（笑）。

――わかりました！（笑）。

パコージン　あなたがたの雑誌とはリングス時代からの長いつき合いだ。今後もよい関係を築くことを願っているよ。それから、エカテリンブルグに来る前にちょっとしたトレーニングをしておくことをオススメするよ。

――どんなトレーニングですか？

パコージン　もちろん肝臓を鍛えるトレーニングだよ。強いウォッカを一気しても倒れないようにね（笑）。ワッハハハハ！

【04年6月19日／都内・某ホテルにて収録】

ミルコvs大山峻護にファンが興味を示さないのはマスコミの責任ですよ!

専門誌マスコミとDSEに物申す!

プロレス・マスコミの哲人・I編集長の

喫茶店トーク V（バード）

言うちゃ悪いけど、今月の『喫茶店トークV』は、専門誌マスコミ&DSEにガッチガチの大提言!! 『武士道・其の四』ミルコvs大山戦を通して、我らがI編集長が唱えるマット界の理想的な環境とは何なのか？ クリチコ者も必見なんだよな!!

聞き手／堀江ガンツ　構成／ジャン斉藤　design by さおとめの事務所

PROFILE

井上義啓。元『週刊ファイト』編集長。「活字プロレス」の創始者であり、その影響を受けた人間は計り知れない。バード（VTの意）、〝殺し〟、など、破天荒なI用語を次々と生み出している。

――さて、井上さん。今回は7・19『武士道・其の四』についてお伺いしたいんですけど。ミルコの相手は大山峻護に決定しましたが、ファンの評判はあまり良くないんですよ。

井上 まぁ、選手はそんなにたくさんおるわけじゃないんだからね。つねに興味を惹かせるカードなんてそうそう組めませんよ。問題は「ミルコに大山をぶつけてどうなるんだ？」っていう通り一遍の考え方なんだよな！

――ほう。井上さんからすると、受け手に問題があるわけですね。

井上 プロ格者に「もう少し強い選手がいるだろ！」とワーワー言われたらそれまでだけども、対戦相手なんては、俺はどうでもいいと思うんだよ。ただ、ファンが興味を持てないのは、言うちゃ悪いけどマスコミの責任!!

――あ、ボクらマスコミの責任ですか！

井上 当たり前ですよ、アンタ！ マスコミの仕事はカードに興味を持たせることだからね。たとえば、試合レポートにしても、勝った負けたを書いとってもダメなわけだ。

――いまはネットが普及して、ある程度の試合内容、試合結果は誰でも知ってますからね。

井上 何も知らないお婆ちゃんが読んでるのとは違うんだよな。雑誌を読む人間というのは、PPVを観て、次の日のスポーツ新聞を読んで、喫茶店でプロ格トークをして、インターネットでアーダコーダやってるわけだろ。そんな奴らに結果をいちいち説明しとる場合じゃないでしょうが。それにいまのマスコミは上辺の結果しか見とらん。だから「ミルコがだらしがない」とかトンチンカンなこと書くアホがいるわけですよ!!（ドン）。

――前回『武士道』の金原戦では、そんな報道が主でしたね。

井上 それでは格闘技が進展しないし、売れる活字にもならない。通り一遍の試合結果なんかもいらんわけだよ！ やっぱりマニアと一般ファンは区別しないといけないわな。キミから送られてきたFAX（『PRIDE』オフィシャルHP『武士道』会見記事）を読むと、「マニアックなファンはともかく、一般ファンを魅了する試合をしてない」とか書いておるけどね。アホなこと抜かせって言うんだよ！（ドン）。一般ファンなんて関係ない。そこら辺のお婆ちゃんに聞いてみぃ。大山峻護どころかミルコの名前も知らん。「ミルクは知ってるけど、ミルコは知らん」って言うに決まってるわ！

――ガハハハ！ お婆ちゃんからすれば、ミルコよりは牛乳ですよね（笑）。

井上 一般ファンなんて考えんな、馬鹿タレが!! 俺はいろんな原稿を書いたりするけども、一般ファンのことを考えて書いたことは一回もないですよ。

――あ、一回もありませんか（笑）。

井上 も〜〜う、ないわっ!! 俺の書く原稿なんか一般のファンが見るわけないし、そんな連中のことなんか知ったことか！

――ガハハハ！ そこまで言い切りますか！

井上 読んだところでわからんしな。「井上義啓の書いてるものだったら、逆立ちして京都市内を走り回ってでも買うぞ！」と言うプロレス者もおったけどね。

――そんなI信者を対象に書いてるわけですね。

井上 そうや！ 井上義啓を信奉してる人だけに書いてるのであってやね。格闘技だって、マニアックなファンが来てくれればいいんだよ。たとえば、三宮の向こうにある餃子屋は、ビールは置いてないし、餃子と水しかないんですよ。でも、独特の味で固定のファンがついておる。

――常連客だけで成り立ってるわけですね。

井上 その店を知ってる人だけが行くんだよ。東京や神戸から来て「あそこに餃子だけの店があるから入ってみようか」とかね、そんなこと絶対にない。格闘技も同じであってね。榊原社長や高田の旦那は、プロ格者を相手にしてればいいんですよ。そして、マスコミが徹底的に掘り下げて書くと！ ミルコvs大山にしたって、大山がケガで休んでいたあいだにどんなことを考えてたか？ どうやって再起を図ろうとしたのか？ ジ〜〜〜ッと黙って見とれば、興味深いポイントはある。

――大山はケガをしてから復帰までのドラマがあるわけですよね。

試合レポートにしても、勝った負けたを書いとってもダメなわけですよ!!

井上 そういった人間臭さを活字にしないと、格闘技が進展するはずがないんだよ。俺がとにかくアナログプロレスとかデジタルプロレスと言っていたのは、デジタルの反対側にアナログがあるということであって、アナログとは何ぞやって言ったら人間性、人間臭さですよ。金原のミルコ戦にしたってやね、とにかくそういう目で見とったら「金原はよくやった！」となるわけだ。

――金原の善戦を誉めていたのは井上さんぐらいでしたね。

井上 あの男はいろんな道場やジムに行って練習してるからね。そこの門下生とミルコ対策について、みんなでワーワー話し合っていたはずなんだよ。

――金原は通ってるボクシングジムは、こないだボクシングの世界チャンピオンになった川嶋選手がいるんです。かたや世界戦、かたやミルコ戦に向けて頑張ってたわけですよ。

井上 そういう裏のドラマを徹底して追いかけろと！ 切り口はいろいろあるから、大山の友人の目を通して書く手もあるわな。友人が大山を誘って、薄汚れた横町の一杯飲み屋に行くと。でも大山はビールは飲まない。ノンアルコールのビールを飲むわけだ！

――試合までノンアルコールで堪え忍ぶ姿があるわけですか（笑）。

井上 そして大山は「今日はもう家に帰ります」と言うて一杯飲み屋をあとにする。ところが帰りに道場に立ち寄って、ひとり黙々とサンドバッグを蹴ってるかもしれんわ！

――ガハハハ！ つまり、そんなストイックなドラマをあぶり出すことが必要だ、と。

井上 そういう大山の写真を出せば、ミルコにしたってファンだって興味を惹きますよ。ミルコはランデルマンに負けたあと、金原戦で何を考え、どういう思いで『武士道』で出てくるのかと。そして、その影には（ビタリ・）クリチコがいるんだよ!!

――井上さんと言えば、クリチコ！ 今月もやっぱりクリチコの話題が出ましたか（笑）。

井上 当たり前ですよ、アンタ！ ミルコはドイツでクリチコと会って話をしたりしてますけど、ミルコは自分の家でクリチコとレイ・マーサーの試合をビデオで見たと思うんだ。クリチコの何が凄かったといえば、ストレートをボーンと放ったときに、マーサーは両手を押し付けるようにしてグローブを受けたんだけど、そのグローブの間を突き抜けて顔面に入ったからね、あれ！

――さすがの井上さんでも、そのパンチは避けられないですか？

井上 俺だって無理に決まってますよ、アンタ!! あのシーンを見て、ミルコは思ったはずだよ。「あっ、これだ！ ハイキックで倒せなかったら、このパンチを使えばいいんだ！」と。マスコミの連中は、ミルコからそういう話をいますぐ引き出してこい！（ドン）。

――井上さんのミルコインタビューはぜひ読みたいですけどね（笑）。

『ハッスル』だって、ガッチガチのプロ格をやらなきゃいけないんだよな!!

井上　小川にしたって堀口ボクシングジムに通ってることを詳しくは報道されてないやろ。そういう部分が報道されないから、平成のデルフィンどもは「小川は純プロレスで楽なほうにいこうと思ってる!」という見方になってしまうんだよ。言うちゃ悪いけど、ギョロ目と脳天にキーンと響くボーイソプラノだけの男やないからね、小川は!

――とにかく、上っ面の報道だけじゃダメということですよね。

井上　どんな呆気ない試合であろうと、ちゃんと人間臭いことを書いたものを読み直すと、格闘技の世界は拡がりが持って見られるわけだよ。いまのマスコミちゅうのは、そういうことをしてないでしょ? くだらん記事に大きな見出しをつけて、アホかって言うんだ! 見出しなんか小さくても、代わりにビッシリ記事を書き込めと。一般ファンはそりゃ読まないかもしれないけども、マニアックの人はそれを読むために買ってるわけだからね。

――記事を読むためにお金を出すわけですからね。

井上　1000円だろうが2000円だろうが買う奴は買う。買わんやつはタダでも買わん。そこに豚まんを100個つけても買わないんだよ、これ!

――そこまでしても買いませんか(笑)。

井上　俺だって買わんわ! マニアだって、そんな記事ばっかだったらいつ飽きられるかわからんよ。面白い活字、売れる活字、銭になる活字になってない。団体側も必死になって選手の人間臭い部分をほじくり出して、マスコミにどんどんデータを送りつけなきゃいけないのよ。

――つまり、団体とマスコミが二人三脚でドラマをつくっていくわけですね。

井上　社員を飛ばして、選手の奥さんに「昨日の夜の夜中に何をしたんだ?」とか聞きまくって、それをメモしてパソコンに打つと。

――夜のプライベートまで! それはマスコミ以上の労力が必要ですね(笑)。

井上　そこまで努力しないとダメや! それをデータにしてマスコミが書けば「大山峻護、面白いじゃないか!」となるんだけども、『武士道』の記者会見では榊原の旦那は「いつまでたっても客が集まらない。こんなことだったらやめる」とか言うとるわけだろ?

――選手に叱咤激励の意味もあったと思いますけど、カード発表記者会見の場で発言したのは衝撃的でしたね。

井上　その気持ちはわからんでもないけど、発表だけしておいて、あとは選手やマスコミの仕事だって放っておいたらダメですよ。いまのプロレスなんかみればわかるけど、タイトルマッチを発表したところで、どこも相手にしてないときがあるからね。

――もはやプロレスのタイトルマッチに話題性はないですよね。

井上　ワーワー騒いでるのは、会場で足を踏み鳴らして応援しとる連中ばっかり。それが2~3万人集まって超満員だったらいいけど、全然そうじゃないからね。だからNOAHにしたって、それに気が付いてると思うんだよな。だからこそハードコアとか何とか言ってるわけよ。

――秋山が勝手につくったGHCのハードコアベルトのことですね。

井上　あのハードコアのベルトはWWEばりのナンセンスじゃないからな。あれはプロ格のベルトですよ!

――ハードコアGHCはプロ格のベルト! まったく気が付きませんでした(笑)。

井上　いずれはガッチガチのプロレスをやるだろうな。そういった方向で先が見えない試合にしないと、プロレスはダメですよ。もう『ハッスル』だって、プロ格をやらなきゃいけないんだよ! (ドン)。

――ガッチガチにハッスル、ハッスル!(笑)

井上　おう! 結局、格闘技にしても興味を惹かせることに努力することが大事であってね。団体が自ら動いてデータをマスコミに流さないと、いつまで経っても結果しか報道しないから。ま、そういうことですな。

――今日も勉強になりました! 来月もガッチガチに厳しい提言を期待してます!

井上　はい。ど~も。

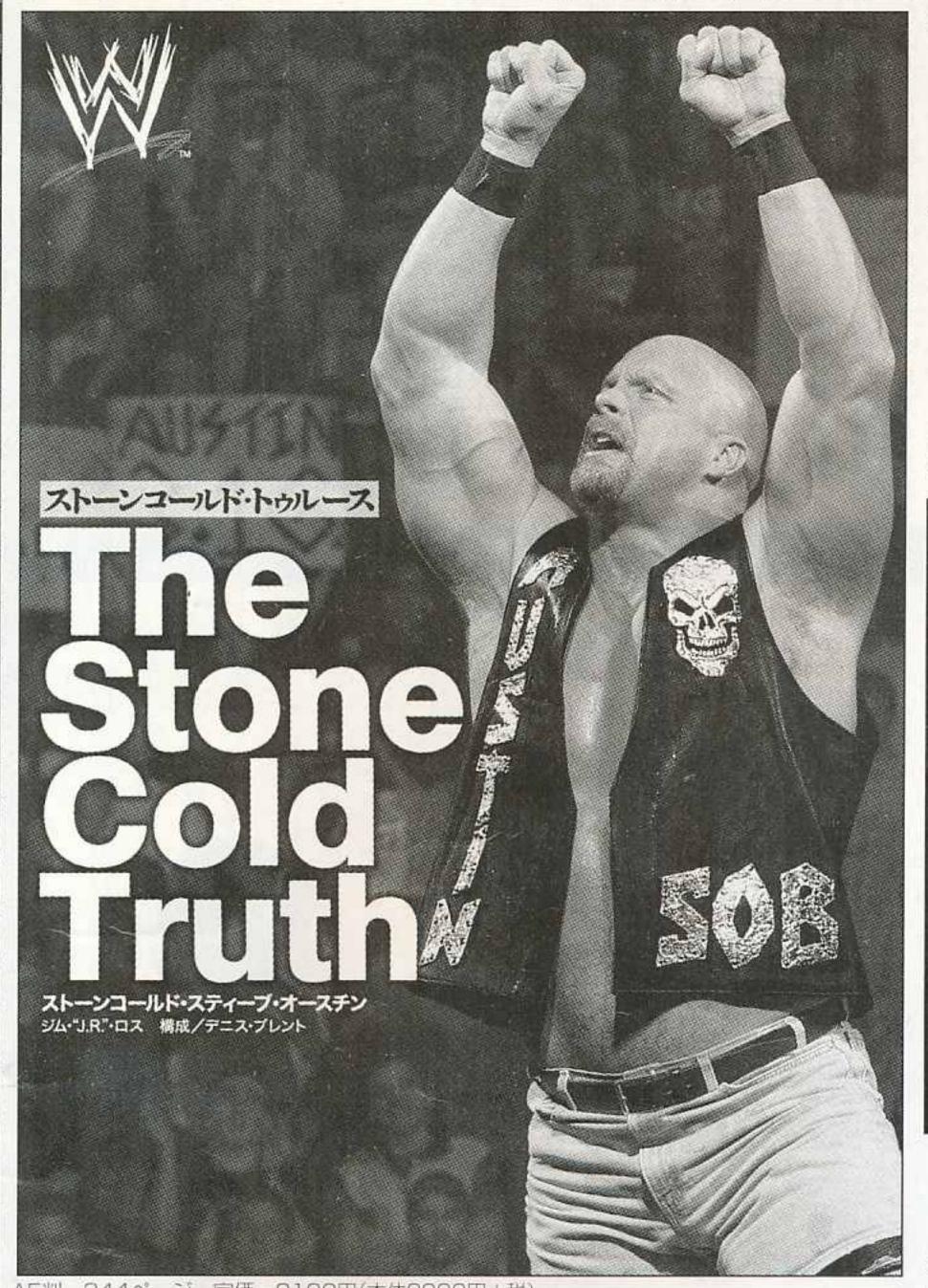
【03年7月1日/電話取材にて収録】

『武士道・其の四』の記者会見では、DSE榊原代表、高田本部長の口から選手に厳しい言葉が飛び出した。大会内容いかんでは『武士道』撤退の可能性も示唆した。

ストーンコールドの真実が知りたいヤツは“Hell Yeah!”だ!

A5判 344ページ 定価＝2100円(本体2000円＋税)

全国書店にて“ケツをシバキながら”発売中!!

The Stone Cold Truth
ストーンコールド・トゥルース

ストーンコールド・スティーブ・オースチン　ジム・“J.R.”・ロス
構成／デニス・ブレント

- 『レッスルマニア19』前日の緊急入院
- レスリングとの初めての出会い
- 貧しく空腹だったUSWAでの若手時代
- WCWで経験したスターたちとの交流
- ECWマットで開花したプロモの才能
- “ストーンコールド”の誕生秘話
- レスラー人生を縮めたオーエンとの一戦
- “現役最後の試合”ザ・ロックとの死闘 など

――ストーンコールド、かく語りき!

「ちきしょう、いったいどうなっちまったんだ!　死んじまうぞ!」『レッスルマニア19』の前夜、心臓が胸から飛び出そうにバクバクとなりながら、シアトルにあるグランドハイアット・ホテルの27階でエレベーターを降りた。38年間生きてきて、いまここで死ぬと確信した。心臓発作なんかで逝っちまうのか!　俺は苦しみながらなんでこんなことが起きたのか考えていた。――本文より

好評既刊　エンターブレインのプロレス書籍

自伝シリーズでレスラー人生の息吹を感じろ!

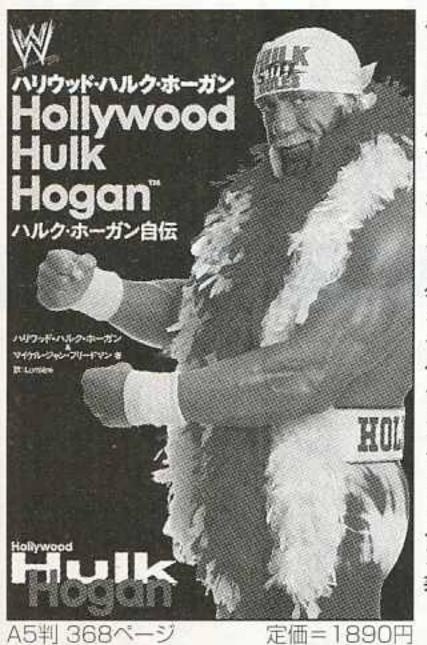
キッド自らが書いた衝撃の半生、プロレスファン必読!

ピュア・ダイナマイト ダイナマイト・キッド自伝

ダイナマイト・キッド 著

ピュア・ダイナマイト　PURE DYNAMITE　ダイナマイト・キッド自伝

A5判 344ページ　定価＝1890円(本体1800円＋税)

新ハルカマニア伝説誕生!　これがホーガンの真実だ!!

Hollywood Hulk Hogan™ ハリウッド・ハルク・ホーガン ハルク・ホーガン自伝

ハリウッド・ハルク・ホーガン／マイケル・ジャン・フリードマン 著

A5判 368ページ　定価＝1890円(本体1800円＋税)

“真の伝説”となった銀髪鬼・ブラッシーの一代記

フレッド・ブラッシー自伝

“クラッシー”フレディー・ブラッシー　キース・エリオット・グリーンバーグ 著

フレッド・ブラッシー自伝　WRESTLING　LISTEN, YOU PENCIL NECK GEEKS　"CLASSY" FREDDIE BLASSIE

四六判 432ページ　定価＝2310円(本体2200円＋税)

格技闘ブームの源流となった“熱い時代”を検証 “真実”シリーズも好評発売中!

最強のプロレス団体 UWFインターの真実	鈴木　健 著	四六判 256ページ	定価＝1680円(本体1600円＋税)
U.W.F.最強の真実	宮戸優光 著	四六判 260ページ	定価＝1680円(本体1600円＋税)
船木誠勝の真実	船木誠勝 著	四六判 264ページ	定価＝1680円(本体1600円＋税)

eb! enter brain 株式会社エンターブレイン
〒154-8528東京都世田谷区若林1-18-10 営業局 電話(03)5433-7850

■品切れの際は書店にてご注文いただくか、通信販売をご利用ください。
●通信販売のお問い合わせ先 http://www.enterbrain.co.jp/

CONTENTS

紙のプロレス RADICAL

2004 NO.76

HUSTLE

MMA

KOREA

Radical Special

Pro-wrestling

Columns

Another

表紙写真／乾晋也

大興奮の『PRIDE・GP』を徹底解剖!!

時代は『元気ですかーーッ!?』から『ハッスルハッスル!!』へ――猪木から小川へ

ターザン山本!

勃ちっぱなしの大炎上!「6・20『PRIDE・GP』は精力絶倫空間だーッ!!」

聞き手/堀江ガンツ!! 構成/松澤チョロ!? designed by Tani-Yan (Two three)

——早速ですが、改名して「!」が付いた山本!さん！　今回の『PRIDE・GP』が大爆発した一番の要因はなんだったんですか？

ターザン　一言で言えるよォォォ！

——一言で言えますか⁉（笑）。

ターザン　普通だったらカードが凄いとか、試合の内容が良かったとか、あるいは迫力があったとか、いわゆる勝負論が面白かったとか、会場の熱気があったとか、いろいろ言うじゃない。一言で言いますよ。何かというと、四字熟語で表せるよ。

——四字熟語！　お得意の（笑）。

ターザン　結局、あの会場にいて感じたのは、あの会場全体が精力絶倫空間に入ってたわけですよォォォ！

——精力絶倫空間！　六文字熟語になってますけど（笑）。

ターザン　（構わずに）間違いなく精力絶倫空間ですよ、あれは！　あの心地よさはね。

——山本さんも思わずビンビンになっちゃったと（笑）。

ターザン　ビンビンに反り返ったよォォォ！

——それは珍しいですね（笑）。山本!さんに限らず、みんな絶倫状態だったと？

ターザン　そうそうそう。要するにさ、みんながそういう精力絶倫空間の中に突入したから、来てるヤツ全員が、普段はもう全然精力絶倫じゃないのに、パンパンの絶倫空間になってたんだよね。珍しいですよ！

——それはわかる気がしますねぇ。

ターザン　これ下品になるけどさ、俺、発見したよ！　精力絶倫って言うと、いわゆる回数が何回できるとか言うでしょ？　それはまるで間違ってたな。

——ほう、間違ってた！

ターザン　やっぱり子宮の方が絶大なんだよね。女性はすべて……問答無用に精力絶倫ですよォォォ！

——ダハハハハ！　そんな発見を（笑）。

ターザン　基本的にというか、存在論的にね。どう見ても男は敵わないもん。女性は1万回でもできるよ。その点、男はできてもせいぜい10回ぐらいでしょ？　これって女性差別になるのかなぁ。

——女性差別かは別にして、10回なら相当絶倫だと思いますけど（笑）。

ターザン　まあ、4～5回でしょ。女性だったら10倍ぐらいできると思うんだよね。そういう精力絶倫空間みたいのがあって、そこに久し振りに入ったみたいな感じだね。いままで精力絶倫空間の幻想は新日本の蔵前国技館とかで感じたわけですよ。

——またエライ遡りましたね（笑）。

ターザン　あれは精力絶倫みたいな、なんかもの凄く粘っこくてさ、そういう世界じゃない？　総合格闘技の場合は、たった7試合でさぁ、全試合がモノ凄いスケール感の勝負論なんだよなあ。一気に全部爆発したみたいにね。原子力的精力絶倫空間だよ！　放射というか打ちまくりというか、連射というか（笑）。単発じゃないよ。連発ですよォォォ！

——凄いなあ、それは（笑）。

ターザン　あれを表すには、精力絶倫空間って言葉しか考えられないねぇ。それに比べたらね、全然精力が絶倫に思えないのが最近のK－1ですよ。全っ然！

——ダハハハハ！　すっかり精力減退しちゃいましたか（笑）。

ターザン　うん。弱っちゃったというか、萎れちゃったというか。

——もう、いくら触っても何の反応もないというか（笑）。

ターザン　そうそう（笑）。その点、この間の『PRIDE』は、あそこに行ったらビンビンに反応するというか、そういう空間だったよね。

——その空間を作り出した一番の要因はなんだったんですかね？

ターザン　断然、小川直也ですよ、やっぱり。もう1つは、これ言っちゃおしまいだけど、猪木さんがいなくなったことよ。

——ダハハハハ！

ターザン　これ決定的ですよ。猪木さんがいたら、絶対に時代のベクトルは過去に向かうんですよ。いままであった記憶とかデータに向かってね。それがこれまでいい形で『PRIDE』と合体してたっていうか、リンクしてたんだよね。でも、その猪木さんがいなくなることで皮肉なことにハッキリ言って過去は一掃さ

猪木の「元気ですかーッ!?」と小川の「ハッスル」は天敵の関係なんですよ！

れたよね。だから『PRIDE』の純化度が高くなってる！

——あぁ、なるほど。

ターザン　猪木さんは、会場でいつも「元気ですかーッ!?」って言ってたけども、あれは『PRIDE』からすると一種の不純物だったんですよ。

——猪木さんは不純物！

ターザン　要するにさ、猪木さんという人はいつどこでも常に功罪両方があるわけですよ。でも功の方は、もう使い果たしてしまったからさ。猪木さんのブランド性というか、それを触媒にして、『PRIDE』が格闘技としてなんらかの地位を作るというか、大きくなっていくために必要なタマだったんだよ。で、猪木的触媒がもう必要なくなってきて自然現象的にフェードアウトされたの。これが一番の事件ですよ！　過去との決別ですよ！

——なるほどなるほど。

ターザン　要するにさ、最も光り輝いていたものか、圧倒的な跡を残した存在が消えた時にすべてが変わるんですよ！　だから猪木さんという存在が『PRIDE』に持たらした功績と、猪木さんがいなくなったことによる新しい展開というのが、これがもう、裏表が凄いわけですよ！だって猪木さんがいたら、小川選手が入ってこないもん。猪木さんがそこで他の可能性をカットしてたわけですよ、小川のポジションを。

——もし出てきたとしても、必ず猪木さんとの関係性で絶対語られちゃいますよね。

ターザン　そう。となると、だからアントニオ猪木の「元気ですかーッ!?」っていうのと、小川直也の「ハッスル」は、これはもう天敵の関係ですよ、同業者として。同業者として両雄並び立たずですよ！　同じことなんだもん。元気とハッスルっていうのは。あれ日本語と英語の違いだけですよォォォ！

——ということは、『PRIDE』は猪木政権から小川政権に政権が交代したわけですね。

ターザン　猪木政権から小川時代への完璧なというか劇的にというか、もう180度転換した偉業ですよ！そこに我々はスカッとした気分になってるわけですよ。

——しかも、小川の場合は自分自身がプレイヤーだっていうのが大きいですよね。

ターザン　その通り！　かつての猪木さんっていうのは、自分が社長であって、レスラーであって、スーパースターでね、いつ何時でも最後は自分がファイターとしてリングに上がれば、どんなピンチに立たされてもなんとか片付くわけですよ。そういう奥の手というか切り札を持ってたわけですよ。でも、いまの猪木さんは現役じゃないんで、その奥の手がないんですよ。過去の遺産はあるよ。遺産で食ってんだから！（笑）。

——そして遺産の象徴が「1、2、3、ダー!」なわけですね（笑）。

ターザン　そうそう！（笑）。だから『PRIDE』にとって猪木さんは、ちょっと面倒臭くなっちゃってたというのもあるし、決別しなきゃいけないちょうどいい時期だったんですよ。それで、猪木さんが偶然自分の方からパッと抜けた瞬間に小川直也が入ってきたわけですよ。抜けるのと入るのがホントに間髪入れずに「元気」から「ハッスル」へという。

——見事な継承ぶりですね（笑）。

ターザン　しかも「ハッスル」の方が語呂がいいから、響きが。「元気ですかーッ!?」というのは、ちょっと長すぎるんですよ！　ハッスルってさ、秒殺みたいに簡単に言えるでしょ、短いから。

——やたらとポジティブですしね。

ターザン　ポジティブというか、楽天的だよォォォ！

——ダハハハハ！

ターザン　オプティミズムというかね。「元気ですか」と言ったら、元気でないみたいな感じがどこかにあるんだよね。その違いだよね。「元気ですかーッ!?」って言ったら、なんか意志の力を必要とするもん。よく考えると元気じゃなきゃいけない、みたいな。その点、ハッスルは気楽だもん。別に責任感も義務感もないし。

——まあ、そうですよね。

ターザン　「元気ですかーッ!?」って言ったら責任取らなきゃいけないからさ。要は重たい猪木から、より軽い小川に移ったんだよね。すべてはアントニオ猪木のせいですよ。だから猪木さんを外した方が新しい時代を迎えるという、これはモノ凄いパラドックスというかマット界の真実ですよォォォ！

——そうなると猪木さんを外した『PRIDE』と、猪木さんを担ぎ出してきた『ROMANEX』っていうのは、ここでも対照的ですよね。

ターザン　だから『ROMANEX』の欠点は、猪木さんの過去の遺産というか、そういうものを再生しようとしてることだよね。リサイクルしようとしてるんですよ。実はそれ、一番やってはいけないことなんだよね。一番しょっぱいことなんだよ！

——猪木イズムのリサイクル＝『PRIDE』の焼き直しでもありますしね。

ターザン　うん。だから『ROMANEX』というか、K-1グループの総合のコンセプトは、『格闘技世界一決定戦』とか言ってんでしょ、そのコピーを引っ張り出してきたこと自体がもう俺にはガラクタ工場みたいに見えるよォォォ！

——ガラクタ工場！（笑）。だから、『ROMANEX』の旗揚げ戦で輝いたのは、猪木さんとはまったく関係ない須藤元気でしたもんね。

ターザン　そうそう。須藤元気は猪木さんの影響ないからね。

——それと『ROMANEX』で一つビックリしたのが、猪木さんのテーマが鳴って、「ダーッ！」っていうのは『PRIDE』でもずっと一番人気があったじゃないですか。ところが、『ROMANEX』の時の猪木コールとか、「ダーッ！」って、凄いボルテージが低かったんですよね。

ターザン　テンション低かったよなあ。

——あれがちょっとビックリしたと同時に、寂しかったですよ。

ターザン　だから、そういったイメージを高田延彦みたいな他力本願的な人が、いかに乗り越えるかっていうかね。高田延彦は「お前は男だ！」って言ってさ、アントニオ猪木のポジションを奪ったんだから。最初に猪木に鈴をつけに行ったのは高田延彦ですよォォォ！　闘魂の首に鈴をつけたのは。

——あんまり戦略的な感じがしないところが、高田延彦の高田延彦たる所以ですよね（笑）。

ターザン　戦略的、あるいは意識的、計画的にやった人間は、佐山にしても前田日明にしても、全部潰れてい

ってる。だから高田延彦は、さっきチラッと言ったけど高田流他力本願殺法ですよ。高田はあんまりもの考えてないでしょ（笑）。

——ダハハハハ！　「あんまり」考えてないと（笑）。

ターザン　でも彼が賢いのは、その都度その都度、なぜか神輿を担ぎ上げられて乗っちゃうことですよ。ヒクソンだったらヒクソンとの闘いに乗っちゃう。あるいは田村との引退試合も最後には乗っちゃうわけ。全部乗るんだよね、彼は。

——それでしまいには総統に……あ、あれは別人でしたね（笑）。

ターザン　そこに高田延彦の、俺たちにわからない強運があるよね。

——面白いのがさっきの「ダーッ！」の話じゃないですけど、あの勝負論の『PRIDE』の世界で観客が一番待ってるのが、やっぱり「ハッスル」なんですよね（笑）。

ターザン　ホントは格闘技とハッスルというのはさ、絶対に絡んじゃいけないものなんだよ。理屈で考えたらさ、両者が同居することはあり得ないんだよ。

——対極ですからね。

ターザン　ところが、それが奇跡的に同居したんだよね。それで、いままでの格闘技の価値概念が全部引っくり返ったのよ、完璧に！　格闘技の世界にハッスルを持ち込んだということは格闘技の世界に大仁田を持ち込むようなもんですよォォォ！

——『PRIDE』に電流爆破を持ち込むようなもんだと（笑）。

ターザン　そうそう（笑）。もう史上空前、空前絶後のコラボレーションですよォ！　そして、その答えがちゃんとあるんだよね。格闘技をどうやったら大衆的なものにできるかというテーマが。

——永遠のテーマですよね。

ターザン　格闘技というのは求心力がアイデンティティだし、それは絶対にやる側のものだし、一般大衆は理解できない。普通の素人を疎外するものでしょ、素人を寄せ付けないというか。彼らがモチベーションとして自分の主張を述べる時には必ず、「素人が何もわかっていないのに勝手に言うな！」みたいなね。

——「やってない者にはわからない！」っていう世界ですよね。

ターザン　そうそう、そういう部分が格闘技側の言い分だったというか、アイデンティティだったわけでしょ。だからそれを言われたら、俺たちも弱いんだよね。でも、その格闘技をいかに大衆化するっていうか、エンターテイメント化するかということを一番最初にやったのが石井館長ですよ。技術を追求しなきゃいけない立ち技の世界で、K-1は技術を厳しくしないで肘打ちをなくすとか、技術の危険度を緩和することによって試合をわかりやすく見やすくして大衆化させたというか映像媒体に寄せたというか。

——しかもワンデイトーナメントにしてKOが多くなるようにして（笑）。

ターザン　そうそう。そういう意味で言うと石井館長は格闘技を大衆化した天才的ビジネスマンですよ。つまり偏見がなかったわけですよ。格闘家は頭が堅いというか偏見の塊ですよ、あれ。ド偏見というかさ。悪い偏見だよ、もう接触するのが嫌になるみたいなさ（笑）。

——ダハハハハ！　偏屈ですよね。

ターザン　偏屈で偏見でさ、唯我独尊的な偏見だよな、アレ（笑）。そんな中で、石井館長は格闘技を大衆化するエンターテインメント化をやったわけ。それは一言でいうと、格闘技を大衆化してエンターテインメント化する「特効薬」の発見だったんですよォォォ！

——特効薬ですか！

ターザン　特効薬なんですよォォォ！　格闘技を求心力のあるものから解放させて、もっとわかりやすいように、外野席にも届くように、そういう特効薬をみんなが発明しようとしていろいろやったんだけど、見つからなかったわけ。でも、たまたまその特効薬がペニシリンみたいに発見されたわけですよ！「あ、このペニシリン効いた」みたいに。それが要するにハッスルだったわけですよォォォ！

——ハッスルはペニシリン！（笑）。

ターザン　そう！　抗生物質だったわけですよ。要するにハッスルは格闘技というものを大衆化するための巨大な新薬発見ですよ！　もうノーベル賞あげなきゃいかんよ、アレ！

——ハッスルはノーベル賞ものでしたか！（笑）。

ターザン　それが発見できないで、くっだらないワクチンばっかり使ってるのが最近のK-1というか、谷川ですよォォォ！

——ダハハハハ！　でも、そう考えると2～3年前にK-1が思いっきり爆発したのはサップがハッスルと同じ役目を果たしたんですよね。

ターザン　ボブ・サップがあの時は新薬だったんだよ。特効薬だったの。

——でも、そしたら副作用が強烈すぎてK-1の細胞が全部死んじゃったと（笑）。

ターザン　そうそう（笑）。それによって格闘技の本質である求心力というかさ、その質量が軽くなっちゃったんですよ。

——ハッスルがそうならないのは、サップが格闘技の素人だったのに対して、小川は柔道世界一だったっていう、本物の格闘技者だったっていうのが大きいですよね。

ターザン　だから、そこは二重構造になってるでしょ。単にお笑いのハッスルじゃなくて、その背後にはちゃんと実体があるということの裏付けがあるんですよ、小川には。元柔道の世界チャンピオンとか、全日本選手権を5回取るとかさ。そういうものがあるとさ、要するに説得力があるわけですよ。

——全日本5連覇、計7回優勝ですよ。

ターザン　5連覇なんて、これからそんなこと二度とできませんよ。2年連続だってできませんよ！　小川こそ新薬というか、特効薬ですよ！　格闘技に対しての最大の特効薬なの。プロレスではまったくならなかったけど（笑）。だからブレイクしたんですよ、『PRIDE・GP』は。

——視聴率もそうですけど、今回の『PRIDE』は、大衆に届くと同時に、玄人もガッチリ引きつけてるっていうのが大きいですよね。

ターザン　だから室町時代なんかの「能」の世界でもよく言われたのが、教育を受けてない一般庶民が見ても面白いと思うし、一番口うるさい人たちが見ても面白いという、まったく相反するものを弁証法的に両者を満足させるのが最高の芸術だって言われてたの。この間の『PRIDE』は、モノ凄い中身が濃くて、極上の勝負論みたいなものがある、そういう非常に密度のある闘いをしながら、見ていてキャラが成り立ってて、それを人々はストレートに「ウォーッ！」といって楽しめるみたいなさ。誰が見ても面白いみたいなシーンが連続して出てくるでしょ。それが絶妙だから最強なんですよォォ！

——面白いのは、今回の『PRIDE』に一番乗っかってないのは、にわか格闘技ファンとプロレスファン

最初に猪木に鈴をつけに行ったのは高田延彦ですよォ！

あの表紙を見たら、呆れたというか、口あんぐりですよォ！

なんですよね（笑）。

ターザン　それよりもプロレス専門誌がそうですよ！

――そこを対象にしてるのが専門誌だったりしますからね。

ターザン　俺から言わせたらさ、プロレスはもはや、滅びゆく希少動物ですよ！

――ダハハハ！

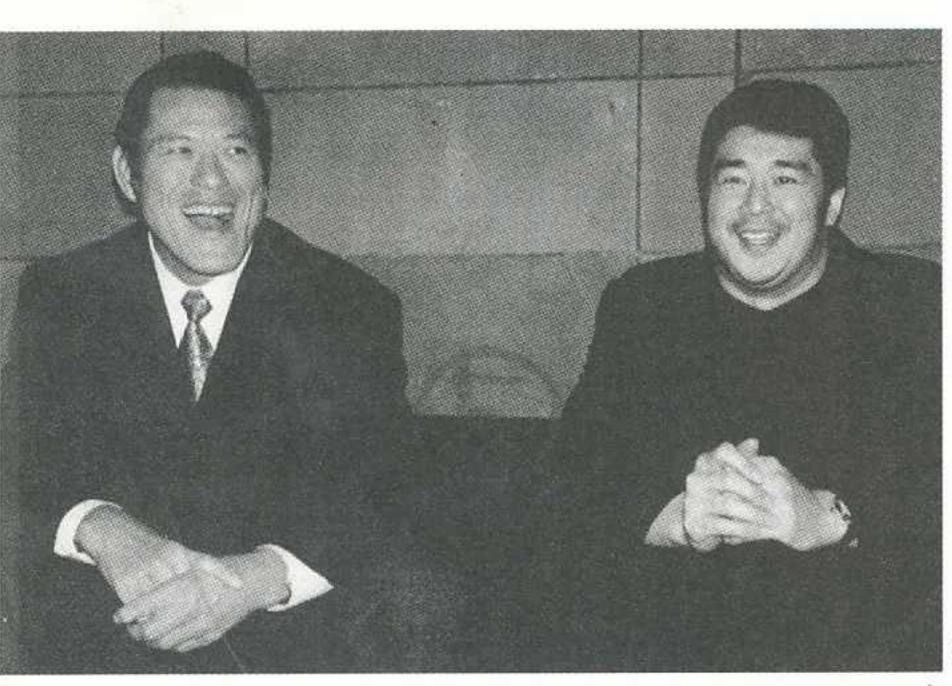
ターザン　数がどんどん減っていって、もう絶滅の危機ですよ！　もう対応できませんよ、そんなもの。

――滅び行くのを待つだけというか（笑）。だから、ビックリしたのはこれですよね（と言って『PRIDE・GP』の週の『週プロ』と『ゴング』を取り出す）。

ターザン　これ見てさ、ビックリしたというのはまださ……ガンツ、お前は優しいよ！　愛があるよ！

――愛がある（笑）。

ターザン　普通はね、呆れたと言うよ。呆れたというか、口あんぐりというか（笑）。

――ボクらは唖然としましたけど、たぶん、いま現役で『週プロ』や『ゴング』を読んでる読者は別におかしいと思わないんでしょうね。

ターザン　思わないよ、もう！　これね、俺の好きな言葉なんだけども、自分のことを否定されたような気がしてさ。サスケvs中嶋君の表紙はね、世界の片隅っていうのがボクの大、大、大、好きな言葉だけど、世界の片隅を侮辱されたみたいに思ったよ！

――ダハハハ！

ターザン　ああいうのは、世界の片隅でひっそり行われているから意味があるんであってね、それを表紙にしちゃったら世界の片隅の意味がないよ。世界の片隅に光を当ててないよ、当てすぎだよ、それは！

――しかも光を当てるべきところは「サスケ無惨！」じゃなくて、「サスケお見事！」ですよね（笑）。

ターザン　そうそう（笑）。

――だから、昔はプロレスファンとかプロレス者に出会うと、どんなに初対面でもいくらでも話が通じたじゃないですか。でもいまボクらが一番話が通じないのは、いま現役で『週プロ』読んでるプロレスファンのような気がするんですよ。

ターザン　共通言語がなくなったということ自体、プロレスが終わったという証拠なんですよ。俺たちは、あうんの呼吸でプロレスに関するすべての共通言語を持ってたわけ。それがファンの心の中に内在してたわけよ。それが結局、保護区にならないでも独立して存在していたという原因ですよ。昔は共通言語を持ってることで自立してたんだけど、それがなくなったことでもう自立ができなくなったんですよ。でも、『PRIDE』はこんなに面白いのに飛び付かないというのがおかしいよねぇ。

――ホント、不思議ですよね。

ターザン　こんなに興奮するのにねぇ。一番不思議な生き物はGK金沢だよ！

――ダハハハ！　親友だったんじゃないんですか!?（笑）。

ターザン　「小川よ、これで勝ったと思うなよ！」っていう表紙のコピー、あれ滅び行くプロレスファンの最後の抵抗だよ。プロレスファンの中のラストエンペラーかと思ったよ。ハッキリ言って。彼はこの世界最後の編集長だね、あれ。ラストエディターだな、もう。じゃなきゃ、あんなことやらないよ、普通！

――だからあの表紙は、GKによる「プロレス界最後の皇帝は俺だ」っていう宣言ですよね（笑）。

ターザン　そうそう、そういうカラクリですよ。完璧にあれ『週ゴン』の私物化ですよォォォ！

――ダハハハ！

ターザン　私物化だよ！　俺が『週刊プロレス』を私物化していたのとは内容が違うよ。俺は本を売ったから私物化は認められるんですよ。GKの私物化はヤケクソ殺法だよなあ（笑）。最後の足掻きみたいな。

――だから、ここ最近、小川直也が味が出てるっていうのは、プロレス村の村民じゃないからなんでしょうね。血がつながってないっていうか。

ターザン　これまで小川はプロレスファンとの関係を背負わなくていいから気楽だよ、あれ。でも、俺たちは小川と関係を持とう持とうとしてきたんですよ。小川に自分の夢を託すとか、夢を背負わせるとかやってたわけだよね。それが、ここにきて初めて、いろんなことがわかったよ。

――それは一体なんですか？

ターザン　ああ、俺たちは小川とは何も関係なかったんだなって。

――ダハハハ！

ターザン　やっと俺も小川の気持ちがわかったよ。これまでのインタビュー、ひとつひとつが理解できるというか、GPで優勝するためにやってるんじゃないって言ってるのは全部本音なんだよね。それが開放感を生んだっていう一番の原因ですよ。

――肩肘張ってないですもんね。小川が面白いのは、ホントにハッスルを広めたいとか、プロレスを残したいとか、そういう勝手な使命感を持ってるんですよね。

ターザン　小川のいいのは、そういうの持ってるけど、俺たちは別にそれに参加しなくていいわけよ。楽だよォォォ！　『ハッスル』はそれが失敗したとしてもさ、ヤバいなっていう危機感を持たなくていいもん。小川が1人でやってるんだから気楽ですよォォォ！

――失敗しても関係なくて、成功したら儲けもんですよね（笑）。

ターザン　うん。俺も小川に負担をかけてないように、小川たちも俺たちに負担かけてないもん。珍しい関係ですよ、アレ。

――僕が思ったのは、いまの専門誌とかレスラーとかファンが、「プロレスを守る」って言葉をよく使うじゃないですか。それって、「プロレス」じゃなくて、「プロレス団体」を守ったり、いまの「プロレスの社会」を守ろうとしてるだけなんですよね。

ターザン　そうそう。

――いまのプロ野球と同じですよ。プロ野球界を守るんじゃなくて、球団とか会社とかを守ろうっていうだけで。そこに気づきましたね。小川直也は、団体とかプロレスの社会とかを守ろうっていう意識が一切ないじゃないですか。

ターザン　まったく一切ないよ！　一番面白かったのは、あっさりさ、もうZERO・ONEに出てないのがいいな（笑）。

――ダハハハ！

ターザン　凄いよなあ！　小川の代わりに長州が出てるんだよな。これは長州がいかに時代の中で落ち込んでるかっていうねぇ……。これはえらい違いですよ。

――だから長州はマット界の近鉄バファローズですよ。オリックスに吸収合併しちゃったみたいな（笑）。

ターザン　だからもう、団体が構造として存続していること自体がおかしいんですよォォォ！

――ダハハハ！

ターザン　面倒臭いんだよ、もう！　日頃の上下関係があってさ、人間関係があってさ、ストレスがあってさ、フラストレーションがあってさ、会社を維持してさ、モノ凄く大変じゃない!?　なんで地方に行って試合しなきゃいけないの？

上が6・20『PRIDE・GP』の模様が掲載された『週プロ』(NO.1211)と『ゴング』(NO.1027)の表紙だ。『週プロ』はみちプロで中嶋君がサスケから初勝利をあげた試合で「サスケ無惨！　16歳・中嶋に敗れる」というコピー。一方の『ゴング』は小川vsシルバ戦の写真で「これで勝ったと思うなよ!!」というGK流、小川へのメッセージ！

—それで一向に儲からないですからね（笑）。そんな中、日本最大の団体である新日本の社長が代わったわけですが、いかがでしょうか？

ターザン　っていうか、ホント、猪木さんは狼少年だよなぁ（笑）。そんなもん、初めからわかってるわけですよ、あの人が社長にならないのは。それを結局さ、「俺が社長になるかもしれない」みたいな猪木社長説をワザとマスコミに流すでしょ。

—ワザとでしたか？（笑）。

ターザン　ああいうアングル自体が前時代的ですよ！　見え見えのスケスケのさ。なぜかというと、あとで答えがわかるでしょ。その時、ガーッと信用を失うんですよ。自作自演の古ぼけたさぁ……マスコミが凄く好きなのかみたいなさ（笑）。狼少年が成田空港に出没するから困るよな。

—それで最後っ屁かましていなっちゃいますからね（笑）。でも、今回の社長交代によって何か変わるんですかね？

ターザン　いや、何も変わらないということを示してるんだよ！　まったく変わらないということを示してますよォォォ！

—ダハハハ！　振り出しに戻る、みたいな（笑）。また藤波前社長が副会長っていう、あからさまに意味がなさそうなポジションっていうのがいいですよね（笑）。

ターザン　会長という言葉自体が無意味化してる時代に副会長（笑）。聞いたことないよ、そんなもの。

—ホント、あり得ないですよ（笑）。

ターザン　会長という言い方は肩書きだけの名誉職なわけでしょ。それに更に「副」ってさ（笑）。

—プロレス界はどうなっちゃうんですか、山本！さん（笑）。

ターザン　もう、NOAHと闘龍門の二大保護区に任せよう！

—ダハハハ！　そこだけ残して、あとは放っとこうっていう（笑）。

ターザン　あるじゃない、なんだっけ？　アフリカに国立公園とかさ。あれと一緒でプロレス界は保護区にしないことにはダメよ。保護区から出てっちゃダメよ。

—文明に晒しちゃダメなんですね（笑）。

ターザン　保護条例を作ろう！

—作りましょう！（笑）。

ターザン　NOAHと闘龍門は完璧に保護区になってるからね。一番いいのは闘龍門ですよ！「君たちは他の団体行ったらプロレスラーとして成り立たないんだよ」という厳しい条件を突き付けて、完全保護区プロレスを作ったんですよ。そういうコンセプトでやってるんだから、ウルティモ・ドラゴンは偉いよ。

—選手全員にそれを言ってるんですもんね。「あんたはここでしか生きていけません。出たら死んじゃうよ」って。でも言ってる本人だけは外でもできるって思ってたりするんですけどね（笑）。

ターザン　本人はやっぱり、そう思ってるんだよ。そこが浅井さんの面白いとこでね、変わっている部分だよね（笑）。でも、保護区というか、それを一番最初に考えついたのは馬場さんだから。馬場さんの保護区だったんだよ、昔の全日本プロレスっていうのは。

—馬場さんはずいぶん前からそれに気づいていたってことですよね。

ターザン　そうだよ、ずいぶん前だよ！　その言葉を最初に作ったのは、村松（友視）さんですよ。プロレス内プロレス。あれ保護区のことですよ！

—ガハハハハ！　なるほど（笑）。

ターザン　で、保護区から出ると、過激なプロレスなんですよ。過激なプロレスにはリスクがあるの、ハイリスク、ハイリターンだから。保護区プロレス＝馬場。プロレス内プロレス、全日本プロレスですよ！　それに飛びついたのがNOAH、闘龍門ですよ！　時代はこれですよ！

—中途半端な過激なプロレスは生き残れないわけですね。世間と勝負しなくちゃいけないわけですもんね。

ターザン　そういう意味では大仁田のプロレスは保護区だったよ。インディーという名のね。まあ、あれは保護というか一座だな、一座（笑）。プロレスはつまるところ一座か保護区かどちらかだよ。

8月15日は全員正装して見に行くべきですよオオオ！

—放浪の民な感じはしますよね（笑）。

ターザン　一座では親分は生き残れるんだよな。周りは大迷惑ですよ！

—ダハハハハ！　では、最後に山本！さん、8月の『PRIDE・GP』に向けて期待することはなんですか？　いよいよ本番が来ますよね、前哨戦が終わって。

ターザン　違うんだよ。あの2回戦が最大の本番だったんだよ。次の決勝戦はお釣りですよ。アンコールみたいなもんですよォォォ！

—8月はアンコール興行！（笑）。

ターザン　そうですよ！　もう誰が勝っても成功なの。どんな答えでもいいんだよ。だから実を言うと、2回戦が最大のクライマックスだったんですよ。だからあれだけ盛り上がって精力絶倫空間を生んだわけ。もう決勝戦っていうのは精力絶倫空間の余韻ですよ。

—なるほど。だから、勝敗が決まったようなカードと言われてましたけど、実は一番勝負論が……。

ターザン　（遮って）だから簡単に言うと、1回戦が前戯！　2回戦が射精！　3回戦が後戯！

—品のない言い方だなぁ（笑）。

ターザン　説明しやすいもん。もう4人しかいないわけでしょ。見る側からしたら、もうどういうカードになろうとね、3試合しかないんだから、あとは余裕で見れるわけですよ。

—次で小川が負けたって、あの3人だったら納得しますもんね。

ターザン　小川が負けたって全然傷つかないもん。ここまで来ただけで、もう勝負あったですよ。あとは俺たちは何があってもその現実を認めて楽しめばいいんですよォォォ！（なぜか小声で）この次はさぁ、俺、正装して見に行くことにするよ。

—ダハハハ！

ターザン　気持ちも正装して見るよ。アカデミー賞でもそうだけど、ノミネートされるかどうかが最大の勝負で、あとは誰が大賞になってもみんな拍手を送るでしょ？

—たしかにそうですね。

ターザン　だからGP2回戦がノミネート作品を絞るガチンコの勝負で、8月の決勝はもう誰が勝っても本物のチャンピオンなんだから。次はアカデミー賞の授賞式と一緒ですよ！

—アカデミー賞も発表されるまで誰が授賞するかサッパリわかんないですからね。ホントに一番いい作品が取るかもわからないし。

ターザン　そうそう。もうここまできたら、どうなってもいいわけですよ。もう2回戦で、みんな満足してるんだから（笑）。

—わかりました（笑）。とにかく、8月15日は全員正装で来いと？

ターザン　正装ですよォォォ！　キチンとおめかしして来いと。

—山本！さんはタキシードで行きましょうよ。リムジン借りて（笑）。

ターザン　いいねぇ！　こんなんでいい？

—完璧ですよ！（笑）。

ターザン　完璧も完璧だよな!?　また俺の株が上がるなぁ。今日は大成功ダーーーッ！

—大成功です！（笑）。ありがとうございました！

【6月23日／水道橋「日本海・庄屋」にて収録】

ターザン山本！から、ボブ・サップに贈る言葉

サップには「蛍の光」をプレゼントするべきですよオオオ！

—山本！さん！ サップ対セフォーは静岡まで観に行かれてたみたいですけど、いかがでした？

ターザン 単刀直入に言うと、サップには「蛍の光」をプレゼントするべきですよォォォ！ 「この2年間、日本マット界のためにプロレス界から格闘技界までよく1人で頑張ってくれました。卒業おめでとう！」って言ってあげたいよね。

—マット界以外でもサップはいろいろ貢献してきましたからね。

ターザン そうでしょ。相撲で言うと、横綱で負け越したら引退しなきゃいけないでしょ。サップはそういう立場にあったので、もうやめるしかないな、みたいな（笑）。

—親方にはなれないですよね？

ターザン サップは外国人だから親方にはなれないので、若乃花みたいに別の世界でさ、新たなチャレンジをしてもらいたいね。

—若乃花は引退後はアメフトにチャレンジしてましたけど、サップは逆ですからね（笑）。

ターザン そういう意味では、サップには映画俳優っていうネクストがあったというのはいいことだよ。もともとアメリカで名前を上げたかった人なので自分の希望が叶ったというのは、いい引き際じゃないの？ だって格闘技というのは、毎日、練習して学習して予習復習を欠かさずやって初めて気持ちが格闘家になるんだけど、サップは予習復習も学習も何も出来ないよ！

—ダメじゃないですか？（笑）。

ターザン ただ単に自分の馬力だけでやってきたんだから、はじめから性格が格闘家に向いてないんだよね。いままではパワーでごまかしてやってきたけど、ごまかしが効かなくなってきたでしょ。要はメッキが剥げちゃったんだよ！

—メッキが剥がれたって言われてだいぶ経ちますけどね。

ターザン 一般のテレビの視聴者の人たちにも、そう思われたら、そりゃいかんでしょう！ サップが一番いけないのは試合中に目をつぶっちゃうでしょ。格闘家として素人だもんねぇ。そうなったらリングに上がっちゃいけないんだよ。

—でも谷川さんは、そんなサップに、これからはK-1に専念させるって言ってましたけど。

ターザン そりゃあ、今もサップ人気に頼ろうとしてるからさぁ、保守的な発想ですよォォォ！

—ここは温かい気持ちで「蛍の光」で卒業させるべきだと？

ターザン そういうことですよ！ サップっていうのは突然変異で疾風怒濤の如き大活躍をしたわけ。その突然変異が面白かったわけですよ！ でも格闘家というのは突然変異じゃなしにさ、練習を重ねて身に付けるものなんだから。

—K-1は新たなスターを発掘するしかないんですね。

ターザン 出来ないよ、そんなもん！ だって、ボンヤスキーとかイグナショフを育てられないんだもん。それにミルコに逃げられたからいまのK-1は三重苦だよ！ 選手の使い方も中途半端だしね。大体なんでボンヤスキーが『一撃』に出なきゃいけないんだよ！

—しかもフィリオに負けちゃいましたからね。

ターザン せっかくGPに優勝してるのに価値観がないやり方というか、行き当たりバッタリというかさ（笑）。K-1の求心力がなくなってきてるというか、もともと谷川には求心力はないもんねぇ、存在感としてのね。

—そうなんですか？

ターザン 遠心力しかないから。

—突然変異を待つしかないと？

ターザン 突然変異は予想して出来るもんじゃないから。他力本願だから。そういう意味ではサップはミラクルというか、我々はいい形で素人に引っかき回された2年間だったよな。

—ミラクル素人でしたね（笑）。

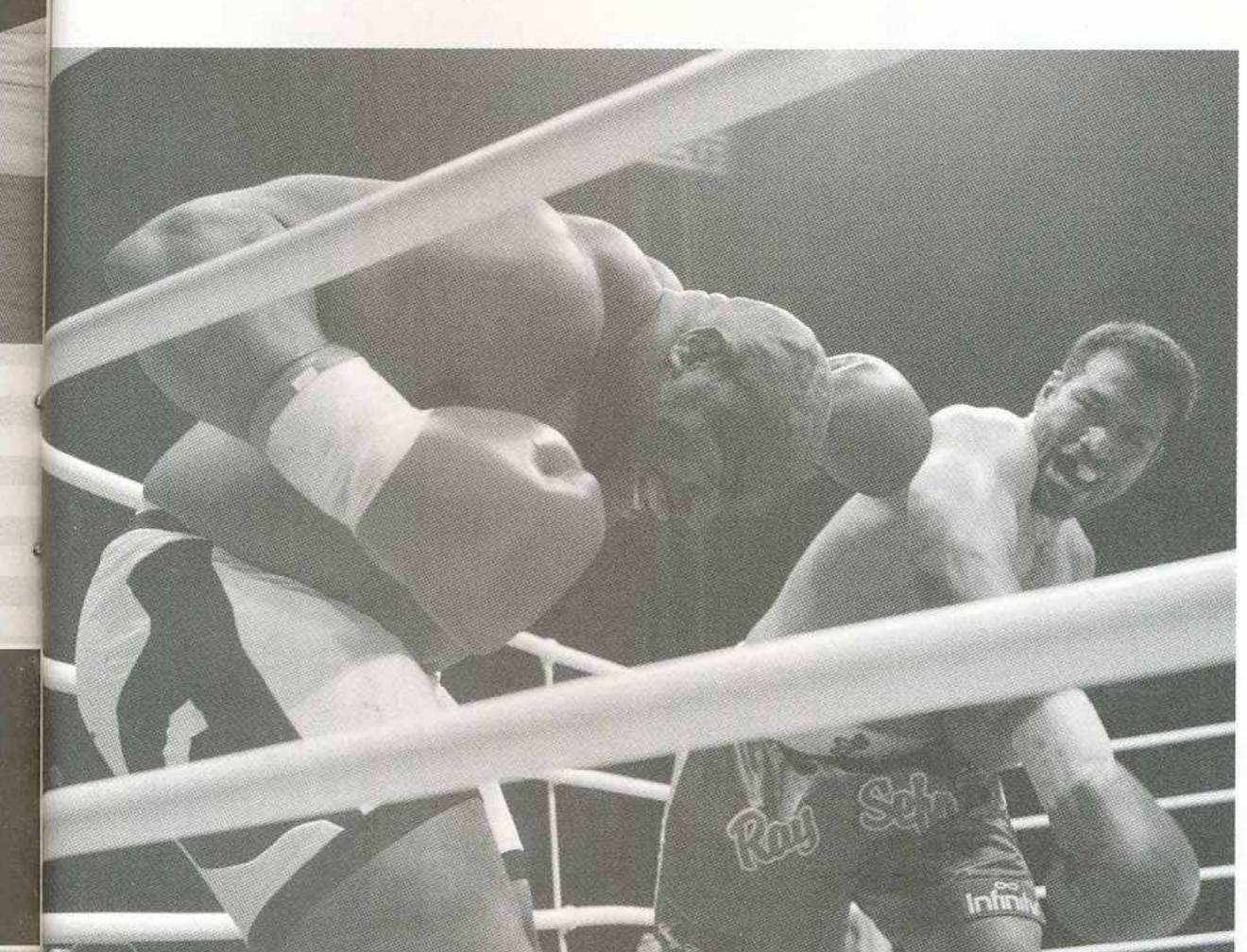
ターザン だから面白かったんだよ。まあでもサップの一番の功績は、格闘技にさして興味のなかった一般の人たちをテレビとかの芸能活動と試合の両方で惹き付けて吸収したことだよね。そういう意味では、サップには莫大な退職金を与えなきゃいけないよォォォ！

—「蛍の光」だけじゃなく（笑）。

ターザン そうそう（笑）。そのぐらいの価値はあるよ。サップに贈るべきなのは「蛍の光」と卒業証書と退職金の三点セット。これをプレゼントするべきですよォ！

—山本さん！からもサップに退職金を贈るんですか？（笑）。

ターザン いや、ボクからは、ありがとう！ ごくろうさん！ お疲れさん！ この3つの言葉をプレゼントしますよォォォ！

—非常に安上がりなプレゼントありがとうございます！（笑）。

聞き手／松澤チョロ

6・26K-1静岡大会でレイ・セフォーと激突したサップは頭を両手でガードしながら突進し倒れたセフォーに反則パンチを連打。その後、金的を食らうと涙目に。2R、セフォーのパンチでKO負けを喫した。次にリングに上がるのはいつだ!?

㊗『紙プロ』連載小説『無比人』

Vシネマ化決定記念対談!

なんと、主演は菊田早苗!
真樹先生と尾崎社長の
意外な関係も発覚!!

尾崎社長(パンクラス) 真樹日佐夫 菊田早苗

聞き手／松澤チョロ
撮影／丸山剛史
designed by さおとめの事務所

かねてから噂はあがっていたが、『紙プロ』で連載していた真樹日佐夫先生の本格格闘プロレス小説『無比人』の映画化が遂に決定！　6月6日、ディファ有明で行われた『第7回梶原一騎杯』のリングに上がった真樹先生の口から発表された主演男優の名は、なんとパンクラスGRABAKAの菊田早苗！　今回は、真樹先生とは、ただならぬ関係にある尾崎社長にも加わっていただき、『無比人』映画化記念対談を敢行！押忍!!

連載してた時から無比人は菊田のイメージで書いてたんだよ（真樹）

――今回、『無比人』のVシネマ化が決定したと聞いて、原作の真樹先生、主演の菊田さん、そして真樹先生とはただならぬ関係という尾崎社長に集まってもらいました。よろしくお願いします！

真樹　おう！　まず俺から言わせてもらうと、『無比人』っていうのは内容もそうだしビデオ映画化にピッタリなんだよ。ただ、あんまり中身がえげつなくなると主演の菊田君が心配するからなぁ（笑）。

菊田　ハッハッハッハッハッ！

真樹　まあでも、普通の映画ではやりにくいところをやれるのがビデオ映画だからな。いま売れてる三池監督なんかも映画をあんまりやりたがらないのは、映画って制約が多いからなんだよ。それでテレビっていうのはスポンサーの意向とかいろいろあるし、比較的自由にやれるのがビデオ映画なんだよな。

――それはよく聞きますね。

真樹　映画って監督のものだからな。その監督が自由きままにやれるのがビデオ映画なんだよ。日本では特に。それでまあ、菊田早苗を前にしてマイナーとか言っちゃいけないんだろうけども（笑）。

菊田　（恐縮して）いやいやいや（苦笑）。

真樹　まあ、彼なんかはマイナーっていうか、ハイカラじゃないだろ？

――ハイカラじゃないですかね？

真樹　ハイカラじゃあねえだろよ！　だからビデオ映画向きなんだよ（笑）。本人も思ってねえよ！　なあ？

菊田　ええ。ハイカラじゃないですね（笑）。

真樹　彼にはハイカラじゃない魅力があるんだよ。野太いキャラクターというかな。で、俺は『紙のプロレス』に4年間ぐらい連載してたけど、その間、ずっと無比人は彼のイメージで書いてたんだよ。

――まさか、無比人は菊田さんをイメージしてたとはボクも気づきませんでしたね（笑）。

真樹　チョロには言わなかったけども、そうなんだよ。それで、いろいろ試してたんだよ。

――と言いますと？

真樹　『ワル～序章～』っていう作品が8月からレンタル開始されるんだけど、それにもちょっと出てもらって、彼がどれだけ出来るか試しながらやらせてたんだよな。

――『ワル』には船木さんと共に菊田さんも出演してますよね。真樹先生は菊田さんの役者としての技量をチェックしてたんですね？

真樹　そういうことだ。ウチの沖縄での興行の時もリングサイドで酒飲ましちゃってさぁ、ベロンベロンに酔っ払ってリングに上がってたからな（笑）。

――そんなことまでありましたか（笑）。

真樹　そういうのも含めて、チラチラ探りを入れてきたんだよな。

――ただ、正直言って『無比人』ってSMシーンとか内容が凄く過激じゃないですか？（笑）。

真樹　だから、あれは要するに、原作は原作。もうちょっとソフトにいかなきゃまずいだろぉ！（笑）。映像になるんだからな。

――ですよね（笑）。

真樹　活字っていうのは、ある意味、映像よりインパクトが強い面もあるけど、大多数は映像でバーッと迫られるとさ、活字よりよっぽどインパクト出ちゃうからな。彼もそういう部分をちょっと心配しちゃってるようだけど、なっ？（と菊田をギロリ）

菊田　いやいやいや（苦笑）。

真樹　だから、原作をベースにして、もうちょっとソフトにしてやってね。要するに彼のイメージをあんまり崩さないようにしねえと、社長がうるせえからよ（笑）。なっ！（と今度は尾崎社長をギロリ）

尾崎　（背筋を伸ばして）はいッ！

真樹　何が「はいッ！」だよ！（笑）。

尾崎　ボクは今日は、そんなにしゃべんないですから！　先生と呼ぶ数少ない方の前なんで（苦笑）。

真樹　何を言ってんだ！（笑）。

――真樹先生と尾崎社長の接点を知らない人に説明しとくと、尾崎社長は真樹先生から空手を習ってたことがあるんですよね？

尾崎　習ってたって言っても、まだ先生が極真にいらっしゃった頃で、もう27年ぐらい前になりますけどね。

真樹　それで空手を裏切ってパンクラスを作ったんだよな!?（再びギロリ）

尾崎　お、おっしゃるとおりです！（苦笑）。

真樹　要するに裏切り者なんだよ（笑）。

――裏切り者でしたか（笑）。尾崎社長は空手はどういうきっかけで始めたんですか？

尾崎　ボクは高校生時代に極真をやらせていただいて、先生に合宿で教えてもらってたんですよ。

6月6日、ディファ有明で行われたMAキック・真樹ジム主催興行『第7回梶原一騎杯』のリング上に勢揃いした真樹日佐夫、菊田早苗、野地竜太、尾崎社長の4人。この日、菊田とエキシビジョンで対戦した元極真の野地のパンクラスMEGATON入りには、真樹先生の力添えがあったという。そして、この場で『無比人』の映画化が発表された

――真樹先生は過去に様々な有名人とかも指導してたわけですけど、尾崎社長のことは覚えていたんですか？

真樹　いや、彼はずっと隠してたんだよ。

尾崎　そうそう（笑）。だって、ボクなんかスンゴイ数いる中の末端の1人ですから。

真樹　彼は俺と会っても口を閉ざしてしゃべんなかったんだけど、同期で沖縄に安里っていう、ウチの支部長がいるんだよな。

尾崎　ポロッと言っちゃって（笑）。それから昔の生徒に戻ってしまいました（苦笑）。

真樹　しょうがねえだろぉ。年の差っていうのは埋められねえからな。追いつこうとしても追いつけないんだよ、こればっかりは。

尾崎　いやいや、僕は追いつこうとしてないですからね（笑）。

――先日は真樹先生とジョニー大倉さんの組み手を拝見させてもらったんですけど、尾崎社長との組み手も見たいですね（笑）。

尾崎　何を言ってんですか!?　ホントにね、こういういい加減なヤツは嫌いです。

真樹　そうだろ？（笑）。

尾崎　はい！　こういう軽い男は嫌いですね。いい加減にしろ！（笑）。

――失礼しました（笑）。

尾崎　僕は昔、鳩尾（みぞおち）に先生のパンチをいただいて、ヒザからちゃんと崩れ落ちましたから、もういいです（笑）。

真樹　ハッハッハッ！　愛のムチだよ（笑）。

――素晴らしい師弟関係ですね（笑）。で、ここ最近話題になってますけど、野地さんのパンクラス・メガトン入りに関して真樹先生が間に入ったみたいですね。

尾崎　それもそうなんですけど、その前にですね、沖縄支部の安里さんが興行をやられたんですよ。それに菊田が出場させてもらって、そっからですね。

真樹　あの時は菊田はアッと言う間に勝っち

やったからな。酒飲みたい一心で（笑）。
菊田　いやいやいや（笑）。
尾崎　そういうのもあって、そっから、また先生にお世話になってるんですよ。
真樹　その時の行きの飛行機の中でね、酒飲ませちゃったんだよ。
尾崎　僕は全然飲めないのにワインを勧めるんですよ（笑）。隣に菊田と佐々木（有生）が座ってて、そこに先生が来て「ワイン、飲めーッ！」って来まして（笑）。
――それは断れないですよね（笑）。
真樹　まあ、それだけじゃないんだけど、それからいろいろと行き来するようになって、例の野地君の話につながるんだよな。
尾崎　その節は、いろいろとありがとうございました。あと、先生には船木もお世話になってますからね。
真樹　だから、なんか縁があるんだよな。弟子だっていうのはずっと黙ってた悪い男だけど、バレちゃったらしょうがねえからな（笑）。まあな、今日はMの話はするのはやめような？（ニヤリ）。
尾崎　はい。それはやめましょう！（笑）。
――聞きたいような気もしますけど（笑）。
真樹　まあ、それはナシにしてやってくれ。でもなんかね、都合悪くなると来るんだよな。弟子っていうのを隠してた割には（笑）。まあ、ウチとは同じ町内会みたいなもんだろ。
尾崎　タクシーでワンメーターですからね（笑）。
――真樹先生は菊田さんの試合があった4月の後楽園大会に来場してましたよね。
真樹　しょぼい試合だったけど、観て勝ったのわかったからな。
菊田　す、すみませんでした！
真樹　負けたら「コノヤロー！」って待ってるけどさぁ、勝つには勝って、それがわかったからすぐ帰ったんだよ（笑）。で、俺がタクシーに乗ったら彼（尾崎社長）が心配して電話掛けてきたよ。
尾崎　判定が出る前に会場を出られたじゃないですか。僕は挨拶もできなかったんで、お電話したんですけど、そしたら「勝ったんだろ⁉」って言って（笑）。
真樹　ちゃんと勝ってたよ。それがまたセコイんだけどな（笑）。ああいう試合が一番しょぼいよ（笑）。
菊田　しょぼい試合ですみませんでした！（苦笑）。
――菊田さん的には4月の試合でキッチリ一本勝ちして今回の映画の話を発表したかったっていうのがあったんですよね。
菊田　いや、あの時は映画の話はうっすらとしか聞いていなくて、ホ

しょぼい試合ですみませんでした！
4月の試合は勝ってたけど、ああいう試合が一番しょぼい！

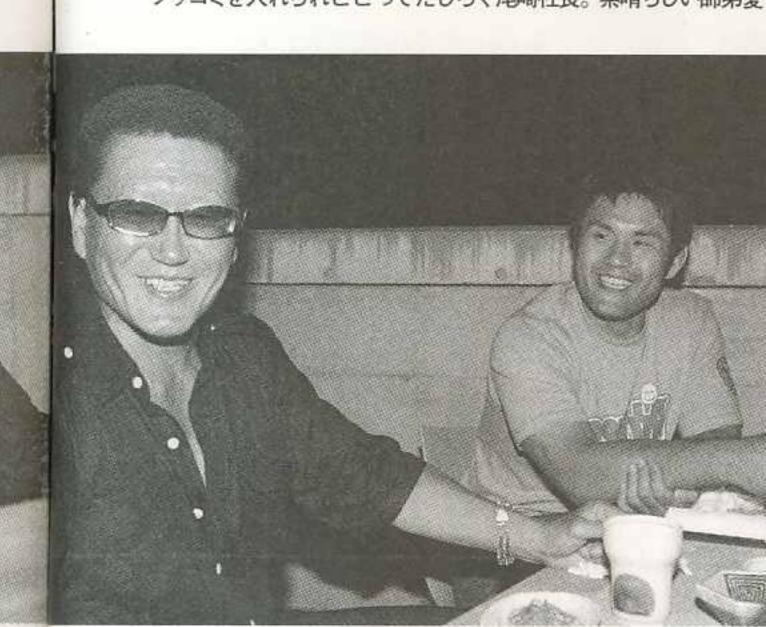
祝『紙プロ』連載小説『無比人』Vシネマ化決定記念対談！

ントにやるのかやらないのかわからない状態だったんですよ。
真樹　やるって言ったらやるんだよ！（と言って菊田の胸板にチョップ！）
菊田　う、うわッ！
真樹　まんざらやりたくないわけないんだよな。興味はあっただろ？
菊田　は、はい！
真樹　沖縄で酔っ払った時、そういう話をしたんだよ。彼は覚えてないかもしれないけど俺はちゃんと覚えてるよ。
――将来は映画スターになりたいみたいなことを酔っ払って言ってたんですか？
真樹　いやいや、「やる気あるか？」って聞いたら「あります」って言ってたからな。あの時はリングサイドでさぁ、泡盛をだいぶ飲ませちゃったからな（笑）。
――いくら沖縄でもリングサイドで泡盛を飲ませることないじゃないですか？（笑）。
真樹　いいんだよ！（笑）。あん時は村上竜司が引退試合をスタン・ザ・マンとやりたいって言うから、スイスから何から電話掛けまくってFAX送ってさ、映画の撮影中だったスタン・ザ・マンを引っ張り出してきてやらせたんだよな。そしたら、なんでかリングサイドに菊田がいるんだよな。てっきり招待されたかと思って聞いたら「自費で来た」って言うんだよな（笑）。
――えっ、そうなんですか？
真樹　スタン・ザ・マンに昔お世話になったらしいんだよ。
――あぁ、若い頃にスタン・ザ・マンのところへ行って教わってるんですよね。
真樹　そういう話を聞いて「コイツ、可愛いな」って思って「飲め飲め！」ってことでな。俺が飲んでたビンをだいぶ飲ませたんだよ。
菊田　は、はい（笑）。
真樹　その頃はもう『無比人』を連載してただろ？　彼には直接は言わなかったけど、面白いキャラクターだなぁって思ったんだよ。
菊田　あ、ありがとうございます！
真樹　それで『ワル』に出てもらって、あの時は船木との絡みだから気は楽だったろ⁉
菊田　は、はい。
真樹　長い台詞もあって何回もとちっただろうけどな（笑）。
――菊田さんは台詞を完璧に覚えてきて周りを驚かせたって船木さんも言ってましたよ。
真樹　そういうのを聞いてな、チョロは担当してくれてたから知ってんだろうけど、無比人ってカッコイイだけの男じゃねえだろ？
――そうですね。二面性があるというか、いろんな裏の顔もありますからね（笑）。
真樹　そういうキャラクターって非常に難しいんだよ。まあ、書くのはさぁ、文才がある俺が書くんだからいいんだけどな。
――全く問題ないですね！
真樹　でも、演じるのは人間で、1つのキャラクターが前面に押し出るわけだから、見てる側はそっからしか入れないだろ。だから、非常に細かいところで難しいんだけども、彼なら大丈夫だと思ったんだよ。
――将来的に船木さんじゃないですけど、役者業とかには興味はあったりするんですか？
菊田　いや、もともとですね、一番初めは小学校の頃から映画とか出たかったんですよ。そういう世界に憧れてました。
――あっ、そうだったんですか⁉
菊田　そうなんです。だから、なんかの縁じゃないですけど、今回話をいただいて凄く嬉しかったんですよ。あんまり人に言ったことないんですけども、もともとそういうオーディションとかちっちゃい頃から自分で送ったりしてたんで（笑）。
――あっ、それを聞いて思い出しました。菊田さんってジャニーズとかも履歴書送ったりしてたんですよね？（笑）。
菊田　そうそうそう（笑）。

真樹　ジャニーズって顔じゃねえだろ⁉
（強烈なチョップを菊田の胸板に叩き込む）
尾崎　ハッハッハッハッハッ。
菊田　う、うっ……。間違えちゃったんですけど、ちょっと冒険心で（笑）。まあ、受けては落っこちっていう感じで。あ、あと自分は歌の方もやりたかったんですけどね（笑）。
――それはジャニーズを目指すのもわかりますね（笑）。
菊田　いやいやいや（苦笑）。まあでも、それも叶わなくて、紆余曲折あっていまに至ります（笑）。
真樹　そんなことは俺は彼から一言も聞いたことないけど、長く映画の世界に片足突っ込んでるとわかるんだよ！　嗅覚で。
菊田　バレてましたか？（笑）。
真樹　素材として菊田はリング外で、そういう匂いに触れてきたというか。だから俺のアンテナに引っかかったんだよ（笑）。
――引っかかりましたか（笑）。そういう意味では、真樹先生から見て船木さんっていうのはいかがですか？　いまは役者業で幅広く活躍されてますけど。
真樹　彼は根がマジメなんだよなぁ。マジメさが出ちゃうというか、かあちゃんに頭が上がらないというかな（笑）。
――そうなんですか、尾崎さん？（笑）。
尾崎　そんなことはないと思います（笑）。
真樹　でもどうだ、彼は面倒見いいのか？
菊田　そ、そうッス……。
真樹　（遮って）そこは即答しろよ！（と菊田に裏拳）
菊田　うっ……。面倒見いいです！
真樹　でもまあ、いまのところ一所懸命与えられた役を1つ1つこなしていって、行き着く先はいいゴールが待ってるかもわかんないから頑張って欲しいな。
――担当として『無比人』を読ませてもらってきて、無比人役には船木さんが一番ハマるかなって勝手に思ってたんですよ。

ジャニーズとかも自分で履歴書送ったりしてたんで（笑）（菊田）

真樹　ちょっと違うなぁ、彼は。
――船木さんは二面性がありますけどね。
真樹　二面性を演じるには菊田みたいなヤツがいいんだよ。シャラーっとした顔してね、えげつないことをやるというね。でもよぉ、俺が書いてんだよ！　なんでチョロに言われなきゃいけねえんだよ！（笑）。
――し、失礼しました（汗）。
真樹　俺が一押しなんだからいいんだよ！
――それはそうですよね（笑）。あと近藤さんもシラーっとした顔して、えげつないことをやりそうな感じもするんですけど（笑）。
真樹　アイツは実際にやってんだろ。私生活の乱れが顔に出てるよ（笑）。言っときなよ。
尾崎　いやいやいや（苦笑）。
――真樹先生ぐらいになるとリング上の闘いから私生活も見えてくるんですか？（笑）。
真樹　いや、リング上の闘いもすべて含めてさ、大雑把に言うと全部芸能活動なんだよ。いい意味で格闘家もプロレスラーも演じてるわけだろ。お客さんに喜んでもらってナンボの仕事だからな。突き詰めていくと根っこは同じなんだよ。
尾崎　その通りだと思いますね。プロっていうのは観客に見られてるっていうのを意識してやらないといけないですからね。
――菊田さんは『無比人』の原作を見て戸惑ったりはしませんでした？
菊田　やっぱり過激な内容が多いじゃないですか？　正直ちょっと悩みましたね。
真樹　あのまま読んだらそう思っちゃうよな（笑）。だから、シナリオになるまでは読むなって言ってんだよ！
菊田　まあでも、いろいろ自分のために動いてもらって、役者冥利というか（笑）、まあ、いろいろ悩んだりもしたんですけど、やらせていただけないかなと思いまして。
尾崎　もう、あとは先生にお任せします。
真樹　今度、保川君（同席した東邦出版の社長）のとこから『無比人』の単行本も出るんだけど、本の最後に「本編は花も実もあるフィクションです」って書かないといけないかもわかんないな。
保川　あぁ、そうかもしれませんね。
真樹　原作に出てくる小川直也にしても（橋本）真也にしても猪木にしても、主人公が架空の人物なんだし、別にクレームはつかないだろうけどな。
尾崎　でしょうね（笑）。
真樹　けれども、「本編は言ってみれば格闘技ファンタジーで作者の想像の賜物です」ぐらいは一応書いておこうな。でないと映像化になった時に菊田に辛い思いさせるのは嫌だからな。いつも俺が付いてるわけにはいかねえだろ（笑）。
菊田　ありがとうございます！（笑）。
真樹　原作に出てきて反則負けするヤツとかいるからな（笑）。シカティックも負けてるしな。そういえばバス・ルッテンにこないだ会ったら喜んじゃって、俺を見て「オ〜、オキナワ！」って（笑）。可愛いとこあるんだよな。ルッテンとはまだ仲いいのか？
尾崎　まだ仲いいですね。
真樹　じゃあ『無比人』にゲスト出演させろよ。交通費ぐらい払うから（笑）。
――あとゲスト出演をゼヒお願いしたいのが連載中から毎回『無比人』を読んでた小路さんなんですけど、いかがですか？
真樹　小路は連載やってる時に「自分も出してもらえませんか？」って沖縄で訴えてきたんだよ（笑）。「ちょっとでもいいから書いて下さい」って。で、出しただろ？
――突然、出てきましたからね（笑）。
真樹　小路もいいじゃねえか。でも原作のままには当然出来ないからな。映画バージョンだから。もう少し品良くしてからないと菊田もいろいろ大変だからな（笑）。
菊田　いやいやいや（苦笑）。
――尾崎社長から見て菊田さんは役者として見てどういう評価をしてますか？
尾崎　僕はね、ホントは全然出来ないと思ってたんですよ。しゃべることも「あ〜う〜」っ

「彼は俺の弟子だったっていうことを隠してたんだよ」と真樹先生にツッコミを入れられビビってたじろぐ尾崎社長。素晴らしい師弟愛！

『紙プロ』連載中から無比人は菊田をイメージして書いていたことをあかした真樹先生。どんな作品に仕上がるのか今から楽しみだ！

ていつも言ってるでしょ?

真樹 なんだ、その言い方は!? 社員想いじゃねえな（笑）。

尾崎 いえいえ（苦笑）。でもウチに入ってから中継の解説をやってもらったら凄い滑らかにしゃべるんですよ。で、その後、船木の自主映画に出て、それを見た時に「あ、演技出来るんだ」って、凄い意外だったんですよ。いい意味で裏切られたというか。本人は「出来る」とは言わないですけど、僕は結構いけるんじゃないかなと思いますね。

真樹 社長も出るか?（笑）。現場で俺がしごいてやるよ（笑）。「ダメダメダメ！ 撮り直し！」ってな。

尾崎 勘弁して下さい。僕は船木の自主映画に無理矢理出させられたんですけど、その時はテイク35まで行きましたから（笑）。

真樹 じゃあ今度はテイク40を目指せばいいじゃねえか（笑）。

尾崎 いやいやいや（苦笑）。

――ところで菊田さんは復帰はいつぐらいを予定してるんですか?

菊田 まあ9月に撮りがあるんで……。

真樹 （遮って）うわぁ、撮りがあるだなんて、凄いねぇ（笑）。悪かったな（ギロリ）。

菊田 いやいやいやいや（苦笑）。

真樹 売れっ子の芸能人みたいだなぁ。

菊田 いやいや、やるからには集中したいと思ってるんで。ただ、これまでちょこちょこ映画に出させてもらって思ったんですけど、やっぱり主役はやりたいッスよね。二面性がある難しい役ですけど、ボク自身は望むところというか、やりがいがあるというか……。

真樹 ボク自身ってどういう意味だよ（笑）。なんか意味深だよな（ニヤリ）。

――ボクはよくわかりません（笑）。

菊田 ちょっと前までは、そういう気はなかったんですけども、映画に出させてもらって携わっていくと、やっぱり欲張りになってくるというか、その中の中心にいたいという気持ちが出てきたんですよ。

オイオイ、お前はジャニーズって顔じゃねえだろ!?（真樹）

真樹 だろ!? 映画の撮影をやって、みんながハマるのはね、ワンシーンしかない、たとえばエキストラに毛の生えたような役者のために現場全体が動くことがあるからな。半日でもそういうことを経験すると、主役になって周りから持ち上げられたら、どれだけ気分が良くて楽しいかっていうのは菊田も同じこと考えたと思うんだよ。

菊田 そうですね。

真樹 全部自分が中心になるわけだから、いみじくも菊田が言った「主役になりたい」って欲が出てくるんだよ。だから、芸能界って怖いんだ。気がついたら主役になれないまま45とかになっちゃうからな（笑）。

――それが32にして主役ですからね。

菊田 ありがとうございます！ で、ボクは10月は練習の期間で11月と12月で2試合ぐらいやれればと思ってますね。

真樹 1試合で十分だろ。あんまり安売りしない方がいいぞ。

真樹先生のツッコミはとにかくハンパじゃない！ さすがの菊田も油断すると飛んでくる真樹先生の手刀やら裏拳に腰が引け気味!?

「今日はそんなにしゃべんないですから。先生と呼ぶ数少ない方の前なんで」と対談前から語っていた尾崎社長。ホントその通りでした

祝『紙プロ』連載小説『無比人』Vシネマ化決定記念対談！

――菊田さんがホイス戦を熱望してるということで、尾崎社長も実現に向けて動くみたいなことが書かれてましたけど、ズバリ手応えはあるんでしょうか?

真樹 ホイスとやるのか?

菊田 やりたいっていうだけですね（苦笑）。やれば自信はあるんですけども。

真樹 そうか。まあやるんだったら勝ってもらわないと困るぞ！ 負けたら映画の宣伝にならないからな（笑）。

菊田 はい。ボクの中では、9月の撮りもビッグマッチだと思ってるんで、今年は3本取りのつもりで頑張ります！

真樹 おう、よろしく頼むぞ！

――聞き忘れてましたが『無比人』はSMシーンもたくさん出てくるじゃないですか?

真樹 お前も好きだなぁ（笑）。

――はい（笑）。菊田さんはSかMかっていったらどっちなんでしょうか?

真樹 何聞いてるんだ!?（菊田に）アイツをひっぱたいてやれ！ 俺が大目に見るから。

尾崎 ホント、やっていいから！（笑）。

――も、申し訳ありません！

真樹 でも、俺が見たらすぐわかるよ。菊田はMだよ。それで（尾崎社長を指さし）こっちはSだよ！ それもわかんねえのか?

――全くわかりませんでした（笑）。

真樹 何十年、俺が大魔王様でやってると思ってるんだよ！（笑）。

――あ、大魔王様でしたか（笑）。よく両方持ってるって言いますけど、真樹先生ぐらいになるとパッと見でわかるんですね。

真樹 みんな両方持ってるよ。多いか少ないかが出てるわけだ。多い方が出るに決まってんじゃねえか！ こっちは前田日明に逆らったからSだろ（笑）。

尾崎 お、お先に失礼します！（笑）。

――もう少しで終わりますんで（笑）。

真樹 ちょっと前になるけど、人を介して彼と会って一緒に飲んでる時に「いずれ対談でもやろうか?」って言ったら「いいですねぇ」ってことだったから、それを『紙のプロレス』で企画しなさい！

――前田さんは、最近はご無沙汰してるんですけど、出てきてくれますかね?

真樹 なんだ、また何か怒らせたのか?

――……。読者の要望は凄く多いんで出ていただきたいんですけどね。

真樹 彼はいつも怒ってるからな。たまには持ち上げてやれよ！（笑）。

――は、はい。その時は、またよろしくお願いいたします！（笑）。

【6月28日／真樹道場近くの『まんざら』にて収録】

一足お先に『無比人』単行本化決定！ 押忍!!

映画化を前に『無比人』の単行本が7月中旬、東邦出版より発売決定！【問】東邦出版 TEL.03-5396-7100

超大型新連載スタート!!

吉田豪&掟ポルシェの月刊PG(ポルシェ 豪)談(仮)

構成／松澤チョロ　design by さおとめの事務所

あの時はハッスルポーズが、こんなに流行るとは思わなかった………

一回目の解説をやった男として、最近の『ハッスル』ブームはどうなの?

『紙プロ』が俺をどの程度の価値だと思ってるか、よくわかった(豪)

——突然ですが今月からお二人に、毎回マット界で気になった"男"を語っていただこうと思ってます。タイトルは吉田豪と掟ポルシェの「お前は男だよ!」ってことで、いかがですか?

豪　なんか、誰かへの当て付けっぽくて嫌だなあ(笑)。そんなことだろうと思って一応、仮タイトルを考えてきたよ。Y2談じゃなくて、ポルシェと豪のPG談でどう?

——何か意味はあるんですか?

豪　いや、なんかペログリな感じにしようと思って(笑)。

掟　なんで今時、田中康夫!?(笑)。それにマット界って言ったって俺、最近はプロレス全然観てないしなあ…。

豪　駄目だよ、ちゃんと観なきゃ!

掟　一番観てない豪ちゃんには言われたくないよ! 仕事のために、これから地道に観に行くけどさ。

——でも、掟さんは編集部の誰よりも女子プロについて詳しいと思いますよ。

掟　えっ!? 確かに昔は地味に紅夜叉×長嶋美智子敗者特攻服脱ぎマッチとか遠くまで観に行ってたけど、いまじゃシティーテレビ中野でNEOの試合観てるぐらいだよ。

豪　『紙プロ』でNEOの現状を知ってる人間は誰もいないから(笑)。

掟　嘘!? じゃあ、動いてるタニーマウス観てるのは俺ぐらい?(笑)。

豪　……しかしさあ、こうやって俺が久しぶりに『紙プロ』に復活するっていうのに、歌舞伎町のマクドナルドで取材しようとする時点で何か間違ってると思うよ(笑)。『紙プロ』が俺をどの程度の価値だと思ってるのか、よくわかった!

——すみません! 持ち合わせがなかったもんで(笑)。

掟　そういえば豪ちゃん、なんでしばらく『紙プロ』に出てなかったの?

豪　いや、俺なんかよりも大変なのは掟さんだよ! 『BUBKA』で読んだけど、誰かに怒られちゃったみたいじゃん(笑)。

掟　どうやら『ハッスル1』のとき、解説席で余計なことを言い過ぎたみたいで(笑)。……って、どう考えても大変なのは豪ちゃんだよ! 一時はハンスト兼ファスティングもしてたし。

豪　あのとき、掟さんは差し入れを持って『紙プロ』編集部に来てくれたんだよね。マクドナルドで取材しようとするどこかの編集部と違ってさ。

——……あ、あの、吉田さんも読者ハガキとか『紙プロHand』の感想とか目を通してますけど、「吉田豪を復活させろ」って声が凄い多いじゃないですか?

豪　でも、「いまの『紙プロ』だったら出ないでもいい」的な声もあるよ。

掟　「紙プロの仕事はノーギャラなんだからもうやめるべき」みたいな話が2ちゃんねるにまで書かれてるし。「豪は仕事のレベルを上げる時期に来てるんだよ」とか(笑)。

豪　大きなお世話だよ!(笑)。

掟　でも、まだ『紙プロ』の事務所にはいるんでしょ?

豪　いるけど、いまはほとんどタッチしてないね。

掟　スーパーバイズもしてないわけ?

豪　隣の席だからチョロにはたまに「これを企画しろ」とか言うんだけど、あいつは編集部で発言権がないから一切通らないね(笑)。唯一「『無比人』が映像化されるんだから、真樹先生が愛用しているSMクラブで菊田に役作りする対談をやるべきだ」って言ったんだよね。で、「菊田1人だったら恐縮するばかり盛り上がらないだろうから、真樹先生の弟子だった尾崎社長も入れた方がいい」って。そこまでアドバイスしたら、なぜかそこにオレらが勝手に入れられてたことが当日になってわかって(笑)。

掟　ホント、ヒドイ話だよ! 俺は家を出る直前で「やっぱり今日はなしで」って聞いたから、まだいいけど。

豪　俺なんか真樹道場の前まで行ってから尾崎社長が来るって聞いてさ。久々の『紙プロ』復活が俺と尾崎社長の対談って、そんなことしたら誰もが政治的なことを勘ぐるよ!

——も、申し訳ありません! ●●さんのことで頭が一杯になってました!

豪　だから「俺のことを誌面に出さないならこの場に参加するけど、出すならこのまま帰る」って言って、今日の場があると。マクドナルドだけど(笑)。

——重ね重ね申し訳ありません!

掟　実際、最近の『紙プロ』は豪ちゃん的にはどうなの?

豪　いや、ビジネスとして『PRIDE』をプッシュするのは正しいと思うんだけど、ハガキとか読者ページを見てもわかるけど、ちょっとでも人気が落ちたら一瞬で離れる層が増えすぎてるよね。そこに頼るのはいいんだけど、核になるものを記事がないといけないわけで。前は会長が巻頭ページで読者を引っ張ってきて、でも読者の支持は

判型の小さなモノクロページが集めるシステムになってたけど、いまは「面白かった記事」も巻頭カラーになってきてるから。

—だから、そういう意味でも吉田さんの昔のレスラーや関係者のインタビューとかを求める声が多いわけですけど、吉田さん的にも結構やり尽くして興味を持てる関係者も少なくなってきてるんじゃないですか？

豪 いやいや、全然。やれるんだけど、いま俺がそういうことをやる意味が感じられないし、いま忙しいから、よっぽど珍しい人のアポでも取れたらやらないでもない。

—とりあえず、イーデス・ハンソンはアポが取れたんでお願いしますよ！

豪 そういう『PRIDE』にしか興味のない人たちに全く届かないことならいいかなって（笑）。もっと重要なことがあるって読者に伝えないとね。

掟 最近でいったら、真樹先生とジョニー大倉さんの組み手イベントとか、真樹先生の誕生日パーティーとかね。俺たちは4年連続で真樹先生のクルーザーパーティーにお呼ばれしけど、男としてこれほど光栄なことはないですよ！ 去年からは誕生日パーティーの方に呼ばれるまでになったし。

豪 先生の誕生日は月末なんで、大体、入稿の時期と重なるんだよね。

掟 何を選ぶかによって男を試されるというか。実は今回裏ではモーニング娘。文化祭が幕張であって……。

豪 その時点で男らしくないよ！（笑）。

掟 俺は前日、宇都宮で夜通しライブやってて、そのまま一睡もしないで幕張行ってベリーズ工房の公録を見るっていう無謀かつパーフェクトな計画を立ててたんだけど、ジョニーさんとの組み手の後で「おう、ポルシェ！ 来週な、俺の誕生日だからクルーザー来い！」って真樹先生に言われて、一瞬、頭が真っ白になって。

豪 掟さんは「仕事なんで休みます」って嘘付いてたんだよね（笑）。

掟 い、いや、俺にとってモーヲタ活動も立派な仕事ですよ！「すいません！ その時は申し訳ないんですけど仕事が入っておりまして」って言ったら「なんだとコラ～ッ！ ガハハハハ！」って、いきなり愛情のこもったノド輪をガーンと戴いて（笑）。もう、そこまでされちゃ断れないですよ。

豪 「おう、ポルシェ！ お前、なんかわけわかんないこと言って誕生日来ないとか言ってるみたいだな」って言われたら、「いえ、仕事断って行かせていただきます！」って即答して（笑）。

掟 真樹先生にそう言われたら「押忍！」の一言しかないですよ！

豪 返事は「押忍！」しかないからね。俺も都内の『PRIDE』は全部行くっていうルールにしてたんだけど、今回は迷わずクルーザーを選んだから。

掟 どっちが仕事なんだよって言ったら、明らかに『PRIDE』なんだけど（笑）。

豪 でも、どっちが本当の男祭りかって言ったらクルーザーじゃないかって（笑）。

—クルーザーパーティーと誕生日パーティーは別物なんですか？

豪 そう。最初の2年は8月だったんだけど、誕生日は6月だから。それが去年から誕生日の方にシフトしたら、メンツが全然違うんだよね。

掟 明らかに、ちょっと黒い匂いのする方が多くなってて（笑）。男濃度大幅アップで緊張感もさらに倍（笑）。

豪 50過ぎで和彫りの入った紳士とか、あとは士道館の村上竜司さんとか任侠劇画家の村上和彦先生とかも来て。

掟 俺たちなんかは、クルーザーの上に乗れないような状態だから。

豪 ヒエラルキーがハッキリしてて（笑）。

掟 クルーザーの上が一番で、真樹先生とW村上諸先生がいて。

豪 で、クルーザーの中には真樹先生の御家族がいて、俺らは常に船着き場（笑）。

掟 クルーザーパーティーなのに船の上にはほとんどいないからね（笑）。さすがに乗るのはおこがましくて。

豪 乗るとしても、席のないクルーザーの先端とか（笑）。

—お二人と同じような人種は他に来てるんですか？

豪 いや、俺らのグループだけ。

掟 我々『マッキーズ』こと、真樹先生・心の応援団だけですよ。

豪 別名、真樹プロダクションの企画部だっけ？

掟 何を企画するのかはイマイチよくわかんないんだけど（笑）、あらゆる意味で真樹先生を盛り上げていく会っていう感じで。

—その時の写真を見るだけでもいいですよね。

豪 ホント、基本的にはフォトセッションに行ってるようなもんだからね。空の青さが凄いから、何撮っても海外ロケみたいな写真になるし（笑）。

掟 それに真樹先生は還暦を過ぎても、もの凄い殺傷能力のある体してるから！

—場所はどちらになるんですか？

豪 逗子マリーナなんだけど、毎回、朝から日が暮れるまで飲んでて、しかも船の揺れも加わるから、毎回とんでもなく酔うね。

掟 「もし手土産を持ってくるなら、飲んだことないような珍しい酒だと嬉しいよな」って真樹先生が言うんですよ。でも真樹先生が飲まない場合はそれ、俺たちに全部振る舞われるんで慎重に選ばないと危険で（笑）。

豪 ホント、みんなが酒持ってくるから、酒の種類は尋常じゃないわけよ。

—必然的にチャンポンになってしまうわけですね（笑）。

豪 だから、自然と四種類ぐらい飲まなきゃいけなくなるからさ。で、普段日射しを浴びないから、それだけでも体力消耗するわけ。それに、毎回入校シーズンだから睡眠不足も重なって。

掟 チャンポン＋直射日光＋睡眠不足＋妙な緊張感で、意志とは無関係に毎回泥酔（笑）。

豪 毎年、間違いなく潰れるね。去年はオレは仕事があるから1人で先に帰ったんだけど、50メートルぐらい歩いたところでブッ倒れて、2時間ぐらいダウンして動けなかったもん。

掟 全然気付かなかったよ（笑）。

—掟さんの写真も見せてもらったんですけど、逗子の海で楽しそうに泳いでましたよね（笑）。

掟 一応、海に来たからには泳がなきゃと思って。Y編集長と2人で平泳ぎで岸まで泳いだりとか（笑）。

極真空手通信教育講座テキスト「マス大山カラテスクール」の復刻版の発売を記念して6月12日に行われた真樹先生とジョニー大倉の真剣組手。とにかく凄いの一言！ その後、壇上に上げられた吉田豪から真樹先生関連カルトクイズが出題された。

我々『マッキーズ』こと、真樹先生・心の応援団だけですよ（掟）

Y編集長の話はアニメと女とバイオレンス。誰よりも男らしい（豪）

――Y編集長も毎年行ってるんですか?

豪 いや、最初の2年はY編集長と一緒で。

掟 一応、あの当時はY編集長は雑誌の取材も兼ねてたんで。

豪 で、最初に会った時、ずっとオレらと話してる間中、Y編集長の片玉が出てたっていう伝説があって（笑）。

――アハハハハハ!

豪 玉出しながら、「ボクはね、『日●アニメ』に昔いたんですよ」って（笑）。アニメ話と女の話とバイオレンスの話をして、誰よりも男らしかったね。オレらの憧れの男像は真樹先生だってよく言うんだけど（笑）。

掟 実はY編集長もそうだったという（笑）。タイに女買いに行った話とかもう最高!

豪 そうそうそう。ある有名な格闘家がタイに行った時に一緒に取材に行って、毎日一緒に女遊びしてたんだけど、格闘家の方が先にダウンしちゃったという（笑）。男だよなぁ。

掟 愛人囲ってどうのこうのとかね。

豪 そりゃ玉ぐらい出るわって感じだよ（笑）。で、去年は梶原先生のイベント用にクルーザーでビデオを回したんだけど、モノ凄い緊張感あったよ。

――写しちゃいけない人とかもいるでしょうからね（笑）。

豪 だから、タイミングを見計らってコメント取るために突っ込んでいって。その時、真樹先生とか竜司さんとかに「男性とやった経験っていうのはあるんでしょうか?」って聞いたら、みんな普通に「あるよ」って答えて（笑）。

掟 「少年院入ったら普通に経験するもんだよ」って（笑）。

豪 「やる相手いねえんだからよ。殴られんのと、掘られるのとどっちがましだっていったら、みんなケツ出すよ」って（笑）。

掟 「シャバじゃやらんけど、塀の中では仕方ねぇんだよ!」って。

豪 「あれは男の階段登るための重要なステップなんだ」って、シビれること言ってたからね。

掟 「キミたちもやりなさい!」って勧められて。その前に、まず少年院に入るとこから始めないといけないけど（笑）。

――真樹先生的には、そういう話が誌面に載っても大丈夫なんですよね。

豪 原稿チェックでも、その辺は問題ないから。人のことについての記述は気を遣う方だけど、自分のことに関しては直さないからね。

掟 素敵だよなぁ（しみじみと）。

――そのイベントの前にあった真樹先生とジョニー大倉さんの組み手も、かなり凄かったですよね。

豪 あれは凄かったね。ジョニーさんとは誕生会でも会ったんだけど、「組み手良かったですよ!」って言ったら胸のアザ見せてくれて、「アザ取れねえんだよ」って（笑）。

掟 真樹先生の拳のアザが一週間たってもバッチリ残ってんだよ!

豪 「あれはいい試合でした!」って言ったら「だろ? あれが本当の空手だから。オレがやってた極真はああだった」って。

掟 ジョニーさんは、例の7階から落ちた件で足にプレートが入ってるんだけど、そのプレートが入ってる方の足で蹴ってたからね。

豪 真樹先生もプレート入ってる足だろうが平気で蹴ってたし。そもそも、空手であれだけ顔面に入れる組み手ってないからね。

掟 まず真樹先生の裏拳から試合が始まったからね（笑）。さすが真樹流、ケンカ空手! 勢い余って顔面に拳が入るのもやむなしなんだよ。

豪 組手って、普通は単なるエキシビジョンなのに（笑）。

掟 ジョニーさんは今度、黒帯昇段審査に挑戦するんでしょ? あれはジョニーさんなりの窪塚クンへの無言のメッセージとも受け取ったね、俺は。

豪 いきなり時事ネタにきたね（笑）。時事ネタといえば一回目の解説をやった男として、最近の『ハッスル』ブームはどうなの?

掟 いやぁ、面白そうだから観に行きたいんだけど、なんか会場に行っちゃいけないような雰囲気なんで（笑）。

豪 ダハハハハ! でも、いまはアイドルとかまで『ハッスルハッスル!』ってやってるわけでしょ?

掟 たまたま今日ね、ピンクパンダっていうアイドルバンドのライブを観に行ったのよ。そしたら「みなさ〜ん! じゃあ最後に『3、2、1、パンダパンダ!』いきますかーッ!」って思い切り導入されてたよ。腰振りポーズ付きで（笑）。

豪 さっき『いいとも』見てたら鶴瓶もやってたからね。

掟 そんなブームになってんの?

豪 『ハッスル』の興行じゃなくてポーズが、なんだけどね。それも『PRIDE』でのハッスルポーズが（笑）。掟さんも解説席で一緒にハッスルポーズやってたわけだよね。

掟 一回だけで終わったけどね……。

――あれ、一回目からハッスルポーズってあったんでしたっけ?

掟 あったよ!「全員ご起立下さい!」って小川が言った時、俺たちだけ座ってたの、解説席で。そしたら「お前らもだよ!」ってオーちゃんにリング上から直接怒鳴られて、無理矢理ハッスルポーズやらせられたんだよ（笑）。

豪 ブームの先駆者だ!（笑）。

掟 火付け役ですよ! いやぁ、まさかあの時はハッスルポーズがこんなに流行るとは思わなかった……。

豪 ダハハハハ! 残念だったねえ（笑）。

掟 でも俺は維新力がやってる『ひぃ、ふぅ、みの、ドスコーイ』の方が牧歌的で好きですね（笑）。PWCは中野のケーブルテレビで無料で観れるし。

豪 そういえば、ロマンポルシェ。は『PRIDE』に先駆けて『男Tシャツ』も作ってたよね。

掟 そうだよ!「おまえら男だ!」なんて、元はといえば俺の決めゼリフですよ! ライブで毎回言ってたんだから! 漢字一文字のTシャツも、まったくデザイン一緒で! 男グッズの肖像権を巡って俺また『ハッスル』に絡んでいきますよ!

豪 あんまりそういうこと言ってると、また怒られるよ（笑）。

掟 それ、豪ちゃんにだけは言われたくないよ!

【7月1日／歌舞伎町『マクドナルド』にて収録】

上の写真が本文中にも出てくる真樹先生主催のクルーザーパーティーでの1ショット。空の青さ、そして真樹先生の、いまだ殺傷能力のある肉体! カラーで見せられないのが残念! 下はマッキーズの一員、掟ポルシェと真樹先生の2ショット!

馬場から武藤まで全日一筋17年!!

驚ガクにして無駄な幅広さ!!
自称・スーパーマン!

全日本プロレス リングアナ

木原のオヤジ

「オヤジ」の愛称で親しまれ、マニアック過ぎるモノマネは天下一品！
全日本プロレスの名物リングアナ、木原文人はリングアナの業務だけではなく、様々な分野で活躍。
全日本には欠かせない存在の木原のオヤジに、馬場社長から現在の武藤社長に至るまで、
その王道人生をたっぷり語ってもらった。

聞き手／坂井ノブ　聞き手／ジャン斉藤　designed by bun-chan(Two Three)

——木原さんはリングアナの仕事以外にも、いろんな分野で活躍されてますよね。

木原　いやいや！　ただの器用貧乏で、どれも卓越したものがないだけですよ。

——でも、『ゴング』では連載コラムを書いて、そしてマニアックなモノマネは大得意ですし（笑）。

木原　あとイラストも描けるんですよ。かつて全日本プロレスのお中元や、お歳暮で送ってたバスタオルやTシャツのイラストはボクが描いてたんです。

——ターザンは送られてくるたびに近所に配って好評だったタオルですね（笑）。

木原　パンフの編集長じゃないけど、ファンクラブの『キングスロード』会報なんかも仲田龍さんたちと一緒にずっとやってましたから。あと東京工芸大学に通っていたから写真も撮れるんですよ。ヌードからスポーツ写真までね。

——それは幅広いですね（笑）。そもそも全日本プロレスに入ったのは、どういうきっかけだったんですか？

木原　ボクは三重県の伊勢市出身なんですけど、当時、全日本、国際、新日本と3団体時代で、三重県の伊勢市には年に一度、どっかの団体が来ればいい状態だったんです。たまたま全日本を観に行ったときに、和田京平さんや仲田龍さんがリングをつくってたんですけど、一緒にいた後輩が龍さんから「リングの片付けを手伝わないか？」って声を掛けられて。

——ファン時代から接点があったんですね。

木原　それからは全日本が来るたびに手伝いに行ってましたね。それでボクは東京工芸大学に行くことになったから、「東京に出ることになったんですけどまた手伝っていいですか？」って訊ねたら「いいよ」って言われて。龍さんや京平さんは雲の上の存在ですから、ホント嬉しかったですよ。

——当時からトップのリングアナ、トップのレフェリーでしたもんね。

木原　ボクはかなりのマニアだったから、京平さんや龍さんと話ができるだけでも十分なのに、こんなことを言ったら語弊があるかもしれないけど、プロレスをタダで観れて、タダどころかTシャツを貰ったりしてね。それにリングもつくれるんだから！　TVマッチだったりすると、「あのコーナーは俺が付けたんだ！」って感慨深くテレビを見るわけですよ。

——マニアからすると、たまらないですよね（笑）。

木原　たまらんスね。たまらんスわ、ホンマに！（本当にソックリな金本のモノマネ）。

——ワハハハ！　ソックリですけど、紙面じゃ伝わりにくいので、インタビュー中は無視させていただきます（笑）。

木原　そういえば、当時はリングだけじゃなくて、マスクもつくってたんですよね。

——え？　どういうことですか？

木原　いや、高校のときから趣味でマスクをつくってたから、京平さんに頼まれて、タイガーマスクのプレゼント用マスクをつくってたりしてたんで。

——そんなこともやってたんですか！　ホント器用ですね（笑）。

木原　上京したらもうマスクをつくることはないだろうから、実家にミシンを置いてきたんですけど、たびたびリクエストがあるからミシンを送ってもらいましたね。京平さんの家の隣の床屋さんには、そのマスクがまだ飾ってるそうです（笑）。

——京平さんといえば、昔は暴走族でディスコに通ったりしてたそうですけど、木原さんの青春時代はずっとプロレス三昧だったんですか？

木原　ボクは空手道場に通ってたんですけど、その道場の先輩がジークンドーの中村頼永さんですわ。

——ヒクソンを初めて日本の招聘した中村さんですね。

木原　頼永さんはのちにシューティングもやってたから、全日本にいた北原（光騎）さんがシューティングにいたんですぐに頼永さんの話をしたら「お前、ウーロンの知り合いか？」って。当時から頼永さんはブルース・リーに憧れてたから、あだ名は〝ウーロン〟だったんです。

寛水流の道場に通っていて夏合宿にも参加しましたよ

——頼永さんはブルース・リーと一緒にジークンドーをつくったダン・イノサントから、東洋人初のジークンドー・インストラクターとして認められてるんですよね。

木原　ボクも子供の頃からブルース・リーが大好きだったから、いまは頭の毛はないですけど、ブルース・リーカットですわ。

——昔はそんな髪型だったんですか（笑）。

木原　で、頼永さんはその頃から凄かったですよ。ブルース・リーの本を出してたり、走って跳び上がって、バスケットのゴールを蹴ってましたから。

——3メートル近くありますよね（笑）。

木原　通っていた空手は寛水流の道場なんですけどね。

——え？　木原さんは寛水流出身だったんですか！

木原　たいしてやらなかったけど。伊勢に道場があったからね。

——寛水流にはいろんな伝説がありますよね。花火がうるさいから花火大会を中止させたり、犬の鳴き声がうるさいから怒鳴り込みに行ったりとか（笑）。

木原　詳しい話はわからないですけどね。ボクは夏の合宿とか行きましたけど、ホント厳しかったです。スリッパで何キロも走るんですよ。

——スリッパで走り込みですか（笑）。

木原　基本は裸足なんですけど、ビーサン履いたりしてね。ボクが合宿に行ったときは大雨で体育館練習になったんですけど、後藤達俊さんがひとりで弁当を3つも4つも食べてるんですよ。

——後藤さんは寛水流出身でしたね。

木原　なぜか空手衣は着てないし「何者だろう？」って思ってたら、壇上に上がって「後藤君は猪木さんの道場に入門することになった」って紹介されてたんですね。

——そんな場面にも遭遇されてたんです

馬場さんの最後の試合をコールをしたのはボクなんですよ

か（笑）。話は戻りますけど、リング設営のお手伝いを経て、全日本に入団されたのはいつ頃になるんですか？

木原　長州さんが欠場して、そのまま全日をやめた後楽園大会からですよ。

――大変な時期に入団されたんですね。

木原　ボクは入って1シリーズで一旦辞めてるんです。尿管結石になってやたら熱が止まらなかったし、血尿とか出たりしてね。京平さんに「体力的に無理ですわ」と言って。

――とてもじゃないけど続けられない、と。

木原　リングづくりのノウハウはわかってたし、人間関係も問題はなかったんですけどね。手伝ってるときから可愛がってもらいましたから。会場の天井に吊るされたりね（笑）。

――天井に吊されるんですか？

木原　設営で天井に照明を吊るでしょ。そこに釣らされるんですけど、かなり怖かったですよ。照明を吊るす十字の金具の上に座らされるんですから。

――それ、かなり危険じゃないですか！

木原　何にも縛ってないですから、しがみついてるだけですよ。吊されたまま、みんなどっかに行っちゃうしね（笑）。

――全日本流の放置プレイ（笑）。

木原　悪気があってイジめられてるわけじゃないですけど、パンクラスの宮田（充）リングアナや、いま新日本の（レッドシューズ）海野レフェリーもよく吊るされてましたよ。あと〝カランバ〟ってのが流行ったね。当時、カブキさんがプロモーションした映画『カランバ』で、両腕をロープで縛って2台のジープに繋いで、ジープがそれぞれ逆方向に走って腕を引きちぎるシーンがあったじゃないですか？

――ああ、カブキさんも似たようなことをプロモーションでやってましたね。

木原　全日本のカランバは、足首と手首にロープを縛り付けて、コーナー四方の鉄柱から各対角線に思いっきり引っ張られるわけですよ（笑）。あれは龍さんが大好きでしたねえ。

――木原さんも上の立場になったら、下の人にやったわけですか？

木原　いや、上の立場になったことはずっとなかったですよ。海野君は途中でSWSに行っちゃったしね。

――いまノアにいる西永（秀一）レフェリーは？

木原　西永は大学の後輩だったんですよ。西永もプロレスが好きで観に来てたら、大学で見たことある人間、つまりボクがコーナーを拭いたりしてたんです。たまたま彼の同級生がボクのバンドのメンバーだったからそれで知り合って、「やりたいんならおいで」ってボクが導いたんですけど、いつの間にかレフェリーになってボクより偉い存在になってるんですよ。たまらんスわ、ホンマに！（再び金本のモノマネ）。

――たまらんですか（笑）。木原さんはいつごろからリングアナをやるようになったんですか？

木原　初めのころは、馬場さんや元子さんが仕事ぶりや人間性を見てるんですよね。それでコイツなら任せられるんじゃないかということで、「リングアナをやれ」って言われたんですけど、すぐにデビューはできなかったんですよ。

――リングアナデビューしたのは、89年に木更津大会だったんですよね。

木原　その当時は、仲田さんが馬場さんの運転手だったんですけど、凄い道が混雑してたんですよね。試合開始に間に合わないかもしれない。馬場さんの試合順を変えればいいだけですけど、リングアナは仲田さんしかいなかったから、それでボクが急にやることになったんですよ。

――急遽リングアナデビューされたわけですね。

木原　緊張しましたねえ。ずっと仲田さんの横に付いていたんでリングアナのノウハウはわかってたんですけど、俺がリングに上がっていいものかって。プロレスっていうのは凄い位置の高いところにありましたから。

――その憧れだったリングに立たれて、リングアナでいちばん苦労されたことって何ですか？

木原　というか、他の仕事がたくさんありましたから。リングのトラックを運転して、会場に着いたらリングをつくって、売店の用意をして、ファンクラブの撮影会をしたりね。それで試合が終わったらリングを片付けて、トラックを運転して次の宿泊先に向かうと。

――リングアナは、長い一日のサイクルの中でのほんの一部だった、と。

木原　いまは楽をさせてもらってますよ。いまは外人をまとめてるんですけど。

――昔の全日本だとジョー樋口さんが外人係をやられてたんですよね。

木原　ジョーさんがやってた時期とボクは重なってるんですよ。会場ではジョーさんが担当だったんですが、外人の空港送り迎えはジョーさんがいるころからボクがやってますね。オフの間もガイジンをジムに連れて行ってあげたりして、それでゴールドジムさんの社長と仲良くなったんですけどね。

――木原さん自身もそうとう身体を鍛えてるそうですね。

木原　体を動かすのは好きだから、トレーニングしたりしますよ。ベンチプレスだと150キロぐらい上げれますね。

――リングアナだと国内最高の記録だと思います（笑）。

木原　それと、邪道＆外道選手と昔から知り合いなのは、彼らがTPG（たけしプロレス軍団）のときに、じつは一緒に練習してたんですよ。

――え？　木原さんはTPGにも関わってたんですか？

木原　いや、TPG入りはしてないけど、ボクはウォーリー山口さんと個人的に仲が良かったのですよ。

――というと、ウォーリーさんが主宰していてプロレスラー育成道場・マニアックスの関係になるんですね。

木原　そこで練習試合とかしてましたね。あれは身体を壊して辞めた時期だったかな。

――谷間の時期にプロレスラーになろうと？

木原　なろうとは思わないですけど、そういう練習をしたかったんで。彼らと一緒に受け身の練習とかやりましたよ。だから受け身はいまでも身体に染みついてるんですよ。

――それがK－DOJOで〝タイガー木原〟としてのプロレスデビューに繋がってるわけですか（笑）。

木原　かもしれないですねえ（笑）。全日本でも、馬場さんからリング上で直接教わったり、いろいろ動きを見せたことがありましたよ。

――御大からもそんな指導を受けてたんですか。

木原　馬場さんがボクや西永に「ちょっと動いてみろ」って言うんです。ローリングソバットとかサルトモルタルをやりましたよ。

――そんなルチャ系の動きを（笑）。

木原　西永に人工衛星ヘッドシザースホイップをやられるのが気持ちいいんスよ～。

――京平さんなんかは、まず道場に連れて行かれて延々とスパーリングをやらされたって言ってましたけど。

木原　北原さんとか小橋さんがいるころは、ボクも遊びに行きましたけど、道場では痛い思い出があるんだよね。ボクはムーンサルトプレスもできたんですけど、それで海野君にボディスラムからのムーンサルトプレスやったんですよ。

――何でもやりますね、ホント（笑）。

木原　でも、ヒザから落ちてケガさせたらどうしようって迷いがあったんですよね。その瞬間に失速して顔から海野君の手の上に落ちたんですよ。彼の手が俺の鼻の穴に思いっきり入ったんですけど（笑）。あの日はずっと意識朦朧としてましたね。

――危ないですねえ。話はまったく変わりますけど、いまは音響もやられてるんですよね。

木原　大学時代はバンドもやっていたし、音楽好きだったんでね。選曲とかもそうだけど、普通に曲をかけるのが好きじゃないからSE入れてみたり。一番大変な作業はシリーズ前ですわ。前はSOLLUNAの林にやらせてましたけどね。

――SOLLUNAの林さんというと、ミステリオやトリプルHの衣装をつくったり、AAAの日本興行をプロモートしたりして幅広い活動をされてる方ですよね。

木原　はい。昔、林が全日本に「テーマ曲について教えてください」って電話をかけてきて、普通の社員じゃわからないですよね。ボクはレコード番号までは覚えてないですけど、どこの会社の何ていうアルバムの何曲目に収録されてるかはすべて把握してたんで。サッと答えたら、ボクに手紙を寄こしたんですよ。

――林さんがプロレスの仕事に携わる以前のことですか？

木原　まだ林が高校生のときですよ。その手紙を読んだらすごい詳しいこと書いてあって、逆にボクも「電話してこい」って「レコードどこで手に入れたんや！」って手紙を出して。

――マニア同士の交流が始まったんですね（笑）。

三沢さんたちが離脱することはかなり前から知ってました

再び交わることはないと思われたが全日本とノアだったが、ノア東京ドーム大会に武藤＆ケアが参戦し、全日本の両国大会にはノア勢が派遣される見通しだ。この交流はマット界の起爆剤となるか。写真はノア設立会見のもの。

三沢が離脱後、馬場元子体制となり、現在の武藤敬司に引き継がれた全日本プロレス。馬場さん死去後はまさしく激動の6年間。"王道"のリングには新たな試みが次々となされた。

木原　彼の家は歌舞伎をやってたから、音楽の機械はいろいろ揃ってたんです。それでちょっと編曲させてみたり。あとファイヤーキャットという選手が来たときに、マスクがヘボかったから、林につくらせたりね。パトリオットもそう。

——つまり、ミステリオやトリプルエのいまの衣装があるのは、木原さんがきっかけだったんですか！

木原　ミステリオはボクが紹介したんですよ。ミステリオが当時WARに来たときに、林が「ミステリオに会いたい」と言うから、ボクが海野に電話して会わせたんです。

——で、その当時の全日本は本当に勢いがあって、京平さんの話だと武道館大会を一回やるだけでベンツが買えるぐらいのボーナスが出たって聞いてますけど。

木原　それは上の人たちだけでしょ。というか、俺は自分でボーナスつくってたからね。

——自分でボーナスですか？

木原　元子さんにリング屋さんとかみんな集められてね、「いまはいい時期だけど、あぐらかいてちゃダメよ」ってことで、自分たちでお客さんを探してチケットを売ってたんです。

——売った分の何％かが木原さんのボーナスになるわけですね。

木原　当時はホントに頑張りましたよ。元子さんから「これ以上、買わないでちょうだい！」って言われるぐらい。リングサイド1万円の席100枚以上、5000円の席を200枚以上買ってましたからね。

——営業顔負けの成績だったんですね！

木原　買い切りだから、返すこともできませんし、損こいたときもありましたけどね。それにただチケットを買ってもらうわけにはいかないし、会えば食事をしなきゃいけない。「新しいテレフォンカードが出たね」って言われたら、自分で買ってプレゼントもしてたから。

——裏にはコツコツ地道な営業活動があったわけですか。

木原　ジャイアントサービスの一番のお客さんですわ（笑）。

——そんな古き良き時代を経て、馬場さんが亡くなって、全日本はガラッと一変するわけですよね。

木原　入院することも聞いてなかったですし、馬場さんが亡くなるとはまさか思わなかったですね。馬場さんの最後の試合、コールをしたのはボクなんですよ。

——平成10年12月5日の日本武道館大会ですね。

木原　あのあと馬場さんはハワイに行く予定だったんですけど、ハワイに行く前にカナダに寄って、ビンスと会談するとかでWWF（現WWE）に行くはずだったんですよ。だから馬場さんが生きてたら日本の歴史もちょっと変わったかもしれないですね。

——当時のWWFはWCWに押されっぱなしだったから、馬場さんと組んで何か仕掛けても不思議じゃない状況ではありましたね。

木原　それでボクが成田空港まで送るので、約束の時間に迎えに行ったら元子さんだけしかいないんですよ。「とりあえず新宿に行ってくださる？」「新宿に行ってたら間に合いませんよ」「いや、馬場さんは新宿で入院してるから」と。病院まで行ったら京平さんと仲田さんがいたんです。そのとき馬場さんはハワイだけでも行くっていう話だったんですけど……。次の日に三沢さんと病院に行ったら、馬場さんは「明日からは誰も来んでいいからな。必要なときは呼ぶから来んでいい」と。だから、そのあとは馬場さんはホント限られた人しか会ってないと思うんですけどね。

——だから亡くなられてときも情報は錯綜してたわけですよね。

木原　亡くなったことを初めて聞いたのは、新日本プロレス系の人からの電話だったのかな。

ボクは順応性があるので どうなってもイヤな気はしない

——外部の人間から聞いたんですか。

木原　「おたくの社長、元気？」「元気ですよ」「何か変な噂聞いたんだけど」「いや、俺はそんなん聞いてませんよ」ってやりとりがあって。それが本当だとわかって、慌てて会社に行きましたけど。

——あの日は情報だけが駆けめぐって、しばらく公式な発表がなかったですよね。

木原　情報のほうが先に飛んでましたね。まさかね、亡くなるとは夢にも思わなかったからホントにビックリしました。

——そして三沢さんが社長になって、全日本の風景もだいぶ変わりましたよね。

木原　三沢さんが社長のときも仕事はしやすかったですよ。意外と気楽って言ったら変ですけどね。

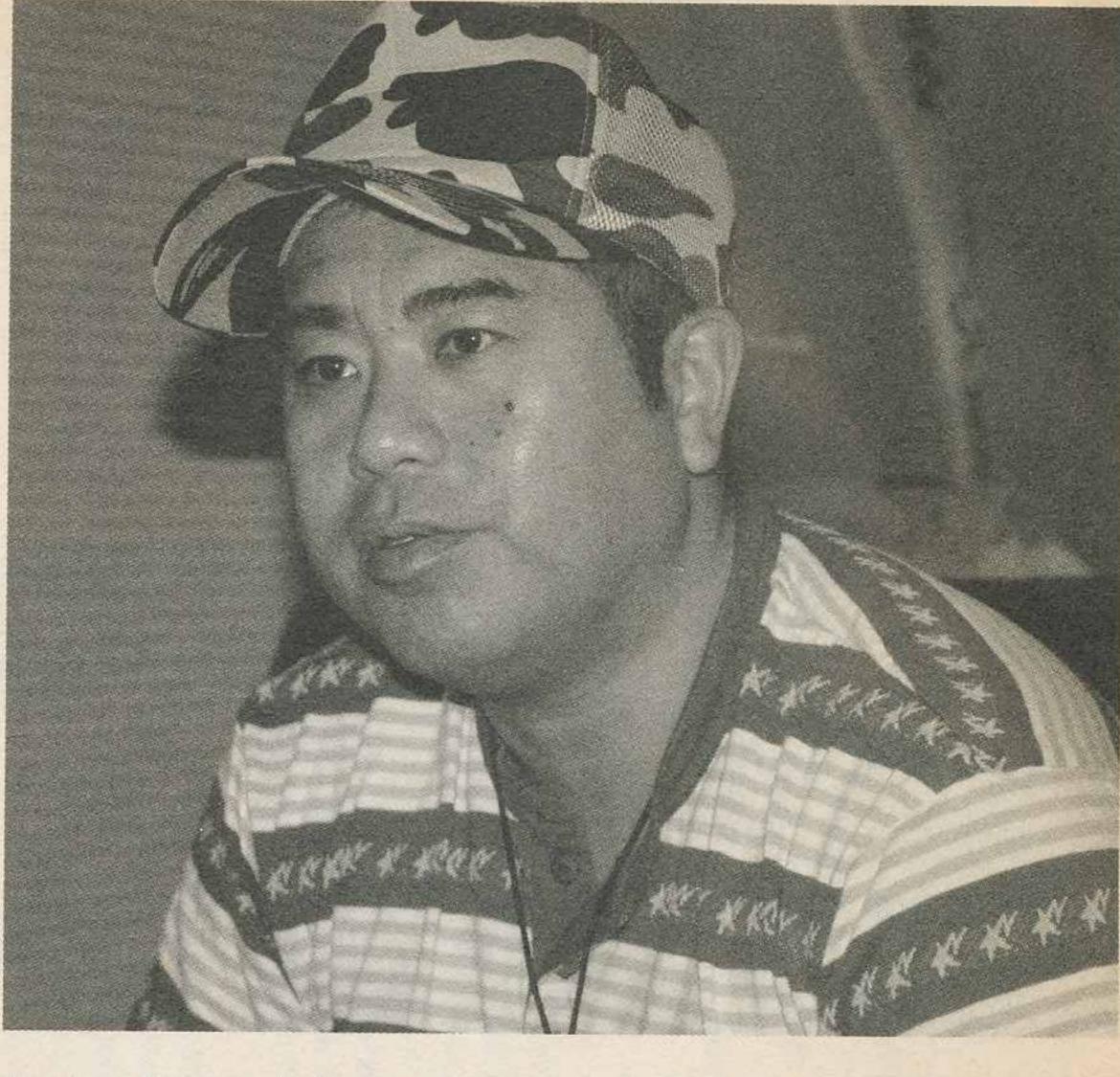
——ノーフィアーも馬場さんが亡くなってからまた一皮剥けて、全体的に垢抜けてきたところで、分裂という緊急事態となったわけですが。

木原　（ノア勢が離脱することは）俺はかなり前から知ってましたけどね。行く・行かないの話もしたこともありましたし、ある選手には「お前と仕事がしたい」って言われましたよ。で、その選手とは一緒にボクシングのジムに通ってたのかな。

——木原さんはボクシングジムにも通ってたんですか（笑）。

木原　かなり練習好きな人で、キックボクシングに行ったり、空手やったりもしてましたよ。で、その人とそういう話をしてて「俺は行かない」「何でだ。仕事ができなくなる」「いや、できなくてもいい」と。ほとんど選手が辞めて、全日本は続かないと思ってたんですけどね。

——それでも残留しようと思ったのはどういう理由があったんですか？

木原　腹括ってたって言ったら変ですけど、個人的に馬場さんに世話になってるし、いまでは元子さんの世話になってる部分もあるんですけど、俺まで行ってしまったら元子さんも立場ないやろって。京平さんも「残る」って言ってましたし

ね。京平さんとも話はしてたんですよ。「お前どうするんだ」「いや、ボクは行くつもりはありません」「でも行かざるをえないよ。お前、仕事したいだろ？」と。残るのは外人だけになると思ってましたから。

——でも、川田選手と渕選手と太陽ケア選手たちが残留しましたね。

木原　川田さんと渕さんが残るのも知らなかったんですよ。選手が残るのなら、興行を打たないけないということになって、ボクは無駄に顔が広かったから、（新崎）人生、奥村（茂雄）、バトラーツ、藤原（喜明）さんに電話して、カードが十分組めるぐらいのメンバーが揃ったんです。

——あのマニアックな人選は、木原さんルートだったんですか！

木原　以前は元子さんに「アンタは他の団体の人と仲良くなって！」ってよく怒られてたんですが、「アンタがやってたことで役に立つこともあったのねえ」って言われましたよ。

——三沢さんたちは離脱表明後にワンシリーズだけ参戦して、全日本とは新聞紙上でも舌戦が繰り広げられてましたけど、会場の雰囲気はどうでした？

木原　会場内でも何とも言い表せない重い雰囲気で、かなり殺伐としてましたよ。ボクは堂々とノアの控室で遊んでましたけどね（笑）。

——ワハハハ！　それ、勘違いされますよ（笑）。

木原　まあ、彼らが悪いことしたとも思わないし、自分が悪いことしたとも思ってなかったですからね。試合が終わってから、食事に行ったりしましたもん。

——いまでもノアには仲良い選手がいらっしゃるわけですよね。

木原　遊びに行ったりしてますよ。いまは友好ムードになってますけど、それこそ当時からね。小橋さんがヒザのケガで入院したときにはハンセンと一緒に見舞いに行きましたし。今年の豆まきにはノアの選手も来てましたけど、なぜか俺もノア側にいたんですよ（笑）。小橋さんとボブ・サップの撮影の仕切りも俺がやってたしね。だからボク的には、今回の交流戦の流れは違和感ないですね。ワンシリーズ会ってないぐらいしか思わないです。

——ノア勢が離脱後当初は裏方も不在になって、かなり大変だったと思いますけど。

木原　リングのトラック運転して、会場つくって、ホテル手配して、ガイジンを迎えに行って、テーマ曲もつくって、ほとんどひとりでやってね。それで興行が終わったら毎日、元子さんにその興行の感想文をレポート用紙に書いて送ってたんです。何人ぐらいお客さんが入って、どの試合が良くて、こんな感じの大会でしたって。そのあとにその日の売り上げチェックして、すべて終わるのは明け方の5～6時ですよ。

——そしてちょっと寝て起きたら、トラックを運転して次の会場に向かうわけですよね（笑）。

木原　もうスーパーマンですよ！

——ワハハハ！　超人宣言ですか（笑）。

木原　あれだけの人数で東京ドームもやりましたからね。でも、思ったよりお客さん入ってたでしょ？

——いまの新日本よりまったく入ってましたよね。

全日本プロレス

木原のオヤジ

『ハッスル』は周りの環境はできているけど……

木原　ピート・ロバーツさんが会場で「今日は入るのか？　いや、入ってほしいな。スタン・ハンセンの引退セレモニーもあるし」って言ってましたけど、あの日は馬場さんの三回忌でしたから。お客が入って良かったですよ。

——そのときは元子さん体制で、いまは武藤さんが社長なんですから、短い期間に目まぐるしく会社の雰囲気は変わったことに戸惑いはありませんでしたか？

木原　ボクは順応性があるのでどうなってもイヤな気はしないですよ。武藤さんとは新日本のときからたまに会ってましたし。全日本と交流するようになってからは食事に誘っていただいたりして、それに武藤さんの新居の土地はボクの知り合いの地主だったんです。

——あの豪邸の土地も木原さんルートでしたか（笑）。

木原　武藤さんが社長になる前かな。「地主さんとか知らねぇかな？」って訊ねられて、それで紹介したんですよ。

——しかし、武藤さんもすごいこと聞いてきますね（笑）。

木原　小島さんも全日本に来る前に（アニマル）浜口さんのパーティで知り合ってましたし、カズ・（ハヤシ）さんとはマスク繋がりですね。獅龍時代に某プロレスショップでバッタリ会ったんですよ。そのまま池袋の夜の街へ二軒はしごしましたけどね。お互い若かったですねえ……（遠い目で）。

——ワハハハ！　ボクから見ると、ノリ的にはいまの全日本の方が木原さんは居心地良さそうな感じがします。

木原　それは周りの環境よりも自分がそれだけキャリアを積んできたってことじゃないですか。ボクは馬場さんのときだって、元子さんのときだって、三沢さんのときだって、それはそれで毎回楽しいですよ。嫌なことがあったって次の日に忘れるタイプですから。

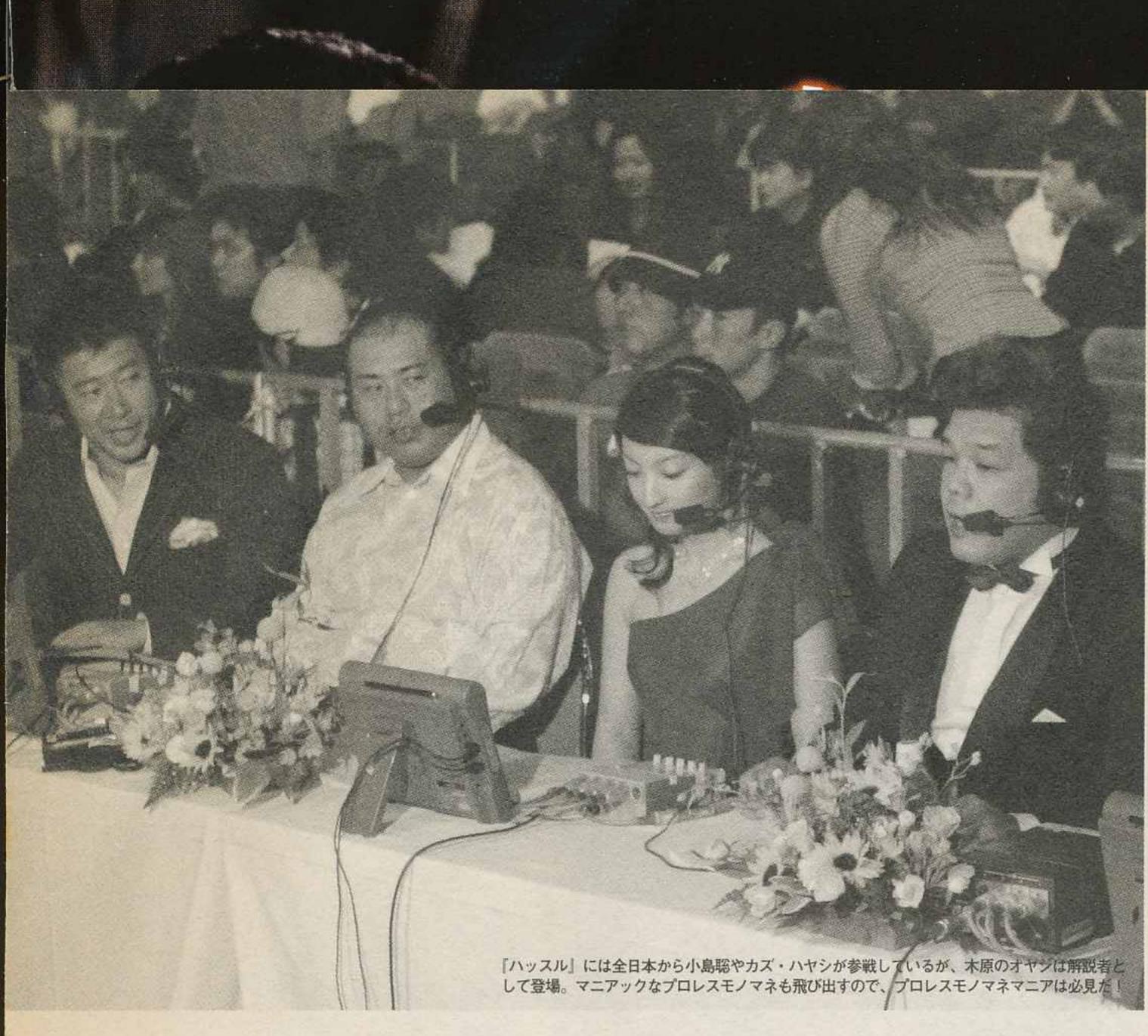
——なるほど（笑）。ところで、いまの全

苦労が多いから、京平さんやボクはハゲになるんですよ！

『ハッスル』には全日本から小島聡やカズ・ハヤシが参戦しているが、木原のオヤジは解説者として登場。マニアックなプロレスモノマネも飛び出すので、プロレスモノマネマニアは必見だ！

日本は『ハッスル』にも関わってますが、木原さんは『ハッスル』の解説者としての顔もありますよね。

木原　あんなチャンスをいただいてすごく感謝してますよ。自分の可能性を引き出してもらってありがたいですね。この先、全日本が『ハッスル』と関わらなくなったとしても、個人的には関わっていきたいですね。

――それは解説者を続けたいってことですか？（笑）。

木原　それもありますけど（笑）。ボクは『ハッスル』は大好きなんですよ。

――WWEなどのエンターテインメント路線の影響を受けつつ、サイドストーリーを重視しながら試合を見せていくやり方はOKなんですか？

木原　ありじゃないですかね。ただそれに負けない試合内容と技術、凄い肉体、センス、そういうものを選手が見せなきゃいけないと思いますね。『ハッスル』は環境ができてるのにその部分が足りてない。素晴らしい試合はしてると思いますよ。でも、まだ万人に受け入れられない部分があると思うんですよ。それにWWEというのは歴史を持った団体が成長を重ねてああいう形をつくったと思うんですけど、『ハッスル』の歴史は1年もない。たとえば新日本なり全日本なりがビルドアップしていくなら受け入れやすいとは思うんですが。

――『ハッスル』は何にもないところからスタートですからね。

木原　だから時間が経つしかないと思いますよ。

――先ほどWWEの話が出ましたけど、全日本とは関係が深かったジョニー・エースはWWEの副社長という重要な地位にいますよね。日本でのWWEの活動や団体の提携とか、ビジネス展開の可能性はあるんですか？

木原　そういう話は、どこの団体ともないみたいですよ。WWE自体が日本の団体と提携までして選手を送り込む気持ちはないみたいです。将来的には考えてる話もあるみたいだけど、WWEはメリット、デメリットを重視して考える団体だから。たとえば誰か選手を送った場合に、日本の団体は自分たちに何をしてくれるのか？　ってことじゃないですか。そこを考えたらで難しいと思いますよ。

――武藤さん、そして髙田総統のWWE登場は当分無理なわけですね（笑）。

木原　今度のWWE武道館大会で、ちょっと別の仕事でバックステージに行かなきゃいけないんですよ。表には出ない仕事なんですけど（笑）。

――何か企んでるわけですか？　期待してますよ！

木原　いや、いわゆる外人係ですよ。

――あ、そんなことまでやりますか（笑）。

木原　まぁ、勝って知ったる武道館ではありますからね。いままで全日本で頑張った経験があれば、どこでも通用すると思いますよ。裏方も苦労は多いから、京平さんやボクはハゲになったんです（笑）。

――プレッシャーのせいでしたか（笑）。

木原　京平さんの出っ歯は生まれつきだけどね（笑）。

――なるほど（笑）。でも、ノアに行った裏方さんは、みんな頭の方は大丈夫じゃないですか？

木原　いや、西永も前髪上げたら来てるかもしれないよ！

【04年6月14日／全日本プロレス事務所にて収録】

全日本プロレスが18年ぶりに両国進出！

7月18日の『2004サマーアクション・シリーズ』最終戦は、全日本プロレスにとって18年ぶりになる両国国技館大会。大会名となっている『サマー・バンケット』とは〝夏の宴〟を意味する。

注目は、噂されているNOAH勢の王道マット参戦。7月10日のNOAH東京ドーム大会に、全日本社長・武藤敬司が参戦することをきっかけに対立の壁が崩壊した。NOAHドーム大会がどういった結果になるかは分からないが、禁断の王道マット参戦に前向きな姿勢の三沢社長。三沢vs武藤という夢の対決の続きは、全日本プロレス両国大会という宴の場に移る可能性がでてきた。果たして、全日の会場に4年ぶりの〝スパルタンX〟が流れる歴史的瞬間は訪れるのか!?

記念すべき全日本・両国凱旋のメインは三冠ヘビー級選手権。王者・川田利明が大森隆男を迎え撃つ。過去の対戦で川田は大森に対してシングル無敗。ただ一度だけ奪われたピンフォールは、両眼ブローアウト骨折からの復帰戦なったタッグマッチのみである。会見で川田は「大森にはシングルの実績もないし、三冠挑戦には早い」と大森を一蹴。あくまで大森を役不足とする川田は『チャンカン』準決勝での大森vs武藤敬司の一戦についても「あれだけ攻め込んでも、最後にあっさり丸め込まれるようなところがある」とダメ出し。悪のりに拍車の掛かる川田は『週刊ゴング』のインタビューでも「負けたらパンツを豹柄に戻せ」とコキ下ろした。

一方、言われ放題の大森は「闘ってみれば分かる。俺の斧爆弾でのたうち回らしてやるよ」と怪気炎を上げ「全日本の状況が厳しいのは川田がチャンピオンだからだろ」と噛みつき返した。

6度目の王座防衛を目指す川田と、シングル初勝利と三冠王座を狙う大森。夏の宴の主役となるのは一体どっちだ!?

川田利明興行

『全日本プロレス〜俺だけの王道〜』

日時
2004年7月22日（木）試合開始19:00

会場
東京・後楽園ホール

チケット
特別席 7000円 ／ A指定席 5000円
B指定席 4000円／小中高生指定席 2000円
一般立見 2500円（当日のみ）

問い合わせ
全日本プロレス 03-3288-0610

HP
http://www.oudou.co.jp/

サマーアクション2004シリーズ最終戦

『バトル・バンケット』

日時
2004年7月18日（日）試合開始17:00（16:00開場）

会場
東京・両国国技館

チケット
特別席 10000円 ／ A指定席 7000円 ／ B指定席 5000円
2階A指定席 6000円 ／ 2階B指定席 4000円

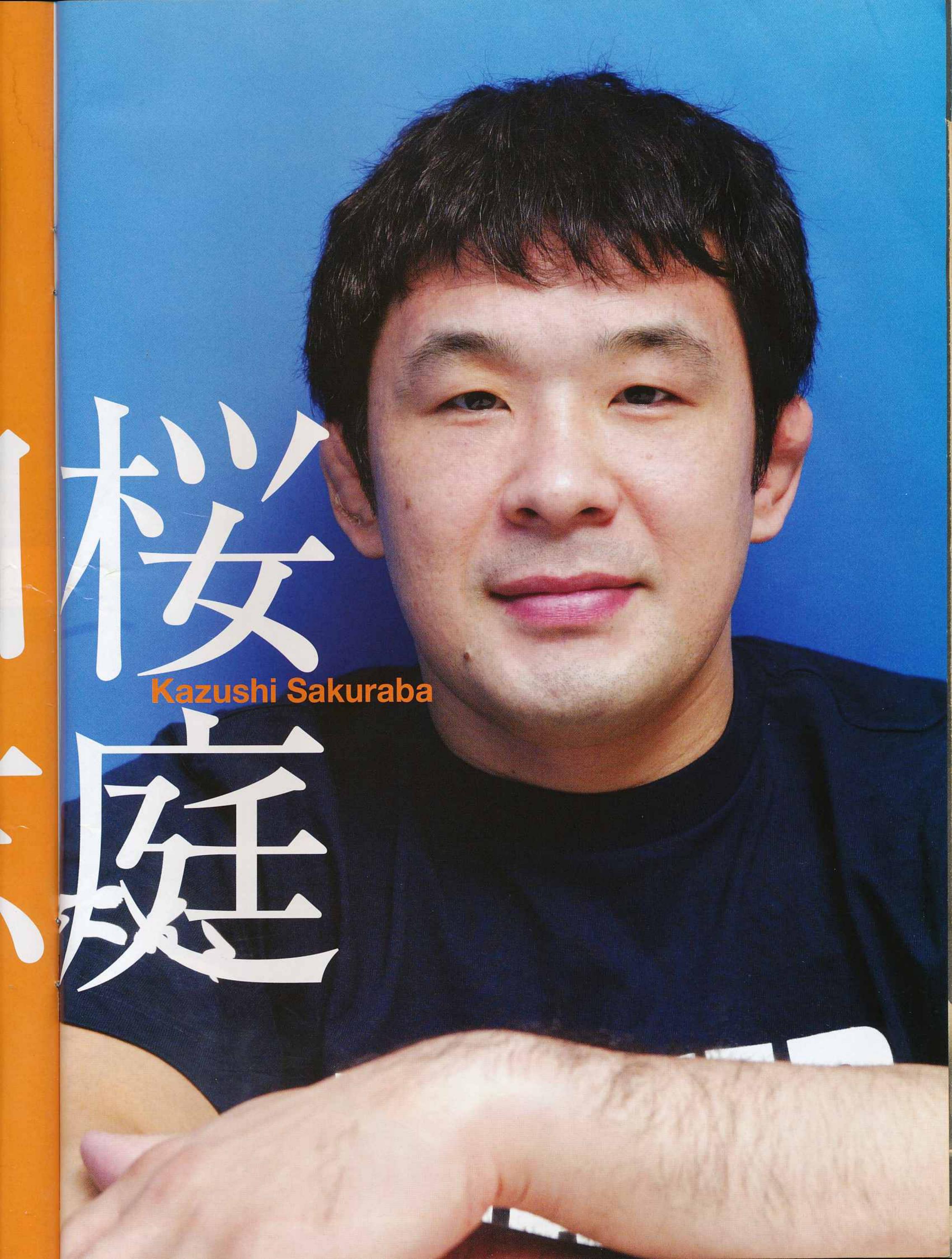
決定対戦カード
【三冠ヘビー級選手権】
〔王者〕川田利明 vs 大森隆男〔挑戦者〕
武藤敬司 vs X
小島聡 vs X
天龍源一郎 & 渕正信 vs 嵐 & 荒谷望誉
アニマル・ウォリアー & リック・モートン & ロバート・ギブソン vs TAKAみちのく & ジャマール & ブキャナン

大物X参戦決定！ 続報を待て!!

身を削ってまで闘う姿を見守り続けるしかない。

桜庭
Kazushi Sakuraba

和志

果てしなくどこまでも続く戦略!! それでもサクはマイペースだ！（ニコニコ）

桜庭　今日は朝から幼稚園に行ってきたんですよ。

——は？　日曜日なのにどうして？

桜庭　"ファミリーデー"っていう幼稚園の催しものがあったんです。今日は真ん中の子のだったけど、先週の土曜日は、いちばん上の子のファミリーデー。

——先週の土曜っていえば、試合の前の日じゃないですか！

桜庭　はい。試合の前日にジャガイモ掘ってました（ニコニコ）。

——試合前日にジャガイモ掘り。「掘れましたかーーっ!?」（笑）。

桜庭　もう、ウチにジャガイモがい～っぱいありますよ！　欲しいですか？

——遠慮しときます（笑）。その"ファミリーデー"は、文字通りファミリーデー？

桜庭　いや、父親だけですね。父の日が近かったし。

——周りのお父さんから「勝ってよかったね、サクパパ!!」とか言われなかった？

桜庭　幼稚園の先生には言われましたよ。他のお父さんからは別に……。

——「判定勝ちじゃダメだよ、桜庭クンのお父さん！」なんて言うお父さんはいないと（笑）。

桜庭　いない（笑）。園長先生に「ケガは大丈夫ですか？」って言われたぐらいで。

——ヒザは大丈夫ですか？

桜庭　もう大丈夫です（ニコニコ）。

——ホントかなぁ。榊原代表は大会終了後、桜庭さんが「試合前から靭帯を痛めていた」と言ってましたね。ニーノ戦には両ヒザをテーピングで固めて臨みましたけど、猪木—アリ状態で下からヒザを蹴られてガクンと体勢を崩した場面もあった。あの蹴りでさらに痛めたわけですか？

桜庭　効いたのはあのキックだけですね。あと、痛いのを誤魔化すためにバンバン蹴りまくったら、ますます痛くなっちゃった。

——なぜそんな自虐的なことする！（笑）。

桜庭　相手に「効いてる」って思われるのがイヤなんですよ。

——会場のお客はわかなかったかもしれないけど、テレビ中継では1ラウンド終了後にリポーターが「どうやら膝をケガした模様です」みたいなことを伝えてましたね。

桜庭　なんでリポーターの人が知ってるんですかね？　インターバルのときに、ボクは山本（宣久）さんにしか言ってないんですよ。「山本さん、ヒザやっちゃいましたよ。どうしよう？」って。

——じゃあヤマヨシが言ったんじゃないの？（笑）。

桜庭　山本さんは誰にも言ってないらしいですよ。「テレビ観たらリポーターがそうしゃべってたけど、誰が言ったの？」って不思議がってましたよ。……終わったことだし、まぁいいですけどね。

——終わったことといえば、桜庭さんの試合が始まる前に、入場用のゴンドラが動かなかったんですよね。大晦日のときのように、直るのを待ってる間に身体が冷えたりモチベーションが下がったりしなかった？

桜庭　いや、パジャマを着てたから、汗ダクダクでしたよ！　早く脱ぎたくてしょうがなかったです。

——冷えるどころか暑すぎた（笑）。前回のニーノ戦は"夢の中の出来事"ということで、"夢から覚めた！"とばかりに今回はパジャマ姿での入場でしたね。あれ、最初は作業服に見えましたよ（笑）。

桜庭　マジで!?　いちばんパジャマっぽいの選んで、枕も持っていたのに……失敗しましたね……。

——いや、その枕がまたセメント袋か何かに見えたから、"あれ、作業服？"ってボクには見えただけです（笑）。でも、ビジョンで「起きろ、桜庭！」って流れたから、すぐに意味はわかりましたけどね。CGも見応えあったし、地上波的にも一発目に流れた桜庭さんの試合は20%近く一気に行ってますから、成功ですよ。

桜庭　でも、あの大会でボクの試合だけなんですよね、判定決着は。ニーノ、強くなってましたよ。

——ニーノがダッコちゃんスタイルで引き込みにきたとき、前の試合だと桜庭さんは受け留めてましたけど、今回はそのままグラウンドの展開に流れましたよね。あれ、ヒザが悪かったから？

桜庭　いや、今回のニーノは重かったですね。体重を増やしてきたからじゃないですか。それと、今回はグラウンドでゴチャゴチャやってみようと思って。

——でも、ニーノはグラウンドでもあまり仕掛けてこなかったですよね。寝技の中で

聞き手／山口日昇
構成／ジャン斉藤
撮影／乾晋也
試合写真／平工幸雄
designed by hisa（Two Three）

ニーノは弱くないんだけど強くない。強いんだけど弱くない。

のカウンターを狙っていたというか。

桜庭　そう。ボクの動きを待ってるんですよね。それには付き合いたくなかったんですよ。結局、三角か十字狙いで同じ展開にしかならないし、目の前に罠があるのに、そこに突っ込んでいく馬鹿はいないじゃないですか。

――スタンドでは？　ニーノはシュートボクセ入りしてから、同じチームの（ヴァンダレイ・）シウバらと打撃の練習をかなり積んだそうですけど。

桜庭　顔に何発か当たりましたけど、まぁ大丈夫でしたね。前回闘ったときは、（ニーノが）打撃にビビって後ろに下がってばかりいたんですけど、今回は前に出てきたので、やっぱり打撃に慣れたのかなぁと。

――レベルアップしてた？

桜庭　でも、手でジャブを捕まえることができましたもん。

――ガハハハハ！　桜庭さん、手四つの体勢に行こうとしてたもんね。

桜庭　捕まえたまま殴ろうと思ってたんです（ニコニコ）。

――試合後のコメントによると、殴りにいったのは「ムカついた」からなんですよね。

桜庭　途中でホンット、ムカつきましたね！　猪木―アリ状態で上から蹴ってたら、ニーノは「来い、来い！」ってアピールするんですよ。

――寝技をやろうじゃないか、と。

桜庭　で、寝技に入ろうとすると、アイツ、下から蹴ってくるんですよ！

――「どっちなんだよ？」って（笑）。

桜庭　頭にきて「コノヤロウ！　行ってやるから蹴るなよ！」って日本語で怒鳴ったんですけどね。通じませんでした（笑）。

――試合後のコメントでは「判定勝ちは勝ちじゃない」って言ってましたが、もう1回やって鬱憤を晴らしたい？

桜庭　いや、あれは（マスコミに）聞かれたから一応そう言いましたけど、あの内容なら「どう見ても俺の勝ちじゃん！」って思いましたよ。スパーンと勝ちたいのは本心ですけどね。

――リップサービスでしたか。

桜庭　ニーノは弱くないんだけど強くない。強いんだけど弱くない。難しい選手でしたね。極めて勝ったらリングでハッスルするつもりだったんですけどね～。「今日は久々に勝ったんで、一人でいきます！　小川さん、お先に失礼します！　ハッスル、ハッスル!!」って（腰を振りながら）。

――桜庭さんが第1試合からハッスルしたら、オーちゃんは「何で先にやんだよ！」って怒って負けてたかもしれない（笑）。

桜庭　いやいや、だから「小川さん、お先に失礼します！」って断りを入れますよ！

――でも、桜庭さんはハッスルしてたと思いますけどね。ケガしてる脚で蹴って、あげくの果てにはフットスタンプまで披露してるんだから。そもそもヒザがあんな状態なら、普通は試合に出なくてもいいわけだから。

桜庭　前にも言ったことありますけど、ケガをしてるから出ないとかはしたくないんですよ。それにヒザが悪いのは昔からだから、いつものことだと思って向き合わないと。

――手術する気はないんですか？

桜庭　ないですね。30歳手前だったら考えますけど。走り込みして筋肉つければ大丈夫です。そして陸上選手に転向します！

――目指せ、4年後のオリンピック！……って、桜庭さんはそうやって軽く見せようとしてますけど、みんなホントに心配してるんですよ、桜庭さんの今後を。

桜庭　いや、歳喰ったらケガはしょうがないですよ。若いときのようにすぐに回復しない。でも、試合をやりたい意欲はあるんですよ。

――スタミナ的な問題はない？

桜庭　スタミナは全然大丈夫です。いくら酒飲んでも。

――禁欲的な生活を送って、身体のメンテナンスに重点を置く考えはないですか？　アスリートとして生まれ変わるために。

桜庭　まったくないですね！　ボクはアスリートじゃないですもん!!　だってアスリートって、朝起きてから夜寝るまで、すべてに気を遣ってるじゃないですか。

――それはそうでしょう（笑）。食生活もきちんと管理しますよね。

桜庭　ボクなんか、今日の昼飯はラーメンと麻婆丼ですよ！

――ガハハ！　アスリートじゃないとすると、桜庭さんはいったい何なんですか？

桜庭　……プロ!!（ひと際、大きな声で）。

――桜庭和志、改めてプロ宣言！　いままでさんざん聞いたような気がしますけど、具体的なプロの理想像ってあります？

桜庭　試合前にグタグダ昼寝してて、誰かに「おい、出番だぞ！」って起こされて、「う～ん……」って言いながら試合に行くようなことがやりたいですね（ニコニコ）。

Kazushi Sakuraba

○桜庭和志

［3-0 判定］

×ニーノ・“エルビス”シェンブリ

バッティングによる前回の敗戦を「夢」と言い切る桜庭は、夢から目覚めたのかパジャマ姿に枕を抱えて入場――。シュートボクセ入りしてレベルアップしたニーノの打撃に、ヒヤリするシーンも見られたが、終始主導権を握っていた桜庭が判定勝ち。負傷を押してのスライディング顔面キック、フッドスタンプも披露をした。サク、お前はやっぱり男だ！

ケガをしてるから出ないとかはしたくないんですよ。

―ガハハハ！　どんなプロだ！
桜庭　そういうの、やりてぇなぁ……（つぶやくように）。
―いや、実はそれができるリングがあるんですよ、桜庭さん！
桜庭　え？　ホントですか！
―髙田本部長の古くからの友人、髙田総統が席巻している『ハッスル』というリングなんですけど。
桜庭　（一瞬固まって）い、いや。それは恥ずかしい……。『ＰＲＩＤＥ』でならできますけど……。
―あくまでも『ＰＲＩＤＥ』でやりたいと（笑）。ファンや関係者からは、桜庭さんは「シッカリ休んだ方がいい」という声が多い反面、「もう少しコンスタントに試合をやった方がいい」という声もあるんですけど、自分的にはどうなんですか？
桜庭　半年に一回のペースがいいですね。
―ということは、次回は大晦日出陣!?
桜庭　それなら全然ＯＫですよ。
―でも、ニーノ戦後にリング上で「８月にも試合したいと思います」って割と力強く言ってたじゃないですか？
桜庭　え？………言ったっけなぁ。
―言いましたよ、４３７１１人の大観衆の前で！（笑）。ただ、コメントブースでは「お盆でお墓参りに行くから出ない」みたいなことを言ってましたけどね。
桜庭　それが本音ですね！　だって誰とやるんですか？　相手がいないですよ。
―そこなんですよね。これから桜庭さんがどんな目的を持ってリングに上がるのか、そこの部分をおぼろげながらでもファンは一番知りたいんじゃないですか。
桜庭　目的？　昔から目的なんかないですよ。
―いや、でもたとえば、ホイラーやホイスと闘ってるときなんかは、対グレイシーという対立概念がありましたよね。
桜庭　……た、対立ぅ？（戸惑いながら）う～ん。誰と対立すればいいですか？
―テレビ的には「今年のテーマはリベンジ」ってなってましたから、ノゲイラ弟（アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ）、そしてシウバに向かっていくんですかね？
桜庭　シウバとは段階を踏んでいかないと面白くないし、ホジェリオは1回やって噛み合わなかったからなぁ……ああ～、やんなきゃよかった。
―〝やらなきゃよかった〟って、『ＰＲＩＤＥ・男祭り』でのホジェリオは、リストアップされた選手の中から桜庭さんが指名したんじゃないですか！
桜庭　だ、だって、他の候補は（エル・）ソラールとかですよ！　ホジェリオとやるしかなかったですもん！
―ソラール戦は見たかったけどなぁ（笑）。『ＰＲＩＤＥ・男祭り』にヒョードルやノゲイラ兄が出場してメインを務める選手が他にいたら、ソラール戦もアリだったとは思いますけどね。
桜庭　それならよかったですけどね。あの状況だったら……ボクにだって意地はあるんですから！
―ホントにイベントに対する責任感が強いなぁ。じゃあ、統括副部長としてプロデュースするとしたら、いまの桜庭和志に誰をぶつけますか？

Kazushi Sakuraba

桜庭　スカーンッと勝てる弱いヤツ!!
―ズコッ！　え～っ、いまの『ＰＲＩＤＥ』のリングはレベルが上がってますから、そうそう弱い選手はいません。
桜庭　新顔を呼べばいいじゃないですか。
―アンソニー・マシアスとか、シャノン〝ザ・キャノン〟リッチ級の選手を呼べ、と（笑）。日本人とはやっぱりやりたくないんですか？
桜庭　日本人とはやりたくないですね。選手だっていないですし。
―いろいろいますよ。
桜庭　〝いろいろ〟って………1人しかいないじゃないですか？
―ガハハハ！　いや、たとえば、桜庭さんが階級を落とせば、マッハ（桜井〝マッハ〟速人）とか美濃輪（育久）選手とか、82～83キロだったらいるじゃないですか。
桜庭　階級を下げることは全然頭にないですよ。
―そうすると、闘って面白い日本人といえば1人しかいないですねぇ（笑）。
桜庭　ほら！
―外人だったら、大河ドラマとしてはヒクソン戦はやっぱり見たいなぁ。
桜庭　ヒクソンはＫ―１に出るんじゃないですか？
―どうなんでしょう？　一説では3～5億円のギャラじゃないと出ないとかの噂もありますけどね。
桜庭　ご、5億円!?　どう計算すればそんな数字が出るんですか（絶句）。
―計算してないんじゃないですか（笑）。いまＫ―１の話が出たから聞きますけど、Ｋ―１のＭＭＡイベント『ＲＯＭＡＮＥＸ』は見ました？
桜庭　テレビでちょっと見ました。
―どうでしたか？
桜庭　『ＰＲＩＤＥ』とは違いますね。
―同じ総合格闘技にしては何かが違うと？
桜庭　……レベルが違う。
―出てる選手のレベル？　それとも試合内容ですか？
桜庭　ボブ・サップ……。
―は？　サップがどうしたんですか？
桜庭　（いきなり女子高生風で）っていうかぁ～、藤田選手が強いんですけっどぉ～（笑）。
―いきなり女子高生化！（笑）。昨日のＫ―１は観ました？　レイ・セフォー戦。
桜庭　見てないです。
―残念なことにサップがまた負けてしまったんですよ。
桜庭　ああ……。
―〝ああ〟って。ホントに他所には関心がないですよね（笑）。
桜庭　いや、（セフォーのパンチに対して）サップは頭を抱えてたんですよね。打撃の練習をやってるんですかね？
―〝野獣〟に戻るためにアメリカの1ヶ月の特訓を経たそうですよ。いまのサップは〝Ｋ―１のために闘う〟というところに

ムリヤリ持っていかれてる感じがありますけどね。

桜庭　人のために闘ってしまったら、ダメだと思いますけどね。格闘技のプロとして、人のために闘ってしまったら勝てないですよ。やっぱり自分のために闘わないと。ボクは自分が勝ちたいからやってるんです。自分が頑張れば周りは自然と付いてくるもんなんですよ。

——分母はあくまでも「桜庭和志」で、「桜庭和志分の『PRIDE』」という気持ちで闘ってるんだけど、自然に分母が「PRIDE」になってるんですよね。桜庭さんが頑張れば頑張るほど「『PRIDE』分の桜庭和志」になってるというか、そこに繋がってる。それが偽善的な部分じゃなく、『PRIDE』を背負うっていうことだと思いますよ。ある意味〃職業病〃ですよね。出場21回は最多記録ですし、それはヒザも悪くなりますよ。（山口の携帯が鳴る）あ、すいません、切るの忘れてました。

桜庭　（やたらと嬉しそうに）ボ、ボクの着メロは歌うヤツですよ。『ゲームセンターあらし』。歌詞の中で〃炎のコマ〃が出てくるんです。（携帯を取り出して、着メロを鳴らし始める）……ほらほら！　いま〃炎のコマ〃って言った！

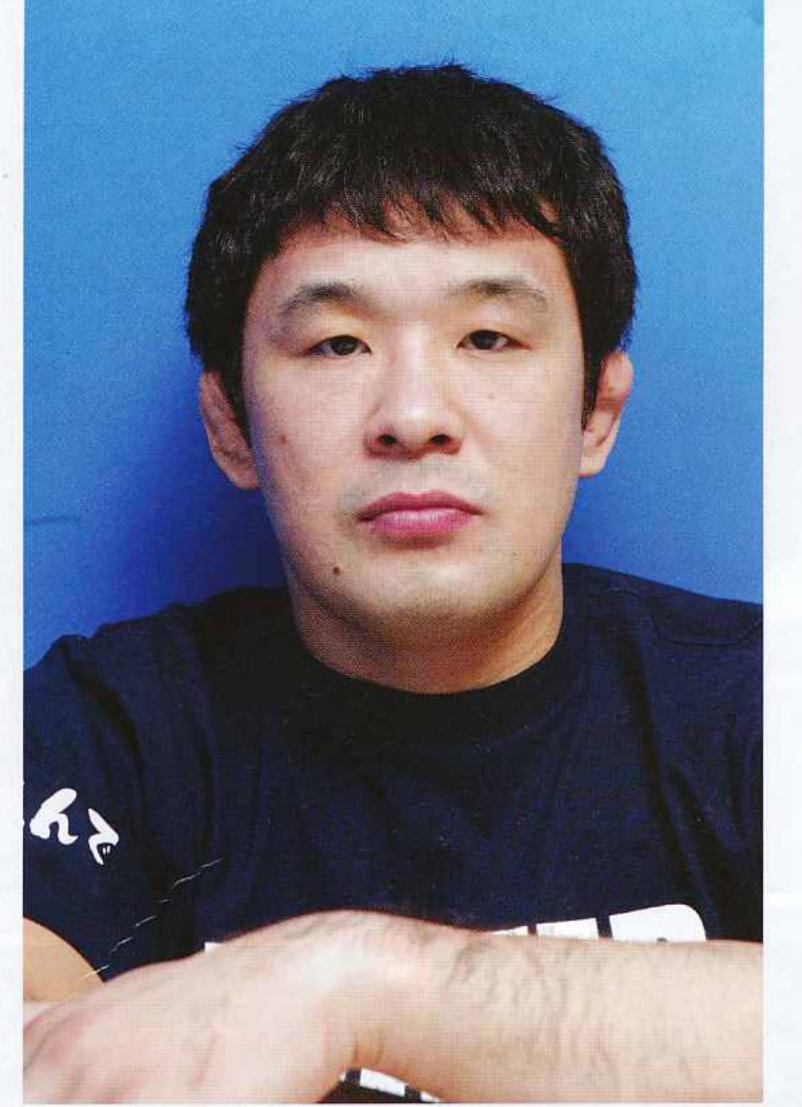
——それはよかった（笑）。

桜庭　（突然）あぁ〜!!　そういえば、ニーノ戦で〃炎のコマ〃を出すつもりだったんですよ！　できなかった……。

——そういえば、そろそろ桜庭さんの〃新・必殺技〃が見たいですね！

桜庭　〃ハンゴリアンチョップ〃を開発したんですけど、これも忘れてました。

——いや、つなぎ技じゃなくて極めの必殺技。ノゲイラがスピニング・チョークで2回連続で極めると、昔のプロレスじゃないけど「新必殺技だ!!」って心が騒ぐじゃないですか。あのスピニング・チョークは桜庭さんなら脱出できます？

桜庭　あのゴロゴロ回るヤツですか？　ひっくり返る前に無理して踏ん張るから締まるんじゃないですか？　ノゲイラは手が長いから、スッポリ入っちゃったらキツイと思いますけど、踏ん張ってるから抜けれないんだと思いますよ。足技と一緒で掛けられてもゴロゴロすると外れるじゃないんですか。

——今回のノゲイラもすごかったですけど、他のグランプリの試合は観ました？　ハリトーノフなんて拷問する冷血刑事みたいで背筋が凍りましたよ。「吐け！　吐け！　オマエが殺ったと言えー!?」って感じで殴って。シュルトは犯人でもないのに、最後は「じ、自分が殺しました！」ってつい言わされちゃった感じでしたからね（笑）。

桜庭　でも、ハリトーノフは、かなりやりにくそうでしたよね。ルールミーティングのときにシュルトと一緒にエレベーターに乗ったんですけど、シュルトの首はかなり太くなってたんで。小川さんも相手がデカくてやりにくそうでしたね。

——オーちゃんはシルバの腕を3、4回取りにいったんですけど、「濡れた白菜を捕まえてるみたい」でパウンドに切り替えたそうですよ。

桜庭　関節極めるにしても、普通の人の距離と支点が違いますからね。ボクなんかが押さえ込みにいったら、あのデカさと力じゃすぐ払いのけられると思いますよ。

——そして、ヒョードルは存在自体が反則といってもいい強さを見せましたね。桜庭さんからすると、優勝本命はやっぱりヒョードル？

桜庭　もう優勝はヒョードルしかいないでしょ！　先の見えたグランプリですよね。ハリトーノフが勝てるかどうか……。

——なるほどなぁ。ところで髙田本部長のブラジル視察の際に、髙田道場の新星・高橋（渉）選手が異国の地で快勝しました。

桜庭　若いから、これからなんじゃないですかね。その経験が自分のものになればいいと思います。

——高橋選手はそのままブラジルに滞在して、シュートボクセに3ヶ月間留学するそうですね。

桜庭　ああ。

——また〃ああ〃だ！　ホント、他人には興味がないですよね。

桜庭　いや、野郎（高橋）がもしニーノのセコンドについてたらボコボコしてやろうと思ってましたよ。「そいつを上げろ！　そいつと試合だ！」って（笑）。

——ガハハハ！　シュートボクセへの留学は桜庭さん的にはOK？

桜庭　全然OKですよ。

——じゃあ桜庭さんがシュートボクセに入門するのはどうですか？　で、シウバが髙田道場に入門する。交換入門（笑）。

桜庭　ヤですよ！　ブラジルまで40時間もかかるんですよ。面倒くさい。

——わかってましたけどね、そう言うのは。

桜庭　沖縄ならいいですよ。

——（無視して）というわけで、次の試合の照準は？（笑）。

桜庭　まだわかりません。8月、10月、12月のどれかですね。

——ヒザのことを考えると12月ですよね。

桜庭　ヒザのことはあんまり言いたくない。

——もうさんざん喋ってますよ（笑）。

桜庭　いや、ヒザの件は原稿から削りますから。もしくは、ヒザが悪いことにしておいてください。ヒジはもう大丈夫です（ニコニコ）。

——どこまでもマイペースな桜庭さんでした（笑）。次は大ハッスルと行きましょう！

【04年6月27日／髙田道場にて収録】

もう1人の柔道王、K-1王者に完勝!!

吉田の呼び掛けにガッツポーズで応えるGackt。吉田との関係はよくわからないが、Gacktの武勇伝や、様々なエピソードは、あの吉田豪も注目。ゼヒ一度、『紙プロ』に登場願いたいものだ！

2004年、マット界流行語大賞を
ゲッツか!?
「Gackt一ッ！やったぞーッ!! ありがとう!!!」

この試合から新開発の柔道衣で登場した吉田は開始早々、片足タックルからテイクダウンを狙うも、逆にハントが上を取り返す。しかし次の瞬間、ハントが振り下ろした腕を十字にとらえる

「腕十字で秒殺!?」と思われたハントだったが、腕を取られたまま吉田の横に回ると、自身のヒザを顔面に叩きつけて逃れようと必死。これを嫌がった吉田は今度はハントの足関狙いに移行

足関狙いから脱出したハントに再度のタックルを仕掛け、再びグラウンドへ引きずり込んだ吉田。下から三角絞めを繰り出すも、ハントはガラ空きの吉田の顔面＆左肩にヒザを押し付け抵抗!

左腕を取られながらも空いた右腕で吉田の顔面にパンチを振り下ろすハント。それに耐えながらジワジワと腕を絞り上げ、最後は後方へ倒れ込むように十字を極めるとハントはたまらずタップ

「Ｇａｃｋｔーッ！　やったぞーーッ！　ありがとーーーッ！」

昨年大晦日以来の試合でＫ—１王者のハントを下し、痛めた左肩を押さえながら絶叫した吉田。ネプチューンの名倉に続き、リング上の吉田から呼び掛けられたのは髙田総統ばりに貴賓室から姿を見せたＧａｃｋｔだった。

フジテレビで同日中継も行われた今回の６・20『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』。番宣では「柔道王揃い踏み」と盛んに流され、吉田の試合直前には、シルバに勝った〝ハッスル柔道王〟小川の「ハッスルポーズ」で会場は一体となって大盛り上がり。しかし、休憩をはさんで行われた、もう１人の柔道王・吉田のマイクアピールには一転して唖然とする観客が続出。そんなことはお構いなしの吉田は満面の笑顔を浮かべ、しきりにＧａｃｋｔへ手を振る。それに応え、最後はガッツポーズを決めたＧａｃｋｔ。まさに、イッツア・吉田ワールドが繰り広げられたのだった。

「実は試合前にＧａｃｋｔのライブを日本武道館に観に行きまして、非常に力をもらいました。これからも刺激し合って、いい試合をしていきたい」と、ハント戦勝利の陰にはＧａｃｋｔの存在があったことを告白した吉田。「ボクはあんまり友達いないんですけど」という吉田が、ネプチューン名倉、Ｇａｃｋｔに続き、次回大会で紹介してくれるお友達は誰なのか!?　これからも吉田の一挙手一投足から目が離せない!!

一方、結果的には５分ちょっとで敗れてしまったハントだが、総合での可能性は大いに見せつけたと言えるだろう。三角絞めや腕十字で極められかけても、あいてる手足を使い必死に逃れようともがいていたハント。Ｋ—１王者に輝いた打撃テクに加えグラウンドでの対処法も身に付ければ『ＰＲＩＤＥ』のリングでも脅威の存在になるのは間違いない！　吉田ーッ！　ハントーッ！　次も期待してるぞーッ！　ゲッツ!!

7·19 名古屋レインボーホール
PRIDE武士道
其の四
ROGERIO
VS KAZU
元気があれば何でもできて一寸先はハプニング!!
韓国
6·26&27
ソウル·オリンピック公園
第一体育館
総合格闘技
その無闇に熱いパワーを見よ!
GRADIATOR FIGHTING CHAMPIONSHIP

[韓国格闘技潜入レポート]

This is Korean Style!!

日本格闘技界が忘れてしまったデタラメ、モーレツな熱きパワーがここにはある

行った、見た、驚いた！　6月26〜27日に韓国・ソウルで開催された『Gladiator Fighting Championship 2004』。一見、PRIDEなど日本のイベントを見本にしているようなこの大会だが、その中では濃厚なコリアン・イズムがグツグツと煮えたぎっていたのだった。あらゆる面で今後要注目となる、韓国格闘技界の現状をしかと確認せよ！

文／橋本宗洋　撮影／黒田史夫　designed by matsu（Two Three）

〈大韓民国を旅することは戦いである。しかもその戦いは、勝敗なき勝負である。だが、引き分けはない。こちら側も、何度も持っている尺度をこわされる〉

名著『豪定本ザ・ディープ・コリア』の冒頭に掲げられたこの一節、いま最も身に沁みているのは『グラジエーター』の日本側スタッフだろう。それほど、開催までの道のりは遠く、険しかった。

発端は、昨年秋に開催が予定されていた大会『KO King』だった。日本のCMA誠ジム、DEEPも協力し、世界各国から選手が集結。「あまりに大規模すぎて、韓国内では誰も信じてくれない」という理由から日本で先に記者会見を開いた規格外のこのイベントは、観戦ツアーの募集まで行なわれていたにもかかわらず、開催まで1カ月を切った土壇場で〝延期〟となってしまう。

理由は〝韓国内において総合格闘技が「ただのケンカ」だという意識があり、また、なぜケンカをテレビ放映するのかなどという批判の声があがっていること〟と発表された。そもそも韓国では衛星、ケーブルテレビで『PRIDE』、パンクラスなどが放送され、総合格闘技ブームが盛り上がっていることから『KO King』も企画されたはずなんだが、まあそれはいい。その宙に浮いた大会を引き継いだのが、映像やイベントなどを手がけてきた実業家キム・インテ氏だった。

日本側のスタッフはそのままに、名前を『グラジエーター・ファイティング・チャンピオンシップ』と改めて大会運営はリスタートした。キム氏が代表理事を務める主催会社

の名は『KRSエンターテインメント』。前身が『KO King』略してKOKで、次がKRS……しかしまったく他意はない。いや、それをいうなら韓国では『K―ワン』というイベントが立ち上げられたことすらある。ワンは〝1〟ではなく〝王〟だったが。

大会は15000人収容のオリンピック公園第一体育館で2日連続開催という大規模なもの。その理由を「韓国では最初に大きいことをやらないとインパクトを与えられないんですよ」とキム代表はいう。ただし『KO King』の前例もあって、韓国での記者会見では「開催の可能性は？」という質問も飛んだようだ。

実際、中止の噂は根強かった。「すでに日本側にギャラは支払われているから大丈夫」という声がある一方、「会場のHPを見てみたら、イベント予定に『グラジエーター』が入ってなかった」なんて情報も。その真偽はともかく、開催までに様々な困難が付きまとったのは間違いない。キム代表曰く「大変だったこと？　全部です」。

そう、何もかもが大変だった。大会は運営全体を韓国側、マッチメイクと審判団の派遣を日本側が担当したのだが、海を隔てているだけにパーフェクトな連携ができるはずもない。しかも、韓国には『スピリットMC』、『ネオファイト』という総合イベントがすでに存在するのだが『グラジエーター』ほどのビッグイベントは史上初なのである。

そもそも、格闘技の大会とはマッチメイクをしてチケットを売り、選手を呼んで会場を設営すればできるというものではない。一口に「運営」

といっても、そこには警備員の配置から、DEEP佐伯代表が得意とするところの弁当管理まで含まれるわけで、その労苦といったら並大抵ではないだろう。コメントブースまで選手を呼んでくるのは？ VIPルームのドリンクは誰が補充する？ PRIDEやDEEPでは阿吽の呼吸で当たり前にできることでも、『グラジエーター』ではイチから詰めていかなければならない。初日を終えた後、キム代表は「お客さんが1000人くらいしか来なかったらどうしようと不安で、昨日は眠れませんでした」としみじみ語り、ある関係者は「今回は開催できただけで100点」と言っていた。それぐらい手探りの大会だったのだ。

諸岡会長は「韓国の大会なんだから、我々は運営になるべく口を挟まないようにしました」という。だが、そうでなくても日本のやり方をゴリ押しするのは不可能だったろう。韓国では何よりも〝ウリナラ（わが国）〟スタイルを重んじる。「日本じゃこうやってるし、その方が合理的だよ」といっても、「これはウリナラの大会だ」となる。で、諸々の問題が積み重なったまま開催が近づき、中止の噂が流れたということなんだろう。

大会の混乱ぶりを如実に表すのが、美濃輪育久の対戦相手変更だった。当初はロシア人ファイターが予定されていたが、正式発表されたのは韓国人選手。しかし大会間近になって再びロシア人となり、大会前日のルールミーティングで「やっぱり韓国人らしい」という噂になったものの、最終的にはやはりロシア人に落ち着いた。

マスコミに取材スケジュールが（DEEP事務局から）届いたのは大会の3日ほど前だった。大会前日の午後3時からルールミーティングがあるので、その際に佐伯代表と細かい段取りを打ち合わせしましょう、とのこと。しかし我々はそれ以前に航空券を予約しており、到着予定は大会前日の夕方。ルールミーティングに間に合うはずもないのであった。とりあえず韓国に到着し、ホテルにチェックインして佐伯繁代表に電話を入れる。その口調は思いっきりとっ散らかっていた。

「どうですか、ルールミーティングは。とどこおりなく終わりました？」

「いや、とどこおりなくっていうか、ハチャメチャに終わりました」

そこで聞いたのが、美濃輪の相手変更の噂だった。さらに別の情報によれば、外国人選手の中には「ところでオレの相手って誰？」なんて呑気なことを言ってる者もいたらしい。ともあれ大会はやるみたいだが、こりゃ相当な混乱ぶりだな。ワインに漬け込んだ豚バラ焼肉に舌鼓を打ちながら、我々取材陣は性根を入れ直したのだった。

大会初日。いつも以上に汗だくの佐伯代表からプレスパスを受け取ってひと安心していると、会場横のテントに設けられたプレス受付でチケットを握りしめたオヤジとスタッフが何やら口論していた。と、見る間に掴み合いに。ん～、やっぱり凄いわ、この大会。

しかし、いざ大会が始まってみると、進行は意外なほどスムーズだった。人気アーティストのライブからスタートして全選手入場式、主催者挨拶にゲスト&セコンドとして来韓したマリオ・スペーヒーの挨拶、休憩明けにはノゲイラ兄の挨拶と、実によどみなく進んでいく。普通、初開催の大会は試合開始が遅れたり、休憩がやたらに長かったりして、どうしてもバックステージのドタバタを感じさせてしまうものだが、それが一切なかったのには驚かされた。まあ、2日目も初日とまったく同じで、スペーヒーとノゲイラが挨拶したのはアレだが。

演出も水準以上のものだった。色とりどりのライティングにスモークや炎が吹き上げる入場ゲート、リプレイが即座に映し出される大型ビジョン。聞けばセットの機材はキム代表の会社が所有するもので、演出はワールドカップの開会式も担当した人物。しかも大会の3日前から会場を借り、設営とリハーサルに費やしたんだという。広げに広げた大風呂敷を強引にたたみ切った力技には感服するほかない。

試合そのものも、見応えのあるものが多かった。滑川康仁は不完全燃焼の反則決着に終わったが、美濃輪育久はチョークスリーパーで快勝。肝心の韓国勢も、レベルにバラつきこそあったが〝主役〟であるキム・ジョンワン（初日）とチェ・ムベ（2日目）が揃って勝利し、ファンの溜飲を下げた。

ただ、課題は観客動員である。2日間とも3割の入りで、開会直前にスタンド席の観客もアリーナ前方へ詰めさせていた。チケット料金はVIP席の100万ウォン（10万円）から30万ウォン～3万ウォンと、日本とほぼ同じ。かかった費用からすると仕方がないのだが、貨幣価値の違いを考えればかなりの割高ではある。まして『KO King』の延期騒動があったから、ファンも開催に半信半疑だったのかもしれない。

キム代表も、「三つのテーマのうち、二つはクリアできたと思います」と大会を振り返る。「一つは試合が盛り上がること。もう一つは演出をしっかりすること。この二つはうまくいった。唯一クリアできなかったのは、会場を満員にすることですね」

それでも、大会自体は成功だったといっていい。ゴタゴタがあったって、最終的にやれたんだからいいじゃないか。今回、会場演出などは日本式に近かったのだが、成否の基準を〝日本やアメリカ（UFC）に近かったかどうか〟で計る必要なんてどこにもない。むしろ〝ウリナラ〟スタイルを貫き通して（日本の基準からすれば）どんどんあさってての方向に突き進んでいってもらいたい。その果てにどんな独自の進化を遂げるのか。その方がよほど興味があるというもの。キム代表も、韓国総合格闘技の明るい未来に確信を抱いている。

「韓国で格闘技がウケないはずがないんです。韓国人が最も好きなのは、火事を見ることとケンカを見ることですから」

……と、この素晴らしい一言で文章を締めようと思っていたところで〝パンクラス韓国大会中止〟のニュースが入ってきた。『KO King』と同じく、開催まで1カ月を切っての中止だ。一寸先はハプニング、何が起こってもおかしくない韓国格闘技界。業界全体が火事場なんじゃないかという気もするが、韓国人のマインドからすれば、それもまた眺めて楽しめばいいってことか。

This is KOREAN STYLE!!

この人が『グラジエーター』を開催した『KRSエンターテインメント』代表キム・インテ氏。実に柔和な表情で、2日目の大会終了後、打ち上げ会場でインタビューを受けてくれた。次回大会は10月に開催したいという。頑張れ、キム代表!

1＞見てみ、この「LEGEND」ぶり！　横浜アリーナを一回り小さくしたような1万5千人収容の大会場に来た観客は、推定2～3千人。それでもファンの熱狂度は日本を上回るほどだった。　2＞韓国の"SRSビジュアルクィーン"か？　大会にはアイドルタレントがリポーターとして様々な選手に取材を行っていた。　3＞公式グッズはTシャツとキャップを販売。価格は10000ウォン（約1000円）と格安だが、初開催でいきなり値引き表示なのか謎だ。　4＞Tシャツの横には手書きラベルのビデオも売られていたが、これはB・コーラーが持ち込んだものとのこと。お前は鶴見五郎か！　5＞大会は衛星チャンネルKBSで放送。　6＞会場前には熱心なファンが列を作っていた。　7＞リングサイド最前列にはなんとソファーが用意され、貫禄十分な方々が……　8＞観客動員以外は素晴らしい大会だったと言える。　9＞イベントは人気歌手の歌からスタート。「PRIDE」初期を思い出す　10＞元パンクラスの石井大輔を発見。彼が次に上がるリングはどこか？

もう1
K-1T

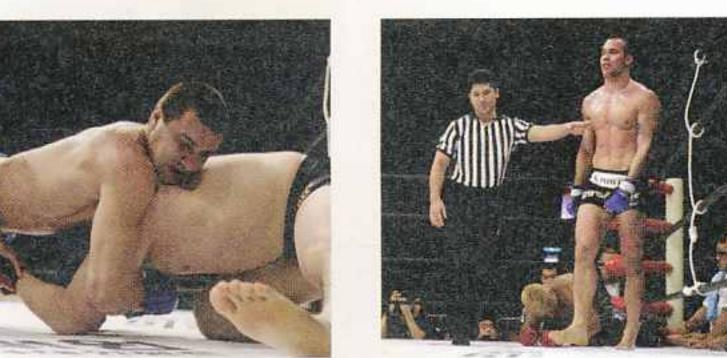
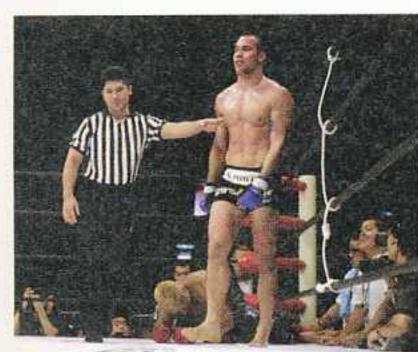
初日

6.26 GRADIATOR FIGHTING CHAMPIONSHIP

明暗分けた“日韓・涙のカリスマ” 美濃輪、ホジェリオは見事な完勝！

初日のメインはホジェリオvsアレックス・スティーブリングの〝PRIDEファイター対決〟。さすがに他の試合とはレベルが段違いで、韓国のファンも感嘆の声をあげていた。特にホジェリオの成長ぶりは目を見張るものがあり、立ち技、寝技両面で実力差スティーブリングを完全に上回った。

韓国でも大歓声で迎え入れられた美濃輪。ロシア人ストライカー相手に殴って倒してチョークを極めるパーフェクトな勝利。試合後は、韓国語で二言だけマイクアピール。

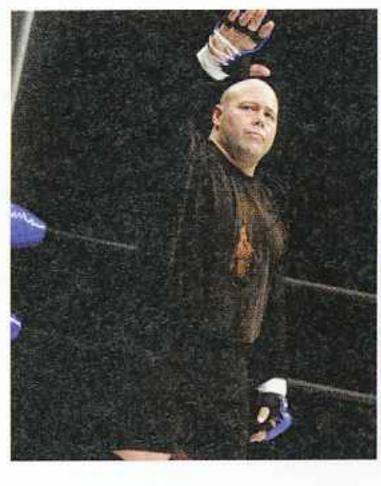
「PRIDE武士道 其の参」で藤井軍鶏侍に敗れたキムが掣圏道の瓜田と対戦。相変わらず子供のケンカの様なパンチのキムに対し、瓜田は落ち着いて対処し大差の判定勝ち。

地元のグー・ワンモーはロシアのマトキン・セルゲイに何度もタックルを仕掛け大歓声を浴びるが、がぶられると回転しないスピニングチョークのような態勢であっさりタップ！

BTTのカポアニが終始試合をリードするも、2度の反則で失格。再戦をアピールするがDEEP佐伯代表はカポアニに反省の色なしと見て突っぱねた。実力はあるだけに残念。

○ダン・スパーンvs入江秀忠●

[3R 判定]

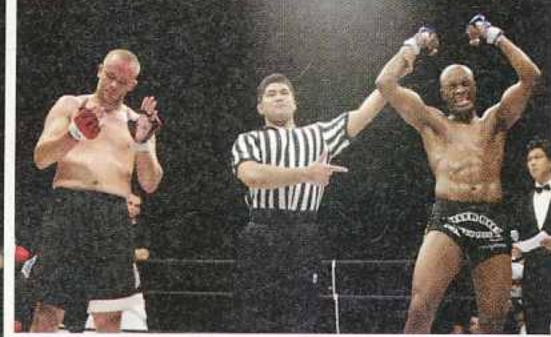
自称“格闘技界負け組代表”こと入江が、本誌前号で「格闘技人生の集大成として挑む」と宣言して臨んだ一戦。しかし、入江のそんな気持ちを知るわけもないスパーンは、コーナーに追い詰めてコツコツとパンチを繰り出す超単調ファイトを展開。一度、スパーンがタックルで倒したところに入江が腕十字を仕掛けた以外は終始同じ展開となり、入江は目をひんむいて何やら叫びながらスパーンを挑発するが自分からは仕掛けずタイムアップ。入江の集大成はほとんど見せ場のないまま、判定負けに終わってしまった……。

韓国格闘技界のパイオニア、キムがなぜか長袖Tシャツ姿で闘うコーラーにチョークで一本勝ち！ キムは感激のあまり号泣&絶叫!! 韓国に〝涙のカリスマ〟が誕生した。

〝格闘技界負け犬代表〟の遠吠え ——入江秀忠（談）

正直、僕は負けは認めてないですから。ただ、スパーンぐらいの大きな選手が勝負に来ないと、こちらから面白い試合にするのは難しいです。最後の方はスパーンが寝技を怖がってたのがわかったんですけどね。僕はパンチ力にも自信があるんですけど、パンチが入っても倒れないんで走り込んで打ったんですよ。それでも倒れなくて。その後、スタンドで「来い来い」って誘ったのは最後にカウンターを狙ってたんですよ。2R終わった時点で自分の指が折れてたのが分かってたので、もうカウンターを食らわすしかなかったんで。で、問題の2Rなんですけど、僕はスパーンがテイクダウンしてくるのに合わせて十字にいったんですよ。あれは腕ひしぎ肩固め風に完璧に入ってました。手応えもあったしタップしたように思えたんですよ。まだ試合の映像を観てないから確かなことはわからないですけど、タップしたと思ったから技を外したんです。そしたら、いままでインディーとして虐げられてきたこととか、佐伯のオッサンとの抗争とか、いろんなことが走馬燈のように駆け巡って泣けてきたんですよ。「これで終わった」って思ったら試合が続いてるし、何なんだって！ スパーンの下になりながら「タップしましたよ！」って言っても受け入れられなくて。で、全試合終了後に諸岡さんと話したんですけど、「お前どうするんだ。引退する気があるのか？」って言われて「このままじゃ終われない」って言ったんですよ。悔しいし、完全燃焼には程遠い内容だったんで。もしかしたら神様が「まだやれ」って言ってるのかなって勝手に思い込んでるんですよ。まあでも、腕を折らなかった自分が悪いですね。折るまでできない自分の弱さとか甘さが負け組になってしまった理由なんでしょうね。あそこで折れるヤツが勝ち組なんだと思います。次、試合があったら誰が相手でも必ず折ります！

2日目

6.27 GRADIATOR FIGHTING CHAMPIONSHIP

韓国に掣圏道旋風吹き荒れる! アンデウソン、パウロは強さを見せつける!

○アンデウソン・シウバvsジェレミー・ホーン●
［3R 判定3-0］
シュート・ボクセを離脱し、チーム・ノゲイラとしてBTTと練習をするアンデウソンがMMAの鉄人ジェレミーと対戦。1Rジェレミーは豪快な水車落としで投げ捨てるが、ノゲイラ兄弟とスパーを繰り返すアンデウソンは巧みに寝技を対処し、逆にレベルアップした打撃でジェレミーを圧倒し、判定勝ちを奪った。

近藤や小路らを破り日本人無敗を誇るパウロが韓国で松井と対戦。松井は積極的にジャブを繰り出し、打撃勝負に持ち込もうとするが、パウロがパワフルなタックルと寝技に苦しみ判定負け。パウロは7・19『武士道』に絶好調で乗り込むこととなった。

佐山皇帝の一番弟子・桜木裕司は日の丸をマント代わりに巻き、全身から愛国精神を漂わせながら入場。そして韓国のキム・ソンチョルを左ハイキックで秒殺KOすると、マイクで「掣圏道の強さと"思想"を世界に伝えていきたい」と堂々宣言した。押忍（敬礼）

BTTの新人ゴドイは日本の濱田順平にチョークで快勝。しかし、BTT選手相手に打撃技で堂々渡りあった濱田も要注意の選手だ。

日本人だったら MEGATON入り確実のパク・チョンホをBTTのアレックス・パズが手堅くパウンドで沈め完勝。

『PRIDE』で今村、ヤマヨシを破ったチェ・ム・ベが得意のジャーマンからパウンドでわずか18秒で勝利し、ご覧のポーズを決めた。

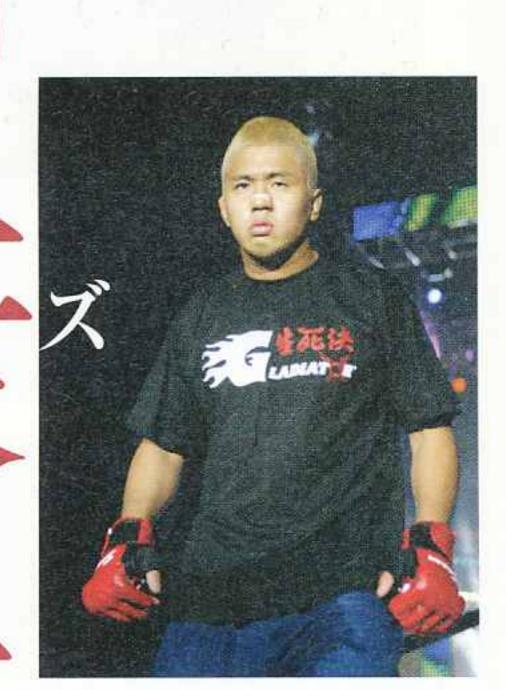
2日目の第1、2試合に出場した掣圏道ロシア戦士アフメドフ・ザウル（左）とスルタンマゴメドフ・カフカズは、それぞれ日本の奥山峰司、谷村光教を秒殺KOし、韓国のファンから大歓声を浴びた。『PRIDE武士道』あたりにゼヒ出場したほしい実力者だ。

PRIDE武士道の
鍵を握るのはこの男たちだ!

U系第3世代
リアルプロレスラー対談

滑川康仁×美濃輪育久

マッスルブラザーズ in 韓国

今大会に出場した日本人選手の中でも、とりわけ注目されたのが滑川康仁と美濃輪育久だろう。リングス、パンクラスと育った場所は違うものの、同時期に新弟子生活を送り、共にパンク、そしてキン肉マン好きとあって固い絆で結ばれている。そんな〝マッスル・ブラザーズ〟を試合翌日にキャッチ!

聞き手&文／橋本宗洋
構成／堀江ガンツ
撮影／黒田史夫
designed by matsu (Two Three)

――というわけで今回は、マッスル・ブラザーズin韓国ということでよろしくお願いします（笑）。

滑川&美濃輪　よろしくお願いします。

――お二人が一緒に練習するようになったのは、前回の『PRIDE武士道』（5・23）のときからですか？

滑川　そうですね。その前から知り合いではあったんですけど。お互いパンク好きだったってこともあって、共通の知り合いがいたりとか。知り合う前も存在は意識してましたね。僕も『キン肉マン』が大好きなんで、「気が合いそうだな」って（笑）。

――美濃輪vsハイアン戦でのセコンドぶりは良かったですよ。苦しい局面になると「キン肉マン！」って檄を飛ばして（笑）。

美濃輪　あ～れは良かったです！「なんて分かってる人なんだ」って思いました。

――他団体の選手でも「趣味が似てるな」とか意識するもんなんですか？

美濃輪　滑川さんがドッグファイトっていうバンドの曲を入場に使ってたんですよ。僕もドッグファイトは知ってて。入門した時期も年代も近いんで、団体は違っても「頑張ってるんだな」って意識しますね。

――あとは『キン肉マン』ですか。

美濃輪　そうですね。年代も一緒ですし。この世代で『キン肉マン』知らないヤツはいないですよね。

滑川　僕はクラスの中で一番キン消し持ってましたね。授業中もそれで遊んでるんで、通信簿に書かれたことがあって（笑）。

美濃輪　僕は布団の上でしたね。布団めくると並べてあるんですよ。

試合中に「キン肉マン!」って言われたときは、「なんてわかってる人なんだ」って思いましたね。

昔、金原さんに「美濃輪君って馬鹿だって聞いたけどホント?」って聞かれたことがあるんですよ(笑)

――最初に知り合った頃の印象ってどんな感じでした？

滑川　最初は「熱い人だな」って思って。しばらくすると「この人バカだな」って（笑）。

美濃輪　えっ⁉

――ダハハハハ！

滑川　金原さんと電話で話したときに「美濃輪くんってバカだって聞いたけど、そうなの？」っていうから「たぶんそうです」って答えておきました（笑）。僕もバカなんですけど、この人もかなりきてるぞと（笑）。

――そういう面でも息は合ってたと（笑）。

滑川　お互い酒も飲めないですし、共通点が多いんですよ。

――でも下戸とは意外ですね。お二人とも、そういう面でも凄い人が集まった道場出身じゃないですか。

美濃輪　凄かったですねぇ。飲み会を道場でやるんで、場所が広いしリングもあるしで。

――暴れ放題なわけですね（笑）。

美濃輪　酔っ払って何回もボディスラムで投げたりとか。

――パンクラスの横浜道場には『パンクラチオン』って宴会芸があるんですよね。

美濃輪　ありましたねぇ。練習生が素っ裸でスパーリングするんですよ。

――まさに闘いの原点ですね（笑）。そりゃ下戸としてはきついですよね。

滑川　美濃輪さんは同世代の仲間がいて、新弟子時代は辛かったけど楽しかったっていうんですけど……。僕はひたすらきつかったですね（笑）。

――たった一人の新弟子時代が長かったですからね。

滑川　タイ人の先生が唯一の心の拠り所でしたから（笑）。

――じゃあ美濃輪選手と知り合いになって、やっと同世代の仲間がで

美濃輪育久 滑川康仁

僕らが一緒にスパーリングすると遠慮なしに殴り合っちゃうので美濃輪さんが慢性の頭痛になっちゃったんですよ(笑)

きたって感じで。

滑川　そうですねぇ。それまでは何回か死のうと思いましたね（笑）。

——そこでの"溜め"みたいなのが試合での力になるんですかね。

滑川　僕に"火事場のクソ力"があるとしたら、源はそこかもしれないですね。

——美濃輪さんも新弟子生活を経験されてるし、その前はリングを作ってたりもしたわけですけど、その時代はいかがでした？

美濃輪　僕は「こういうもんだ」と思ってやってましたね。プロレスラーはこういう修行をして強くなるんだって。それで体も大きくなって、デビューして、スターになって豪快な生活をするっていう。毎日ステーキ食ったりとか、女の子を両脇に抱えて……。

——はべらかしてね（笑）。

滑川　僕は格闘家という意識でやってたんですけど、美濃輪さんと遊ぶようになってプロレスラーに目覚めましたね。

——ほぉ～。

滑川　会うたんびに「なんのためにスクワットやってきたんだ！」って熱く語られるんで、「ああ、そうなんだなぁ」って（笑）。

——実際、前田道場でも"これぞプロレスラーだ"って練習をしてたんですよね。ひたすらスクワットして、受身取って。

滑川　それはやりましたねぇ。

——いま、PRIDEでもバスター技が注目されてますけど、そういう意味でも受身は重要ですよね。

滑川　確かに、練習してたんでどんな投げ方されても怖くないですね。

美濃輪　僕もまだですけど、それなりの対処はできるつもりでいますね。

——で、この『グラジエーター』ではお二人揃って勝利ということで。

滑川　そう言われると恥ずかしいんですよねぇ（笑）。あんな結末になるとは思わなかったですよ。1R中に中断があったんですけど、相手のバテ方が凄かったんですよ。それで根性勝負に持ち込んだら勝てるなと思ってたんですけど、ああいう結果になっちゃって。

——ヒザ蹴りが脳天と金的にそれぞれ直撃ですからね。

滑川　金的はダメージもあったんですけど、まず音にビックリして（笑）。それと脳天もかなりきちゃってて、パウンド5、6発もらったらKOされてましたね。もうリーチがかかった状態で。

——美濃輪さんは総合では久々の勝利でした。試合後は「やりたことが全部できた」って言ってましたね。

美濃輪　実は、まだやりたいことがあったんですけどね。

——試合後に言ってたのは、先に打撃を当てることと、テイクダウン、それからパウンドして、最後に極めると。あとは……。

美濃輪　本当はパウンドで決めたかったんですよね。あと、もう一つは次の試合で出したいと思います。

——ハイアン戦もそうでしたけど、最近パウンドにこだわりがあるんですか。

美濃輪　パウンドって、こう……気持ちいいですよね。シウバ戦で初めてパウンドで失神して、なんか目覚めたっていうか。

——「これだ！」と。

美濃輪　いろいろ考え方が変わりましたね。自分に合ってるんじゃないかと思うようになりましたし。

滑川　ハイアン戦の前の練習でもボコボコにやり合ったんですけど、美濃輪さん打たれすぎで慢性の頭痛になっちゃって（笑）。

——明らかにやりすぎですね（笑）。

滑川　先輩相手だと遠慮しちゃうんですけど、「美濃輪さんならまあいいか」って思ってるうちに（笑）。

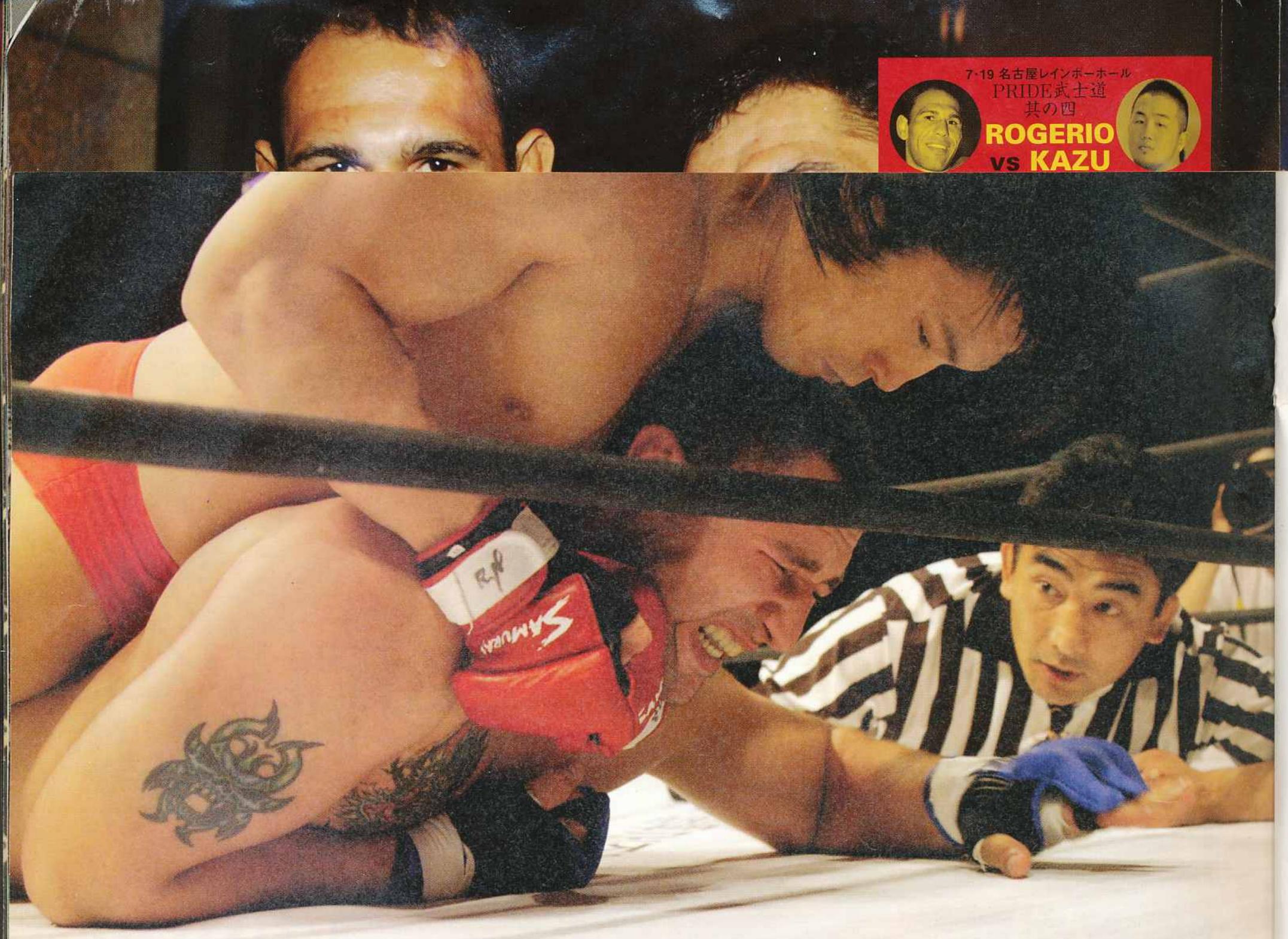
美濃輪　しかもヘッドギアなしで（笑）。

滑川　最初「マスで」って話だったんですけど、性格的にどんどん熱くなってきちゃって。美濃輪さんは「軽めに」ってサイン出してたらしいんですけど（笑）。

美濃輪　試合も近かったんで、こっちが（攻撃を）軽めに出しとけば分かると思ったんですけど、思いっき

○滑川康仁vsファビアノ・カポアニ×

[2R 反則勝ち]

ブラジリアン・トップチームの新鋭ファビアーノ・カポアニとの対戦とあって燃えていた滑川だったが、1Rにカメになったところで反則の4点ポジションからのヒザ蹴りをくらい悶絶。大変なダメージを受けながら根性で試合続行するも、2R、今度はコーナーでの差し合いの最中、カポアニのヒザ蹴りが滑川の金的に直撃！　痛い痛い反則勝ちを拾う形となった。

○美濃輪育久vsトゥラコフ・エドアルド×

[1R チョークスリーパー]

『PRIDE』3連敗中の美濃輪にとっては絶対に落とせない一戦。しかし、対戦相手が二転三転し、前日になってようやくロシアのエドアルドに決定。それでも美濃輪は意に介さず入場から気合満点。日の丸を振り回し、何やら叫びながら入場する。ゴングが鳴ると打撃系のエドアルドに対して、いきなりのパンチラッシュ!! さらにパンチと見せかけてのタックルでテイクダウンを奪うと一気にマウントへ移行し、パンチを嫌がった相手がカメになったところにチョークを極めてタップアウト勝ち!!　ラウンドガールに祝福され、思わず笑みがこぼれる美濃輪だった。「ビバ、コリア〜〜ッ!」

りきて（笑）。そしたらこっちもやるしかないんで。

──何も慢性の頭痛になるまでやらなくてもいいのに（笑）。美濃輪選手は、日本での練習の拠点は滑川選手のジムなんですか?

美濃輪　そうですね。あと髙田道場とか。

──それぞれ、ジムの特徴って違いますか?

美濃輪　違いもありますけど、プロレスの道場の空気っていうのは似てますね。同じ血が流れてるっていうか。ラウンドが分からなくなるくらいスパーリングやったりとか、緊張感とか、自分に合ってますね。

──韓国ではどんな練習をしてたんですか?

美濃輪　チェ・ムベの道場と大学のレスリング部と。レスリング中心ですね。日本ともブラジルとも違う雰囲気がありますね。

──こっちの選手って、ストレートに熱いですよね。

美濃輪　レスリングとかテコンドー、ハッキドーとか、それぞれベースがある選手が総合の練習してるんで、なんかずば抜けた部分があるんですよ。打撃は全然できないけど、投げはもの凄いとか。

──なんか昔のリングスの外人選手みたいですね（笑）。

滑川　何年かしたら絶対強くなると思いますよ。偏って強い選手が、偏りをなくしたら。

──日の丸は、海外の試合には毎回持ってくんですか?

美濃輪　もう常に持ってますね。

──え、日常的に!?

美濃輪　いや、試合用具一式の中に入ってるんですよ。

滑川　昨日、控室で美濃輪さんが日の丸見せてくれたんですよ。「気合い入りますよ!」って。僕はピンとこなかったんですけど（笑）。

美濃輪　松井さんはかなり気合い入ってたんですけどねぇ。

──お二人とも、次は7月の『武士道』になるんですか?

美濃輪　僕はそうですね。またチャンスをいただいたんで、日本のファンにしっかり勝つところを見せたいですね。

滑川　僕が美濃輪さんとか松井さんを凄いと思うのは、連戦ができるところなんですよね。僕は2ヶ月はインターバルがほしいですね。やっぱりいま気持ちが空っぽになっちゃってるんで。

──毎試合、気持ちを全部使い切っちゃうと。

滑川　昔は連戦もしてたんですけど、そういうときはいい試合ができないんですよね。気持ちが一杯になってないと。プロとして中途半端な状態でリングに上がりたくないんですよ。美濃輪さんとか松井さんは、プロとしてオファーは断らないってスタンスで、それも凄いんですけど。松井さんは「中1日でもやる」って言ってましたからね（笑）。

――美濃輪さんは今年すでに4試合してますけど、かなり早いペースですよね。

美濃輪　いや、年間最低でも10試合はしたいですね。

――年間10試合ですか！

滑川　僕、『U―STYLE』の後でも（気持ち）使い切っちゃってたのに（笑）。

美濃輪　プロレスラーって何かって考えると、やっぱりリングに上がってこそっていうか。リングに上がったときが一番自分を表現できるし、何が好きかっていったらリングに上がることなんですよ。評価されるのも試合だし、試合が自分の歴史とか、格闘技の歴史を動かしていくと思うんですよね。試合してるときが一番幸せだし、ホントにドリームステージなんですよ、試合って。だからできるだけたくさん試合がしたいですね。

――そういうのって、キャリアを重ねてくると忘れがちなんですけどね。

美濃輪　逆になんか、ありがたみが分かるようになってきたっていうか。最初はただ「やってやる！」とか「やった、勝った、イエ～イ！」ってだけだったんですけど、最近は1試合1試合、感動するんですよ。試合前とか泣きそうになりますね。リング屋さんとか照明さんとかいろんなスタッフの方がいて、ファンの人が見に来てくれて、その支えがあって自分の出番があるわけじゃないですか。それでリングに上がると相手がいて。

――プロレスラー冥利につきますよね。

滑川　いまの話聞いて、僕もだんだん出たくなってきましたね（笑）。

――PRIDEでは元リングス・ネットワークの選手がやたらと頑張ってますしね。

滑川　ただ、僕はこれまで〝リングス〟って言葉に頼りすぎてきちゃった部分があるんで、自分自身で勝負できるようにしていきたいですね。

美濃輪　PRIDEって選手紹介で、その選手の肩書きが出るじゃないですか。そこで僕のところに『プロレス』って出るのが凄くいいんですよね。

滑川　ちなみに僕はパンフに『ラグビー』って書いてあったんですよ（笑）。それを友達に笑われたんですけど、逆に言えば格闘技経験なしでリングスに入って、世界の強豪とやり合ってきたんで。それは凄い経験なのかなって。

――PRIDEに限らず、これからのマット界は滑川さん、美濃輪さんの世代が引っ張っていかなきゃいけないと思いますんで、お二人には期待してます！

【04年6月27日／韓国・ソウル『オリンピックパーク』にて収録】

美濃輪育久 滑川康仁

みのわいくひさ■1976年1月12日、岐阜県出身。自らの闘いをすべて「プロレス」と称し、“科学的に解明不可能”と言われる、鬼気迫るファイトで総合格闘技の常識を覆し続けるリアルプロレスラー。昨年、パンクラスを退団後、ブラジリアン・トップチームを始め、世界中で武者修行の旅に出ている。175cm、85kg。

なめかわ・やすひと■1974年10月27日、茨城県出身。98年に2年間の厳しい新弟子期間を経てリングスでデビュー。2002年にリングスが活動を休止してからも「リングス魂」にこだわり続ける。今年2月の『PRIDE武士道』ではE・ヴァラビーチェスに勝利。『武士道』世代期待のファイター。181cm、92kg。

7·19 名古屋レインボーホール
PRIDE武士道
其の四
ROGERIO vs KAZU

KOREAN NIGHT FEVER!!

ヤマヨシ、今村を破ったスープレックス野郎は韓国のアイドルファイター
“ムベ様”だった！

日本が“ハッスル”なら韓国は“フィーバー”だ!!

チェ・ムベ

『PRIDE武士道』で2連勝、今大会でも秒殺劇勝と波に乗りまくるチェ・ムベは韓国総合格闘技とエースともいえる存在だ。日本人が考える基準を軽くフライングする、その無鉄砲かつパワフルな闘いぶりと人間力。今後ブレイク必至の“ムベ様”の魅力に迫る!

聞き手／橋本宗洋　撮影／黒田史夫　構成／堀江ガンツ

designed by matsu (Two Three)

――日本での今村雄介戦、山本宜久戦に決めて勝利したムベ様ですが、会場人気も凄かったですね。もう韓国では何試合かされてるんですか？

チェ　いえ、韓国での試合は今回が初めてなんです。

――え、そうだったんですか。じゃあ総合格闘技のデビュー戦は……？

チェ　日本での『ＰＲＩＤＥ武士道』試合ですね。

――2月の今村戦がデビューだったんですか！　でもデビュー戦にしてはかなり堂々とした試合ぶりでしたよ。

チェ　ありがとうございます。私はレスリングの経験がありますから、それが活きたのかもしれませんね。

――バックボーンはレスリングということですが、プロフィールにある96年のワールドカップで4位以外にはどんな実績がありますか？

チェ　韓国のアマチュアレスリング国家大会を8連覇してます。その間、外れた時期もありましたが国家代表でもありました。いろんな試合に出て、海外で試合もしてます。成績を全部書くと、紙が4枚ぐらい必要になりますね（笑）。

――それは凄いですねぇ！　そんなレスリングの強豪だったムベ様が、総合格闘技の練習を始めたのはいつ頃だったんですか？

チェ　2年前ぐらいですね。

――どういうきっかけだったんですか？

チェ　私は自分の道場を持っていて、そこの生徒たちにレスリングを教えてたんですけど、総合格闘技も教えようということで始めたんです。すでにデビューしている選手もいて、韓国内の大会『スピリットＭＣ』にも出ていますよ。

――レスリング道場で、レスリング以外に総合格闘技も教えていると。

チェ　そうです。最初はレスリングだけの道場だったんですけど、総合格闘技の方がブームになってきたので、そちらもやった方が経営的にもいいんじゃないかと（笑）。それから弟子がデビューし、私も韓国の大会で審判を務めるようになって、より本格的に関わっていくことになったんですよ。

ファン参加イベントがきっかけで『PRIDE』デビューしたのは私ぐらいでしょうね（笑）

――なるほど。今村戦と山本戦、そして今回とムベ様の試合は全て見させていただいたんですけど、スープレックス、反り投げが凄く得意ですよね。あれはお客さんのことを意識してのことなんですか？

チェ　いや、お客さんのことを気にしてというわけではなくて、自分にとってはテイクダウンするために、アレが一番出しやすい技だっただけです。

――ジャーマンが一番テイクダウンしやすい！（笑）。

チェ　でも、まあ今村戦のときはお客さんを意識した部分もありました。以前バス・ルッテンに会って話をしたときに「日本のファンにはスープレックスがウケるぞ」と聞いたのでやってみたんですよ。

――さすがルッテンは日本のファンの嗜好をよく知ってますね（笑）。

チェ　でも、今回は特に意識しませんでしたね。自然に出ました。

――総合格闘技で初めての試合が『ＰＲＩＤＥ』ということで、かなり興奮したんじゃないですか？

チェ　『ＰＲＩＤＥ』には前から憧れてましたから、オファーがきたときは何も考えずにＯＫしました。

――やっぱりお客さんが多い方が気合が入りますか？　それとも緊張しますか？

チェ　お客さんがいっぱいいた方が楽しいですね。お客さんの目を意識しながら、自分のできることをやる方が気が楽です。

――観客の目があった方が気が楽ですか（笑）。まさにプロ向きですね。総合格闘技の技術は誰に習ったんですか？

チェ　ジョン・ブリンクという方と、イ・ヒソンという方がいるんですけど、サブミッションの技術はその二人に教えてもらいました。ジョン・ブリンクという人は柔術の黒帯なんです。

――ご自分の技術で優れているところと、足りないところはどこだと思いますか？

チェ　いまの自分のいい点は、やはりレスリングの技術ですね。でも総合はレスリングの技術だけではもちろん勝てません。足りないのは打撃とサブミッションの技術だと思っています。いまは学んでいる最中なので、いつかは自分のものにしたいですね。

――ムベ様自身は、殴って勝つのが好きですか？　それともサブミッションで？

チェ　投げてからのサブミッションも好きですし、投げてからの打撃も好きですね。

――いずれにしても投げは必須なわけですよね（笑）。

チェ　今回も投げてからチョークスリーパーを狙ってたんですけど、その前の殴っている段階で試合が終わってしまったんですよ。

――それから、ムベ様にはヒョードルとスパーリングして本気にさせてしまったという噂があるんですが、実際はどんなものだったんですか？

チェ　いや、スパーリングというほどのものではないんですが（笑）。たぶん言われているのは、去年の11月のことだと思います。私は『ＰＲＩＤＥミドル級ＧＰ』決勝大会の観戦ツアーに参加したんですよ。

――観戦ツアーで見てましたか！（笑）。

チェ　当時はデビュー前でしたしね。それで、大会後のファンと選手の交流イベントで〝選手に技をかけてもらおう〟というコーナーがあったんです。

PRIDEでジャーマン連発！ ヤマヨシ、今村も撃破！！

2・15『武士道 其の弐』で今村相手にデビュー戦を行ったムベ様は、得意のジャーマンからチョークを極め白星デビュー。続いて5・23『武士道 其の参』にも出場し、今度はヤマヨシのローキックに苦しみながらもレスリング技術で応戦し、見事判定勝ち。このままさらに勝ち進めば、日本でも"ムベ様"旋風が起こることもあり得る！

反り投げを必ず狙うのはテイクダウンを奪うのに一番やりやすいからです

『グラジエーター』では2日目のセミに登場したムベ様は、ロシアのアムマエム・ムラドをキャッチすると、一気に豪快なジャーマンで投げ捨て、そのままパウンドを落とし、わずか18秒で勝利！　これで今村、ヤマヨシに続き総合格闘技3戦3勝だ。

――ということは……。

チェ　私の知り合いが抽選で当たったんですが、女性だったので私が代わりにステージに上がったんです。そのときの相手がヒョードル選手でした。最初、ヒョードル選手はヘッドロックから腕を極める技を仕掛けてきたんですが、私もサブミッションを学んでいましたので、こらえたんですよ。

――それでヒョードル選手が本気になったと。「何者だ、こいつ」と思ったでしょうね（笑）。

チェ　私は気付かなかったんですが、顔つきが変わってたみたいですね（笑）。その後、バックからチョークもかけてきたんですが、それも耐えました。そのときの様子を『PRIDE』のスタッフが見ていて、私に興味を持ってくれたみたいです。

――ファン参加イベントがきっかけでデビューしたと（笑）。それは世界初でしょうね。

チェ　たぶんそうでしょうね（笑）。

――ところで、現在の韓国でトップクラスの選手というと、やはりムベ様になるわけですよね？

チェ　いまの韓国では自分とキム・ジョンワン選手ぐらいでしょうね。ただ、これからどんどん強い選手が出てくると思いますよ。もっと総合格闘技が盛り上がったら、韓国の相撲（シルム）の選手も出てくるでしょうから、どんどん強くなると思いますよ。彼らは体格もいいし、凄く力があるから。

――いま韓国で総合をやっているのは、どんな人たちが中心なんですか？

チェ　レスリングやテコンドーを学んでいた人も多いですが、テレビで見て格闘技ファンになった人が学び始めたというパターンもかなりありますね。今後、総合が盛り上がっていけば国家代表クラスのアスリートが転向してくるかもしれないですし、それに期待もしています。

――日本でのようにプロ・アマ間の垣根や、協会の問題などは？

チェ　韓国では、オリンピックでメダルを取ると国から一生お金が出るんですよ。だから転向もしやすいと思います。とはいえ、まだ例がないことですから、これからいろいろと考えなければいけないことですが。

――韓国では総合格闘技とK―1の、どちらの人気が高いんですか？

チェ　半分半分ぐらいですね。K―1は見ればルールがすぐ分かるので、一般の人たちにはK―1の方が知名度がありますね。ただ格闘技に詳しい人は『PRIDE』の方が面白いと言ってますね。

――あぁ、それは日本と似てますね。今後、ムベ様は注目度が上がっていくと思うんですが、やはり目標はヘビー級のチャンピオンですか？

チェ　チャンピオンにはなりたいんですけど、自分の実力はまだそこまではいったませんから。いまの目標は誰とでも闘うということですね。日本で活躍したいのはもちろんですが、韓国の総合格闘技を盛り上げるために力になれればとも思っています。

――ところで、試合に勝った後にやっていた〝トラボルタポーズ〟はどんな意味があるんですか？　メチャクチャ、インパクトあったんですけど（笑）。

チェ　私はダンスホールのムードが好きなんですよ。だから格闘技の会場もダンスホールのように盛り上がるようにやってみたんですよ。

――会場をダンスホールに！　いやぁ、つくづくプロ向きの性格をしてるわけですね。では、今後も日韓を股にかけた活躍を期待してます。カムサムニダ！

【04年6月27日／韓国・ソウル市内の焼き肉屋にて収録】

チェ・ム・ベ■1970年6月27日、韓国・釜山出身。96年レスリング・ワールドカップ4位を始め、グレコローマンで数々の実績を持つ。地元韓国では女性ファンから絶大な支持を得ており、日本側女性スタッフも〝ムベ様〟と呼ぶ人気者。190㎝、100㎏。

韓国『グラジエーター』グッズ　お土産プレゼント

＜＜＜応募方法はP157参照

［緊急真相究明リポート］

パンクラス韓国大会はなぜ突然中止になったのか!?

文／タダシ☆タナカ

7・17パンクラスの韓国大会が中止になった。6・22後楽園大会の翌朝にPR旅行ついでの成田会見に付き合わされた記者たちはたまらない。共催先のジュライ・メディア社（キム社長）の予算問題が原因で、契約書を交わしたにも関わらず減額を要求され、延期を切り出されたので尾崎允実社長は「それじゃできない」、キム社長は「だったらキャンセルしよう」との発表になっている。

韓国事情通によると、「ジョシュ・バーネットかセーム・シュルトを派遣して欲しい」という要請を受けたパンクラスは、選手ギャラを含めて日本円にして総額2400万円？の興行だった噂がある。ところが一部は払われていたものの、一ヶ月前（K-1興行発表前）の段階で約束の前金分が支払われなかった。地元プロモーターへの売り興行で、以前にも選手を派遣したネオファイト（世界合気道連盟総裁の息子ソウ社長）が取り仕切っていたと一部に伝えられ、そこにパンクラス勢が出場するだけなのを、日本では「パンクラス韓国大会」と謳っているとも聞かされたが、尾崎社長はこれを完全否定。むしろ現地選手を出さないと韓国市場育成にならないので、ネオファイトに選手派遣を要請した図式が正しいと主張している。いずれにせよ、イメージ面を含めた損害は消せない。

ネオファイトはこれまでにマーク・コールマンvsウェス・シムズ戦を試合直前になってエキシビションになるとリング上で発表したり、奥田正勝選手がトーナメント決勝で露骨な地元判定で負けにさせられるなど問題が多いと指摘されてきた。地元・韓国から出場する選手には一切ギャラが支払われていないそうである。負債も多く、借金を帳消しにするため一度プロモーションをたたんで9月からコリアファイトという名義で活動を再開することも決まっているそうな。ただしこの怪情報も、選手がだぶるのでそう思われているだけで、組織は別との意見も耳にした。

現地情報によれば前売りが大会3週間前で実質20枚前後という恐ろしい状況が元凶だと言われていたが、同日開催のK-1ソウルもさすがにネオファイトより遥かに売れているものの、日本では考えられない枚数らしい。もっとも韓国は前売りを買う習慣がまだ根付いていないとか、招待券バラ撒きが当然の慣行だともいう。インターネットでその招待券が半額以下で売られており、正規の窓口料金で行こうとする客が損してしまう実態がある。ネオファイト関係者による「GIMME 5」というカフェバーでは、一日3試合の総合ルール試合を見せているが、ここではすでに興行の半額券が売られていて日本からの関係者は呆然だった。それなのに、グラジエーターにしても、K-1にしても、日本並のチケット代なのが取材陣には謎だった。

なにしろ観客が金を払ってみるという興行システムが出来上がったのがつい最近のことだという。以前はボクシング興行などでも資金は投資家が出資して、入場料金はすべてタダだった。実際ボクはロック音楽のマニアなので、ユーライア・ヒープの韓国公演が無料だったことに驚いたことがある。スポンサーによって面倒をみてもらい、エンタテインメントに金を払わない習慣があることは事実のようだ。

格闘技だけでなく野球やサッカーも、クレジット・カード提携などがらみ、「今、契約するなら8試合は無料」とか、わずか500円ほどで観戦できるスポーツや、無料で見られるケースが多いとされている。スポーツ・エンタテインメントは正常進化が難しいようだ。こうした文化背景を加味すれば、韓国はいまだちゃんとしたプロモーターが育っておらず、それで結局つぶれてしまったのではと思わざるをえない。

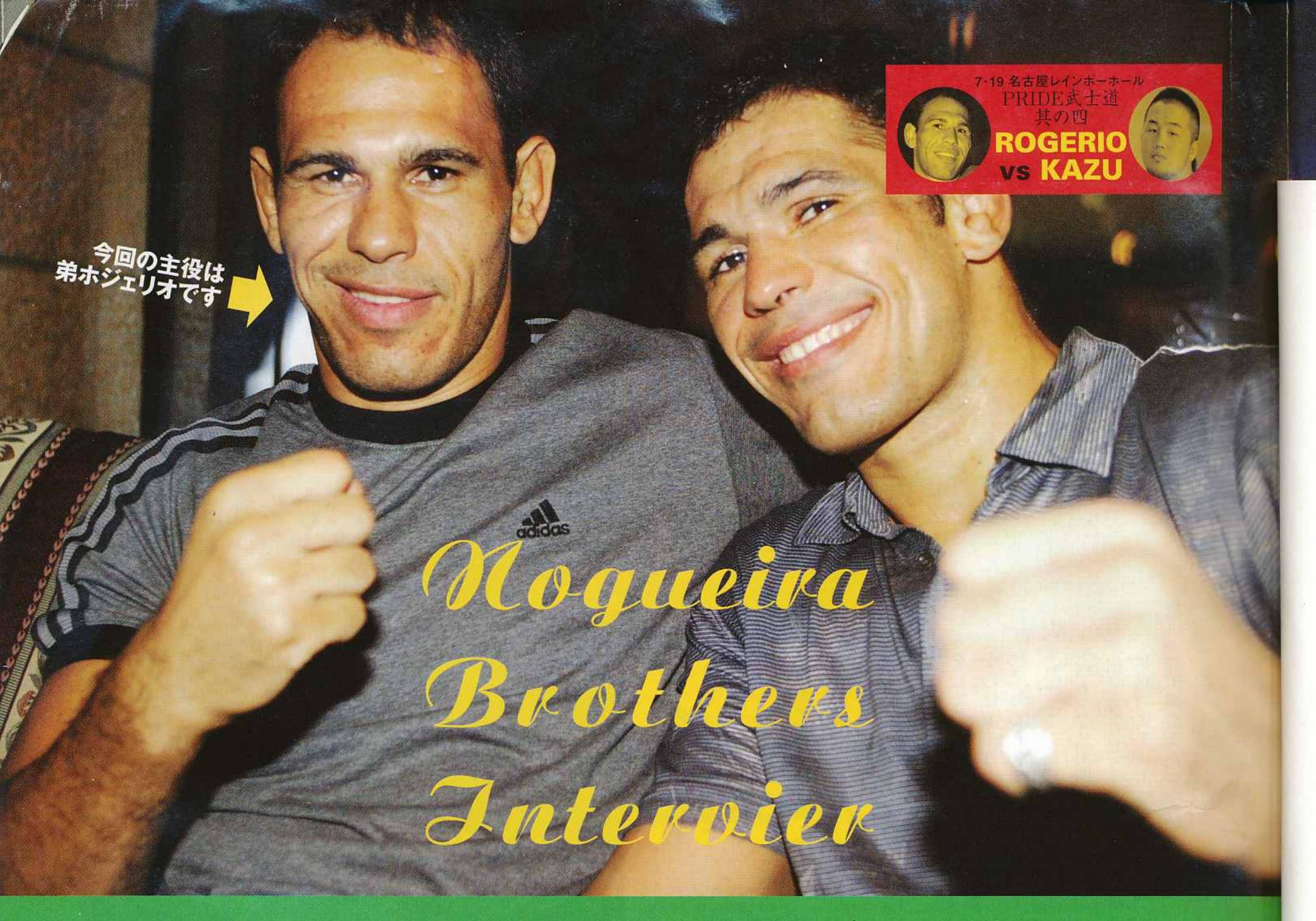
視聴率がまだまだ低いケーブル放送によって、格闘技が韓国でブームなのは事実だが、それは新しく出てきたものだから。まだ専門誌が一冊もないのが実態だ。地上波ではドキュメンタリーとかニュースではたまに扱われても、中継自体はやったためしがない。K-1も売り興行ながら、宮本正明が現地に飛び仕切っているそうで、MBC ESPN（放送社）の支援から希望はあるという。ただし昨年開催予定だったKOKingが吸収された格好で始まったグラジエーターの日本と韓国の協調体制にしても、6月26、27日の2日間、オリンピック公園第1体育館での実券は合計で300枚だったという。グラジエーターは秋にも第2弾を計画しているそうだが、実現には問題が山積みされているようだ。

「韓国は日本より10年遅れている」などという言い回しがあるようだが、格闘技界でも10年前、日本でいくつものVTプロモーションが生まれては消えた状況まで追いかけて欲しくはない。現地で格闘技の過剰熱に乗って、「利用された」などという中傷合戦になる事態は避けたいところ。下手に大会開いて日韓双方にとってダメージを蒙るより、大会中止は懸命な判断だった。

ただし辛いのは翻弄される選手たちである。ロン・ウォータマンはチーム・インパクトと共にオーストラリアのエルビス・シノシックのところに行く予定をキャンセルして韓国大会に集中していた。また、プロレス技炸裂の予告宣言をして新市場開拓の使命に燃えていた王者ジョシュは、怒りの矛先を変えて、今秋にもファン待望の大勝負に打って出る気持ちでいるようだ。

7·19 名古屋レインボーホール
PRIDE武士道
其の四
ROGERIO vs KAZU

今回の主役は
弟ホジェリオです

Nogueira Brothers Interview

7·19『PRIDE武士道』で中村カズと再戦決定!
その目はすでに打倒シウバにまで向いている!!

アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ
with 兄ホドリゴ・ノゲイラ

6·26韓国『グラジエーター』でスティーブリングに快勝!!

「今から予告しておくよ。来年のPRIDEミドル級GPを制するのはボクだ」

6·26韓国でスティーブリングに完勝したホジェリオが、7·19『武士道　其の四』では、「日本vsBTT 3vs3対抗戦」の大将として中村カズと対戦することが決定した。昨年大晦日にサクを破った勢いそのままに成長し続けるホジェリオ。ミドル級の頂点すら見据えるこの男をソウルで直撃した!

聞き手／堀江ガンツ　撮影／黒田史夫
designed by hisa (Two Three)

――え〜、ただいま夜中の12時30分ですけど、こんな遅くにインタビューさせていただいて、どうもすみません！

ノゲイラ兄　こちらこそ遅くなって申し訳ない。ちょっと練習が長引いちゃってね。

――こんな夜中に練習ですか？

ノゲイラ兄　今日（6月27日）は夜、『グラジエーター』大会があったから練習時間が取れてなかったんだ。一日でも練習を休むとリズムが狂うので、時間は短いけど汗をかいてきたよ。

――でもホントは、そろそろ遊びに行かなきゃいけない時間なんじゃないですか？（笑）。

ノゲイラ兄　たしかに昨日の今頃は、ホジェリオの祝勝会もかねて遊びに行ってたけどね（笑）。

――どうですか、韓国の夜は？

ノゲイラ兄　韓国の人たちは、男性も女性もハッピーな人たちだと思う。女性は凄く綺麗だね。ただ……夜になるとやっぱり六本木が恋しくなるなぁ（笑）。

――ダハハハハ！

ノゲイラ兄　でもグランプリに勝つまでは六本木には行かないって決めてるんだ（笑）。

――〝六本木断ち〟ですか！　それは相当な決意ですね（笑）。

ホジェリオ　その間は、ボクが兄になりすまして六本木で遊んでくるよ（笑）。

――ガハハハ！　ホドリゴ・ノゲイラになりすまして遊ぶと（笑）。

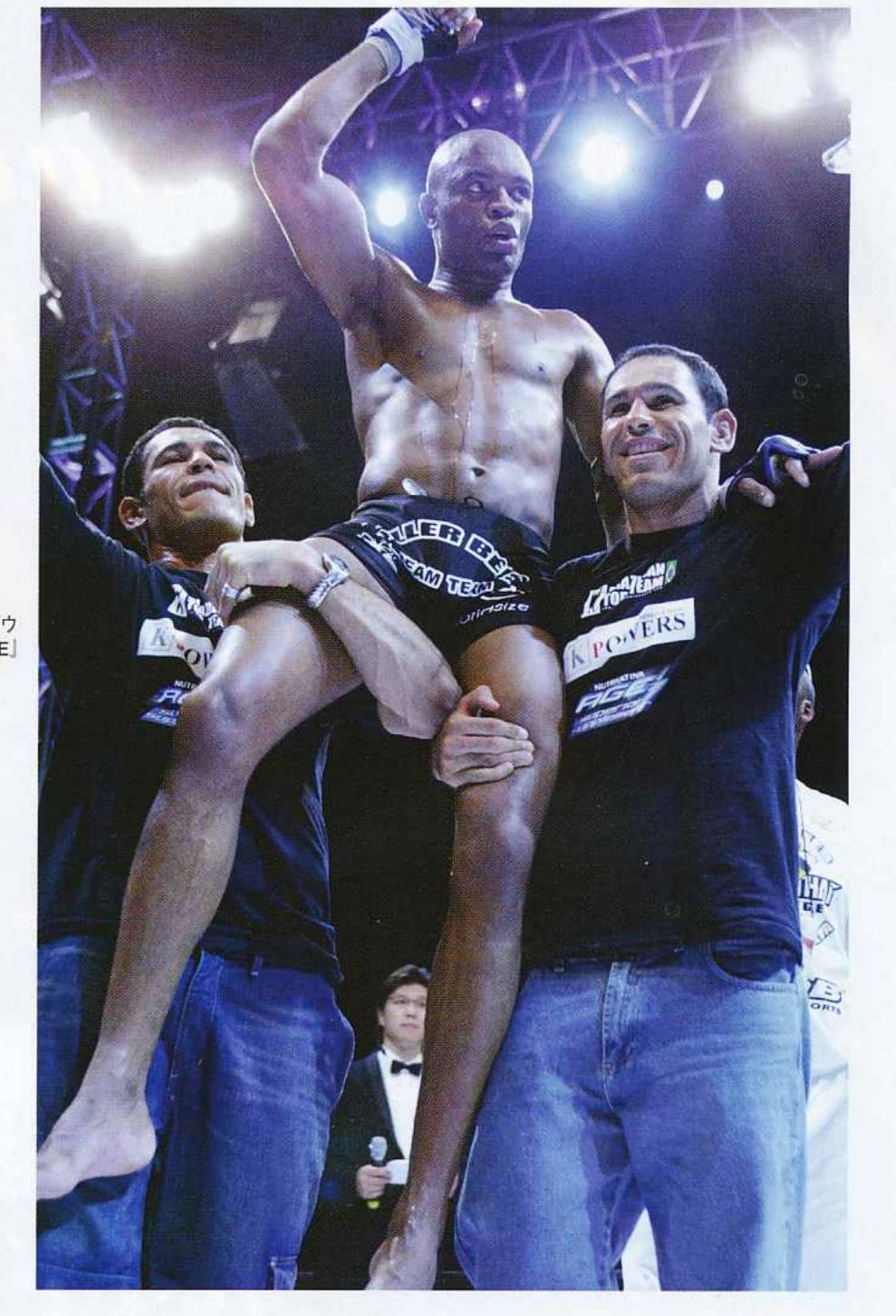
ホジェリオ　たぶんバレないと思うからね（笑）。

――では、前振りはこれぐらいにして、本題に入りましょう。ホジェリオ選手、昨日はアレックス・スティーブリング相手に見事な勝利、おめでとうございます！

ホジェリオ　ありがとう。体調的にはパーフェクトじゃなかったんで、一本勝ちができなかったのは残念だけど、ベストは尽くせたと思うよ。

――1R〜3Rまで終始試合をリードしてましたけど、あれでも体調不十分だったんですか？

ホジェリオ　自分たちのトレーニングスケジュールは、6〜8週間で試合に望むんだけど、今回はケガをしてたから4週間しかなかったんだ。だから仕上がりとしては十分じゃなかったけど、次に予定されている『PRIDE武士道』（7・19名古屋）は、いまの状態からプラス3週間あるから、100％の力が出せると思うよ。

――ということは、今回のスティーブリング戦は『武士道』への前哨戦みたいな感じだったわけですか。

韓国『グラジエーター』2日目のメインで、実力者ジェレミーに完勝したアンデウソンを担ぎ上げるノゲイラ兄弟。アンデウソンはシュートボクセ離脱以来『PRIDE』に参戦していないが、この「チーム・ノゲイラ」はぜひ日本でも見たい！

ホジェリオ　もちろん軽視していたわけじゃないけど、今後を見据えて、いろんな技術を試しながら闘っていたことは確かだね。やっぱりボクは、絶対にPRIDEミドル級のベルトを取りたいと思っているし、そのためにはヴァンダレイやクイントン（〝ランペイジ〟・ジャクソン）のような強豪に勝たなきゃならないから。

――今回、1R終盤で出したスピニング・チョークは、その試してみた技術のひとつですか？　ちょっとホドリゴ選手が出したスピニング・チョークとは違うように見えましたけど。

ホジェリオ　あれはスピニング・チョークの変形版で、ボクのオリジナルだね。兄が日本で見せたのは、相手がタックルに来たところを上からがぶって極めるものだけど、昨日出したのは、サイドポジションでアームロックを狙いながら仕掛けるタイプなんだ。1Rの残り時間が少なかったからタップは奪えなかったけど、大きな武器になる感触は掴めたよ。

――あのコンビネーションを日本でやったら盛り上がったでしょうね。日本じゃ、まだ誰も見たことない技ですから。

ノゲイラ兄　スピニング・チョークは弟の方が上手いんだ。試合で使ったのはボクが最初だからボクの技みたいに思われてるけど、ホントはホジェリオに教えてもらったものだからね（笑）。

――へぇ、そうだったんですか。それともう一つ、昨日の試合で驚いたのは、ストライカーであるスティーブリング相手に打撃でも完全に上回っていたことなんですよ。大晦日の桜庭戦より、さらに磨きが掛かってるように見えました。

ホジェリオ　打撃を評価してもらえるのは非常に嬉しいね。実は今回、一番試してみたかったのが打撃なんだ。やっぱりヴァンダレイやクイントンのような強いストライカーと闘うためには、グラウンドに行く前の打撃技術が絶対に必要だから、今回も寝技だけにこだわれば一本勝ちできたかもしれないけど、あえて立ち技で勝負してみたんだ。

――実戦でテストができるっていうことが凄いですよね。やはりミドル級で一番のライバルは、シウバとランペイジと認識しているわけですか？

ホジェリオ　実績から言って、やはりこの2人が最大のライバルになるだろうね。でも、この間のクイントンとアローナの結果には納得いかない。ビデオで確認してみたら、最後のフィニッシュはバスター（パワーボム）じゃなくてバッティングだった。

これが6・26韓国でホジェリオがスティーブリングに決めたスピニング・チョークの別バージョン。サイドポジションから仕掛けるのが特徴だ。まだ他にも入り方があるというこの技、7・19中村戦でも炸裂するか？

Antonio Rogerio Nogueira

スティーブリング戦では今後を見据えていろんな技を試して闘った

もう一度アローナに、再戦のチャンスを与えてほしいよ。

――近藤有己選手も打撃を得意にしてますが、その2人よりは一枚落ちますか？

ホジェリオ いや、コンドーはパンチも上手いし、凄くいい選手だと思うよ。

――近藤選手と、ヴァンダレイを比べた場合どうですか？

ホジェリオ スタンドなら互角だと思う。コンドーはヴァンダレイのパンチに注意して、ヴァンダレイはコンドーのヒザ蹴りに注意しなきゃいけないね。でも、グラウンドになるとヴァンダレイの方が強いんじゃないかな。ヴァンダレイはいま、テイクダウンの技術が凄く上がってるんだ。グラウンドも極めはないけど、パウンドは技術的にも破壊力的にもハンパじゃないから、ヒョードルと同じぐらい危険だと思う。だから、ヴァンダレイ相手にクロスガードを取るのは自殺行為。オープンガードで動けるようにした方が、ディフェンス状態でもチャンスが増えるよ。

――つまりノゲイラ兄弟のような闘い方をすればいい、と（笑）。

ホジェリオ そうだね（笑）。相手の腰とか腕に足を当ててコントロールして、距離をキープするんだ。そして相手のミスを見逃さなければ、極めることは可能だよ。

――そうすると、ヴァンダレイにとってノゲイラ兄弟は天敵なんじゃないですか？

ホジェリオ そうかもしれないね（笑）。ハッキリ言って彼を倒す自信はあるよ。ボクはいま来年予定されている『PRIDEミドル級GP』に照準を絞ってすでに準備に入っているんだ。予告しておくよ。そこでボクがヴァンダレイを倒して優勝する。そのために、長期的なプランを立てて、来年にはパーフェクトな状態にもっていくつもりだ。

――早くも来年を見据えているわけですか。今日、ジェレミー・ホーンに完勝した、元シュートボクセのアンデウソン・シウバともトップチームで一緒に練習してるらしいですね？

ホジェリオ トップチームというか、「チーム・ノゲイラ」だね。

――「チーム・ノゲイラ」ですか？

ホジェリオ そう。ボクら兄弟の自宅にはトレーニングジムがあるんだけど、試合が近くなるとドリアというボクシングのオリンピックコーチとアンデウソンを必ず呼んで、3週間トレーニングするんだ。ドリアとアンデウソンはクリチバ（ブラジル南部の都市）に住んでいるんだけど、リオまで来てもらってね。

――そもそもなぜ、アンデウソンと練習するようになったんですか？

ホジェリオ 僕ら兄弟の従兄弟がクリチバで『CWBスポーツ』というジムを経営し

前号にも掲載したノゲイラ兄弟の自宅にあるトレーニング場。試合前にはこのリゾート地のようなロケーションで、BTTのメンバーやアンデウソンと共に、トレーニングキャンプを張るのだ。

ヴァンダレイと近藤はスタンドの打撃は互角でも、パウンドの技術と破壊力が違う。

ていて、約20人が所属するバーリ・トゥードチームがあるんだけど、アンデウソンも普段はそこで練習しているんだ。『CWBスポーツ』にはアンデウソンが初めてムエタイを習ったコーチもいるからね。そんな関係もあって、試合が近くなると合同で練習するようになったんだよ。彼は素晴らしいスタンドの技術を持っているから、すごくいい練習になるし、逆に彼も僕ら練習するようになってから、寝技がどんどん上達しているから、とてもいい関係だと思うよ。

――それにしても、自宅でトレーニングキャンプができしまうというのが凄いですよね。この間、自宅の写真を見せてもらいましたけど、高級リゾート地のコテージみたいなところだったんでビックリしましたよ。

ノゲイラ兄　キューバのボクシングトレーナーがウチに来たときも、「これはホテルじゃなくて、自宅なのか⁉」って驚いてたよ（笑）。

――あれは誰でもビビッてたじろぎますよ。ぜひ、ミノタウロ選手がグランプリで優勝したあと、取材がてら遊びに行かせてください（笑）。

ノゲイラ兄　OK。いまから予約を受け付けておくよ（笑）。

――その前に、ホジェリオ選手は『PRIDE武士道』で試合があるわけですけど、対戦が噂される中村和裕選手（この時点では正式決定してなかった）の印象を聞かせてください。

ホジェリオ　ナカムラとは一度闘ったことがあるけど、テイクダウンのテクニックとか、グラウンドの技術は素晴らしいよね。しかも、あのときが彼のデビュー戦だというのだから、ずいぶん上達していると思うし、前回よりいい試合になると思うよ。でも、スタンドでもグラウンドでもボクの方が上だという自負があるから、キッチリと一本勝ちできめたいね。

――中村選手もホジェリオ選手と同じように、来年の『ミドル級GP』優勝を狙っているんですよ。

ホジェリオ　それなら、なおさら負けられないな。7月19日はキッチリ仕上げて試合に挑むよ。

――それでは、次回7・19『PRIDE武士道』での活躍、期待してます！

ホジェリオ　ありがとう。勝って、兄の代わりにボクが六本木に行くよ！（笑）。

【04年6月27日／韓国・ソウル『オリンピックパーク・ホテル』にて収録】

Antonio Rogerio Nogueira

Antonio Rogerio Nogueira■1976年6月2日、ブラジル・バイーア州出身。PRIDEヘビー級暫定王者ノゲイラの双子の弟。現在PRIDE4戦4勝。来年予定されるミドル級ＧＰ制覇を狙う。191cm、95kg。

PRIDE武士道 其の四

7月19日（月・祝）
名古屋レインボーホール（15:00）

［日本 vs ブラジリアン・トップチーム　3対3］

中村和裕 vs アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ
小路晃 vs パウロ・フィリオ
五味隆典 vs ファビオ・メロ

大山峻護 vs ミルコ・クロコップ
美濃輪育久 vs 山本喧一
アマール・スロエフ vs ディーン・リスター
三島☆ド根性ノ助 vs マーカス・アウレリオ

［武士道挑戦試合］

阿部裕幸 vs ルイス・ブスカペ
佐々木恭介 vs 光岡エイジ

桜井マッハ速人も出場予定！

チケット

席種	価格
VIP［専用入場ゲート、グッズ付］	¥50.000
RRS（ロイヤルリングサイド）	¥23.000
スタンドS	¥13.000
スタンドA	¥6.000

［問い合わせ］
ドリームステージエンターテインメント
TEL.03-5464-1531

7・19『PRIDE武士道其の四』カード決定!!

日本vsBTT 3対3対抗戦実現

ホジェリオは“大将”として中村カズと対戦 ミルコの相手は大山峻護に決定!!

「選手の意識改革が見られなかったら、シリーズ打ち切りもありうる」

7月2日の記者会見で、DSE榊原代表が最後通告を突きつけた7・19『PRIDE武士道』。まさに日本人選手たちにとっては「死ンデモ生キ残レ」という、サバイバルを掛けた闘いとなるが、今回もまた一筋縄ではいかない強豪がズラリと勢揃いした。

まず、『武士道』4連続参戦となるミルコの相手は、大山峻護に決定。前回「其の参」で金原をKOできなかったミルコは、今度こそ完全復活を見せつけるべく、異常なモチベーションで望んで来ることは確実。1年半ぶりの復帰となる大山には荷が重すぎるようにも思えるが、これまで試合ができなかった鬱憤をすべてぶつける闘いを期待したい。

「日本vsブラジリアン・トップチーム」の対抗戦では、中村、小路、五味がそれぞれホジェリオ、パウロ、メロと対戦。

これまで『武士道』其の壱～参で行われた、日本vsグレイシー、シュートボクセなどの対抗戦は、いずれも日本側の敗北で終わっているだけに、今回こそ勝ち越しが義務づけられる。しかも、中村と小路は共にかつて敗れた相手だけに、是が非でも負けられない所だ。

また、三島vsZST・GP王者アウレリロ、アブダビ王者vsレッドデビルなどマニア注目の一戦も組まれた『武士道　其の四』。この可能性ある“場”の存続のためにも、選手たちには熱き闘いを期待したい。

7・19 名古屋レインボーホール
PRIDE武士道
其の四
ROGERIO vs KAZU

「決勝で吉田さんに勝って ミドル級GPは俺が優勝だーッ!!」

ヘビー級GP決勝を前に
2005年、カズの野望！

TO BE WILD

KAZUHIRO NAKAMURA

聞き手／松澤チョロ　撮影／森"モーリー"鷹博　designed by hisa (Two Three)

柔道から総合格闘技へと戦場を変えた吉田秀彦の愛弟子・中村和裕。昨年3月のノゲイラ弟戦でデビューを果たすと、次戦ではK－1ルールに挑戦し大健闘。その後はダニエル、ドスJr.、ハリッドと現在3連勝と絶好調！　この取材後には7・19『武士道　其の四』のメインでノゲイラ弟とのリベンジマッチが決まり「あの時の悔しさは忘れていない」と意気込みを語っていた中村カズに、久しぶりにインタビューを敢行！

――プロデビューから1年ちょっと過ぎたわけですけど、この1年で一番変わったところというとどういう点になりますか？

中村　やっぱり精神的な面が凄く成長したような気がしますね。デビュー前って、焦りが凄くあったんですけど、試合を経験して勝ち星もあげられるようになって、だんだん心に余裕が出てきましたね。

――やっぱり、『武士道　其の参』（vsハリッド・ディ・ファウスト）での初の一本勝ちが大きかったんじゃないですか？

中村　一本勝ちもそうですけど、その前にダニエル・グレイシーに勝ったっていうことが一番の心の余裕になりましたね。

――ダニエルからは日本人初勝利でしたからね。何かで読みましたけど、デビュー直前は、ぶっちゃけ、総合の世界を甘く見てたところがあったみたいですね。

中村　正直ありましたね。実際にリングで闘ってみるのと、はた目で見るのは全然違いましたね。ホント、総合を甘く見てたっていうか、自分が甘かったです（笑）。

――ちょっと違うのかもしれないですけど、練習ではメチャメチャ強くても試合でそれを発揮できない選手って、かなりいるみたいですからね。

「アイツは危ないからやりたくない」って言われるような試合がしたい

中村　そういう選手って結構多いですからね。実際、自分もそうだと思うし（笑）。

――あ、中村さんもそうでしたか（笑）。

中村　「こんなはずじゃ」って思うことも多かったし。それが勝ったことによって心に余裕が出来てきたっていうのもあるし、それがいい経験になってると思いますね。

――デビュー当時と比べて、技術的に一番成長したのは打撃ですよね？

中村　そうですね。最初の頃は柔道だけでやろうとしてたし、やれると思ってたんで。

――それぐらい柔道に対する自信があったんでしょうね。

中村　正直、「いけるだろ」っていうのはありましたね（笑）。でもいまは柔道だけじゃ通用しない世界だって気づいたんで。やっぱり、打撃も出来ないとトップにはいけないと思うし、やるんだったら、ごまかしの打撃はあんまりしたくないんで、ボクシングの練習とかでもボコボコにされながら練習してますからね

――でも中村さんは、デビュー2戦目からK－1ルールで堀選手相手に善戦してますし、ぶっちゃけ打撃では吉田さんに負けない自信もあるんじゃないですか？

中村　どうすかねぇ？（笑）。練習とかだったら自分の方が殴られるんですけどね。

――えっ、そうなんですか？

中村　ホントにホントに。

――中村さんは聞くところによると、すぐにカーッと熱くなってマススパーリングができないとか言われてますよね。さすが吉田さんの弟子というか（笑）。

中村　それは間違いないです！（笑）。

――パッと見は人の良さそうな顔をしてるし、意外と言えば意外なんですけどね。

中村　童顔だし、穏やかそうに見られるんですけど、すぐに熱くなりますからね。

――最近の発言とかを見ると、シウバとか長南さんのような凶暴なスタイルを試合で見せたいとかよく言ってますよね。

中村　それはよく思うんですよ。相手が見て嫌がるような試合がしたいなって。「アイツは危ないから絶対やりたくない」って言われるような。

――シュートボクセ勢のように平気で相手の顔面踏んづけたりとか出来ます？

中村　たぶん出来ると思います（ニコッ）。

――じゃあ、試合でゼヒ見せてもらいたいですね。ワイルドなカズスタイルを（笑）。

中村　これまでは、なかなか出せてないで

03・6・29K-1 BEAST「　さいたまスーパーアリーナ　vs堀啓■カズのプロ2戦目の舞台はなんとK―1。ジャパンGPへの出場権が賭けられたこの試合。カズは20cmもの身長差にもめげず左フックであわやのシーンを何度も作り出す大健闘。しかし、2R1分58秒、堀の左ハイを食らいKO負け。K―1への再挑戦はあるか!?

03・3・16『PRIDE.25』横浜アリーナ　vsアントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ■デビュー戦の相手は7・19『武士道』のメインで再び激突するノゲイラ弟。再三の三角絞めから逃れるカズだったが2R3分過ぎ、ノゲイラ弟の腕十字で無念のタップ。来年のミドル級GPへ出場するためには次のノゲ弟戦は落とせないぞ！

KAZU HISTORY

すけど、次あたり見せれればなって。
―この間のハリッド戦でも試合後ニコニコしながら吉田さんを肩車したり、いい人っぷりしか伝わってないですからね。
中村 いやいやいやいや（必要以上に否定して）、自分は、いい人じゃないッスから。でも、昔からそうなんですけど、あんまり威張るっていうか、調子に乗ると失敗することが多いんですよ。
―具体的に言うと？
中村 威張って「アイツ弱いよ」とか「大したことねえよ」って言っちゃって、足元すくわれることが多かったんで（苦笑）。
―じゃあ、足元すくわれない程度にワイルドな試合を見せてください！（笑）。

TO BE WILD
KAZU NAKAMURA

中村 期待してください（ニコッ）。
―期待してます。話は変わりますけど、最近は街とか歩いてても声を掛けられたりするようになったんじゃないですか？
中村 少ないですけど、まあ多少は。……男だけですけどね（笑）。
―「カズ、可愛い‼」とか女の子からキャーキャー言われたりはないですか（笑）。
中村 そんなことあるわけがない‼
―失礼しました（笑）。長南さんが言ってましたけど、中村さんって酔っ払ったら、すぐ服を脱いじゃうらしいですね（笑）。
中村 ハッハッハッハッハッ！ それは噂じゃなく本当ですね。でもボクは飲まなくても全然脱ぐんですよ（キッパリ）。
―そんなに自信満々に言われても（笑）。ケツ出したりしても恥ずかしくはない？
中村 そうッスね。でも、さすがに他人とかいると脱がないですけど、仲間内だけだったら全然脱げる！
―アハハハハ！ 長南さんは「そんなことしてもウケないから、いい加減やめろ！」って言ってるみたいですけど。
中村 いやいやいや、そんなこと言って長南さんが一番面白がってますからね（笑）。
―そうでしたか（笑）。よく言えばプロ意識が高い……って言えるのかなぁ（笑）。
中村 あんま関係ないですね（笑）。
―でも、前回の『武士道』前には「次、判定だったらもう使ってもらえないかもしれない。必ず一本取りにいく」って言ってましたけど、それはプロ意識だと思うんですよね。
中村 毎回そうやってプレッシャーかけてやんないと自分に甘くなっちゃうんですよね。プロ意識っていうよりは、キッチリ一本取って、盛り上げたいって感じですね。
―それが出来ればベストですよね。
中村 ベストですけど、デビュー直後は周りをちょっと気にしすぎてましたね。ブーイング喰らうの嫌だなとか。あと、相手が仕掛けてきたのを凌いだ後に、（腕を広げて）「効いてないよ」とかのアピールとか、実際は必要ないじゃないですか？
―まあ、そうですよね（笑）。
中村 そういうのがプロ意識みたいな、変に解釈してたところがあったんで（笑）。
―なんとなくわかります（笑）。いまのところの目標は来年予定されているミドル級GPを制覇したいってことなんですよね。
中村 そうッスね。なんでだか最近それが凄く気になるんですよねぇ。
―まだヘビー級GPも終わってないうちから気になってしょうがないと（笑）。
中村 なんか意識しちゃうんですよね。出場選手も決まってないうちから「出たい出たい」って言ってますからね（笑）。
―でも最近の会見で榊原代表はミドル級GPの出場内定選手の名前を挙げてましたからね。それってご存知ですか？
中村 あ、知らないです。もう決まっちゃってるんですか？
―たしか、日本人選手は桜庭、吉田、田村、近藤の4人。あとシウバとランペイジの2人も内定って言ってましたね。
中村 えっ、ほんとッスか⁉ 8人だと厳しいなぁ。あと2人じゃないですか？
―吉田さんもミドル級GPで優勝する

キミもアナタも、カズと一緒にVIVA JUDO!
「うちの道場では礼儀とか挨拶とか、最近の子供とかが出来ないって言われてることを徹底的にやらせているのが特徴です。みんなで柔道を楽しもう！」と言う道場長のカズ先生のもとでレッツ・柔道！ 絶賛入門受付中です‼
[入門受付先]（株）ジェイロックTEL.03-3414-9000
神奈川県横浜市青葉区つつじヶ丘1-12ベル青葉台1F
TEL.045-984-0009
[吉田秀彦公式サイト] http://www.hidehiko.jp

04・5・23『武士道 其の参』横浜アリーナ vsハリッド・"ディ・ファウスト"■『武士道』挑戦試合から本戦に上がってきたハリッドにカズが腕十字でプロ入り初の一本勝ち！ 喜びのあまりセコンドの吉田を肩車すると、観客、そして自身が指導する青葉台柔道クラブの生徒に「ありがとうございます!」とアピール

04・2・1『PRIDE.27』大阪城ホール vsドス・カラスJr.■柔道vsルチャの異次元対決として注目された一戦。何度か極めかけたカズだったが一本は奪えず判定勝利。試合後、不満顔のカズはマイクをつかむと「不甲斐ない試合をしてすいません。『武士道』とか経験を積んで、またこのリングに戻って頑張りたい!」

03・10・5『武士道』さいたまスーパーアリーナ vsダニエル・グレイシー■『武士道 其の壱』では日本vsグレイシーの5対5マッチが実現し、カズは日本で負けなしのダニエルと対戦。試合は判定となったものの打撃で上回ったカズが嬉しいプロ初勝利をゲッツ。試合後、吉田に抱き上げられたカズはガッツポーズ!

ていうのを目標にしてるみたいだし、ましてや同じ道場から出場するには、それまでに結果を残さないと難しいですよね。

中村 そうッスね。自分はそのつもりなんですけど。始まる前からミドル級GPに出たいって言ってるんで、それまでに同階級の相手に問題なく勝ってアピールしていくしかないですよね。

——ミドル級GP優勝とチャンピオンのシウバに勝ちたいっていうのは、どちらがモチベーション的には上になるんですか?

中村 やっぱりシウバに勝てばGP優勝だと思うし、GPで優勝したいっていう気持ちの方が大きいですね。

——もしミドル級GPで勝ち上がって吉田さんと当たったらどうします?

中村 吉田さんと出来たら幸せですね。決勝とかで当たれたら最高ですけど。吉田さんへの恩返しというか。

——まあ一回戦でそういうカードが組まれることはないと思うんですけど、決勝で吉田さんと当たって、その上で勝ってチャンピオンになれれば言うことなしと?

中村 まあ、そうですね。

——中村さんはデビュー前から「吉田さんも練習では極めてます」ぐらいのことを言ってたんで、ファンとかも幻想とか凄い膨らんでたと思うんですよ。

中村 幻想壊れちゃいましたね(笑)。

——いやいや(笑)。でも、その頃と比べて打撃も格段に成長してるわけですし、いま闘ったら、いい意味での恩返しをする自信もあるんじゃないですか?

中村 どうなんですかねぇ。吉田さんを意識してるってことは正直ないッスからね。それに寝技で取ったのって、正直、吉田さんが総合始めた頃の話だから(笑)。

——最近は取れなくなってきていると?

中村 いまはなかなか取れないッスからね。まあ、越えなきゃいけない壁だとは思うんですけどね。実力的にも知名度的にも。

——実力はともかく知名度で上回るっていうのは、かなり難しいんじゃないですか。

中村 ボクはメダルとか獲ってないですからね(笑)。やっぱり、ミドル級GPで優勝するしかないですね。

——中村さんも、よく一緒に練習してる横井さんは、ノゲイラ戦前とか「アイツは強い」っていろんな人が証言してましたけど、同じように、中村さんのことも、いろんな人が「強い」って言うんですよね。

中村 えっ、ホントですか!? ありがとうございます!(ニコッ)。

ホジェリオにリベンジできたら"カズ・ポーズ"を披露するぞーッ!!

なかむら・かずひろ■1979年2月21日、広島県福山市出身。178cm、97kg。柏崎先生で有名な国際武道大学出身。柔道では、00年正力杯学生体重別2位、講道館杯体重別2位、02年全日本実業団個人優勝など輝かしい実績を残す。その後、吉田道場に入団。現在は横浜にある吉田道場・青葉台柔道クラブで道場長を務める。ワイルドに決めたつもりが、アイドルチックな表情になってしまうカズの公式サイトはこちら→http://kazuhironakamura.com/

TO BE WILD
KAZU NAKAMURA

——練習と試合は、また違うと思うんですけど、そんな中村さんから見て単純に強いって感じる選手は誰になりますか?

中村 やっぱり、吉田さんと桜庭さんは別格だなと思いますね。

——それもまた、みんな言うんですよね。

中村 やっぱり、その2人は極めの強さが半端じゃないですからね。やっててホントに面白いのは高阪さんです。で、横井君、長南さん、高瀬さんっていうのは「負けたくない」って思って練習してるんで(笑)。

——やっぱり世代も近いしライバル意識が強いわけですね。

中村 そうですね。横井君とか高瀬さんとか長南さんとやると「絶対取られねぇぞ!」って思ってやってますから(笑)。

——アハハハハ! あと、柔道つながりで言えば、ヘビー級GPで小川さんがハッスルしてますけど、どう思います?

中村 正直、小川さんが打撃でレコを倒すと思ってなかったんで、あの試合を見て「そんな強いんだぁ」って思いましたね。

——これまで接点はなかったんですか?

中村 話したことはないですけど、明治(大学)に練習に来てた時に、ちょっと見かけたことはありますよ。だから、どっちかって言ったら小川さんはプロレスっていう印象の方が強いし、寝技がどれぐらい強いかとかも見たことないんで実際わかんないですよ。まあ、同じ柔道家としては勝って欲しいですけどね。

——唯一の日本人ですしね。

中村 でも、いまテレビで『ハッスルハッスル!!』って凄いじゃないですか?(腰を振りながら「ハッスルポーズ」)

——いろんな人がやってますよね

中村 飲み屋とか行っても隣の客とかが普通にハッスルしてますからね。

——吉田さんは、いまだに「ゲッツ!」をやってますけどね(笑)。

中村 あれもどうなのかなぁって思うんですけどね(笑)。もう「ゲッツ!」はやめた方がいいんじゃないですか?

——ある意味、吉田さんらしくていいなって思うんですけどね(笑)。中村さんも「ゲッツ!」に対抗して何か、カズ・ポーズでも考えた方がいいですよ!

中村 う〜ん、どんなのがいいかなぁ? まあ次の試合までに何かしら考えておくので、試合と共に期待してください!

【6月17日/横浜『吉田道場・青葉台柔道クラブ』にて収録】

それに寝技で取ったのって、正直、吉田さんが総合始めた頃の話だから（笑）。

んな人が「強い」って言うんですよね。

中村　えっ、ホントですか⁉　ありがとう

強いわけですね

中村　そうですね。横井君とか高瀬さんと

【6月17日／横浜『吉田道場・青葉台柔道クラブ』にて収録】

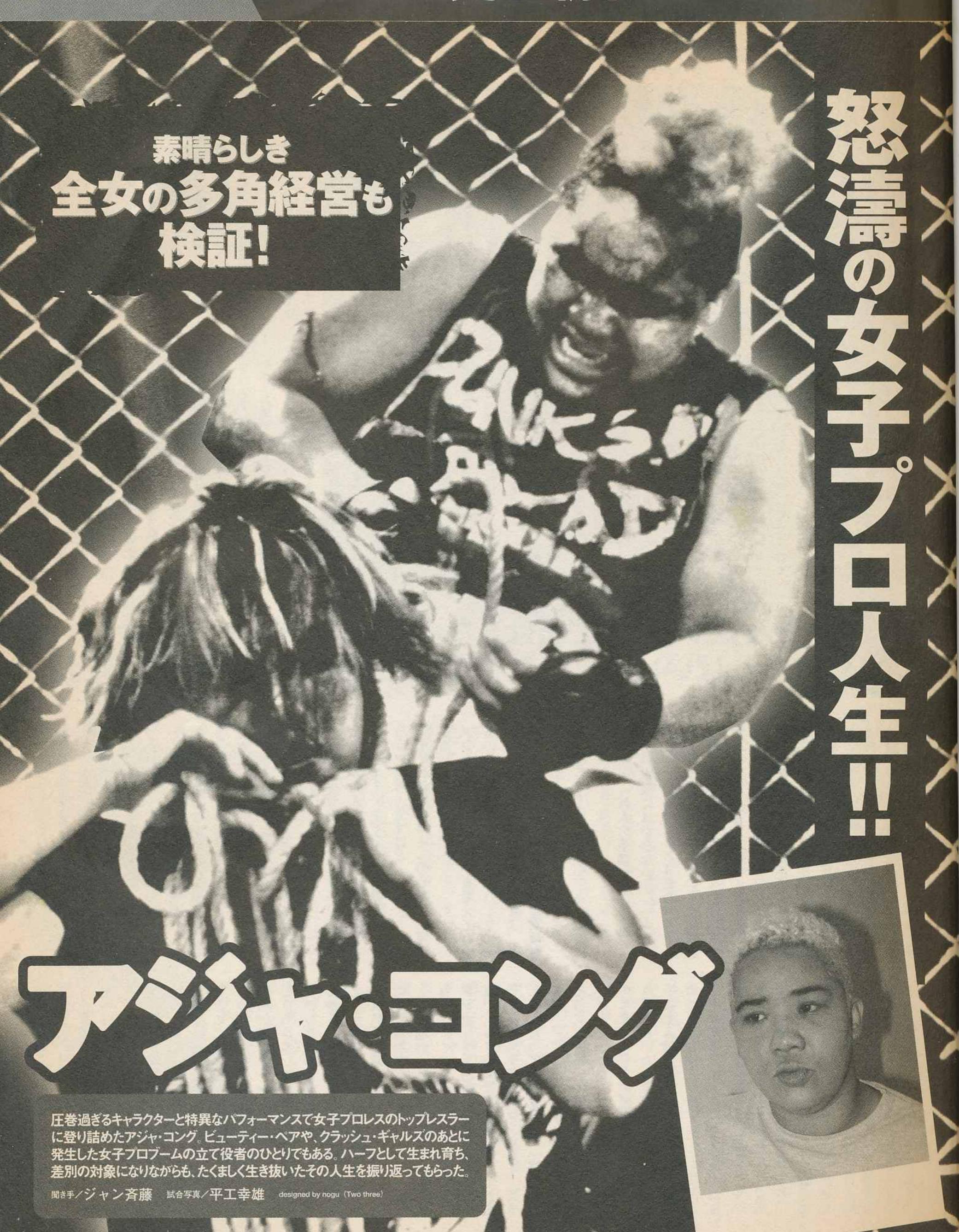
おそらく **史上初！**

怒濤の女子プロ人生!!

素晴らしき全女の多角経営も検証！

アジャ・コング

圧巻過ぎるキャラクターと特異なパフォーマンスで女子プロレスのトップレスラーに登り詰めたアジャ・コング。ビューティー・ペアや、クラッシュ・ギャルズのあとに発生した女子プロブームの立て役者のひとりでもある。ハーフとして生まれ育ち、差別の対象になりながらも、たくましく生き抜いたその人生を振り返ってもらった。

聞き手／ジャン斉藤　試合写真／平工幸雄　designed by nogu（Two three）

――最近の女子プロでビックリした話題といえば、神取（忍）さんが参議院選に出馬されたことなんですけど。

アジャ　ありましたねえ～。自分には絶対できないことですね。

――絶対に無理ですか？

アジャ　ええ。面倒くさそうですから。

――ああ、そういう意味で。

アジャ　自分のことだけでいっぱいいっぱいなんで。国民のことを考える余裕はないですよ（笑）。自分は楽しく、明るく、元気に、日々楽しく生きていければいいかなと。年金問題なんてわけわかんないですから。

――神取さんは一時期、年金未納だったらしく「自分の反省も含めてこれから改革をしていきたい」という話でした。

アジャ　まぁ、現職の先生にも年金払ってない方は大勢いますからね。TVで（神取の出馬）会見をチラッと見たら、「年金制度は難しいからわかりやすくする」って言ってましたけど、ちゃんとした政治理念を持って取り組んでいただけるなら頑張ってもらいたいですね。いまは不景気だし、女子プロレスのコミッショナーにでもなって、プロレス界をもっと盛り上げてほしいですよ（笑）。

――なるほど（笑）。女子プロからの立候補といえば、堀田（裕美子）さんが出馬されてましたよね。2回とも落選しちゃいましたけど。

アジャ　あれって、シャレじゃないんですか？

――シャレでしたか！　堀田さんは2度目の立候補の際には「前回は訳の分からないまま選挙を闘ったが今回は政治のことも少し勉強した」と、不思議な意気込みを述べてましたけど、それにしても大掛かり過ぎますよ（笑）。

アジャ　う～ん、シャレだと思いますけどねえ（笑）。

――で、政界とプロレス界は壮絶な内情を含めてよくたとえられますけども、アジャさんはプロレス入りする前から、壮絶な家庭環境だったそうですね。

アジャ　他の家庭を知らないから、自分ではそうは思わなかったんですよ。よくよく人の話を聞いてみると、どうやらウチとは違うことにあとから気付いて。

――アジャさんのお母さんは、かつて立川にあった米軍基地の米国軍人と知り合って、未婚のままアジャさんを産まれたわけですよね。

アジャ　父親は自分が5歳のときに、帰国命令が出て本国に帰りました。そこからずっと母子家庭だったから、母親のサポートしなきゃいけないのは当たり前だったし、母親はある意味で自分を対等に扱ってくれたので、けっこうドライな親子関係でしたね。そのぶんお互いに親離れ子離れが早くできたから、15歳でプロレスの世界に入れたと思うんですけど。

――ハーフであることでイジメに遭ったアジャさんが、お母さんに「別に生んでくれなんて頼んでないよ」と言ったら、「だったら殺すのも勝手でしょ！」と、包丁を突きつけられたこともあったそうですが。

アジャ　あれだけは言っちゃいけなかったって、いまだに後悔してますね……。自分が小学生の頃って、ハーフであることがいまの世の中ほど認知されてなくて、しかも黒人のハーフだから、生きてることがいけないぐらいの反応を周りから受けていたんで。子供心に「ふざけんなよ！　何でこんなこと言われなきゃいけねえんだよ！」って思ってたんですよ。

――つまり、差別の対象になっていたわけですね。

アジャ　自分もハーフになりたくてなったわけじゃないから、ぶつけどころとしては、やっぱ親に不満を言うしかなくて。「アンタが外人と子供つくんなきゃよかったんじゃん！」って、子供だからストレートに言っちゃったんですよ。

――そうしたら、包丁を突きつけられた、と。

アジャ　大変でしたね。「じゃあ勝手につくったんだから、勝手に殺していいでしょ？」って……。この理屈もどうかと思うんですけど（笑）。

――それだけお母さんの心に強い覚悟があったというか。

アジャ　そうですね。いま考えてわかるのは、母親があの時代にハーフの子供を産むことの大変さなんですよ。私を産んだことによって、母親は親戚付き合いが一切なくなりましたから。

――そこまでの拒絶反応があったんですか。

アジャ　「外人の子供を産むなんて、ウチの家系にはいらない！」「ふしだらな！」ぐらいのことは言われたそうですからね。だから私はいまだに親戚の顔も知らないです。そんだけの覚悟を持って産んだ子供にそんなこと言われたら、親としてはどうしようもない。母親は死のうと思ったはずです。でも子供をひとり残したら大変な目に合うから、まず私を殺して母親も死ぬ気だったんでしょう。そのときからですね。それだけ命を賭けて私を産んでくれた人間がいるんだから、負い目に感じる必要は何もない。負い目どころか、それを誇りに思わなきゃいけないんだって感じたのは。

――空手を始めたのは、そういうこともあったうえで、強くなりたい思いがあったからですか？

アジャ　いやいや、見た目のカッコよさが一番（笑）。小学校に入るときに、母親が「女の子でも、自分の身を守るために護身術程度は身に付けてたほうがいい」ということで、合気道の道場に連れていかれたんです。でも、どうもねえ、合気道は強くなれそうな気がしなかったんですよ。大人になってから、ちゃんとした合気道を見ると、そのすごさはわかるんですけど、子供の頃は踊りを踊ってんだかぐらいにしか思わなくて（笑）。

――神秘的な世界ではありますからね。

アジャ　そこの町道場の半面は合気道で、もう半面では空手もやってたんですよ。空手衣をビシッと着て、突きだ蹴りだってのを見たら、「空手の方がカッコいいなあ」って思っちゃって。それと、小学生の頃から女子プロレスが好きで、ビューティーペアが全盛期のときにビクトリア富士見さんっていう選手がいたんですけど、その人は空手衣で入場してくるんです。その姿もカッコ良かったから。

――まずはアイテムとしてのカッコ良さに惹かれたわけですか（笑）。すると、女子プロに入ることを視野に入れて、空手を始めたわけではないんですね。

アジャ　プロレスに活かそうとは全然思ってなかったですね。でも、中学2年生になると進路問題が出てきて、自分は高校に行こうと考えてたんですけど、母親が「高校までは学費を出してあげるけど、大学に行きたいんだっ

全女はクビすることはしないから、デビュー当初は“いればいいや”ってかんじで、惰性でやってましたね

衛隊！」ってことになって。

だから、それについて悩むこともなく、

おそらく 史上初！

たら自衛隊に入って防衛大学に行け！」って言われて。

―じ、自衛隊ですか!?

アジャ　とくに高校出てからの明確な進路がないなら「自衛隊に入れ。空手も頑張ると自衛隊の勧誘もくるから！」って。別に自衛隊に行くために空手を始めたわけじゃないんだけど（笑）。

―ビクトリア富士見に憧れただけですからね（笑）。

アジャ　で、「自衛隊はイヤだなあ。でもやりたいことが他にないし」って悩んでるときに、近所に全女が来てたから観に行ったんですよ。気持ちにいろんな揺れ動きがあったときだから、観戦しながら「プロレスが私を呼んでる。自衛隊は呼んでない！」って決意したんです。親には「プロレスは危ない！」って反対されましたけどね。

―自衛隊もそれなりに危ないとは思いますけど（笑）。

アジャ　それで1年間かけて親を説得したら「とりあえず1回だけテストを受けて、それでダメだったら諦めて自衛隊！」ってことになって。

アジャは同期のバイソン木村とユニーバサル・プロレスに参戦。2人はブル中野率いる獄門党を脱退し「ジャングル・ジャック」も結成していた。バイソンは引退後、たこ焼き屋をやっていたこともある。

―自衛隊に入りたくない気持ちもあったと思うんですが、プロレスの世界に魅力を感じた部分もあったわけですよね？

アジャ　クラッシュ・ギャルズは大好きでしたからね。極悪同盟のダンプ松本にやられても立ち向かって行く姿を見てると、「自分も頑張んなきゃ！」って思える原動力にもなってたんで。それと、お小遣いが少なくてプロレスをしょっちゅうは観には行けないんで、プロレスラーになってしまえば、毎日リングサイドで観れるなと。そっちの方が大きな理由だったんですよ（笑）。

―ワハハハ！　動機が軽すぎますよ！

アジャ　毎月給料貰って、毎日長与千種が観れるのはいいぞ、と（笑）。しかもセコンドなら、リングサイドの席よりも前で観れますからねえ。

―それが入団してみたら、まったく観戦なんかしてる場合じゃなかったんですよね？

アジャ　試合観る暇なんかなかった（笑）。雑用が多かったし、いざセコンドに付いても、ボーッと観てると先輩に蹴飛ばされますからね。これは誤算でしたねえ〜。

―やっぱり新人時代は寝る間もないぐらいハードだったわけですか？

アジャ　いや、自分たちの頃は、それほどハードじゃなかったんですよ。新弟子テストをパスして、半年後のプロテストに受かるまでは、練習だけすればいい毎日だったし。プロになって先輩の付き人になっても、15歳で入ってるから、みんなは自分より年上じゃないですか。上の人に言われることは何でも「ハイ！」って聞くのは当たり前だから、それについて悩むこともなく、きちんと仕事をしてれば文句を言われることも怒られることもない。仕事を失敗して怒られるのは自分の責任だから、あんまり苦痛には感じなかったですね。

―封建的世界に対する心構えはできていたわけですね。

アジャ　この世界の上下関係って入った順番じゃないですか。16や17で入ると、自分より年下の先輩が出てくるから、そうなると素直に命令を聞けない。だから母親も15歳のうちに、1回限定でテストを受けさせてくれたんだと思うんです。

―アジャさんと同じ年に入門した新人は、すぐ辞められてた方も多かったと思いますけど。

アジャ　会社も辞めるのを見越して10〜15人は採りますから。コンバット豊田とか工藤めぐみのように全女を辞めてから他のリングで復活した選手もいますけど、5年経った時点で全女に残ってたのは、自分とバイソン（木村）の2人ぐらいでしたね。

―年間２５０試合はザラという、地獄の地方ツアーも大変じゃなかったですか？

アジャ　いや、ツアー自体は慣れるもんなんですよ。

―慣れるもんですか（笑）。

アジャ　ええ。オフになると試合がないから落ち着かないんですよ。完全にワーカーホーリック（笑）。まぁ、最初の頃は試合をあんまり組んでくれなくて、2週間ぐらい試合がなかったことはしょっちゅうでしたけどね。

―それって干されたわけですか？

アジャ　そうですね。弱いし、つまらない試合ばっかやってましたから（笑）。

っていうのを
してや同じ道
でに結果を残
中村　そう
ですけど。始
たいって言
の相手に問題
しかないです
—ミドル級
ウバに勝ち
チベーション
中村　やっぱ
と思うし、
ちの方が大
—もしミド
さんと当た
中村　吉田
勝とかで当
んへの恩返
—まあ一回
ることはな
田さんと当
ピオンにな
中村　まあ
—中村さ
も練習では
ってたんで、
らんでたと
中村　幻想
て打撃も格
ま闘ったら、
信もあるん
中村　どう
識してるっ
それに寝技
んが総合始

それに昔の全女は総勢で40名もいたし、デビュー3年以下の新人だけで20人ぐらいいたんですよ。そのぐらいのキャリアの選手は、基本的に出れるのは前半の4試合だけだから、全員が出れるわけじゃないんです。デビューしたのはいいけど、最初の3年は数えるぐらいしか試合してないですね。

—そうなると、精神的に焦りはありませんでした？

アジャ　まったくなかったですね〜。「まだ若いから身体ができてないし、弱いのはしょうがないんだな」って前向きに解釈してましたから。会社からは「もう辞めてくれ」って何度か言われたんですが、「辞めませんよ〜。まだ私の時代はこれからですから！」とか、呑気に言ってましたねえ。

—強制的にクビされかけたことはなかったんですか？

アジャ　全女っておかしな会社で、いまでもそうですけど「来る者は拒まず、去る者は追わず」だから。自分から「辞めます！」って言わない限りは、クビにされることはないんですよ。そうなると自分から辞めなければ毎月給料は貰えるし、"いればいいや"ってかんじで、ダラダラ惰性でプロレスをやるようになってましたね。

ブル中野とは壮絶な名勝負を繰り広げてきたアジャ。金網マッチでブルが金網最上段（！）からギロチンドロップを放つ直前、目を閉じ手を合わせたシーンはいまでも語りぐさとなっている。

—情熱的に闘うわけでもなく、辞めるわけでもなく。

アジャ　ただ、唯一辞めようと思ったのは、クラッシュ・ギャルズに憧れて入門したのに、会社から「今日からお前は悪役だ！」ってことでダンプ松本の極悪同盟に入れられたときですね。

—ヒール路線を命令されて、全女事務所の階段で泣いたそうですね（笑）。

アジャ　「私の夢はクラッシュ・ギャルズになることだったのにぃ〜！」って（笑）。さすがにそのときは辞めようかと思ったんですけども、「長くいればダンプ松本もいなくなるし、そうすれば極悪同盟もなくなる。今度こそクラッシュ・ギャルズを目指せるかもしれない！」って思ってましたねえ。

—そんな野望を抱きながらヒールをやってましたか（笑）。

アジャ　それでダンプ松本が引退して極悪同盟がなくなって、「バンザ〜イ!!　これでヒールじゃなくなるぅ〜！」って喜んでいたら、ブル（中野）さんが獄門党をつくっちゃって。また落ち込みましたよ、あれには！

—ワハハハ！　でも、当時の極悪同盟は悪役人気がすごかったから、やりがいはあったんじゃないですか？

アジャ　ダンプさんはヒール冥利に尽きるぐらいの憎まれ方をしてましたけど、私は下っ端だったから。あの当時、ダンプさんをガードするのは大変でしたよ。生卵、ペットボトル、トイレットペーパー、石なんかも普通に飛んでくるし。

—石が普通に飛んでくる（笑）。それぐらい選手やファンにもエネルギーがあったって証ですよね。

アジャ　クラッシュ人気もすごかったですから。いまは解体しちゃったんですけど、下目黒にあった全女事務所の前に、常に500人ぐらい女の子が詰めかけてましたね。

—500人!!　それはジャニーズ級ですね！

アジャ　近所迷惑も近所迷惑。半端じゃない近所迷惑ですよ！

—それを商売に結びつけようと、事務所の2階にレストランを始めるんだから、松永会長の商魂はたくましいですよね（笑）。それぐらいのブームだったから、ダンプさんの給料袋はあまりの厚さに机に立つほどだったわけですね。

アジャ　らしいですねえ。ダンプさんやクラッシュ、あとから自分もそうだったんですけど、売店の品物を入れる大判の紙袋で貰うんですから。

—それは豪快な給料袋ですね！

アジャ　全女は給料袋を手渡しなんですよ、下の子以外は。社長室で手渡されるんですけど、みんなの給料袋がズラッと置いてあるんで、誰がいくら貰ってるかはだいたいわかりましたね。後輩がいっぱい貰ってることがわかって、ちょっと険しい顔して社長室から出てくる先輩とかもいたし。

んが総合始、

は悪役人気がすごかったから、やりがい

かって、ちょっと険しい顔して社長室から出てくる先輩とかもいたし。

おそらく 史上初!

―試合が干されていたアジャさんがプロレスに開眼したのは、ブル中野さんが「ヒールも技ができないと困る時代が必ずくる」という言葉がきっかけだったそうですね。

アジャ　それまでヒールは最低限の体力づくりだけで、技の特訓しなくてよかったんですけど、ブルさんがトップになってからは技の研究とか、しっかり練習するようになったんです。ダンプさんの頃のヒールは憎まれてナンボで、ヒールに技は必要ないという感覚だったんですね。殴って蹴って凶器使って暴れて、ベビーフェイスをいかに痛めつけるか。綺麗な技はベビーフェイスに任せておけばいい。ただブルさんの中では「ヒールである前にプロレスラーなんだから、きちんと試合として成り立つものがなかったら、絶対にダンプ松本を超えることができない」という感覚があったんです。実際に方向性を変えないといけない部分もあったと思うんですよ。

―同じヒールスタイルだと、ダンプ松本の焼き直しではありますよね。

アジャ　ダンプさんとは違ったヒール像を求めたときに、ブルさんは試合を組み立てられるヒールを理想としたと思うんですよ。ブルさんがトップになって獄門党をつくったときから、私はブルさんの付き人だったんですけど、「こういう技やったらどう?」とか、いろんなをプロレスの話をしましたね。それはブルさんからすると、〝いればいいや〟感覚の自分がもどかしかった気持ちもあったと思うんですよ。

―そしてアジャさんの一大転機となったユニバーサル・プロレスのゲスト出場に辿り着くわけですね。

アジャ　男子のプロレスしか観なかったファンが女子プロレスを観に来るようになったきっかけは、ユニバーサルに出ていたアジャ・コングですね。もともとユニバーサルに出たのは、私が全女の巡業に来なくても何の支障のなかったからなんですよ。ユニバーサルと全女の日程が被ってるときは、全女に出なくても支障がない選手が派遣されたんです。

―いわゆる補欠の選手が駆り出されて、それがアジャ人気、女子プロ人気の爆発に繋がったんだからドラマチックですよ!

アジャ　ユニバーサルではとくに変わったことをやったわけじゃなくて、普段通りの試合をやっただけなのにすごくウケてるから、「ユニバーサルでは人気者」って思ってたんですけどねえ。

―でも、ユニーバサル限定の人気ではなくて、一躍トップスターに登り詰めたわけですが、それと比例するかのように全女の勢いも再び増していきましたよね。団体対抗戦などでの発展を経て、大会場でビッグイベントを連発したりして。

アジャ　東京ドームもよくやりましたよねえ〜。とにかく「長えよ!」っていう思い出しかないんですけど(笑)。

―合計22試合、終了したのは深夜12時過ぎですよ! しかもアジャさんはトーナメントに出場して決勝まで勝ち上がったから、ホント長い1日だったんじゃないですか?

アジャ　自分の1回戦が6〜7時ぐらいなのに「入場式のリハーサルがあるから朝7時に入れ」って言われたし(笑)。冗談じゃないから朝11時ぐらいに行ったら、全然リハーサルなんか始まってなかったんですよ!

―ワハハハ! しかし、よくドーム大会をやろうと思いましたよね。

ダンプさんとは違ったヒール像を求めたときに、ブルさんは試合を組み立てられるヒールを理想とした

アジャ　全女はイケイケだったから。横浜アリーナ、武道館、両国、有明コロシアムと、都内近郊でデカイといわれる会場を片っ端からやって、最終的にはドームをやるしかないという感覚だったんでしょう。そしてやるからにはお得感というか、いろいろ詰め込んでの22試合になったと思うんですけども。

―全女の試合数がとにかく多いのは、松永会長の性格だったりするんですか?

アジャ　いや、試合をたくさん組むのは小川(宏、元・全女企画広報部長、元アルシオン代表)さんでしたね。松永兄弟は「とにかく金儲けができればいい」という考え(笑)。年間250試合あったのも、とにかく興行をいっぱいやれば、毎日銭が入ってくるからでしょう。

―そのうち全女は経営が思わしくなくなっていきましたよね。

アジャ　レストランに始まり、カラオケ店を開いて、不動産にも手を出していたら、バブルが崩壊して全部ダメになりましたね(笑)。東京ドームに進出したのは、バブル崩壊の借金を返すために、一発逆転の意味もあってのことだとは思うんですけど。

―頂点を極めて、そこから落ちていく様をどんな思いで見てましたか?

アジャ　興行で稼いだ金はきっと他(のビジネス)で使ってることはわかってたので、いずれこうなると思ってましたね。新しく家を建てただの、車買っただの、クルーザー買ったりだのしてましたし。……あ、そういえば、家やクルーザーまではわからないでもないけど、一番意味不明だったのは、山を買ったことでしたよ!

―山まで! 素晴らしい多角経営です(笑)。

アジャ　それがねえ、そこに全女の合宿所を建てると言いつつ、要は自分たちが野良仕事したいがために買ったんですよ。

―え? まったくビジネスに関係なく?

アジャ　まったく趣味ですよ! 畑つくったりとか、山羊とかポニーを飼ったりしてたんです。

―もしかして、松永会長の夢だった移動動物園・計画の一環だったかもしれないですね(笑)。

アジャ　秩父の山奥に日本初の全面ログハウスを建ててましたよ。バブル時代には「ゴルフ場にするから4〜5億で売ってくれ」って言われても、「まだ値が上がるから」売らないでいたら、バブルが崩壊して二束三文になったという(笑)。

―まるで絵に描いたようなバブル転落劇ですね(笑)。

アジャ　多角経営も計画性があればいいですけど、何の計算してないですからね。誰かに「これ儲かるよ〜」って言われたら、すぐ手を出して。焼き肉屋とかラーメン屋とかもそう。

―たしか羅漢果(中国の果実)のラーメン屋ですよね。

アジャ　あれ、すっごいマズイ!!

―マズイですか(笑)。

アジャ　会社で試作品を一口食ったら、マズくてマズくて。で、「ちょっと味を改良したから……」って言うんでまた食べたら、これまたヒドイ。「おかしいなあ。羅漢果だけじゃなくてライチも丸ごと入れたんだけど……」って、マズイのは当たり前だよって!

——ワハハハ！　羅漢果にライチって、〝ら〟しか合ってませんよ（笑）。しかし、松永会長の伝説はいちいち素晴らしいですよね。

アジャ　すごいですよ！　だからこそ、全女は成り立ってるんだと思いますよ。

——その全女を辞められたのは、経営不振で生じた給料の遅配が理由だったんですか？

アジャ　いや、理由は給料が出なくなったことじゃなくて、いろんな面に不満があったんです。あのとき長与千種が復活してたんで、全女に「シングルでやりたいから交渉してくれ」って言っても、全然話をしてくれなかったり。たぶん面倒くさかったんでしょう、交渉するのが。

——政治的な理由があったんですか？

アジャ　いや、おそらく本当に面倒くさかったんでしょうね（笑）。で、私が辞める前年に両国で試合があったんですけど、自分の相手が決まってなかったんですよ。そしたら一週間ぐらい前に「おまえ千種とやりたいって言ってたな。ちょっと行って話してこいよ」って！

——ワハハハ！　ホント、いい加減ですねぇ（笑）。

アジャ　おかしいでしょ。それも一週間前に（笑）。交渉もしてくれない会社にいるんだったら、フリーになったほうがいいなあと。

——給料遅延が続いて、他の選手や関係者も耐えきれなくなったということで、選手会を中心にストライキを決行する動きがあったわけですよね。

アジャ　ああ、そのとき私が辞めることは決まってたんですけどね。

——結局、ストライキ作戦の中心だった選手会長の堀田さんじゃなくて、フリーになることが決まっていたアジャさんと井上京子さんが上層部に選手の意向を代弁したとか。

若手時代は北斗に御世話になっていたアジャは、北斗が首のケガで長期入院した際に「北斗さんの紹介で引っ越したばかりだったし、メシをたかる人がいなくてホント困った（笑）」そうだ。

アジャ　若い子の生活もあるから、会社に「今月の5日に一部だけでも給料を出して下さい。その日に出なかったら試合に行きませんよ」と話をして、会社は「わかった」って言っときながら、約束した当日になっても給料が出なかったんですね。だから自分と京子は試合に行かないと決めて、堀田さんも「絶対行かない」と前日まで話してたんですけど、いざとなったら堀田さんは「お客さんが待ってるから、とりあえず行った方がいいよ」と（笑）。

北斗さんは人の痛みをわかる人だから、そういうところに健さんも惚れたんだと思います

——ああ、だから小川さんが『女子プロレス崩壊・危機一髪』で、堀田さんが「寝返ったのである」とまで書かれたんですね。

アジャ　お客さんが待ってるのはわかるんですけど、そうすると会社の思うつぼじゃないですか。……なにせ「5日に出すって言いましたよね？」って聞いたら、副会長が「5日じゃなくて、〝いつか〟！」とか言いだすんですよ（笑）。

——ワハハハ！　呑気なダジャレで誤魔化しましたか（笑）。

アジャ　あのときは、そういう冗談を笑って聞く気分じゃないんですよ！　もうブチブチブチってキれたら、さすがに他の兄弟も焦ったらしくて「いまはそんなこと言ってる場合じゃないだろ！」って（笑）。それからいろいろ話し合ったんですけど、堀田さんは黙ったままでしたね。まぁ堀田さんも選手会長になりたくてなったわけではなくて、当時の年功序列で一番上だったから、いやいや選手会長になっただけですから。周りから担ぎ上げられちゃうとイヤとは言えなくて、いざ上に立っても何をしたらいいかわからない。人を引っ張っていくようなタイプじゃないんですよ。

——人の良さが裏目に出ちゃうわけですか。堀田さん絡みで気になってるのは、堀田さんが赤いベルトを巻いたときに、ジャガー（横田）さんが「私がチャンピオンだった過去を抹殺したい！」とまで言い切ったことなんですけど。

アジャ　堀田さんがベルトを取ったのは、全女からライバルとか同期とか先輩たちがいなくなったときじゃないですか。それなのに「私はチャンピオンなんだーッ！」って言われた日にはねえ。口火を切ったのはジャガーさんでしたけど、私も言いましたし、過去のチャンピオンは「一緒にされたくない」って思いますよ。赤いベルトを巻くには心技体揃わないと無理だって、よく言われたもんですから。

——赤いベルトに対して、そこまで崇高な思いがあったんですね。

アジャ　心技体揃った北斗晶さんが巻けなかったのは、何が足りなかったんだろうと言われてるわけですよ。まあ、北斗さん本人は別に巻かなくても良かったのかもしれませんけど、あの北斗晶が巻けなかったベルトには、不思議な魔力みたいなものがあったんだと思いますし。

——いま北斗さんの名前が出ましたけども、北斗さんがご結婚されたときに、アジャさんは「こいつだけとは一緒になりたくないと言われた北斗さんが結婚するなんて……」という、素晴らしいメッセージを送ってましたね（笑）。

アジャ　送ってましたっけ、そんなメッセージ（笑）。北斗さんはキツイからね。優しい健介さんだから受けとめられるけど、いまやってる〝鬼嫁〟、あのまんまですからね。

——あのまんまですか（笑）。

アジャ　でも、リングを離れるとすごく面倒見がよくて、私は全女に入ったときから可愛がってもらってます。なにせ北斗さんは〝アジャ・コング〟の名付け親ですからね。「何かさ、〝アジャ〟って感じじゃん！　ハーフってアジアって感じだしさ！」って（笑）。

——意味がわかりませんよ（笑）。

アジャ　「ハーフといってもアメリカ

おそらく 史上初!

なんですよ!」と説明しても、「いや、"アジャ"って感じじゃん!」って言い張られて(笑)。でもアジャ・コングという名前は世間にも浸透してるわけですから、ホント感謝してます。それこそ惰性でプロレスやってて給料少ないころに寮を出たときなんか、北斗さんの家から歩いて30秒のところにアパートを探してくれましたからね。「メシと風呂は私の家で済ませればいいんだから」って言ってくれて。

——ホントに面倒見がいいんですね。

アジャ　母親が私の新人時代に倒れたときなんて、母親は救急車で病院に運ばれたんですけど、親戚がいないからどうしたらいいかわからなくて。しょうがないから北斗さんに電話したら、病院の場所をまともに伝えてないのに、目黒から東京の福生まで、アチコチ聞き回ってタクシーで来てくれたこともありましたからね。

——それは行動力ありますね!

アジャ　涙が出ましたよ、ホントに。そのときは携帯(電話)も持ってないし、テレカもなかったんですけど、袋にいっぱい10円玉持ってきてくれて「何かあったらこれで電話しなさい。会社にはお母さんの状況をちゃんと話しておくから心配はしないで。明日仕事があるから一旦帰るけど、また来るから」ってタクシー飛ばして帰りました。そういうことをできる人なんですよ。だから結婚すると聞いたときは、自分のことのように嬉しかったですね。人を思いやる気持ちとか、人の痛みをわかる人だから、そういうところに健さんも惚れたんだと思いますね。

——北斗さんが付いていれば中嶋君の将来も安心できますね! で、話は変わりますが、アジャさんは全女を離脱されたあと、フリーを経て、アルシオンのファイティング・プロデューサーに就かれました。アルシオンが最初に目指していた方向性が徐々に変わっていったのは、経営が苦しかったことも一因だったんですか?

アジャ　そうですね。経営不振の一番の原因は、経営の経験者がいなかったことですね。小川さんはアルシオンをやり始めてから「興行というものは常に1000人は入るもんだと思ってた」って言うんですよ。

——え? それはどういうことですか?

アジャ　小川さんは全女のときに後楽園とか東京近郊とかの大きな興行には来てましたけど、基本的に地方は回らないわけですよ。小川さんは広報やマッチメイク担当だから。で、地方は常に観衆発表は千何人っていう発表してたから、確実に1000人は入ると思ってたらしいです。

——つまり、この業界の慣習になってる"主催者発表"をすっかり鵜呑みしてたんですか!

アジャ　アルシオンはそこからのスタートだったから、これは「しまった!」と思ったんもんですよ。

——たしかに不安な船出ですよね(笑)。そもそもアジャさんがアルシオン入りされたのは、どういう経緯だったんですか? ビジュアル系ファイターを集めたり、反則や流血を排除したスポーツライク的な初期アルシオンのコンセプトからすると、アジャ・コングという存在は、ちょっと異和感はあったと思うんですけど。

アジャ　いや、私もゲストで呼ばれるぐらいなら歓迎だったんですよ。自分がフリーになる直前に、小川さんが「こういう団体をやろうと思ってる。手伝ってほしい」という話になったんだけど、私としては「団体に所属するのはもう懲り懲りなんで」って断ったし。最終的には「選手としての立場はフリーでいい。ただスタッフ側にアジャの名前じゃなくて頭を貸してくれ」って、いま振り返ると意味不明な言葉に騙されたわけです(笑)。結局、要は"アジャ・コング"の名前が必要だったんですよ。

——知名度はアジャさんがブッチギリで抜けましたからね。

アジャ　新しい団体で新しい理想があるなら、私は一歩引いた立場でやっていこうと思ってたんですけど、小川さんの理想は理想でしかないわけで、現実問題としてアジャ・コングの名前を

前面に出さなくすると、地方で客が入らないわけですから。で、アジャ・コングを前面に出すと、初期アルシオンの理想が好きで見始めたファンたちには違和感が出てくる。そもそも考え方が行き当たりばったりなんですよ。たとえば、アルシオンにはヒールは不要ということで、自分もヒール色がない試合をしてるのに、いきなりラスカチョ（下田美馬＆三田英津子）を連れてきたりしてね。あと府川（唯未）選手が試合中に倒れて、それが頭の内出血だったから、もうプロレスはアウトになっちゃって。本人は「中途半端な気持ちで辞められない」って言ったんですけど、こっちはイエスとは言えないじゃないですか。

――ちょっとトライさせるのは怖いですよね。

アジャ ドクターストップもかかってるし、すでにリングで一人亡くなってましたし……。

――アジャさんがデビュー戦の相手を務めた門恵美子さんですね。

アジャ で、府川の人気は高かったですから、小川さんは「激しい受け身を取らなかったらできるだろう」と。たしかに選手は商品かもしれないけど、生身の人間をなぜそんな風に扱えるのか。その辺から「この人の考え方には付いていけないな」って思いましたね。

――アジャさんがアルシオンを辞められたのは01年2月の後楽園大会で、試合前に「誰かのアヤツリ人形はもうウンザリだ！」とマイクアピールしてプロデューサーを辞任、そして試合放棄という突発的な幕引きでしたね。

アジャ ええ。小川さんには前から「辞める」とは言ってたんですけど、なだめられたり、「俺を敵に回したらこの世界にはいられないよ！」と言われたりしてました（笑）。

――裏ではかなり大変だったんですね。

アジャ 「ああ、そう。そうなったらプロレス辞めりゃいいんでしょ？」って言い返したら、いつの間にか〝アジャ・コング6月引退ロード〟の話を振ってくるんですよ！

――ワハハハ！ それはムチャクチャですね！（笑）。

アジャ ホントねえ、わけがわかりませんよ（笑）。一刻も早くこの人と離れたいから、後楽園であああいうかたちで辞めることをお互いに了承して、この件に関しては一切触れないように約束していたら、いきなり裁判所から通知が来ましたからね。

――アルシオン側からすると、アジャさんが勝手に離脱して興行のキャンセルが相次いだから、債務不履行を理由に損害賠償を求めて提訴されたわけですよね。

アジャ どうかしてますよ、ホント。小川さんからすると自分が悪者になりたくないから、「悪者になって辞めてくれ。それなりの前振りはつくるから、マイクで『辞めます』と言ってくれ」っていうことだったので。一時はあれも全部アングルで、そのうちアジャが反アルシオン軍を連れて戻ってくるとも言われてましたけど、そういうことも一切ないですから。

――その裁判でマイクアピールを含めてプロレスの仕組みを証言されたことは衝撃でしたよ！

アジャ 黙ってたら、こっちが悪者になっちゃうから。

――離脱当時の専門誌の報道でも、アジャさんを悪者にしたいムードはありましたね。

アジャ 専門誌は小川さんと付き合いが古いから、まぁしょうがないんでしょうけど。だったら行政に則って司法の場に出て、白黒ハッキリつけただけですよ。

――白黒ハッキリ付けすぎて、専門誌に詳しい経緯は載りませんでした（笑）。

アジャ それもどうかと思うんですけどもね、ホント。

【あじゃ・こんぐ】本名・宍戸江利花、1970年9月25日東京都出身。1986年9月16日青森むつ市体育館でデビュー。最近獲得したタイトルは「クイズ！ヘキサゴン～デブ大会～」王座。伊集院光と息詰まる攻防の末、見事優勝！ 165センチ、103キロ。

自分は楽しく、明るく、元気に、日々楽しく生きていければいいかなと

アジャのマネージャー すいません。そろそろTV収録の時間が……。

――あ、わかりました！ では、最後の質問なんですが、昔はビューティペアやクラッシュ・ギャルズ、そんなスターになることに憧れてプロレス入りする選手が多かったわけですけど、当時ほど世間に露出してない現状は、得てして〝夢がない〟と言われがちですが、その辺についてはどう思われますか？

アジャ 女子プロに夢がないというか、いまの世の中にいろんなものが溢れすぎてるところもあると思いますね。女子プロのように、辛くて痛くて苦しいことやらなくても、楽して金を稼げる。ただ、プロレスの世界が冬の時代とも言われてるけど、最近だと、近鉄とオリックスの合併話もありますし、スポーツやエンターテインメントの分野自体が不況の時代だから。形に残るものだといいけど、形に残らないものには金を使いたくない。観に来る人も減ってると思うんです。野球ですらその有様なんだから、プロレスなんか厳しいのは当たり前だなとは思うんですけど。まぁ世の中良くなりゃあ、もうちょっと状況も変わるのかなあと。私は呑気だし、いつでも前向きだから、世の中が良くなりゃこっちも良くなると思ってます。そのためには、やっぱり神取先生に頑張っていただかないとねえ（笑）。

――最初の結論に戻りましたか（笑）。アジャさんの今後の活躍も期待しています！

【04年6月某日／テレビ朝日にて収録】

おそらく史上初！

同性同名格闘家対談実現!!

本人を目の前にすると悪いなあと思って（笑）

近藤さんの方が正真正銘の“近藤ユウキ”ですよ

“不動心”と“クールファイター”が初遭遇！

近藤有己（こんどうゆうき）×近藤有希（こんどうゆうき）

ブラジルのノゲイラ兄弟、ロシアのヒョードル兄弟、オランダのオーフレイム兄弟と、格闘技界には兄弟で活躍する選手が何人もいる。しかし、日本には、なんと同姓同名のファイターが存在するのだ。その名は“こんどう・ゆうき”。シウバ戦が待ち望まれるパンクラスの近藤有己と、結婚を機に久保田から近藤と名前を変えた女子格闘家・近藤有希。おそらく史上初の同姓同名格闘家対談、いってみよ〜ッ!!

聞き手／松澤チョロ　撮影／丸山剛史

designed by nogu（Two three）

だめられたり、「俺を敵に回したらこ

アジャ　どうかしてますよ、ホント。

――白黒ハッキリ付けすぎて、専門誌

【04年6月某日／テレビ朝日にて収録】

――今回、2人の〝近藤ユウキ〟選手に集まっていただいたわけですが、まず最初に、お互いの第一印象を聞かせて下さい！（笑）。

有己　（照れ臭そうに）……そうですねぇ（笑）。

――というか、同じ名前の選手がいるって知ってました？

有己　同じ名前の選手がいるっていうのは聞いたことがありましたね。

有希　私は名前だけ格が上がってしまったなと（笑）。申し訳ないってみんなに言いました。

――結婚を機に久保田有希から近藤有希になったわけですよね。

有希　そうです。入籍は去年の8月の終わり頃だったんで、だいたい1年は経つんですけど、まだ「近藤さん」って呼ばれるのに慣れてなくて、全然返事しなかったりで（笑）。この間の試合の時も選手の出席をとってて、「近藤さん」って呼ばれてもボーッとしてて。後ろから肩を叩かれて、そこで気付く感じでしたね。

――まだ、〝近藤有希〟の実感がないんですね。結婚してもリング上は名前を変えないっていう選択もあったと思うんですけど、自分の中でどういう判断で変えたんですか？

有希　籍を入れてすぐは久保田有希でやってたので、そのままいこうと思ってたんですよ。でも今年の4月に披露宴をしたんで、それを機にケジメというか。いままで結婚しても実感がなかったので、名前を変えて心機一転やってみようかということで変えたんですけど、本人を目の前にすると、悪いなあと思って（笑）。

有己　いやいや（笑）。近藤さんになってから試合はされたんですか？

有希　はい。6月19日に。

まだ「近藤」って呼ばれるのに慣れてなくて、全然返事しなかったりで（笑）（有希）

――つい最近ですよね。サラ・ボイドという外国人選手に一本勝ちして、近藤有希として初勝利をあげたわけですけど、いかがですか？

有希　ピュアブレッドに移籍して、初めての試合だったんですよ。ピュアブレッドっていう名前も大きいし、自分の名前のプレッシャーに押されて倒れそうになりました（笑）。

有己　名前は関係ないですよ（笑）。

――エンセン井上率いるピュアブレッドっていうのもデカイでしょうし、〝近藤ユウキ〟としてもしょっぱい試合はできないと？（笑）。

有希　そんな感じです（笑）。

有己　でも正真正銘の〝近藤ユウキ〟さんですからね。ボクの名をかたってるわけじゃないじゃないですか。

――ネタでやってるわけじゃないですからね（笑）。

有希　私、人の名前って使っていけないと思ってて「この名前使っていいのかなあ」って思ってたんですよ。違反にならないかなあ。そしたらみんなに笑われてしまいました（笑）。

――本名ですからね（笑）。でもノゲイラとか兄弟で格闘技をやってる人けど、同姓同名はなかなかいないですよね。

有己　聞いたことないですね。

――でも、知らない人も意外と多いと思うんですけど、男子の近藤さんはリングネームなんですよね？

有己　はい。本名は〝有（たもつ）〟っていうんですよ。

有希　あ、そうなんですか。

――それがどういう経緯で〝有己〟という名前になったんですか？

有己　有だと、リングでコールされたときにシャープさに欠けるなと思ったんですよ。

――シャープさに欠ける（笑）。

有己　でも〝有〟っていう字は好きだったんで、何かくっつけようと思って。〝己（おのれ）〟って意味ありげじゃないですか（笑）。

――確かに意味ありげですよね（笑）。デビュー戦から、その名前を使ってるんですよね。

有己　はい。有っていう名前自体は好きなんですけど、何かちょっとリングに上がるときカッコつけたかったんですよね（笑）。

――そんな理由ですか（笑）。

有己　多分、いまだったら有でもいいかなって思いますね。

――それほど、こだわりもないわけですね。

有希　私は本名だと思ってました。

有己　あと、自分は「近藤」っていう名字も言いづらいなって思うんですよね。母音が「ウ」と「オ」しかないんですよ。「ア」とか「イ」が入った方が響きがいいんですよね。

有希　あぁ、そうかもしれませんね。

有己　だから「ア」が入る選手には憧れましたね。「前田」とか「髙田」っていう名字には。

ボクは「近藤」より、「前田」とか「髙田」って名字に憧れましたね（有己）

――前田、髙田というリングネームに憧れてましたか（笑）。

有己　はい（微笑）。だから「久保田」さんなんかもそうですよね。「ア」が入った方が、何か流行りそうな感じがして（笑）。

――アハハハハ！

有己　なんかチラッとテレビで観たんですけど、流行る歌は〝ア行〟が多いらしいんですよ。

――それは聞いたことありますね。

有己　「ア」が自分の名前の中にはないんですよ。それがちょっと残念だなって（笑）。

――近々結婚することになったとして、奥さんの方の名字にア行があったりなんかしたら、リングネームを変えるかもしれない？（笑）。

有己　そうですね。最初からリングネームなんで、あっさり変えちゃうかもしれないです（笑）。

有希　でも男の人は結婚してもできるからいいですよね。まあ、女の人もできるんですけど（笑）。

有己　そうですね。やっぱりお子さんのこととか考えますか？

有希　考えますねぇ。私はケガが多いんで、自分の身体に自信がないというか。やっぱり歳がいってからの子供は嫌だなっていうのもあるし。

――そろそろ生んだ方がいいでしょうね（笑）。両親とも格闘家ですから、最強の遺伝子を持つお子さんが生まれるはずですよ！

有希　でも、もし子供が産まれても私は格闘技はやらせないです。

――それはもったいないですねぇ。

有希　自分が厳しい思いをしてきたからというか。練習は厳しくていいんですけど、柔道やってるときは精神的に厳しい中にいたので、あまりやらせたくな

いですね。実は私、ピアノとかやらせたくて（笑）。
――女の子らしく（笑）。男子の近藤さんの方は結婚の予定なんかはあるんでしょうか？
有己　結婚の予定はないですけど、ボクも子供に格闘技をやらせたいっていうのはないですね。護身術程度にできればそれでいいです。
有希　そうですよね。
有己　逆に他のスポーツをやってくれたらいいなって思います。やっぱり格闘技は危ないですよね（笑）。
――自分がやる分にはいいけど子供がやるのはダメ、と（笑）。
有己　自分がやる分にはいいですけど、ちょっと危ないですからね。旦那さんとか心配しませんか？
有希　しますね。心配するんですけど、自分も格闘技をしてて「辞めろ」と人に言われて辞めれないのは分かってますからね。自分がやりたいところまではやるつもりです。
有己　自分も彼女には絶対やらせたくないですね。でもホントにやりたがってたら止めれないです。
有希　楽しいですもんね。
――そういう部分も知ってますからね。難しいところですね（笑）。
有己　本気でやることに対しては、止めることはできないですけど。
有希　そうですね。人の人生ですから、止めても責任持てないですし。
――ご予定はないとのことですけど、結婚願望はないんですか？
有己　ないです（キッパリ）。
――一生独身でいいんですか？
有己　そうですね（微笑）。でも縁があればするだろうから。
――自分の遺伝子を残したいとは思いませんか？
有己　それも縁ですね（笑）。
――まあ、縁ですよね（笑）。彼女がいても格闘技はやらせたくないということでしたが、もともと格闘技をやってる女の子と付き合うという考えはないってことですか？（笑）。
有己　そこも縁だと思うんで（笑）。

シウバ戦を前に再び後楽園ホールに近藤が登場。割れんばかりの歓声の中、近藤はシャノン・“ザ・キャノン”・リッチと対戦。開始早々、組み付いての首相撲からヒザ蹴りを連発して近藤をテイクダウンさせたリッチだったが、近藤は全く慌てずに、三角絞めからヒザ十字にスイッチしリッチを秒殺！

久保田から近藤へ改名後、初戦の相手は柔術家サラ・ボイド。柔術家ながらもパンチのラッシュで攻め込むボイドに手こずった近藤だったが、３Ｒにアームロックを極め勝利。マイクを持った近藤は「名字が変わっても私は私の道をこれからも進んでいきたい。格闘技も家庭も大事にしていきます」

――とにかく縁次第と？（笑）。
有己　そうですね（笑）。そういう縁があったらお付き合いとかしちゃうかもしれないですから。初めから格闘技をやってる分にはしょうがないんですけど、新しくは始めて欲しくないっていうのはありますね。
――女子の近藤さん、結婚して一番変わったことって何ですか？
有希　あんまりないんですよね。京都に行ったぐらいで。いままでは選手だけじゃ食べていけなくて、お昼に仕事をやってたんですよ。そこが家庭の仕事になっただけで、そこが変わっただけですね。あとは夜は練習に行くし、全然変わらないです。
――場所が変わったぐらいですね。
有希　ただ、いままで一人で住んでて試合後に一人でいるのが凄く怖かったんですよ。頭打ってるかもしれないじゃないですか。次の朝、死んでるかもしれないんで（笑）。そういうのを考えると安心ですよね。
――男子の近藤さんも同じようなこと

初上陸！6・19
スマック大阪大会ダイジェスト

第2試合では『クロスセクション』でＷＩＮＤＹから勝利をあげた吉田正子がアイドルファイター・羽柴まゆみと対戦。序盤からキレのあるローキックで攻め込んだ羽柴だったが、２Ｒ１分過ぎ吉田の腕十字で、あえなくタップ！

地元大阪で初のスマックガール開催ということで、必要以上に張り切っていた、おっさん。ゴング早々、おっさんは対戦相手のバッカス羽鳥を得意のタックルでテイクダウンさせると、すぐさま腕十字を極め、嬉しい秒殺勝利！

レディース風のコスチュームにキャラチェンジしたレッドデビル・キッスの石山絵理がピュアブレッド京都の松本裕美と激突。得意の寝技で攻め込みたい松本だったが、これを凌ぎ、終始ペースを握った石山が判定で勝利を収めた

天然キャラクター対決となった菊川夏子と、たま☆ちゃんの一戦。ゴングと同時にリング中央で激しく打ち合う両者。1分過ぎ、たま☆ちゃんの右ストレートがヒット、なんとか立ち上がる菊川だったがレフェリーが試合を止めた

8月の後楽園でのエリカ・モントーヤ戦が決まった辻結花が成長著しい川畑千秋と対戦。序盤は川畑のシャープな打撃に戸惑った辻だったが、2Ｒに得意の低空タックルからテイクダウンを奪うと、すかさず腕十字を極め見事一本勝ち！

てから試合はされたんですか？
有希　はい。6月19日に。

また
全然

れましたね。「前田」とか「高田」っていう名字には。

けど、柔道やってるときは精神的に厳しい中にいたので、あまりやらせたくな

私の格闘家人生は、年齢的に考えて、もう残り少ないかなと思ってます（有希）

を考えたりしますか？

有己　ありますね。車に乗ってる時に意識がなくなったらどうしようとかよく思いますね。

——試合とかで記憶が飛んだことってあるんですか？

有己　試合じゃないですけど、5～6年前に練習で一回あります。同じことを何度も聞いたりとか、気づいたら自分の部屋だったとか。

——ちなみに練習中にどんなダメージを負ったんですか？

有己　タックルに入った時にヒザのカウンターを喰らって、ぶっ倒れたらしいんですよ。しばらくして起き上がって、同じことを何度も聞いて、シャワーに入って1時間ぐらい出てこなかったりしたらしいです（笑）。

——怖いですねぇ。ちなみに、そのカウンターのヒザ蹴りを放ったのは誰なんですか？

有己　渋谷さんらしいです（笑）。

——渋谷さんでしたか（笑）。でも男子の近藤さんは試合でのＫＯ負けとかはないんですよね。

有己　試合では、まだないですね。

——女子の近藤さんは男子の近藤さんの試合って観たことあります？

有希　私、あまり他の人の試合は観なくて（笑）。でも菊田さんとの試合は観ました。

有己　自分が勝ったヤツですか？

有希　はい、勝った方です。

ボクの格闘家人生は、具体的に言うと、老衰で死ぬまでです（微笑）（有己）

有己　良かったッス（笑）。ちなみに、近藤さんは、現役はどれぐらい続けようと思ってるんですか？

有希　年齢的に考えて、もう残り少ないかなと思ってるんですよ。ケガもあるし、あと何試合出来るかはわからないですけど、意味のある外国人選手と試合がしたいですね。

——その辺は名前は一緒でも対照的ですよね。男子の近藤さんは以前から言ってますけど、残りの格闘家人生はかなり残されてるんですよね？

有己　かなりありますね。

有希　そんなに長いんですか？

有己　具体的に言うと、老衰で死ぬまでです（微笑）。

有希　す、凄いですね（笑）。

——見事に正反対ですね（笑）。

有希　私は自分の中では、ある程度考えてるんですよ。これまで柔道を20年近くやってきて一線を退いて、更に新しい格闘技の世界に入ってきたんですけど、この世界を極めたいとか、頂点に立ちたいとかっていう目標が初めからなかったんですよ。

——純粋に格闘技を楽しみたかったって感じなんですか？

有希　そうですね。自分自身20年やってきた柔道を辞めたことは後悔してないんですけど、好きでやってきたことを簡単に辞めれたっていうのが凄く頭の中で引っ掛かってて。で、格闘技を始める時に、あれだけ好きでやってきた柔道を簡単に辞めれたってことは格闘技も続かないんじゃないかなって思ってたんですよ。

こんどう・ゆうき【本名】たもつ■1975年7月17日生まれ。180cm 88kg。いまミドル級の日本人で最も期待されてるファイター。8月15日の『PRIDE・GP決勝戦』では大注目のヴァンダレイ・シウバ戦が予定されている。パンクラスism所属

こんどう・ゆうき■1974年8月28日生まれ。170cm 65kg。冷静な闘いぶりから"クールファイター"と呼ばれる。今年4月リングネームを久保田から近藤に改めた。6・19サラ・ボイド戦で近藤有希として初勝利をあげた。　PUREBRED京都所属

——でも、総合格闘技も、もう4年ぐらいはやってますよね。

有希　そうなんですけど、そういう気持ち的に弱い部分がいっぱいあったので、気持ちが少し強くなれたらいいなって思って始めたので、そろそろなのかなって考えてます。

——ケガや体力的なことを含めて、現役生活はそれほど長くないと？

有希　そんなに続けるつもりはないですね。

——男子の近藤さんの方は、格闘技界の頂点を極めたいっていう気持ちはあるんでしょうか？

有己　あんまりないですね。

——ないんですか（笑）。

有己　自分が突き詰めていく過程で頂点を極める瞬間はあるかもしれないですけど、それが自分の目標ではないですね。

——ここ最近は「とにかく、シウバに勝ってくれ！」って言ってくる人が多いと思うんですよ。インタビューでもシウバ戦のことばっかり聞かれるでしょうし（笑）。

有己　多いですね（笑）。

——でも、近藤さんの中でシウバ戦っていうのは、あくまでも通過点に過ぎないと？

有己　それはそうですね。

——でも、老衰するまで闘うっていうのは、ある意味、達人を目指しているようなものですからね（笑）。

有己　そうなるんですかね（微笑）。

——男子の近藤さんは『PRIDE』でのシウバ戦が予定されてますし、女子の近藤さんも夏以降に試合があるでしょうし、今後も二大〝近藤ユウキ〟選手の活躍を期待してます！

有己&有希　ありがとうございました！

【6月30日／パンクラス事務所にて収録】

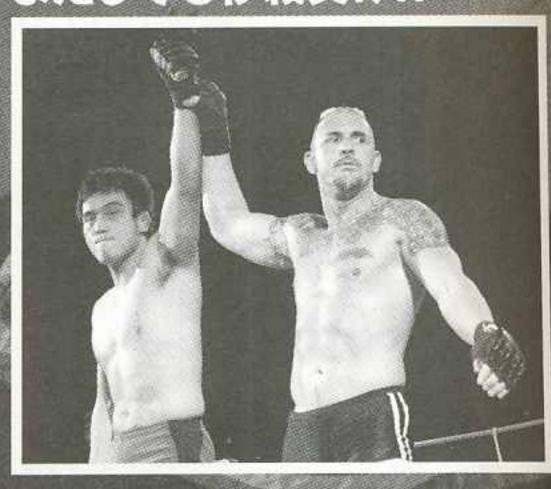
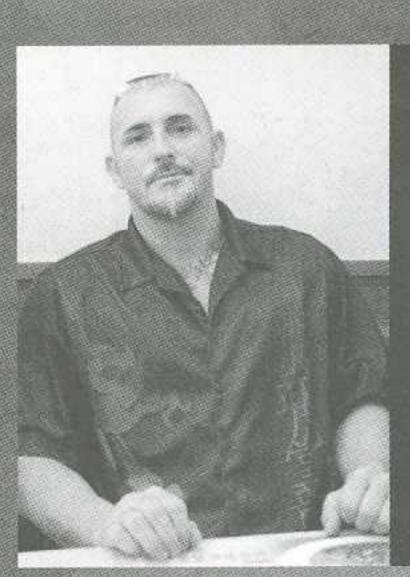
プレゼントコーナー

2人のご好意により近藤"ユウキ"セットをプレゼント！　内容は近藤有己＆近藤有希Tシャツ、サイン入りパンクラストートバック、そして世界で一枚（今のところ）の近藤"ユウキ"サイン色紙。こちらをまとめて読者1名様にプレゼント！　送り先はP157参照!!

PUREBRED京都情報はこちらです→　http://www.geocities.co.jp/Athlete-Samos/7499/

シャノン“ザ・キャノン”リッチって何者だよッ!?

謎に包まれたこの男の素顔に迫る!

近藤をテイクダウンさせるも、
またしても秒殺負け!!

キミはリッチを知ってるか?　藤田がアメリカで出場した地下バーリトゥード大会のプロモーターとして日本にその名が伝わると、いつの間にか“猪木からの刺客”として『PRIDE』で桜庭和志と対戦。その後も日本へ何度か来ては秒殺負け。6・22パンクラス後楽園大会では近藤有己と闘い、またしても破れてしまったこの男。通算戦績130戦、シャノン“ザ・キャノン”リッチの素顔に迫ってみました!　マネージャーのフィリス・リー女史も同席です!

聞き手/松澤チョロ　取材協力/タダシ☆タナカ
撮影/平工幸雄　designed by nogu（Two three）

【6月30日/パンクラス事務所にて収録】

せっかくだから『紙プロ』の読者にスクープを教えてやろう！

SHANNON "THE CANNON" RITCH

—日本のファンの間で、プチブレイクの兆しが見えるリッチさんですが、今日はいろいろ話を聞かせて下さい！

リッチ　よし、せっかくオレが発言するチャンスをくれたんだから、スクープを教えてやろうじゃないか！

—エッ、スクープですか!?　ありがとうございます！

リッチ　いま、オレのチームが練習しているのはリック・ルーファス・キックボクシング・センターだ。

—ルーファスは有名ですよね。

リッチ　先生は6ヶ月前にアリゾナに来てジムをやってるんだよ。いまでは80人も生徒がいてバッチリ特訓もできてるしね。中村（大介）との試合（『THE BEST』）の時はダメだったけど、今回は意気込みも全然違うってことを、まずわかってくれ！

—は、はい。

リッチ　まあオレも13連敗してた時もあったんだけど、ここ最近、リックと練習をするようになって連勝してるんだ。離婚してゴタゴタしたり、他の仕事が忙しかったりとか、そういう時期もあったんだけど、いまはファイター1本でやっていて、最近9試合は8勝1敗だからね。

—それは凄いじゃないですか！　……も、もしかして、それがスクープなんですか!?

リッチ　慌てるなって（笑）。スクープってのは、リックが「Too Famous Productions」ってところと契約して、多分テネシーで11月にマイク・タイソンと闘うんだよ！　どうだい？　スクープだろ!?

—そ、それは初耳ですねぇ。ルールはボクシングルールですか？

リッチ　いや、キックボクシングルールだよ。でもK－1じゃない。www.toofamous.comにも発表されてるから行ってみなよ。リックは500万ドルの契約書にすでにサインしていて、勝てばさらに500万ドルっていう契約さ。

—でもルーファスは前々回のK－1ラスベガス大会で引退を発表してたじゃないですか。カムバックするなんて聞いたことないですよ。

リッチ　リックとマイクは同年齢でいま近所に住んでるんだ。それにオレはリックと一緒にトレーニングをしてるからよくわかるんだけど、リックはいまでもバリバリだよ。

—スクープありがとうございます。リッチさんの所属は「チーム・キャノン」ってなってますけど、「チーム・キャノン」は何人ぐらいいて、どういった活動をしてるんですか。もしかしてリッチさん1人とか？（笑）。

リッチ　オレ1人じゃないさ（笑）。6人ぐらいでいろんなジムでトレーニングをしてるんだ。『X－1』に出たブライアン・パドゥーやボビー・サウスワーズとかもそうだよ。

—そういえば、『X－1』ではセコンドに付いてましたけど、選手よりも目立ってましたね（笑）。

リッチ　自分ではセコンドに徹してたつもりだったんだけどな（笑）。

—もう二度と開かれることはないでしょうけど、『X－1』はセコンドとして見ていかがでした？　金網が壊れたり話題満載でしたが（笑）。

リッチ　オレはグッドショーだったと思うよ。

—あ、グッドショーでしたか（笑）。

リッチ　金網を使ったバーリ・トゥードはUFC以外、日本でやったことないんだからしょうがないだろう。基本的には良かったと思うよ。それにブライアン・ジョンストンとマサ・サイトーがやってたから、協力したいと思ってたしね。

—2人とは、どういった関係で？

リッチ　どっかのイベントでドン・フライと同じアリゾナってことで知り合ったんだけど、その縁からブライアンに会ったんだ。

—リッチさんはフライの弟子だったって聞いたことありますけど、フライとは古い付き合いなんですか？

リッチ　フライが最初にUFCに出た頃ぐらいからだから、凄い昔からの付き合いだよ。藤田がケアー戦の前に出た試合もオレがプロモーターの大会だったんだ。

—そうなんですよね！　リッチさんが日本で有名になったのが、『東スポ』の1面になった〝藤田が地下プロレスでデビューしてた〟っていう記事で。そのプロモーターをやってたのがリッチさんで、そこから猪木さんと知り合って、『PRIDE』に〝猪木の刺客〟っていうことで日本デビューしたんですよね。

リッチ　そうなんだ。藤田はサイトウって名前で2試合したんだよ。

—なんで藤田さんはサイトウって名前で試合をしたんですか？

リッチ　マーク・ケアーに知られたくないからサイトウっていう違う名前にしたってだけの話だよ（笑）。

—ケアー戦前の予行練習みたいなもんだったんですかね（笑）。

リッチ　そんな感じだね。あの大会はテキサス州のフォトワースにあるカントリー・バーでやったんだけど、700人ぐらい入ったよ。

—700人も入るバーって凄いですね（笑）。その大会っていうのはプロレスではなくて、リアルファイトのイベントだったんですか？

リッチ　もちろん！　イーブス・エドワーズみたいなUFCで名前もある選手にも出てもらったし、他にもバス・ルッテンとかも……。

—ルッテンも出てたんですか？

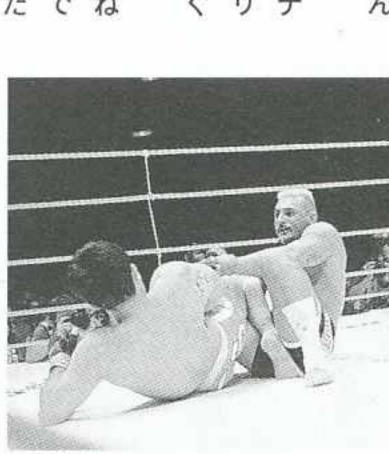
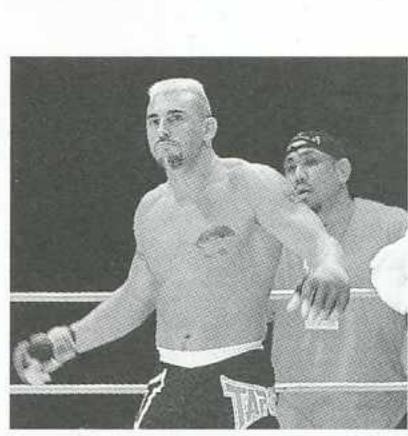
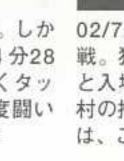
リッチ　いや、ルッテンは客として来てただけだよ（笑）。

—そうですか（笑）。いまはプロモーターはやられてないんですか？

リッチ　それで有名になったのは事実だけど、いまはプロモーターはやっていない。ファイトマネーで暮らしているよ。でも1ヶ月で5試合なんてやるのは、もうまっぴらだね。明日の近藤戦で25日間で5試合やることになるんだけど、そういう無謀なことは、もう打ち止めにしようと思ってるんだ。

シャノン〝ザ・キャノン〟リッチ華麗なる戦績!?

00/10/31『PRIDE.11』vs桜庭和志戦。猪木の刺客として初来日したメインイベンター・リッチ。セコンドにはリッチがプロモートした地下バーリ・トゥード大会に出場した"サイトウ"こと藤田和之の姿が

リッチは開始早々、鋭いハイキックとパンチのラッシュで攻めるも、サクのタックルにあっさりテイクダウン。開始からわずか68秒、VTでは珍しいアキレス腱で瞬殺されるも、一気にその名を轟かせることに成功！？

02/7/20『THE BEST vol.2』vs中村大介戦。猪木マスクに闘魂タオル姿で意気揚々と入場するも、会場の反応は冷ややか。田村の推薦で出場したU-FILE CAMPの中村は、この日がプロデビュー戦だったが……

先にテイクダウンを奪ったのはリッチ。しかし中村に巧みに体を入れ替えられ、4分28秒、腕ひしぎ逆十字固めで、あえなくタップ。試合後リッチは「桜庭ともう一度闘いたい」としきりに再戦をアピールした

波乱三昧！

6・22パンクラス

後楽園大会ダイジェスト

パンクラス・メガトンのIRO関が折橋謙を相手にデビュー。序盤から派手な殴り合いを見せる両者だったが、4分過ぎ折橋がパンチの連打でIRO関に勝利（後にコミッショナー預かり）。しかし、レフェリーの制止を無視して殴り続ける折橋を見かね両軍セコンド陣がリング上で一触即発！

『武士道 其の弐』でのマウリシオ・ショーグン戦以来の復帰戦を行った郷野は1R2分過ぎ、狙いすました右ストレートで栗原強を完全KO！ 試合後、『武士道』でのリベンジを誓った郷野はバックステージに戻ると立ち技出撃宣言！

前回に続きレースクイーンを引き連れて入場してきた竹内出が渋谷修身と対戦。試合後、判定ドローとの裁定が下されると両者共に不満を爆発。竹内のセコンドの松本天心はリングに上がり「パンクラスの審判団、ちゃんとレフェリングして下さい」とマイクアピール

この日のセミは前ミドル級王者のネイサン・マーコートと7連勝中のグラバカ・石川英司が激突。ミドル級のトップを狙う者同士の一戦は一進一退の攻防が続きドロー。客席には石川の練習仲間のボビーが、いつものように大声援！

——まっぴらだっていうことですけど、これまで好き好んでたくさん試合をしてきたわけじゃないと？

リッチ　そりゃそうさ（苦笑）。もっとメディアがちゃんと注目している大会に出たいんだ。ビデオも撮ってないような大会に出るよりは、しっかりとした大会に出たいっていうのは当然の話だよ。

——まあ、そうでしょうね。先日のパンクラスの公開練習で、尊敬している人として猪木さんの名前を出してましたけど、猪木さんとはどういう形で知り合ったんですか？

リッチ　基本的にはオレはサイモン猪木とコンタクトを取ってるんだ。そのつながりでLA道場でプロレスの試合もやったし、サイモン猪木とは、ずっとコンタクトを取っているよ。もちろん、ミスター猪木も尊敬してるけどね。

——桜庭戦で一番最初に来日した時は〝猪木軍の刺客〟として登場して、『THE BEST』での中村戦では猪木マスクを被って入場してましたよね。

リッチ　猪木マスクはアメリカでの試合でも被って入場したこともあるよ。ミスター・猪木から、いいチャンスをもらったんで、それからはマスクを被ったりしてるんだ。

——好きでやってたんですね（笑）。

リッチ　もちろん！　オレは新日本プロレスにも出たいしZERO-ONEにも出たいと思ってるんだ。シュートファイトだけじゃなくてプロレスもやりたいから、そういうのを被ってアピールしてるってわけさ。

——バトラーツで松井さんとプロレスルールでやったりしてますけど、これからも声がかかれば出る意志はある、と。

リッチ　オレはもともとエンターティナーだと思ってるからね。MMAだろうとプロレスだろうとショーのために来てるんであって、コスチュームにも気をつかうし、ただ闘うためだけに来てるんじゃない。ファンのためにやってるんだ。

——リッチさんは、バトラーツでの試合の何ヶ月か前にはラスベガスでフランク・シャムロックとK-1ルールで闘ってるんですよね。残念ながら負けてしまいましたけど。

リッチ　実は、その試合の2週間前にケガをしてしまったんだ。ロンドンでマーク・ウィアっていうのとやった時にやられて、腕はギプスで固定されていたんだよ。そんな時に「フランク・シャムロックとやるか？」ってオファーが来たんだ。断れると思うかい？

——フランクっていったらビッグネームだし、断れないでしょうね。

リッチ　そんなチャンスは滅多にないからね。それで自分でギプスを割って腕から外して出たんだ。「腕が使えない」なんて言ったら仕事がもらえないと思ったから黙って試合をしたんだけど、ちょうどそこにフランクのキックが当たって負けてしまったのさ。

——今後は、いままでのようなペースで試合はしないってことですが、これまで130戦近く闘ってるのは事実なんですよね。ヒクソンの400戦以上無敗とは違うんですか？

リッチ　オレの記録は全てリアルだよ（笑）。メキシコでは100ドルとかでも試合をしていたし、間違いなくオレは130試合近く闘っているよ。

——それは凄いですよね。

リッチ　91、92年頃はまだインターネットがそれほど普及してなかったから記録が残ってないだけで、実際にたくさん試合をこなしてきたよ。

オレの記録は全てリアルだよ。間違いなく130試合近く闘っている

——最近話題になってるのが、今度、全日本キックと対抗戦をやることになった、ミャンマーのラウェーっていう、素手でのバーリ・トゥードみたいな大会にリッチさんは出場してたんですよね。

リッチ　2000年ぐらいだったかな？オレはミャンマーでも闘ってるよ。

——残念ながら1ラウンドKO負けをしてるっていうことですけど、どんな試合だったんですか？

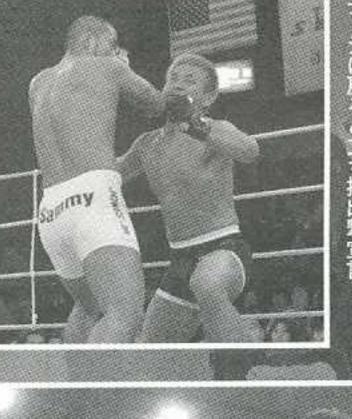
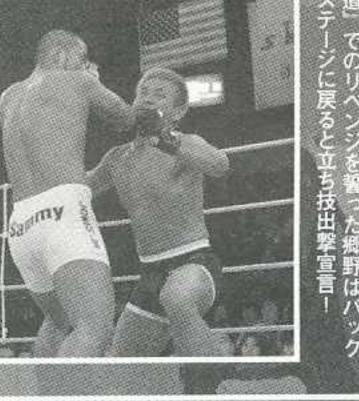
リッチ　それは間違いで、オレは30秒ぐらいで相手を完全にノックアウトして、レフェリーもいったんオレの手を上げたりしたんだけど、「いや、まだ試合は終わってない」とか言われて、それから急所を蹴られてうずくまったら向こうのヤツが勝ちだっていうことになったんだよ。でも結局、オレはベルトをもらったから、オレの勝ちだと思ってるよ。

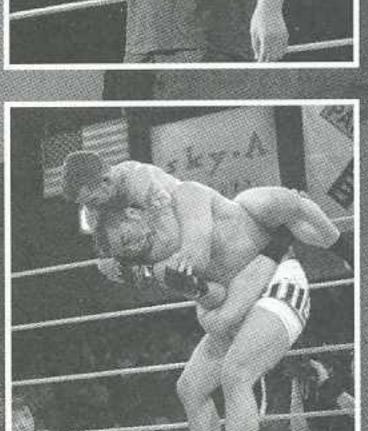
——タイトルマッチだったんですか？

リッチ　そうさ。オフィシャルではオレ

03/9/6『X-1』。もはや伝説となった金網VT大会『X-1』にもセコンドとして来日。試合を終えた選手にカメラを向けると、われ先にファイティングポーズをとるリッチ。第二のイズマイウ誕生の予感……

01/10/14 バトラーツNK大会。vs松井大二郎戦。バトラーツルールで行われたこの一戦。試合はプロレス経験で上回る松井が「ダメもとで出した」というSTFで勝利。リッチはプロレスルールでもやっぱり勝てず……

01/6/23『King of the Cage 9』vs臼田勝美戦。弱点（？）の足関節を攻められ、2分20秒、足首固めで臼田にVT初白星を献上してしまったリッチ。会場にはリッチの師匠といわれるドン・フライも来場していた

近藤戦が終ったら左足にパンクラスのロゴのタトゥーを入れるよ!

SHANNON THE CANNON RITCH

の負けになってるみたいだけど、自分のレコードではオレの勝ちになってるよ(笑)。だってベルトもらって帰ってるんだから勝ちでいいだろ。文句あるかい?

——ベルトをもらったならリッチさんの勝ちでいいと思います(笑)。(※ちなみに、ミャンマーでの試合をビデオで見た関係者によると、リッチは1RでKOされてるとのこと……)

リッチ　まあ、そういう国で闘う時は毎回そんなことがあるんだよ。

——右足に『PRIDE』のロゴマークのタトゥーが入ってますけど、それはいつ頃入れたんですか?

リッチ　これかい? 桜庭と闘った後にアメリカで入れたんだ。

——やっぱり、「オレは『PRIDE』に上がったんだぜ!」っていうアピールなんですかね(笑)。

リッチ　その通りだ。来週帰ったら、反対側の足にパンクラスのロゴマークを入れるつもりだよ。「オレはパンクラスにも上がったんだ」っていうアピールのためにね(笑)。

——それは近藤さんに勝っても負けても入れるってことですか?

リッチ　もちろんだよ。パンクラスや『PRIDE』っていうのは世界のトップイベントだからね。オレは『PRIDE』にもパンクラスにも上がったんだぜってタトゥーを入れてアピールして何が悪い? 問題ないだろ?

——いや、何も問題はないです(笑)。

リッチ　それにもう一つ言うと、『PRIDE』の時、オレはメインイベンターだったんだからな。

——たしかに桜庭さんとの試合はメインでしたよね(笑)。

リッチ　明日の近藤との試合だってメインじゃないか?

——たしかにパンクラスでもメインイベンターですね(笑)。

リッチ　そこをわかってくれよ。だからタトゥーぐらい入れてもおかしくないだろ。当然の話だよ。

——当然の話ですね(笑)。桜庭戦は結果だけ見ると秒殺でしたけど、インパクトはかなり残しましたよね。

リッチ　そうだろ? たしかに試合時間は短かったけどテイクダウンも取ったしね。大体、あの時の桜庭は一番調子が良かった時で、当時は誰もテイクダウンは奪ってなかったじゃないか? そんな選手からテイクダウンを取っただけでも凄いと思ってくれなきゃ困るよ(笑)。

——あれ!? テイクダウンって取りましたっけ? 逆に取られた印象はあるんですけど(笑)。

リッチ　もう一回ビデオを見直してみろよ。取ってるって!

——確認してみます(笑)。正直、桜庭戦は勝算はあったんですか?

リッチ　プランとしては、テイクダウンしてKOしてやろうと思ってたんだ。試合を急ぎすぎたっていうか焦りすぎてしまったのが敗因だよ。

——桜庭戦以外にも、中村戦だったり、プロレスルールでの松井戦とか、日本のファンの前ではいい結果が出せてないわけですけど、正直、明日の近藤戦は自信はあるんですか?

リッチ　いままでの試合の結果はしょうがないっていうか、運がなかったと思ってくれよ。闘ってる相手はトップファイターばっかりなんだし、負けてるからってオレは別に悪い試合だったとは思ってないよ。たまたまそうなったんだからしょうがないよ。

——まあ、しょうがないですね。

リッチ　大体、オレはトップファイター相手のオファーを受けて、これまで一回も断ったりしたことはないんだ。そこを見てくれよ。

——それは凄いことだと思います。

リッチ　だから、こんな試合数になってしまったんだろうな(笑)。

——そうでしょうね(笑)。正直、日本のファンは「リッチは近藤に勝てないだろう」っていう見方が大半を占めてるんですけど、そういう意見に対してインターネット上とかで、ご自身で反論してましたよね?

リー女史　アンタは、まだそんなことやってるの?

リッチ　……は、はい。

リー女史　もうインターネットのファンは相手にしちゃダメよ! あの人たちはマーク(素人)の集まりなんだから。これから書き込み禁止ね!

リッチ　わ、わかりました。これからはもう書き込んだりしません。

——アハハハ! でも、つい先ほどホテルのロビーでインターネットかなんかやってたみたいですけど。

リッチ　いや、あれはEメールだよ。Eメールだと電話代払わなくていいからね(笑)。書き込みはもうやめるけど、メールと情報収集はこれからもやっていくよ。

——会見でも言ってましたけど、リッチさんの予定では明日の近藤戦に勝って、次はタイトルマッチでもう一回、近藤さんに勝って、その後はパンクラスのチャンピオンとしてシウバとやりたいって考えてるんですよね。

リッチ　もし明日勝ったら、シウバというよりも近藤との再戦になるだろうから、その試合をタイトルマッチにしてもらって、それも勝ったらオレとシウバでダブル・タイトルマッチをやれればと思ってるよ(笑)。

——リッチさんの予定通り近藤戦をクリアして、シウバ戦が実現したら勝つ自信はあると?

リッチ　これはあんまり言いたくないけど、これまでシウバと闘ったヤツは間違ったファイトをしてると思うんだ。オレは違う闘い方でやる方法を知っているんだ(ニヤリ)。

——いまはまだ言えないと?(笑)。

リッチ　そういうことだ。

——あと、一説によるとリッチさんはマフィア関係の裏の顔を持ってるんじゃないかって噂もあるんですけど(笑)、それは事実なんでしょうか?

リー女史　オッホッホッホッ。

リッチ　オイオイ! 勘弁してくれよ!(苦笑)。オレは怪しい人間なんかじゃないよ。このタトゥーを見て、そういうふうなことを言われることもあるけど、オレはグッドガイだよ(笑)。

——失礼しました(笑)。明日のメインの近藤戦、頑張ってください!

リッチ　もちろんさ。大体、オレは日本で3敗してるんだ。3敗してて、次の時にそんなイージーな試合をするわけないじゃないか。とにかく明日の試合を見てくれ!

——期待してます! あとパンクラスのタトゥーを入れての再来日を楽しみに待ってます!!

【6月21日/水道橋『ジョナサン』にて収録】

しゃのん・ざ・きゃのん・りっち■1970年9月27日生まれ。実はアジアン・マーシャルアーツ哲学でマスターの学位を持つインテリ。ミャンマー・ラウェイ体験以下、強気のコメントを崩さない一方で、素顔のリッチは礼儀正しい青年であった

リッチの隣はセコンドで来日したジャイク・サンダー・ハッタン(30歳)。ハッタンは4月のSBで緒方健一を追い詰めたばかり。ルーファス道場の師範代でもある。http:/www.shannonthecannon.50megs.com

リング内・リング外の情報を読者にお届けする

RADICAL情報局

退屈な夏休みに風穴をあける情報ページ!!

6月27日に開催された前田日明格闘技セミナーに中嶋クンが参加し、格闘王に直接総合のテクニックを伝授された。しかしそのわずか5日後、中嶋クンは男色ディーノのセクハラ・グラウンドテクニックに手も足も出ず!! プロレスって奥が深いですね。担当はサイノです。

Close UP!

今月は女子格界のエース辻結花をClose Up!

辻結花、8・8スマックガール後楽園大会に参戦!
“パウンドあり”でエリカ・モントーヤと激突!!

Profile

辻結花/つじ・ゆか
総合格闘技 闇愚羅
1974年12月11日生まれ
大阪府枚方市出身の29歳
身長156センチ
体重54キロ
スマックガール初代ミドル級王者
8月5日、柔術世界王者の
エリカ・モントーヤ
(写真・左下)と激突!!

6・19『SMACK GIRL』大阪大会で、川畑千秋を腕十字で仕留めた辻結花。そんな辻ちゃんが、8月5日、スマック2度目の後楽園大会で久々にパウンド有りのルールに挑戦。対戦相手は、修斗での虎島尚子戦、『AX』での桜井亜矢戦、全女での藤井巳幸戦と、これまで対戦した3人全てに一本勝ちを収め、日本で総合無敗のエリカ・モントーヤ。対戦約1ヶ月前の7月1日、大一番に挑む辻ちゃんに、現在の心境を語ってもらった。

(聞き手・チョロ)

――今回は、エリカ・モントーヤ戦への意気込みを聞かせていただければと思ってます!

辻 試合が決まって、いまからワクワクしてますね。

――グラウンドでの顔面パンチが認められましたけど、それは、お互いの希望なんですよね?

辻 そうですね。パウンド有りのルールは去年もやったんですけど、不完全燃焼だったんで。

――あまりパウンドは披露できませんでしたからね。ボクは辻さんのパウンドの練習を見たことあるんですけど、女子とは思えないぐらいの迫力で、正直、ビビってたじろぎましたよ!

辻 いやいや(笑)。でも、せっかくパウンド有りだったらボッコボコにしてみたいですね。

――エリカは、いまのところ日本で3勝無敗なんですけど、ズバリ勝算はあるんでしょうか?

辻 ……っていうか、試合をよく見たことがないんですよ。「カワイイなあ」ぐらいの印象しかないですからねぇ(笑)。

――ダメだこりゃ(笑)。でも前から闘いたい相手として名前を挙げてたじゃないですか?

辻 まあ、強いと聞いてるんで。

――それにエリカは、まだ10代ですからね(笑)。

辻 (即座に)歳は関係ないわよ!

――失礼しました(笑)。今回はパウンドで勝負がしたいと?

辻 パウンドを活かした闘いがしたいです。それで勝てたら気持ちいいですねぇ。

――つい先日も試合(6・19川畑千秋に2R腕十字で勝利)があったばかりですけど、大阪初の女子大会ということで、かなり盛り上がったみたいですね。

辻 凄く盛り上がったんで、やってて楽しかったですし、調子もいいんですよ。

――でも、川畑選手の打撃で、ちょっと押される場面もあったって聞いてるんですけど。

辻 「ケガするから打撃にいくな」って会長に言われてて。もうちょっと打撃出しても良かったんですけど、言うこと聞きすぎたかもしれない(苦笑)。まあ結果的にケガしなくて終わったから良かったかなって。

――では、体調的にはケガもなく万全というわけですね。

辻 バッチリです! で、エリカ戦が8月にあるかもしれないって、かなり前から聞いてたんで、5月の羽柴戦ではパウンドを試してみたんですよ。

――羽柴さんのボディへ、かなりえげつないパウンドを入れてましたよね(笑)。

辻 “えげつない”は余計です(笑)。そんで、この間の川畑戦でいろんな寝技を試してみて、8月のエリカ戦は、それの総まとめみたいな感じですね。

――今年前半の総まとめ的な試合にしたいと?

辻 今年前半っていうか、いままでやってきたことの総まとめでもあると思います。

――スマックは8月大会のあとは、沖縄、それに韓国でも大会を開催するって話ですけど。

辻 沖縄と韓国かぁ。いいですねぇ(笑)。

――すっかり旅行気分ですね(笑)。まあ、それにつながるような試合と、えげつないパウンドを期待してます!

辻 だから、“えげつない”は余計だって!(笑)。

――後楽園での試合は『AX』に続いて2度目になるわけですが、前回は正直言って、客入りが寂しかったじゃないですか。

辻 そうでしたねぇ。今回はいっぱい入ってくれればいいですけど。どうなんですかねぇ?

――いや、入ってくれればいいというか、今後の女子格闘技界のことを考えたら入れなきゃダメだと思いますよ。

辻 ……どうしよう? 皆さん、チケット買ってください!

――来てくれたお客さんには、必ず満足させるような試合を見せてくれるんですよね?

辻 は、はい。頑張ります!

――最後に後楽園大会に向けて、ここを一番見て欲しいってところを教えてください!

辻 私がイキイキと闘ってるところを観に来て欲しいです! あとボコボコに出来ればいいなぁって思ってます(笑)。

6・19 SMACKGIRL大阪大会のポスターを、辻ちゃん&おっさんのサイン入りで2名様にプレゼント!(応募方法はP157を参照)

■チケット料金(当日500円up)
SRS指定 10000円/A席 7000円/B席 5000円/C席 3000円
■予定対戦カード
【SGS特別ルール(グラウンド顔面パンチ有り・グラウンド時間制限なし)】
◎辻結花(総合格闘技闇愚羅) vs エリカ・モントーヤ(ネクスト・ジェネレーション)
【SGS公式ルール】
◎高橋洋子(SOD女子格闘技道場) vs 唯我(プロレスリング・ナイトメア)
【The Next Cinderella Tournament 決勝戦/SGS公式ルール】
◎舞(パレストラ松戸) vs 川畑千秋(Red Devil KIS'S)
■参加予定選　藤井恵(ガールファイトAACC)
■問　スマックガール実行委員会　03-3324-8790
■HP　http://www.smackgirl.com/

Fight & Ticket　試合・大会情報

今年の夏男は一体誰だ!?
真夏の祭典『G1 CLIMAX』開催!!

今年も最強を決める過酷なリーグ戦『G-1 CLIMAX』が開幕する。注目は、やはりU－30の防衛を重ねる棚橋弘志、武藏との異種格闘技を経験した柴田勝頼、イグナショフにリベンジした中邑真輔の新三銃士。三者三様にパワーアップしての出場となる。新三銃士揃い踏みのG1で、新時代の幕が開ける！

『G1 CLIMAX 2004』

■大会日程
8月 7 日（土）神奈川県相模原市立総合体育館～開幕戦～（18:30）
8月 8 日（日）大阪・大阪府立体育会館（16:00）
8月 9 日（月）兵庫・神戸ワールド記念ホール（18:30）
8月10日（火）愛知県体育館（18:30）
8月11日（水）石川・石川県産業展示館4号館（18:30）
8月13日（金）東京・両国国技館（18:00）
8月14日（土）東京・両国国技館（18:00）
8月15日（日）東京・両国国技館～最終戦～（14:00）

■問　新日本プロレス　03-5468-3111　■HP　http://www.njpw.co.jp/

K-1が韓国に初進出！
曙がアジア・グランプリに出場!!

K－1が7月17日、格闘技ブームが加熱する韓国で『K-1 WORLD GP 2004 in SEOUL』を開催し、アジア最強の座と、9月25日のGP開幕戦出場権を賭けた8選手によるワンデイ・トーナメントを行う。出場選手は総合格闘技、モンゴル相撲、ムエタイ、散打など様々なジャンルのスポーツから選抜。1日3試合という過酷なトーナメントの出場を決めた曙は「100%とは言えないが、98%優勝する」と余裕のV宣言。曙がアジア最強を目指しグランプリに挑む！

『K-1 WORLD GP 2004 in SEOUL』

■日時　7月17日（土）15:00試合開始（14:00開場）　■会場　韓国ソウル・ジャンシル体育館

■出場選手
【アジア・グランプリ】◎曙（日本／チーム・ヨコヅナ）　◎デニス・カン（韓国／総合格闘技）　◎イ・ミョンジュ（韓国／キックボクシング）
◎ドルゴルスレン・スミヤバザル（モンゴル／モンゴル相撲）　◎張慶軍（中国／散打王者）　◎ガオグライ・ゲーンノラシン（タイ／ムエタイ）
◎K-1ジャパンファイター選抜2名　※現在インドネシア拳法、シルム（韓国相撲）などの選手と交渉中
【スーパーファイト】◎レミー・ボンヤスキー（メジロジム）vs アジス・カトゥー（センタージム）
◎ピーター・アーツ（チーム・アーツ）vs クラウベ・フェイトーザ（極真会館）　※他、武蔵の出場も予定

■問　FEG　03-3796-5060　■HP　http://www.so-net.ne.jp/feg/

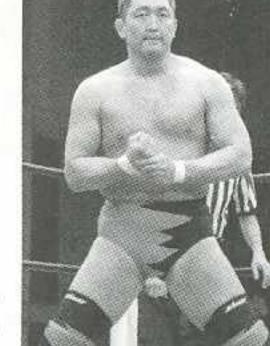
パンクラス梅田大会
10勝無敗の前田吉朗が地元に凱旋！

5月28日の後楽園大会でKO勝利し、パンクラスでは前人未到のデビュー戦以来10連勝を誇る前田吉朗（パンクラス稲垣組）の出場が決定！　果たして、どこまで連勝記録を伸ばすのか。地元凱旋試合を見逃すな！

『PANCRASE 2004 BRAVE TOUR』

■日時　8月22日（日）試合開始16:00（開場15:00）
■会場　大阪・梅田ステラホール
■チケット（当日500円up）SS席 8500円／A席 6500円／B席 5000円
■対戦カード
【ミドル級戦 5分2ラウンド】
花澤 大介13（総合格闘技道場コブラ会）vs ザ・グレート浪花（総合格闘技夢想戦術）
【ヘビー級戦 5分2ラウンド】
小澤強（禅道会）vs セハク（RJW/CENTRAL）
■問　パンクラス　03-5792-0815　■HP　http://www.pancrase.co.jp/

『火祭り』開催！
今年も熱い男たちが集まった!!

第4回『火祭り』が福島で幕を開ける。出場決定メンバーは、昨年度優勝者・小島、過去2度優勝の大谷を始め9名が決定した。残り1枠は、約30名の候補の中から現在選考中。『神風』、宇和野、義人、そしてなぜかアメージング・コングらが名乗りを挙げている（破壊王が「女の子はダメ」と即座に却下）。"一番熱い男"の称号と火祭り刀を目指し、激戦必至のリーグ戦が今年も始まる！

『火祭り'04』

■日程
◎7月27日（火）福島・いわき市総合体育館（18:30）～開幕戦～　◎7月29日（木）東京・後楽園ホール（18:30）
◎7月30日（火）大阪・大阪府立体育会館第2競技場（18:30）　◎7月31日（土）東京・ディファ有明（18:00）
◎8月 1日（日）東京・後楽園ホール（18:30）～決勝戦～

■開催概要　◎A、B各ブロック5名による総当りリーグ戦（30分1本勝負）
◎A、B各ブロック最高得点者により決勝戦（時間無制限1本勝負）　◎優勝賞金500万円、火祭り刀贈呈

■出場決定選手　小島聡（第3回大会優勝）、大谷晋二郎（第1&2回大会優勝）、大森隆男、田中将斗、横井宏考
金村キンタロー、黒田哲広、坂田亘、越中詩郎、他1名（選考中）

8･8 バトラーツ越谷大会
未来のバチバチ戦士を募集中！

夏休みの真っ只中、バトラーツが定期戦を開催する。燃え上がるバト魂を会場で感じろ！　なおバトラーツでは現在、新弟子を募集中。希望者は履歴書に必要事項および、身長、体重、スポーツ歴等を記入し、全身写真、上半身写真を各一枚ずつ（どちらも短パン、上半身裸）を同封の上、バトラーツジム「B-CLUB」（〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43）まで郵送すること。後日。面接の日程についての連絡がある。

『鼓舞～blood, sweat&tears～』

■日時　8月8日（日）試合開始17:00（16:00開場）
■会場　埼玉・桂スタジオ
■チケット　SRS席 5000円／自由席 4000円／小中生 1000円（当日販売）
■参戦選手　石川雄規、原　学、竜司ウォルターズ、チョコボール向井、他
■問　バトラーツ　0489-63-0005　■HP　http://www.battlarts.jp/

NOAH初のドーム大会！ 超豪華・5大タイトルマッチが実現!!

NOAH初進出となる東京ドームで、全日本プロレスが遂に禁断のNOAH参戦を果たす。全日本生え抜きの太陽ケアと、全日本社長・武藤敬司がタッグを組み、三沢光晴＆小川良成が保持するGHCタッグのベルトに挑戦する。NOAHvs全日というシュチエーションに加え、初対決の三沢と武藤。夢の対決実現は、今後のマット界にどのような影響を与えるのか。

『DEPARTURE 2004』　■日時　7月10日（土）試合開始18:00　■会場　東京・東京ドーム

■チケット料金　アリーナ席 30000円（残りわずか）／アリーナA席 15000円（残りわずか）／1階スタンドS席 15000円／1階スタンドA席 10000円／1階スタンドB席 7000円／2階スタンドS席 5000円／2階スタンドA席 3000円（完売）

■全対戦カード　⑩【GHCヘビー級選手権】【王者】小橋建太 vs 秋山準【挑戦者】
⑨【GHCタッグ選手権】【王者】三沢光晴&小川良成 vs 武藤敬司&太陽ケア【挑戦者】
⑧【IWGPタッグ選手権】【王者】高山善廣&鈴木みのる vs 森嶋猛&力皇猛【挑戦者】
⑦【GHCジュニアヘビー級選手権】【王者】獣神サンダー・ライガー vs 金丸義信【挑戦者】
⑥【GHCジュニアヘビー級タッグ選手権】【王者】丸藤正道&KENTA vs 杉浦貴&ケンドー・カシン【挑戦者】
⑤田上明&佐野巧真 vs 池田大輔 & モハメド・ヨネ　④斎藤彰俊 & 橋誠 vs スコーピオ & リチャード・スリンガー
③鈴木鼓太郎 & リッキー・マルビン vs マイケル・モデスト & ドノバン・モーガン
②本田多聞 & 泉田純 & 菊地毅 vs 井上雅央 & 川畑輝鎮 & 青柳政司　①百田光雄 vs 永源遥

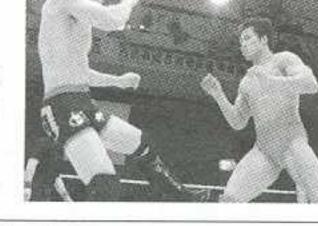
■問　プロレスリング・ノア　03-3527-5311　■HP　http://www.noah.co.jp

LEGLOCKがサマーバーゲンを開催！

全日本プロレスのグッズでお馴染みのLEGLOCKがサマーバーゲンを開催する。お楽しみ袋（1000円）を購入した方、先着合計200名に、武藤敬司サイン会＆撮影会、もしくはカズ・ハヤシ＆本間朋晃サイン会＆撮影会の整理券を配布（選択可能）。サイン会にはサインを入れるものを一点持参、写真撮影希望の方はカメラを持参とのこと。会場には喫茶コーナーも設けられている。31日、全日ファンは青山に集合！

■日時　7月31日（土）12:00～20:00
■会場　東京・青山ベルコモンズ9Fクレイドルホール　※入場無料
■イベント内容
★12:00　開店
★14:00～　武藤＆本間トークショー（司会・笹田道子）※入場無料
★14:30～　武藤サイン会＆撮影会　※整理券が必要
★17:00～　カズ＆本間トークショー（司会・笹田道子）※入場無料
★17:30～　カズ＆本間サイン会＆撮影会　※整理券が必要
★20:00　閉店

U-STYLEがベルト設立！ 初代チャンピオンは誰の手に!?

U-STYLEが遂にベルトを設立する。田村潔司をはじめとするU-STYLE所属8選手が出場し、2大会に渡るトーナメントで初代チャンピオンの座を争う。8月7日大阪大会で1回戦、8月18日後楽園ホール大会で準決勝＆決勝戦が行われる。優勝候補ブッチ切りで筆頭の田村を止める選手は現れるのか!?

『U-STYLE9～トーナメント1回戦～』

■日時　8月7日（土）試合開始17:00（16:00開場）　■会場　大阪・梅田ステラホール
■チケット（発売は7月10日から）VIP（最前列&2列目）15000円（パーティー付）／SRS席 8000円／指定A席 6000円／指定B席 5000円
■出場選手　田村潔司はじめ選手8名によるトーナメント1回戦4試合、ワンマッチ数試合

『U-STYLE10～トーナメント決勝戦～』

■日時　8月18日（水）試合開始18:30（17:30開場）　■会場　東京・後楽園ホール
■チケット（発売は7月10日から）VIP（最前列&2列目）15000円（パーティー付）／SRS席 8000円／指定A席 6000円／指定B席 5000円
■決定カード　トーナメント準決勝、決勝戦、ワンマッチ数試合
■問　U-STYLE　044-932-0282　■HP　http://www.u-filecamp.com/

団体INDEX（50音順及びアルファベット順）

■猪木事務所
03-5468-5656
〒150-0001　東京都渋谷区東1-25-2　丸橋ビル4F
http://www.inokiism.com/

■大阪プロレス
06-6636-6672
〒556-0002　大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
http://www.osaka-prowres.com

■キングダム・エルガイツ
0423-31-2797
〒206-0025　東京都多摩区永山1-17-10
http://homepage3.nifty.com/z-zone-kingdom/

■新日本プロレス
03-5468-3111
〒150-0011　東京都目黒区青葉台4丁目4番5号渋谷スリーサムビルヂング8F
http://www.njpw.co.jp/

■シュートボクシング(SB)協会
03-3843-1212
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ
http://www.shootboxing.org/

■掣圏道
042-544-6979
〒196-0013　東京都昭島市大神町1-2-22
http://www.seiken-do.com/

■全日本プロレス
03-3288-0610
〒102-0073　東京都千代田区九段北1-5-10　九段有楽ビル6F　http://oudou.co.jp

■全日本女子プロレス
03-3493-6541
〒153-0064　東京都目黒区下目黒2-17-17
http://www.zenjo.com

■大日本プロレス
045-937-0811
〒224-0053　神奈川県横浜市都筑区池辺町4347
http://www.bjw.co.jp/

■髙田道場　03-5749-5030
〒142-0062　東京都品川区小山3丁目6-6 ワールドパレス武蔵小山1F&B1
http://www.takada-dojo.com/

■高山堂　03-5464-2806
〒150-0011　東京都渋谷区東2-17-12-501号
http://www.Takayama-do.com

■闘龍門JAPAN
078-333-9797
〒650-0004　兵庫県神戸市中央区中山手通2-3-18 メープル中山手201
http://www.gaora.co.jp/dragon/index.html

■ドリームステージエンターテインメント（PRIDE）
03-5464-1531
〒107-0061　東京都港区北青山3-12-9　花茂ビル3F
http://www.so-net.ne.jp/pride/

■バトラーツ
0489-63-0005
〒343-0807　埼玉県越谷市赤山町6-13-43
http://www.battlarts.jp/

■パンクラス 03-5792-0815
〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25
http://www.pancrase.co.jp/

■プロレスリング・ノア
03-3527-5311
〒135-0063　東京都江東区有明1-3-25
http://www.noah.co.jp

■冬木軍プロモーション
045-241-6381
〒231-0048　神奈川県横浜市中区蓬莱町2−247　SSビル310

■みちのくプロレス
019-626-1333
〒020-0063　岩手県盛岡市材木町9-8
http://thegreatsasuke.com

■A to Z　03-3678-7777
〒132-0013　東京都江戸川区江戸川1-6-2
http://www.AtoZ.ne.jp

■DDT　03-5360-6653
〒112-0002　東京都渋谷区千駄ヶ谷5-26-5 代々木シティホームズ1005
http://www.ddtpro.com

■DEEP事務局
052-339-0303
〒460-0071　愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
http://www.deep2001.com/

■FEG（K-1事務局）
03-3796-2977
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22 S&T神宮前ビル3F
http://www.k-1.co.jp/

■GAEA JAPAN
03-5459-3101
〒150-0036　東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1F
http://www.gaea-inc.com

■GCM COMUNICATION
03-3538-5801
〒104-0061　東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
http://www.g-c-m.net/

■IWAジャパン 03-3352-3366
〒160-0004　東京都新宿区新宿2-15-13　第2中江ビル402
http://www.iwajapan.jp/

■JDスター 03-5524-2339
〒107-0052　東京都港区銀座1-8-21　第21中央ビル9F
http://www.jdstar.co.jp

■JWP　03-5849-2341
〒121-0052　東京都足立区六木3-6-4
http://www.jwp-produce.com/

■KAIENTAI DOJO
043-214-6960
〒260-0001　千葉県千葉市中央区都町3-4-17
http://www.k-dojo.co.jp/

■LLPW　03-5228-4331
〒112-0014　東京都文京区関口1-24-6 朝日関口マンション1001号
http://www.llpw.co.jp/

■NEO　044-422-8344
〒211-0011　神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
http://www.neoladies.com/

■PWCプロモーション
03-3312-0328
〒166-0011　東京都杉並区梅里2-35-14 マイキャッスル新高円寺701
http://pwc.ne.jp/

■SMACK GIRL実行委員会
090-1773-5647（担当・勝井）
〒156-0041　東京都世田谷区大原1-63-9　恒心ビル801　株式会社プロテック内
http://www.smackgirl.com/
info@smack girl.com

■U-FILE CAMP
044-932-0282
〒214-0014　神奈川県川崎市多摩区登戸1568
http://www.u-filecamp.com/

■UFO　0467-82-2034
〒253-0053　神奈川県茅ヶ崎市東海岸北3-7-25-2F 株式会社エフ企画内

■U.K.R　044-833-7042
〒213-0027
神奈川県川崎市高津区野川2193−11
http://www.hiromitsu-kanehara.com/

■UNW　03-3362-3014
〒164-0003　東京都中野区東中野4-4-5-311

■U.W.F.
スネークピットジャパン
03-3337-1889
〒166-0002　東京都杉並区高円寺北2-15-1-2F
http://www.uwf-snakepit.com

■WJプロレス
03-3751-4546
〒146-0085　東京都大田区久が原3-31-1 いずみハイツ
http://www.wj-pro.net/

■WMF　049-239-3520
〒350-0812　埼玉県川越市下小坂536-18
http://www.e-rain.co.jp/wmf

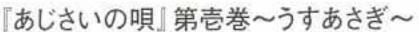
■WWS　0495-24-6900
〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 レインボー本庄106

■ZERO-ONE
03-5730-3401
〒105-0014　東京都港区芝2-30-11　寿ビル601
http://www.zero-one.to/top.html

■ZST　03-5321-9595
〒106-0023　東京都新宿区西新宿3-1-2 廣川ビル4F
http://www.zst.jp/

DVD　話題＆最新作情報

がなり乱心!?『あじさいの唄』DVD化!

構想８年！ 制作１年!! 総制作費２億円!!! ソフト・オン・デマンドが、『ビッグコミックオリジナル』で10年以上にわたり好評連載中の『あじさいの唄』を、高橋がなり企画・制作総指揮のもと初のアニメ化！ 声優に蟹江敬三や和久井映見、そして主題歌はかぐや姫と超豪華なことこの上なし!!

『あじさいの唄』第壱巻〜うすあさぎ〜
■発売日　8月19日（木）（第弐巻／9月後半、第参巻／10月後半リリース）
■収録時間　60分（特典映像、予告編等込み）　■価格　1980円（税抜き）

野口智博・原英晃に学ぶクロール改造法

¥5040／62分／7月19日発売

プルの改善からキックの強化、そして身体全体を使った泳ぎ方など、日本競泳界クロールの第一人者・原英晃が、自らの経験と記録をたどりながら順を追って紹介し、テレビ解説でおなじみ野口智博コーチがわかりやすく解説する。

■TEL　03-3360-3810　■HP　www.queststation.com

大橋秀行・ボクシング完全教則ー入門篇ー

¥5880／81分／7月17日発売

軽量級きってのハードパンチャーとしてWBAとWBCの世界チャンピオンに輝いた大橋秀行が、ボクシングの基本のテクニックを分かり易く解説する全3巻シリーズの第１巻。現WBC王者・川島勝重を育てあげた指導力で基本を徹底的に磨く。

御舘透 JKDトラッピング・アートVol.1

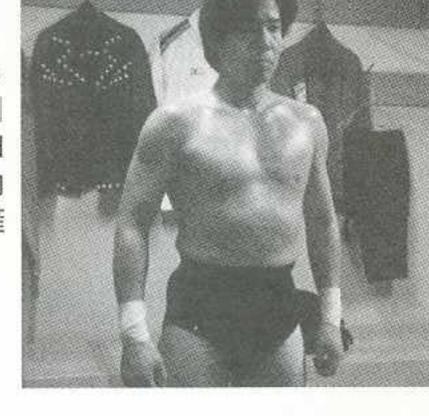
¥5880／45分／7月17日発売

ブルース・リーを始祖とする武術“ジークンドー”の実戦テクニックを御舘透伝授！ ジークンドーならではの接近戦テクニックを解説し、さらにブルース・リーが映画の中で披露した素早い手技の連続攻撃を徹底紹介する。

And Others　その他情報

『MASK DE 41』が遂にロードショー!

41歳のリストラサラリーマンがプロレス団体を興し、自らマスクマンとして人生に闘いを挑む大作『MASK DE 41』（マスク・ド・フォーワン）が、遂に8月からロードショー！ 主演の田口トモロヲは映画出演のために専属トレーナーのもと、数ヶ月に及ぶ肉体改造とプロレス特訓を敢行し、実に13.5キロも増量！ ハヤブサや雁之助も大活躍だ！

■監督　村本天志
■出演　田口トモロヲ、松尾スズキ、伊藤歩、ハヤブサ、ミスター雁之助、元川恵美、他
■会場　K's cinema　東京都新宿区新宿3丁目35-13（03-3352-2471）
■HP　http://www.ks-cinema.com/

KILLER BEE オフィシャルホームページの案内

山本KID徳郁が所属するPUREBRED TOKYO KILLER BEEのオフィシャルHPでは、所属選手のプロフィール、グッズの販売、PUREBRED東京のジム案内を絶賛公開中。KIDファンは要チェック！ 今回は『紙プロ』読者にKILLER BEEオリジナルＴシャツをプレゼント。読プレページに急ぐんだ!!

■問　03-5447-1388
■HP　http://www.killerbee-tokyo.com/

吉田秀彦柔道教室『第7回 VIVA! JUDO』開催決定!!

■日時　7月18日（日）
■練習13:00〜15:00（受付開始12:00）■講師　吉田秀彦、他
■対象者　柔道初心者および経験者の小学校1〜6年生。
※参加出来るのは事前に申し込みをされた方のみ。
■定員　200名　■参加費用　無料（柔道着は無料で貸し出し）
■場所　足立学園大成高等学校（愛知県一宮市千秋町小山字大福田1878-2）
■最寄り駅　名鉄名古屋本線「新一宮」駅、JR東海道本線「尾張一宮」駅　※車での来場はご遠慮ください。
■問　（株）ジェイロック　03-3414-9000（担当:宮本、嶋澤、西村、丹）
■HP　http://www.hidehiko.jp/

紙プロHand　更新・最新情報

宇宙一面白い携帯サイト『紙のプロレスHand』では、ただいま花くまゆうさく先生のイラスト入り“紙プロHand・Tシャツ”を発売中!! 枚数限定、世界中どこを探してもココでしか手に入らないスペシャルなＴシャツだ!! 価格は出血サービス価格の2625円（税込）！ ７月１日には、写真の“ハリトーノフ・カレンダー”ほか、破壊王アフロカレンダーも配信！ ７月９日には『PRIDE.GP』特別先行予約も実施!! 売り切れ間違いナシのチケットが、一般予約よりも早く手に入っちゃう上、非売品の“ロシアン・トップチームペンケース”がもれなくもらえちゃう!! いますぐ加入してチケットを“ゲッツ”!!

Docomo	i Menu	メニューリスト	スポーツ	格闘技／大相撲
au/TU-KA	トップメニュー	遊ぶ・楽しむ or インターネット	スポーツ	格闘技
vodafone	メインメニュー	ボーダフォン・ライブ	メニューリスト	スポーツ	格闘技

本誌 Back Number

no.08 '94.01

特集 さらば新日本プロレス

仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが『紙プロ』初登場！ 20ページにも及ぶ大特集！

700yen⇒350yen 50%OFF

no.16 '96.06

特集 新日本凸凹大学校

『紙プロ』的・昭和新日本プロレス大検証！ マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊／ビックリ！ 糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現！

780yen⇒390yen 50%OFF

"燃える情念" 石川雄規、初の自叙伝!! '00.04

情念～夢一途なり～石川雄規

『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長・石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆＋書き下ろし！ 自称"世界一の猪木信者"石川社長が、あまねく全ての人に捧げる珠玉の一冊！ 情念とは何かが分かる本である。

1700yen⇒900yen 50%OFF

no.13 '95.03

特集 道場破りとは何か？

安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！ 山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／「平成ファミコン・プロレス」馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦

780yen⇒390yen 50%OFF

no.17 '95.07

特集 実況パワフル北朝鮮

あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！ アントニオ猪木＆永島勝司・村松雄視・破壊王・ブル中野／バトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」

780yen⇒390yen 50%OFF

みんなで遊べる付録付き!! '01.04 完売間近

さくぼん

『PRIDE』の会場でも大人気!! サクのすべてがよくわかる桜庭和志初のインタビュー集！ 花くま先生の「サクラバの汁」、特製シールやポスター、動く必殺技「炎のコマ」「炎の人力車」、サクマシン立体組お面など付録がこれでもか！ とばかりに付いています！

総238ページ

1000yen

no.14 '95.04

特集 神秘とは何か？

佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

780yen⇒390yen 50%OFF

no.19 '95.09

特集 さようなら紙のプロレス

『紙プロ』を偲んで… ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁／石井館長、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会

780yen⇒390yen 50%OFF

インタビューという名の鉄拳史 完売間近

紙の前田日明

『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！ 引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！
プロレス、UWF、そしてリングスとは何か？／大山倍達とは何か？／激白！プライドとは何か？／特別対談 撃墜王・坂井三郎×前田「勝負師とは何か？」／特別対談 イエローキャブ社長・野田義治×前田「巨乳とは何か？」／『バカの壁』著者・養老孟司×前田「脳みそとは何か？」／大和魂檄談・エンセン井上×前田 他、珠玉のインタビュー＆対談が多数収録!!

1575yen

no.15 '95.05

特集 インディペンデントの逆襲

あんた誰？ 山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／Ｋ－とは何か？ 石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのＫ－１三兄弟（当時）インタビュー

780yen⇒390yen 50%OFF

極真魂溢れる16人を直撃! 完売間近

極真とは何か？

松井章圭／磯部清次／N・ペタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／廬山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏

1530yen⇒800yen 50%OFF

---

no.57 表紙 高山善廣 '02.11／840yen

**一瞬の11・24!!
高田延彦引退試合を大総括!!**

- サップと地球規模のタイマン勝負!! 高山善廣
- 新たなる"U"が始動!! 田村潔司
- 悪魔の書、再び！ ミスター高橋×大槻ケンヂ
- "北尾戦・セメントマッチの真実" ジョン・テンタ

no.58 表紙 武藤&船木 '03.01／880yen

**新春特大号!!「明日、また
生きるぞ!」な対談の大連発!!**

- 夢幻のファンタジー対談 武藤敬司×船木誠勝
- Uスタイル対談 田村潔司×高阪剛
- Uインター座談会 宮戸×安生×鈴木健
- カルガリー師弟対談 ミスターヒト×ハシフ・カーン

no.59 表紙 ヒョードル '03.02／880yen

**吹けよ!呼べよ嵐!!
マット界新風景が見えてきた!!**

- いざノゲイラ戦!! E・ヒョードル
- アメリカン・ドリーム ダスティ・ローデス
- 爆発!! WJマグマ語録
- 吉田道場の秘密兵器 中村和裕
- UWFの再興と再考 田村潔司

no.60 表紙 ヒョードル '03.03／880yen

**英雄、変貌好む!!
『PRIDE』RE・BORN!!**

- ノゲイラ撃破!! E・ヒョードル
- 驚愕の格闘芸術対談!! 武藤敬司×須藤元気
- あのマーシーがすべてを告白!! 田代まさし
- 全日本中継の真実!! 倉持隆夫

no.62 表紙 ミルコ '03.05／880yen

**誰でもいいからミルコのクビを
カッ斬ってみろ!!**

- ヴァーと笑顔で初登場!! 佐々木健介
- 現役復帰間近!? 船木誠勝
- 藤田と新日を一刀両断!! E・ヒョードル
- 新日本バードを徹底検証!!

no.64 表紙 桜庭&田村 '03.07／900yen

**灼熱の
『PRIDEミドル級GP』直前号!!**

- "異次元格闘技戦戦" 田村潔司×吉田秀彦を大展望!!
- 『PRIDEミドル級GP』出場全選手インタビュー
- ミスター高橋の盟友が放つ"猪木の裏側"
- スマックガール・ビキニ特写!!

no.65 表紙 ミルコ '03.08／880yen

**ヒョードル×ミルコ、
闘争本能世界一決定戦!!**

- "最後の皇帝"燃え上がる! ヒョードル
- "反逆の妖刀"、遂に皇帝へ!! ミルコ
- 吉田秀彦戦の"謎"に迫る! 田村潔司
- 闘魂ストーカーを捕獲! イズマイウ

no.66 表紙 ミルコ '03.09／880yen

**ミルコ、『武士道』電撃出陣!
もはや誰にも止められない!!**

- 緊急独占インタビュー! ミルコ
- マッハの野望を砕いた "赤い暗殺者"登場!! 長南亮
- "天才空手少年"VT秒殺デビュー!! 中嶋勝彦
- 『東スポ』とは何か? 柴田惣一

no.67 表紙 シウバ&吉田 '03.10／880yen

**吉田とシウバ、いざ激突!!
衣(ギ)は赤く染まるか!?**

- ノゲイラ戦に向けて緊急インタビュー! ミルコ
- "柔術超獣"復活へ!! ノゲイラ
- 『PRIDEミドル級GP』決勝戦出場全選手インタビュー
- アントン"疑惑の時代"を知る男 加治将一

no.68 表紙 高田&桜庭&曙&猪木 他 '03.11／880yen

**人類史上稀にみる"大晦日・格闘技大戦"!!
白黒ハッキリ決めようやーッ!!**

- 大晦日三つ巴決戦に出撃宣言! 高田延彦
- 横綱がK-1に殴り込み 曙とは何者か!?
- 一年ぶりの勝利で ニコニコインタビュー 桜庭和志
- "野良犬"『紙プロ』初登場! 小林 聡

no.70 表紙 ミルコ '04.01／880yen

**年末格闘技大戦&1・4プロレス戦争大総括!!
OH、ゴーバー登場!『ハッスル』とは何か!?**

- PRIDE征服宣言! ミルコ
- シウバに宣戦布告! 近藤有己
- ド真ん中の真実を語る! 佐々木健介&北斗晶
- 発表! 紙プロ大賞&マット界語録2003

no.71 表紙 OH砲&高田 '04.02／880yen

**プロレスよ、踊れ!
3・7『ハッスル2』は大フィーバー!!**

- 『PRIDE GP』優勝宣言! ミルコ&ノゲイラ
- 待望の『紙プロ』初登場! 川田利明
- 理想のプロレスを追い求める! AKIRA
- スクープ! 幻の猪木vsアミン戦の真実!!

no.72 表紙 ミルコ&ヒョードル&ノゲイラ '04.03／840yen

**最強への求道者たち全員集合!!
PRIDE・GPに格闘ロマンを見よ!!**

- GPの大本命をオランダでキャッチ!! エメリヤーエンコ・ヒョードル
- 第二のミルコとなるか!? ステファン・レコ
- K-1に暴力を持ち込んだ男 山本KID徳郁
- 全て見せます!!『突撃! 佐々木健介邸』

no.73 表紙 小川直也 '04.04／880yen

**暴走王が忘れたころにやってきた!
PRIDE・GPでハッスルするぞ!!**

- GP出場決定、緊急インタビュー! 小川直也
- PRIDE・GP出場全選手パーフェクトガイド
- キックの名伯楽登場! 伊原信一
- 魔界のニューリーダー 村上和成

no.74 表紙 小川直也 '04.05／880yen

**シュート? ワーク? くだらねえ、次元が違うよ!
いつ何時、どこでもハッスルするぞ!!**

- PRIDE・GPでハッスル成功! 小川直也
- リベンジロード発進!! 桜庭和志
- "ハードコアのカリスマ" ミック・フォーリー本誌初登場!
- 掣圏会館皇帝 佐山サトル激語り!!

no.75 表紙 小川&桜庭&吉田 '04.06／880yen

**英雄、奇蹟の揃い踏み! 小川、桜庭、
吉田がPRIDE GP準決勝に集結!!**

- シウバ戦直前に大ハッスル宣言! 小川直也with藤井軍鶏侍
- 奇蹟の独占インタビュー! 高田総統
- インド狂虎登場! タイガー・ジェット・シン
- 年金未納からUFOまで ザ・グレート・サスケ

通販申し込み方法

▼バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません。

★電話注文 03-3403-5142
★メール注文(代引きになります)
kapra@kamipro.com
★郵便振替
00130-3-769154
(株)ダブルクロス
★携帯サイトからも購入できます
★代引きについてはP160を参照してください。

★代引きについてはP160を参照してください。

▼郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記して下さい。
※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

▼送料
1冊＝310円、2冊＝380円、
3冊～4冊＝450円
5冊＝520円、6冊以上＝700円

紙のプロレスRadical 常備店

- アイドール新宿店
- 新宿ファイター
- 大山アメリカン
- プロレスマニア館
- チャンピオン
- リングスパレス
- バディスラム
- タコシェ
- レッスル池袋
- 書泉ブックマート
- 書泉ブックタワー
- 書泉グランデ
- グレートアントニオ
- 東京イサミ

死んでもハッスル！ OH砲大特集!!

バックナンバーは電話で注文できます!!

03-3403-5142

【平日PM15：00～22：00 （株）ダブルクロス】

『ハッスル』の歴史はOHの歴史。バックナンバーでチェック！

no.52 『LEGEND』&『Dynamite!』直前！ 灼熱の格闘幻魔裏大戦に大肉迫!!
- ●リング外の見えない鎖を引きちぎれ！　小川直也
- ●ZERO-ONE大ブレイク！　橋本真也
- ●『PRIDE』侵攻開始!!　ロシアン・トップチーム
- ●女子プロ崩壊危機一髪　ロッシー小川

'02.07 / 880yen

no.61 5・2裏ドーム・ZERO-ONE後楽園大会 仁義ある闘い、やっちゃうぞバカヤロー!!
- ●裏番組をブッ飛ばせ！　橋本真也×小川直也
- ●プロレス・格闘技クロスオーバー対談 エンセン井上×金原弘光
- ●リングス・リトアニアで皇帝をキャッチ　E・ヒョードル
- ●全日本プロレス中継の真実　倉持隆夫

'03.04 / 880yen

no.63 真夏の怪『OH祭り』開催寸前！ オレたちの"祭り"は闘うことだ!!
- ●破壊王負傷！　どうする、どうなるOH砲
- ●「お前は男だ」劇場炸裂！　高田延彦統括本部長
- ●憂国の虎　ザ・マスク・オブ・タイガー
- ●芸能界一の川田番　ダチョウ倶楽部

'03.06 / 880yen

no.69 遂に『ハッスル』始動！ 大晦日・格闘技大戦&1・4プロレス戦争直前!!
- ●出てこい、泣き虫!!　橋本真也×小川直也
- ●白黒つけるヒーロー対談！　哀川翔×橋本真也
- ●『泣き虫』著者が全てを語る！　金子達仁
- ●大晦日直前！　頑固者は何を思う!?　田村潔司

'03.12 / 900yen

---

no.15 表紙 小川直也 '99.02 / 840yen
リアル・アルティメット・クラッシュ!! 小川vs橋本"1・4事変"勃発!!
- ●あの"1・4事変"を徹底大検証!!
- ●"前田日明・最後の相手" アレキサンダー・カレリン
- ●引退記念雑談会 「語ろうマサ・サイトー！」
- ●S多重アリバイ　佐野雄飛

no.16 表紙 エンセン井上 '99.03 / 780yen
格闘ノストラダムス!! エンセン表紙初奪取号!!
- ●環境問題を『紙プロ』で語る!! アントニオ猪木
- ●完全無欠の怪物!! 語ろうジャンボ鶴田
- ●相撲多重アリバイ　石川孝志
- ●マーク・コールマン

no.29 表紙 秋山準 '00.07 / 840yen
「格闘環境」は刻一刻と変化する！ ノア勢フルメンバーで登場!!
- ●三沢、秋山『紙プロ』初登場!!
- ●プロレススーパースター列伝 仲野信市
- ●本誌独占ジャンボ鶴田夫人 最愛の夫の真実を語る!!
- ●TKおかん

no.32 表紙 小川直也 '00.10 / 840yen
針はどちらに向くのか!? 新プロレスvs純プロレス開戦！
- ●田村潔司に快勝！ A・ホドリゴ・ノゲイラ
- ●ドラゴンの大爆笑10　藤波語録
- ●プロレススーパースター列伝 ラッシャー木村
- ●"和製カレリン"本田多聞

no.34 表紙 小川直也 '01.01 / 840yen
『猪木祭り』開幕ーッ!! プロレスは「闘い」を忘れたときに老いていく！
- ●UFCミドル級王者　ティト・オーティズ
- ●プロレススーパースター列伝 ミスターヒト
- ●修斗から『猪木祭り』へ！　宇野薫
- ●ボブチャンチン&オバチャンチン

no.35 表紙 サクマシン（イラスト） '01.02 / 840yen
「純プロレス」を考え倒せ！ 500人アンケートも実施！ 徹底検証号
- ●ZERO-ONE本格始動　橋本真也
- ●プロレススーパースター列伝 ジョー樋口
- ●"ノアの怪物"杉浦貴
- ●UFCの巨人　ランディ・クゥートアー

no.36 表紙 橋本真也（イラスト） '01.02 / 840yen
新生「闘いのワンダーランド」に闘魂の火種!!
- ●ノアから独立！ 高山善廣を確認せよ!!
- ●ヴォルク・ハン——ノゲイラに狼の伝言
- ●W☆ING　史上最凶の歴史を紐解く
- ●吉田豪に"ドラゴンの呪い"が襲う!!

no.37 表紙 小川直也（イラスト） '01.04 / 840yen
小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻
- ●安田忠夫が借金から 自殺未遂まですべてを語る！
- ●アブダビコンバット2001一大探検記！
- ●シュート活字×ファンタジー活字
- ●他に比類なきプロレスが WWFにはある！

no.38 表紙 高田（イラスト） '01.05 / 840yen
小川と長州、どちらが孤独だったのか!?
- ●忘れ物の正体は——。高田延彦
- ●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子 E・ヒョードル
- ●プロレススーパースター列伝 阿修羅原
- ●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー

no.39 表紙 前田日明 '01.06 / 840yen
どうなるんだ、リングス！ 前田 is デッド!?
- ●前田道場新エース・金原弘光
- ●怪物か!?　それとも…… 藤田和之座談会
- ●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
- ●プロレススーパースター列伝・田上明

no.40 表紙 アントン総帥 '01.07 / 880yen
猪木軍vsK-1に見たいものは"地上最強のプロレス"
- ●蘇れ！Uインター&キングダム伝説！ 高山善廣×金原弘光
- ●熱いこの叫びを聞け！　大谷晋二郎
- ●プロレススーパースター列伝 グラン浜田
- ●グラバカの核弾頭　郷野聡寛

no.41 表紙 ビンス・マクマホン '01.08 / 880yen
Can you カミングアウト？ "最後の黒船"WWF襲来！
- ●リングス10周年！ ヴォルク・ハンが振り返る
- ●真樹日佐夫×三池崇史 巨頭対談が実現！
- ●W☆INGの真実・茨城清志
- ●毒舌知能犯　秋山準語録

no.42 表紙 アントン総帥 '01.09 / 880yen
猪木なら何をやっても許されるのか!?
- ●ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
- ●"ヒャッホーの真実"辻よしなり
- ●蘇れ！UWFインター伝説!! 高山善廣×宮戸優光×金原弘光
- ●誇り高きルチャ戦士 カト・クン・リー

no.43 表紙 桜庭和志 '01.10 / 880yen
サクと『PRIDE』のケツに火がついた!!
- ●ブラジリアン・トップチーム 3大柱インタビュー
- ●大谷晋二郎の「俺をしんじろう！」人生相談
- ●金原弘光×サスケの 新日本プロレス学校同窓会
- ●野武士が語るんだよな　中野巽耀

no.44 表紙 桜庭&シウバ '01.11 / 880yen
サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か？
- ●その修羅場の数々！ シーザー武志
- ●怪物伝承対談！ 高山善廣&杉浦貴
- ●ハンス・ナイマン&ディック・フライ
- ●闘龍門大特集

no.45 表紙 アントン総帥 '01.12 / 880yen
「K-1vs猪木軍」命懸けのエンターテイメント!!
- ●悪魔の書、現る！　ミスター高橋
- ●ジェラルド・ゴルドー人生相談
- ●プロレススパースター列伝 グレート小鹿
- ●語録で振り返るマット界2001

no.47 表紙 ビンス・マクマホン '02.02 / 880yen
WWE日本侵攻5秒前！
- ●"天才"武藤敬司が 『紙プロ』驚愕の初登場！
- ●噂の馳浩が新日分裂から ミスター高橋本までを語る！
- ●第一次リングス閉幕特集
- ●プロレススーパースター列伝 ストロング金剛よ!!

no.48 表紙 桜庭和志 '02.03 / 880yen
見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
- ●奇跡のメガトン対談！ 小川直也 vs ノゲイラ&スペーヒー
- ●和田最強伝説が遂に現実に！ 語り部・金原弘光
- ●伝説の男が笑撃の登場！ ジョー・サン
- ●WWEを知る男　ウォーリー山口

no.49 表紙 ミルコ&ヒクソン&小川&桜庭 '02.04 / 880yen
究極の格闘技大戦争勃発!! マット界灼熱の噂！
- ●和田さん快勝記念対談！ 高山&金原&和田
- ●アレクに怒りの火を付けた 菊田早苗とは何者か!?
- ●破壊王も火のヤリ特訓！ 小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行！
- ●ビッシビシいくわよ!!　小畑千代

no.50 表紙 桜庭和志 '02.05 / 880yen
サクが笑えば、世界が笑う!!
- ●「地方発世界」開始！ 小川直也&橋本真也
- ●リングスロシア軍団の軌跡
- ●パンクラス取材解禁！ 菊田、"尾崎の野郎"が登場！
- ●ギョ!? I編集長が新日本に三くだり半！

no.51 表紙 橋本真也 '02.06 / 880yen
ZERO-ONEに願いを！
- ●両国国技館だよ、全員集合！ 橋本真也
- ●『PRIDE』の魅力をマン開！ 小池栄子
- ●天才が悩みに答える！ 武藤敬司人生相談
- ●新・超獣　ザ・プレデター

no.53 表紙 桜庭和志 '02.08 / 880yen
世紀のビックイベント『Dynamite!』直前大解剖!!
- ●ノーフィアー×無謀美・対談!! 高山善廣×美濃輪育久
- ●独占肉弾スクープ！ マット・ガファリ
- ●爆裂！　川村社長ガチンコ語録！
- ●偽造王の知られざる半生！　一宮章一

no.54 表紙 ノゲイラ '02.08 / 880yen
不平等の時代を克服した英雄ノゲイラ!!
- ●"首の皮一枚"ホイス&エリオグレイシー
- ●"青い目のケンシロウ"ジョシュ・バーネット
- ●純プロ頂上対談！ 武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン
- ●猪木とは何か？ アントン実兄・猪木快守

売り切れ寸前!!

no.55 表紙 高田延彦&田村潔司 '02.09 / 880yen
高田×田村!! 夢幻大の真剣勝負が実現!!
- ●「真剣勝負」発言から7年!!　田村潔司
- ●実力者、遂に『PRIDE』登場！ 金原弘光
- ●メガトン級の強さと面白さ!! ボブ・サップ
- ●靖国神社で興行開催!! 佐山聡

売り切れ寸前!!

no.56 表紙 Uインター '02.10 / 840yen
愛すべき若気の至り!! 受け継げ、Uインターの蒼き魂!!
- ●田村戦直前!! 高田の覚悟を読み解け！　高田延彦
- ●蘇れ！Uインター伝説!! 安生&金原&高山
- ●高田×田村、観る側の覚悟!! 浅草キッド
- ●『紙プロ』に風がふくぜぇ～！ 鈴木みのる

売り切れ寸前!!

今月もハッスルする読者ページ

紙プロ元気大学

暑いです。暑くて何もする気になれません。暑さに弱いうえクーラーにも弱い読者ページ担当のささきぃです。本業は電気部です。暑い中日焼け止めを塗って会見へ行くことを考えると、大汗をかいて練習されている選手の皆さんが生き物として非常に真っ当に見え、うらやましくなります。スーツを着ているサラリーマンの皆さん、お疲れさまです！　そろそろ本当に「省エネルック」以外の「夏の正装」を考えなきゃいかん時代ですね。……マット界にイマイチ結びつけられないまま行数が終わってしまいました。それでは、はじまりはじまり。

（東京都・シンペイ・タナカ）➡版画家のシンペイ・タナカさん。何枚か送っていただいたのですが、今月はこの１枚をでっかく掲載させていただきます。今も人の心に強く生き続ける超獣。版画というか、絵として素敵だと思う。

内回校巡

『紙プロ』75号　面白かった記事

【小川直也×藤井軍鶏侍インタビュー】
★近頃、まんまとオーちゃんにハマってきてます。日常生活でツライときは、いつもこっそり「ハッスル×2」して元気だしています。『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』は優勝や！
（兵庫県・瀬戸飛鳥・24歳・アルバイト）

⬇「殺すぞ、お前!!」の声で思わずハッスル！　面白かった記事ナンバーワンは小川直也・藤井軍鶏侍のハッスル師弟インタビューでした。以下、順不同でお送りします。

【須藤元気インタビュー】
★俺もプロセスより先にゴールを決めようと思う。その一言が胸に響いたよ。
（神奈川県・荒木徹・29歳・会社員）

⬇そういう言葉が響く年齢ですよね（ささきぃは来月29歳）。ゴールを紙に書くのは、私もとりあえずやってみましたよ。けっこう難しいよ。

【ジャイアント・シルバの真実】
★シルバの特集は大変面白かったです。ただ1箇所だけ、シルバの不思議なポーズについてですが、これは、ブルース・リー主演の映画『死亡遊技』に登場したリー最大の敵〝ハキム〟を意識したものだと思います。〝ハキム〟を演じたのは、当時「ＮＢＡの神様」と呼ばれた名バスケットボール・プレイヤー〝カリム・アブドォール・ジャバール〟であり、ジャバールは、ブルース・リーのジークンドーの弟子でもありました。（中略）おそらくシルバは、自分と同じバスケットボール・プレイヤーであり、格闘家でもあったジャバールを尊敬し、ジャバール演じる〝ハキム〟を意識したのだと思います。機会があれば本人に一度確認してみてください。
（福井県・シルバのファン）

⬇ハキムは、リーとの対戦中前号17Ｐのシルバと同様のポーズを何度も見せ、光が苦手という設定のため暗い塔の中でもシルバがしていたようなサングラスをして闘っているそうです。知らなかった……。今回、早期帰国してしまったためインタビューが出来なかったシルバ。機会があれば本人にぜひ確認してみたいですね。シルバファンさん貴重な指摘ありがとう。

『紙プロ』75号　つまらなかった記事

【ザ・グレート・サスケの近況報告】
★ＵＦＯとは頭部強打の影響。
（北海道・佐藤稔・37歳・学校職員）

⬇「Ｊ-ＣＲＯＷＮ」のね……って、言い切ったらいかん。言葉に含みを持たせなさいよ。ていうか、違うよ。多分。

【所英男×尾藤ゆう】
★所選手が本当に楽しそうだから。
（神奈川県・大類正和・32歳・会社員）

⬇所選手が楽しそうなのはつまらない理由？　所選手の幸福は不幸？

【榊原代表インタビュー】
★ここまで言っちゃっていいの？　と読んでるこっちがビビってたじろぐぐらいに、ざっくばらんに語るところなんか最高でした。
（紙プロＨａｎｄ投稿・ペンネーム不明）

⬇同様意見多数でした。スーツが似合う榊原代表。インタビュー内ほかで厳しい意見があった高瀬大樹選手は、パンクラス・後楽園大会で「最近の『紙プロ』はボクに厳しいッスよね。読む立場になるとキツイッスよ（苦笑）。でも肥やしにして次こそは頑張ります！」と、本誌編集者松澤チョロさんにコメントをくださいました。あの内容を読んでそれを言える高瀬選手には、今後とも期待したいです。

その他のおたより

★プレゼントは小川直也選手サイン入りしゃもじ（大）を、ぜひとも希望いたします。これでおでこを叩かれたら「ピターン!!」と音がしそうで、少し心配ですが……。
（埼玉県・矢島博司・38歳・会社員）

⬇それは高田総統の言葉なので、普通にパチンと音がするのではないでしょうか。もしくはハッスル、ハッスルという音がするかもしれません。ちなみに、あのしゃもじには「命名・軍鶏侍　オー」と書いてありました。

★6月1日に放送された『ビューティコロシアム』という番組を見ていたら、カッパみたいな顔をしているためバカにされてたと言う女性が出ていました。その時、なぜこの女性がカッパに似ているのかを分析するため専門家に聞いてみようということになったのですが、その専門家がなんとあの「ビスート」こと妖怪王「山口敏太郎」氏だったのでビックリして腰がぬけました。妖怪王ってあんな顔だったのですね。
（北海道・安倍正典・31歳）

⬇たぶん『紙プロ』読者でも90分の1くらいしかわからない話ですが、その人たちと面白さをわけあいたいと思います。「ビスート」で笑いたい人は、バックナンバーの62号を参照ください。へぇー、カッパ専門家でもあったのか。ビデオ録ってる人がいたら……送ってくれなくていいや。

★小川直也さんの大ファンの私（31才主婦）は最近になってようやく5才の双子の息子を連れて試合会場を訪れることができるようになりました。名古屋からはるばる埼玉、横浜と…。親の影響で子供もすっかり格闘技ファン。そして子供のイチオシはやっぱり小川直也さん。幼稚園で日々ハッスル普及活動をしている息子たち。今ではみんなから『ハッスルくん』と呼ばれ幼稚園全体、ハッスルポーズがブームになっています。息子たちをハッスル連合艦隊に入れてほしいくらい。7月の『ハッスル4』もちろん息子たちを連れて見に行きますね！　貢献します。
（紙プロＨａｎｄ投稿・ミナチャン）

⬇息子さんがハッスルくん！　しかも双子でハッスル！　いい話ですね。高田総統に見つかったら洗脳されてしまいそうなので危ないな。名古屋からわざわざ来るところもスゴイ。旦那さんは置き去りじゃないですか？　そこが心配です。

紙プロ75号・読者が選ぶ 面白かった記事ベスト5

1位 小川直也×藤井軍鶏侍 インタビュー
2位 金原弘光 インタビュー
3位 中島らも インタビュー
4位 須藤元気 インタビュー
5位 高田総統E-mail インタビュー

１位は「小川の厳しすぎる激励に応えようとして頑張る藤井の様子が面白い（石川県・浅田浩伸）」ハッスル師弟インタビュー！　練習量はとにかくヤバイ!!　２位は正しいボヤキが炸裂！　内容に共感＆反省の声続出の金ちゃんインタビュー。ボヤキもストップか。続いて「昔からファンだった」「ナイフを見る目が最高」などの声と「あんな人を出していいのか」の声が同じくらい届いた中島らもインタビュー。私も「明るい悩み相談室」のころからファンでした。続いて須藤元気インタビュー、高田総統インタビュー。僅差で榊原代表インタビュー、喫茶店トークと続きました。

（北海道・アカツキ）➡しんどいね、か……。なんか本当にしんどそうな感じがするので掲載。道場も公開して、どうなるＷＪ。去年の今頃はブイブイ言ってたのになぁ……。

前回のお絵かきロジック　お答え

（大阪府・英加直純）➡前号のお絵かきロジックの答えです。「お前、男だ！」の高田本部長。高田総統と書いてきた方は残念ながら間違いです。そこは厳密にいかせてください。スイマセン。

（石川県・シーザー孝志）➡新世紀のプロレスバカ・美濃輪選手。変わり者である上に飛び出す瞬発力を持っている人は貴重なので、なんとか頑張って『武士道』での勝利が見たいです。韓国大会勝利おめでとう！

（神奈川県・ウエスギ☆アウトロウ）➡はじめましてのウエスギさん。掲載が遅くなってごめんなさい。「K-DOJOのXNo,2です」。なぜNo,2をイラストに？　と、K－DOJOに詳しくない私には疑問だったのですが、No,2はえらく強いらしいですね。でっかいイラスト（A4版）がいきなり届いたんで驚きましたよ。

衣料部・Tシャツ自慢コーナー

（静岡県・目ガ覚メタロウ）「中川画伯に製作していただいたケンドーコバヤシ氏Tシャツ、届いた翌日に生き別れになっていた妹（14歳）と奇跡的に再会することができました。画伯には、なんとお礼を述べればいいことか。ありがとう、いい薬です！」➡久々のTシャツ自慢コーナー。放置していたわけじゃないよ。侍バージョンとでも名付けたいような、ケンドーコバヤシTシャツ。ブリーフについては放置したいと思います。中川画伯にTシャツを作って欲しい人は「ほんとにジョーク」へ投稿しよう。Tシャツが届いたら写真を撮って『紙プロ元気大学』へ送りましょう。

（石川県・シーザー孝志）➡前号登場した渡邊久江選手。女の子のイラストは珍しいなぁ。手もちゃんと「W」になってますね……ってそれはうちの雑誌では紹介してないはずだが。ミャンマーに行くそうですよ。大丈夫なんでしょうか。おろおろ。

（埼玉県・中川雅博）「皆が『PRIDE』の選手を描きそうなので『ROMANEX』を！　自分はNBA（By武田いづみ）なんです。ンムフフフ」➡NBAとは「ナチュラル・ボーン・あまのじゃく」の略で、武田いづみとは元電気部の武田いづみちゃんのことです（HPあり）。藤田選手の棚橋戦でイキイキした笑顔は良かったですね。あと、中川画伯に「ミルコを描いて欲しい」というリクエストが来てましたよ。

（神奈川県・葉チャン）「吉田選手は私のタイプではないのですが、チョキが気になって…」➡試合後はチョキどころじゃないマイクが飛び出した素敵な吉田秀彦選手。やったゾーッ！　いつもありがとうの葉チャンさん。いかの絵も載せたかったです。今月はハリトーノフの写真あたり、絵心をそそられませんでしたか？　あれは載る雑誌が違ってたら完全に殺人犯ですね。危険度高し。でも、ファイターとしては魅力的（フォロー）。

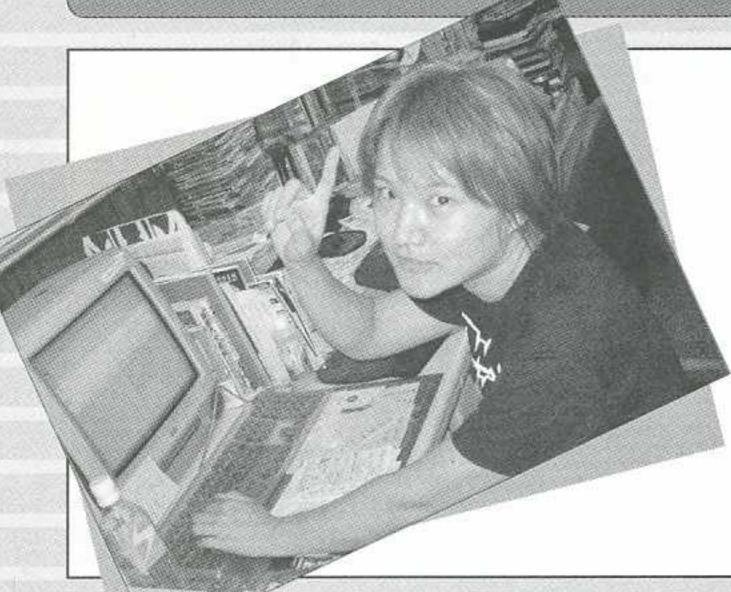
（愛知県・たっつぁん）「コーナーでチョップを喰らい、2～3歩歩いてバタンと倒れ四の字かけて大騒ぎ、それを返され大騒ぎ。必要なくともケツを出し、青スジ立てて大騒ぎ。こんなオヤジに私はなりたい」➡周囲は相当迷惑だと思いますが、そんなオヤジが町内にひとりくらいいてもいいですね。リック・フレアーがいる町。まずは若いうちに、王者を防衛し続けることから始めましょうか。

（埼玉県・稲葉聡）「ノゲイラ対横井の巻」➡これまたちょっと前にいただいていたハガキです。4・25、じつはこんなドラマが！　男塾・ブラジル校の塾長は誰なんだ！

私が愛したハッスラー

タレコミ部あてに、たくさん『ハッスル』ネタが届いています。すごくたくさん。
ここではその中でもちょっとひねった『ハッスル』ものをご紹介します。

（静岡県・目ガ覚メタロウ）「あの前田総帥も、あのアントン総帥を前にハッスル、ハッスル!!（『ゴング増刊号・新日本プロレス激闘史』より）」➡あの2人がかつてハッスルしていたなんて…。これはスクープですよ。こんなの載せちゃっていいのか。あれ、これも目ガ覚メタロウ氏からの投稿だ。

▲待ちに待った猪木との対戦とあって前田はハッスル。左右のミドルキックで追い込む。

（静岡県・目ガ覚メタロウ）「あの力道山が、あのBI砲にハッスル伝授（『ジャイアント台風』より）」➡おお！　なんかこのお言葉は今でも充分通じるような内容ですね。小手先のわざに走らずハッスルせよ……か。力道山先生、ありがとうございます。このために単行本切りぬいてる目ガ覚メタロウ氏のちょっとアレな感じがいいです。後悔しないか？

おハガキ・お便り・メール大募集!!

夏バテに加え、深夜に妖怪王のことを探してバックナンバーを調べまくり、すっかりくたびれきっている私です。『紙プロHand』のコラムでも書きましたが、今は桜庭和志リベンジロード応援キャンペーンのため、髪がオレンジ色になっています。左が証拠写真です。……白黒なので分かりませんね。さて、『紙プロ元気大学』では皆様のお便りを常時募集しております。次号も発売日が早いので、20日ごろまでに送っていただけると嬉しいです。『紙プロ』を読んで感じたこと、ご意見、大会の感想、お便りの他、イラスト、その他すべての宛先は
メールは radical@kamipro.com
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702
（株）ダブルクロス　紙のプロレスRADICAL編集部　紙プロ元気大学「ピンクタイガーさん、はじめまして」係まで。
★☆★携帯サイト『紙プロHand』からの投稿も出来ます!★☆★

本名NGの方はペンネームを記入するのを忘れないよーに！　プレゼントコーナーあてのハガキも、
内容によっては無断でこっちに載ってしまいます。匿名希望の人はその旨明記のこと。旬のネタは掲載率が高いです。

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第37回

もっとボヤいてくれたまえ!

髙田総統

金原

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

静岡県磐田郡　目ガ覚メタロウ

★目ガ覚メタロウさん、採用おめでとうございま〜す!!　「BLUE-K」Tシャツ（M）。お楽しみに!!　遅くてスマンです。
★『ほんとにジョーク』Tシャツの発送がほんとに遅くてゴメンナサイ。すべて自分の怠惰です。夏までにはオマケを付けてお送りしますので、どうかお許しください。しばしお待ちあれ。
★毎日、暑くて溶けそうです。暑いの嫌い！　中川画伯の『ほんとにジョーク』にハガキを書こう!!　抽選で5名様に「手づくり缶バッヂ」、採用された方には「手づくりTシャツ」をプレゼント!!　希望Tシャツはプロレスラーじゃなくてもノー問題です。大変遅くなってしまいゴメンナサイ。皆さん、ハガキをビッシビシ送ってください。
★IT革命です。毎日更新。犬とプロレスとイラストレーション。『中吉』http://chu-kichi.jp/

➲前号のTシャツ アントニオ猪木

応募方法　プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ（S・M・L・XL）をハガキに書いて下さい。〈例〉辻結花のS

担当が代わって更にパワーアップ!!

スーパーコラム MEGATON☆☆

金ちゃんの MONTHLY BOYA-KING COLUMN

なんでそ~なるの!?

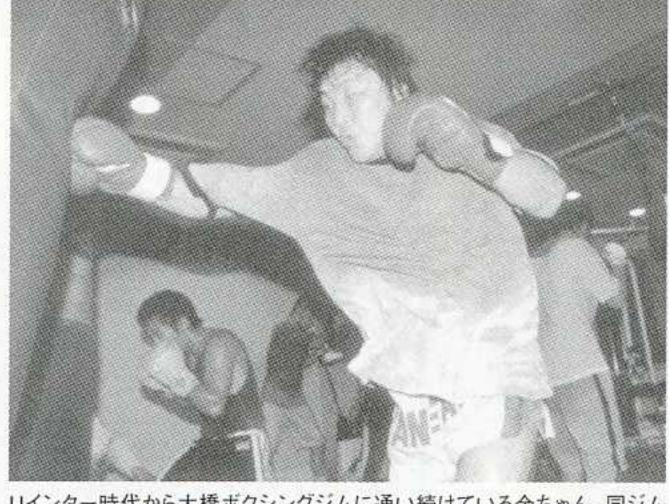
第11回

6月からタレント事務所に入りました 夢は『東京フレンドパーク』出演!

先月はこのコラムを休んで、代わりにミルコ戦についてインタビューでしゃべらせてもらったわけだけど、あのインタビューがメチャクチャ評判いいんだよ!

この前『PRIDE』の会場に行ったときも、会う人会う人に「『紙プロ』読みました」とか「金ちゃんの言うとおりですよ」とか言われてさ、なんかあれ読んで、もう一回ビデオ見返してくれた人とかも多かったみたいで、久々にインタビュー受けてよかったな、と思ったよね。

いまは珍しく試合がしたくてしょうがないんだよ。ミルコと復帰戦をやってカンを取り戻したというか、心身共に格闘家モードに戻ったところで、そんなときに同じ大橋ボクシングジムで練習してる川嶋選手が世界チャンピオンになったから凄く刺激になったよね。よし俺もやるぞって気持ちが燃えてきてるんだけど、そういうときに限ってオファーが来ないんだよね(苦笑)。7月の『PRIDE武士道』も結局なかったし。8月にはなんとか試合したいな~。

でも自分が通ってるジムから世界チャンピオンが生まれるって不思議な気分だよね。やっぱりボクシングって世界チャンピオンとそれ以外は天地ほど違う世界だからさ、一試合で人生の大逆転劇が起こるんだよ。だから俺も会長の大橋さん(大橋秀幸=元世界王者)を見るたびに「将来ああいう風になりたい」と思ってるんだけどね。ベルト取って、オーナーになって、お金と地位と名誉を手に入れて、引退後はいい感じに太ってるじゃん。この前、ジムに行ったときなんか、「金原君、昨日腹筋やってみたら3回しかできなかったよ」とか言ってたからね(笑)。それでも現役当時は、毎試合「これでやめよう」と思うくらい死ぬほど練習したんだって。だからその反動なんだろうけど、ああなりたいよね。

Uインター時代から大橋ボクシングジムに通い続けている金ちゃん。同ジム所属のWBC世界スーパーフライ級新王者・川嶋勝重にあやかって、さらなる活躍に期待だ。

俺もまたベルトに挑戦できるチャンスを掴むまで、コツコツといろんな仕事しながら頑張るよ。そのために、実は6月からアービングっていうタレント事務所に入ったんだよ。やっぱりリングス時代みたいに2ヶ月に一回必ず試合があるわけじゃないからね。試合がないときは、どんどん他の仕事もやらないと。金原を芸能で使いたい方はゼヒ、アービングまでご一報下さい(笑)。

このアービングって事務所には神取(忍)さんも所属してて、その関係もあって、この間は赤坂プリンスホテルであった神取さんの出馬パーティにも行ってきたよ。俺、天龍さんと顔面腫らしながら闘ってるの見て以来、神取さんのファンだからさ、あの人はガッツあるし、当選してほしいよね。とりあえず神取さんとのコンビで『東京フレンドパーク』に出演するっていうのが、いまの俺の夢だね(笑)。

やっぱり地上波テレビの影響力って、この前のミルコ戦で改めて感じたから。ミルコ戦は深夜だったのに見てる人多いんだよね。「試合見ました」って声かけられる機会が凄く多いし、昨日なんかも歩いてて、中学生に声掛けられたからね。だからこれが『PRIDE・GP』本戦みたいにいい時間で流れたら、どれぐらい影響あるんだろうと思ってね。だから8月15日の大会にはゼヒ出たいね。そうすればキャバクラ行って「あ、知ってる~」って言われる日も近いかな(笑)。

最近は俺にもいい風吹いてきた感じがするからね。ホームページも最近アクセス凄いんだよ。日記だけで1日に3000以上あるからね。バナー広告も募集してますんで、興味がある方はUKRでご一報ください!

なんか今回は宣伝ばっかりになっちゃったな(笑)。まぁ、これからも各方面で頑張りますんで、金原弘光をよろしくお願いします!

Kanehara Hiromitsu

本音炸裂コラム毎日更新中!
バナー広告も大大大募集中!!
金原弘光オフィシャルHP
http://www.hiromitsu-kanehara.com/

アイスマンって何者なんだろう？

www.HANAKUMA.com

俺オレ節の俺様エディ・ブラボーのDVDを借りて観た。柔術の青帯時代から、アブダビコンバットでホイラー・グレイシーから三角絞めでキッチリとタップ奪うまでの道のりを記録したエディ・ブラボー細腕繁盛記。収録試合中もエディの俺オレ解説がずーと流れるので、本来ならアクが強すぎてひいてしまうとこだが、そうはならず画面に引き込まれてしまった。それはなぜかと言うと、収録された十数試合中ほとんどの試合を、エディのオリジナルムーブ"ツイスター"で極めてるからだ。その一連の流れのムーブは実に見事で面白く、観てるこちらを魅了する。

まずスタンドで、めんどうだと感じればすぐに引き込み、ハーフでもぐるエディ。そこから、内側への二重絡みで片足のばし、もうひとつの足を抱えてスイープ。まず、このスイープをほとんど成功してしまうとこが凄い。そして上になったら、うしろ袈裟で待機。相手が向ってくるのに合わせ片足からめて回転し、股裂きへ。そこから相手の片手抱えて、また待機。そして必殺ツイスター炸裂！　相手は悶絶タップ。ほとんどの試合がこの黄金パターンのくりかえし。DVD一枚見たあとには観てるこっちも、もうすっかりマスターしています。

見た目まったくかっこよくない男が、青帯時代からコツコツと己があみだしたオリジナルムーブでのしあがり、ついにはアブダビでホイラーからタップ奪うまでいってしまったこの細腕繁盛記。観た後、感動も込み上げてくるはずだが、そこを画面から湧き出るエディの俺オレ節が、感動に少しブレーキをかけるのでした。

そんで次『PRIDE』の話。本来、大会は波乱が醍醐味であったり

原タコヤキ君の 大阪プロレスファン通信

ナニワの中のナニワな人たちがお送りするダイナマイトな関西コラム

まいど！　いきなりですが発表します！　来る7月18日（日）深夜12時15分から、なんと関西テレビで闘龍門の特番が放送されることが決定となりました!!　7月4日の神戸ワールド大会の模様の他、吉岡美穂ちゃんら豪華ゲストを招いてのトークなど、趣向を凝らした内容となる予定です。まさにこのコーナーのテーマである「関西のプロレスよ燃え上がれ！」（だっけ？）にピッタリの番組が制作されたというわけです。てなことで、早速関西テレビのディレクターさんに、先月から闘龍門ファンとなった僕（生観戦なし）がインタビューしてきましたよ！

★

――居川さん、いよいよ明日が神戸ワールド大会本番ですね。僕は以前から居川さんとは面識があるんですけど、プロレス好きだったなんて知りませんでしたよ。

居川　僕は30歳なんですけど、やっぱり世代的に初代タイガーマスクから入ったんですよ。ダイナマイト・キッドとの試合とか、かなり熱狂しましたね。

――まあ僕ら世代はタイガーマスクが入口ですよね。じゃあ、その後もずっと新日ファンですか？

居川　基本的には全日より新日ですね。あ、でも昔、『世界のプロレス』ってあったじゃないですか？　あれは毎週楽しみにして観ていましたね。ただ、他の地域ではわかりませんけど、こっちでは『ひょうきん族』とかぶっていたので、ザッピングしながら観ていましたよ。

――ロード・ウォリアーズとか最初に紹介したのもあの番組ですもんね。じゃあ、エンターテインメント系に対する抵抗なしに、闘龍門もすぐにピンと来たって感じですか？

居川　そうですね。3年前くらい前にケーブルテレビで闘龍門を観て、すぐに関西テレビで番組をやりたいなと思いましたね。周りの人間にも「やりたいやりたい」言うて回っていて。で、今年になってマグナムTOKYOが関西テレビに企画を持ち込んできたんですよ。

――誰か知り合いでもいたんですかね？

居川　いや、どうも飛び込みみたいですよ。

――飛び込み！　そのバイタリティーは素直に感動するなあ。

居川　それでうちの編成部にたまたまプロレスが好きな人間がいて、それでマグナムさんの企画を聞いて、「よし、やろう」ということになったんです。で、僕もプロレスが好きだからその企画に呼ばれたんです。

――じゃあ居川さん的には願ってもないチャンスだったんですね。

居川　まさにそうですよ。さっきの飛び込みの話もそうですけど、マグナムさんに接していて思うのは、原さんが言うようにまさにバイタリティーの一言ですよ。まだ32歳なのに団体の統括でしょ？　それで団体のために動き回っているんですよね、常に。なかなか電話が繋がらなくて困ることも多いんですけど（笑）。

――やっぱり闘龍門って、単純に若い選手がのびのびやってるイメージがあって気持ちいいですよね。ズバリ言って、闘龍門の試合の魅力ってどんなところだと思いますか？

居川　まず、観客との距離が近いですね。物理的にリングと観客席が近いってのもあるんですけど、観客を置いてけぼりにしていない。それでいて内輪受けになってないから、初めての人でも十分に楽しめるじゃないですか。これは地上波のソフトとしては非常に魅力的ですよね。

――そうですね。では居川さん、最後に番組のPRをお願いします！

居川　闘龍門の試合の質の高さは信

この時

ガクトー

シーーン

アローナのように、僕らも受け身とれなかった。

するけど、今回は波乱があっては困るという不思議な大会だった『PRIDE・GP』2回戦。残って欲しい人が残って、まずは一安心。よかったよかった。これで、大ノゲ・ヒョー・ハリと、次だれとやっても小川の試合が楽しみ。やっとやっと、強い人とやる小川が見れる。どうなっちゃうんだろう？　まったくわかんない。

今大会、あらためてびっくらこくのが、ハリトーノフの年齢23歳ってのだ。あの顔・雰囲気で23歳ってのは、どういうことなのだ。逆パターンで、コピィロフがまだ39歳ってのがあるが、ロシアの神秘は奥深い。それにしてもコピ39歳って俺と2つしか離れてないんだよなあ。俺が中1のとき、職員室でなく中3のクラスのどこかにコピィロフがいるんだもん。もうファンタジーの世界。コピ、ハリ、そして強すぎるヒョードル……。むかし、『格通』のロシアサンボツアーの記事を憧れて読んでた私にとって、いまもロシアはファンタジーの国。だから、『東京ゾンビ』で私はフジオをロシアに向わせたのである。

Hanakuma Yuusaku

「下妻物語」での土屋アンナいいね。

頼しているので、明日はきっといい試合が目白押しになると思っていますす。番組ではそれ以外に、吉岡美穂さん、杉浦太陽さんらに闘龍門についてのトークを繰り広げていただきます。それを観たらプロレスってことで毛嫌いしている女性でも、きっと闘龍門が好きになると思うんですよ。もうとにかく観てください！

――楽しみですよねえ。

居川　今回の企画で、意外とプロレスが好きな人って、社内外にもたくさんいるんだなってわかったんですよ。いろんな人が協力してくれたり興味を持ってくれているので、できれば高視聴率をマークしてレギュラー化に繋げたいと思っています！　みなさん応援してください!!

――期待してます！　頑張ってください!!

7・4神戸ワールド大会で復帰すると思われていたマグナムTOKYOが、突如6・27博多大会のリングに登場！　約7ヶ月ぶりの試合だったが、高木省吾を秒殺した。7・4神戸大会の速報はP151～。

10th. GUEST

■居川大輔

関西テレビスポーツ局所属。余談ですが今回の番組で、僕は実況の大橋アナにプロレス技をコーチしていたのですが、さすがに闘龍門の技は呼び方のバリエーションが多すぎて大変でした。でも大橋さんの熱心さにはタコヤキ脱帽です。

タコヤキ日記

6.11 sat　アレクサンダーさん来訪。二人とも眠い目こすって、夜中までくっちゃべってしまいました。「また二ヶ月後くらいに遊びにきま～す」と言って帰っていきましたよ。

6.17 thu　東京出張。ローデスに足を運び、グレートアントニオを訪れる。前から井上きびだんご君（Tシャツアーティスト）に「会社で着られるようなポロシャツ作ってよ」とお願いしていたところ、本当に商品化されちゃいました！　僕も2枚購入しましたよ（社割で）。これはマジでかわいい！　実際、僕も「それ、どこで買ったん？」と聞かれることしきりです。売れ行きも順調のようで、興味のある方は一度グレートアントニオ（03-3219-9550）までお電話してみてください。絶対オススメでっせ～。

7.1 fri　アレクサンダーさん来訪。はやっ！

原タコヤキ君▼　ちっちゃい頃の『紙プロ』編集者。前田日明デコピン事件やダミー編集長就任が有名（？）。現在は地元大阪でテレビの制作会社に勤務。最近悲しかったことは、井上きびだんご君（Tシャツアーティスト）の愛弟子、ムネタダがローデスを辞めちゃったこと。

第3回

“偽造王”一宮章一の偽造だもの

武藤敬司からYAWARAちゃんまで偽造の限りを尽くす一宮章一。自他共に認める“偽造王”一宮の偽造コレクションを御開帳！　今月は誰もがビビってたじろぐ、あのデンジャラス・クィーンだ!!

本格的なカツラと陣羽織、そして般若のお面。木刀があれば完璧だ。都内中を探しに探し回って、浅草のお土産屋さんでやっと発見したとのこと。

7・1DDT後楽園大会で健介&ア偽ラ組が実現。突如本物の北斗晶が登場すると、客席から〝分からない〟コールが。メンチ切られてビビったア偽ラは思わず一礼。

Wノーザンライトボムで橋本&諸橋に勝利したごきげんの夫婦コンビ。調子に乗ったア偽ラは「健心と組んで、アタシたちと闘いなさいよ！」と北斗に対戦を要求!!

メイクに要する時間は北斗も顔負け（?）の30分以上！　ポイントはやっぱり目尻。「メイクをするとデンジャラス・クィーンの魂が乗り移るんですよ（ニヤリ）」

一見、高価そうに見える派手な衣装だが、実は長袖のTシャツを切り折り返して縫っただけ。ボンドでスパンコールをくっつければ完成だ。制作はなんとJWPの渡辺えりか！

こんにちは、北斗ア偽ラです。この偽造は『昭偽』子みたいな思いつきとは違って、練って練っての作品ですから、お陰さまでお客さんにも選手間でも大好評ですよ！

女子プロレスラーの偽造をしたくて、今年になってから『全女オールスター30周年』のビデオ上下巻を観たんです。さすがに当時の豊田真奈美さんとか井上京子さんみたいな、もの凄い技の攻防はできないですけど、男子が女子プロのムーブをしたらどうなるかなって思って始めたのが今回の偽造です。

北斗晶さんがカシンさんと揉めてて、全日のリングに上がりそうな雰囲気のとき、DDTの北海道大会に健介さんの参戦が決まったんですよ。健介さんと絡まないと北斗さんの偽造はホントの意味で光らないと思うし、実際に健介さんと対決する機会がなければ北斗ア偽ラは生まれなかったですね。健介さんには「ここまでやるの!?」って褒められましたけど、「このことは（北斗に）報告するからな」って言われたときは、正直ビビってたじろぎましたね（笑）。実際、北斗さんが7月1日の後楽園大会に現れたときも、相当怒ってらしたので、また今度お会いする機会があったら「正直、スマン！」と丁重に謝りたいと思います。

それに、実を言うとですね、この偽造っていうのは健介ファミリー入りするための手段の一つでもあるんです。この偽造をやることによって健介ファミリーとの距離は確実に縮まって……ると思いたいですね。逆に遠ざかってるんじゃないかっていう説もあると思いますが（笑）。でも健心は健介ファミリーにお世話になってからというもの、プロレス観も変わってレスラーとして凄く成長しましたからね。こう見えてボクはデビューしてまだ7年だし、気持ちは新人なんで、プロレス界の大先輩の健介さんと北斗さんから学んで一回りも二回りも大きくなりたいなと。健介ファミリー入りに向けてのセールスポイントですか？　ア偽ラとはいえ誠之介クンにミルクをあげるのはちょっと無理かと思うんですけど、まあ中嶋君の飯ぐらいは僕も作れますからね。毎日チャンコで良ければ（笑）。

そう言えば、健心の野郎が北斗さんと一緒に健之介君の父親参観に行ったみたいじゃないですか!?　あのヤロー、ふざけやがって！　アタシも健心なんかに負けてられないわよ！　今度はアタシが健さんと父母参観に行ってやるよ!!　……す、すみません。怒りのあまり北斗さんが乗り移ってしまいました（苦笑）。健心のヤローをギャフンと言わせるには、もう健介さんと〝プロレス・ベストカップル賞〟を狙うしかない！　……って残念ながら、そんな賞はないんですけどね（笑）。

スーパーコラムMEGATON

“歌うシュート活字王”狂気の連載!!

タダシ☆タナカの『シュート活字劇場』

マット界舞台裏の裏（ウラ）

第9回

サップ終焉で岐路に立つK-1

新日本プロレスの大阪大会出場を反故にして、IWGP王座も失ったサップだが、客寄せパンダの目玉であることは変わらない。日本テレビとの契約でサップのK-1ルールでの試合を義務付けられていた6・26ジャパンGP静岡大会は、ケガが回復しない武蔵に変わってレイ・セフォーがサップと対戦。野獣が予想通りベテランにKOされ、総合ルールに続いて連敗した。

テレビ中継で解説する谷川貞治イベント・プロデューサーの〝野獣〟のかばいようは尋常ではなかった。そもそも公平なコメントが期待されてないのがK-1番組であるが、カードを考えた本人に「感動した！」と言われても素直に受け取れない。また、試合後のマスコミの論調が異様に敗者に寛容で、「成長した」「意地は見せた」「再生はした」と書き立てていたのも違和感があった。なぜなら、誰が見ても本当に「覚醒した」のは手の骨折からの再起戦になる名勝負製造マシーンこと〝南海の黒豹〟であり、実況中継の音を消してビデオを検証すれば、主催者が強調するようなレベルの高い攻防ではなかったからだ。

まるで興奮剤を飲んでリングに上がったかのようなサップの暴走戦術に技術の向上は見られず、金的蹴りに悶絶した姿は、格闘家として坂を転げていっているまま。勝者のコメントは「反則負けを狙っているのかと思った」と冷静であった。ただし、試合前のビビり方は過去最高であることがあきらかだったので（前日会見の〝ボイコット〟は恐怖のあまり出られなかったためと言われる）、毎日追いかけた記者や関係者には、「よくぞ簡単に投げ出さずに最後まで仕事をやってくれた」との思いがあったようだ。

確かに、多くの格闘技ファンが気づいているとおり、昨年3月、ミルコ・クロコップに破壊された時点でサップはすでに終わっていた。だからこそサップ自身も達成感はあったようで、フィナーレのリングにも腫れた顔のまま出てきていたのだ。リング上から客席に向かって手を振るサップの姿は、あたかもファンに別れを告げているようであり、この日が「サップさよなら興行」であったことを感じ取った観客も少なくなかったはずだ。

翌日の記者会見では「総合格闘技、プロレス路線をいったん封印し、9・25のK-1グワールドGP開幕戦に照準を絞る」と発表された。しかし、年頭の発言では04年はもともとの出身である総合をメインにする予定と宣言されていた。あるいは「試合前はタレント活動をセーブ」したとして特訓風景をマスコミに公開しておきながら、泣き顔をさらして苦戦すると毎度の「練習不足だった。芸能活動は制限する」とコメントする繰り返し。スポーツ紙は掲載日に面白ければ役目を達成したことになるが、ネット検索などで過去の記事が残るようになると、いかに毎回矛盾しているかがわかってしまう。

6・26K-1静岡大会では、可哀想になるくらい怯えた表情でレイ・セフォーと闘っていたサップ。その姿はアリスの『チャンピオン』ばりに「帰れるんだ、これでただの男に、帰れるんだこれで帰れるんだ～」と自分に言い聞かせているかのようだった。ライラライラライラライラ～

視聴率は土曜夜7時からの2時間番組で13・2%。相変わらずお茶の間の人気は高く、月曜朝の職場の話題として成立している点では立派だが、すでにマニアはK-1離れを起している。会場が驚くほど埋まらなくなったのが何よりの証明だ。しかも、命綱であるテレビ番組の方も「大看板であるサップの年間試合契約数を静岡大会で消化しきってしまったようだ」と証言する内部者もおり、今後は予断を許さない。

これがもし事実だとするなら、魔裟斗のいる中量級部門を除いて、K-1は新人でも養成しない限りカードが煮詰まってしまう。総合の『ROMANEX』部門は日テレ主催の『イノキボンバイエ』が消滅したことで猪木事務所と提携。新IWGP王者・藤田和之を滑り込みでエースに仕立てることになるが、毎度噂にのぼるヴァンダレイ・シウバ、ヒョードル、ノゲイラら、『PRIDE』トップファイターの大量引き抜きでもない限り、ジリ貧になる可能性が高い。

PRIDEとの企業戦争は、6・20ヘビー級グランプリ準決勝が視聴率20・3%を記録したことでさらに加熱。実況席の小池栄子が、吉田vsハント戦で〝K-1グランプリ王者が完敗〟したことをわざとらしく強調していたことでもわかるように、K-1はフジテレビと供に育成してきたコンテンツだが、日テレ、TBSと放送局が分散したことで、肝心のフジがPRIDEをプッシュするようになっている。

慌てた谷川プロデューサーは、アーツやイグナショフの総合参戦禁足令をマスコミに書かせて、K-1ワールドGPへの資源再投入に必死だ。なにしろ昨年の覇者レミー・ボンヤスキーは、『一撃』でフランシスコ・フィリオに負けてしまっている。そもそも例年に比べて見劣りするベスト8のメンツだったことでも批判されていた。

K-1は追い詰められている。魔裟斗の〝引退〟が専門誌のカバーになるのは関心の高さの裏返しだが、一般誌が「サップ引退」を見出しにするのは危険信号でしかないのだ。

ザ・検証

紙プロ読者が選ぶ"高田モンスター軍に入って欲しい選手ベスト5"を発表！
第5位／佐山皇帝
第4位／グレート・ムタ
第3&2位／ブロック・レスナー、村上和成
堂々の第1位は前田日明！
元リングス勢で前田モンスター軍を結成して下さい!! …無理ですね。担当は斉野です。

【今月の検証　椎名基樹】パウンドについて適当に徒然に

止めんの早すぎるよ、小川vsジャイアント・シルバ。試合が止まったらすぐ、すくっとシルバが立ち上がったらドッチラケでしょう。「効いてなよ～！」ですよ。試合を止めた判断理由は、マウントになられてパンチを出されているのに、体勢を変えられないということだろーが、パンチ入っていたか？　なんにしても「効いてないよ～！」ですよ。（編集部注　シルバはタップしてます!!）

これで試合が終わるなら『PRIDE』の必勝法のひとつとして、マウントを取って、それを崩されないように保ってパンチを連打して、また崩されそうになったら保っての繰り返しというのが成立してしまいますよ。（レフェリーに対して「止めないのか～！　殺しちまうぞ～！　俺、この若さで人殺しになりたくねえよ～！　こいつが死んだら俺の責任じゃねえから！　死んだらこいつは、絶対おまえのところに化けてでるぞ！　こいつこの間、嫁さんもらったばっかりなんだよなあ、可哀想に。子供も3人いるんだぜ」などの言葉でアピールすると、なお効果的）。

なんか、あーゆー形で試合が終わると、変な風に思う人もいっぱいいて、数人に「あれプロレスでしょ？」とか、ヨタ話で訊かれたりしたので、あーゆー止め方はやめて欲しいです。そのたびに、俺が「だったらこれもフェイクなのかい？」とか言ってコップを齧ってみせたりするのは、もう疲れました。

しかし、マウント状態からいい形でパウンドが入っているときの、試合を止めるタイミングは難しく、五味選手の『PRIDE武士道』での初戦の判断も同じ思いがしました。スポーツだから選手の健康管理のためというのはわかりますが、やっぱやられた相手がすくっと立つのをみると、納得できない部分は残ります。UFCはドント・ムーブのルールではないため、金網に押しつけて殴るという戦術が発展していて、見ていて面白くない部分もあるのだが、パウンドで殴っている途中でレフェリーストップという決着が多いため、試合を止める判断基準が完成されていて、見ていて納得できる。パウンド→ストップの判断のレベルがUFC並になってくれると、『PRIDE』ももっとおもしろくなるなあと思います。

K-1のMMAで一番驚いたのは、ドント・ムーブのルールが採用されていなかったことだ。ロープ際でもつれると、もつれたまま続行。ジョシュとやったレネ・ローゼなんて、ロープで動けないまま、パンチを数発軽くヒットされて、止められてお終い。後でアーツが抗議したそうだが、確かにチト可哀想だった。

あのルールだったら、俺だったら、グラウンドで上になれたらガードされた体勢で相手を持ち上げて、ロープまで運んで、一番下のロープに相手の頭を乗せて殴るな。美濃輪vsハイアンで、美濃輪がやった戦術の要領で。しかし、この戦術も前からあるが、ルールの盲点をついたような戦術で、ドント・ムーブがかかると真ん中に戻され、戻されたからすぐまた元の体勢にもっていくという、変な現象がおこってしまう。まあ、全ての局面にルールができるワケはないんですが。

で、『PRIDE・GP』ですが、小川vsノゲイラ、ヒョードルvsハリトーノフになったら最高。いまから興奮。きっとエリック・クラプトンも自家用ジェットでやってくるだろう。しかも、その日は8月15日の終戦記念日。クラプトンを見つけたら、「リメンバーパールハーバー！」と叫ぼう!!（クラプトンはイギリス人ですが）。

あと、駅のキオスクでふと目に止まった『週プロ』の「サスケ無惨」の表紙。なんでも、ケンスキー家の養子レスラー中嶋くん（なんかサザエさんみたい）に負けたという内容だったたみたいね。久々、プロレス雑誌の表紙に目が釘付けになりました。インパクト　アリ　ココロウバワレタ。買わなかったけど。ということで親愛なる読者のみなさま、来月までしばしのお別れ。シャラバイ！&バイバイキ～ン!!

6・20『PRIDE GP 2nd STAGE』。小川直也vsジャイアント・シルバ。マウントを取った小川は再三シルバの腕を狙うものの、あまりのジャイアントぶりに攻めきれず。腕に執着するあまりポジションを返されてしまう場面も。作戦を変更した小川がマウントパンチを容赦なく振り落とすと、シルバはたまらずタップ。大巨人のの心を完全にヘシ折った!!

【今月の検証　せき詩郎】
『PRIDE・GP』ベスト4を検証！4人の中で、一番強ぇやつは一体誰だ!?

シルバに勝った小川の写真が載っていることは確認できた。

そうだ、『PRIDE GP 2nd ROUND』は終ったのだ。決勝に勝ち上がった4人は決まったのだ。私は改めて考える。あの猛者4人の中で最後に残るのはいったい誰なのだろう、と。

その答えを私はOCNのサイトにあった『ドラゴンボール占い』に求めた。結果、ヒョードルとハリトーノフが同じヤジロベータイプになったことに驚くも納得しつつ、4人の中で一番強いのは小川直也だと知った。

ちなみにミルコはランチタイプだ。普段は優しくかわいいピチピチギャルだが、くしゃみひとつで極悪人に変身する二重人格者、それがミルコなのだ……。

【参照】
http://www.ocn.ne.jp/special/tokushu/040521/index.html

近所で事件が起こった。

誰かが数百万入った封筒を拾ったというのだ。

このニュースは、私が30年弱生きてきた中で一番の行動力を与えた。朝昼晩、時間を問わず、封筒が落ちていたといわれている場所を、意味もなく歩くようになったのだ。時間だけではない、天候も問わなかった。

中でも一番多く歩いたのは朝だった。5時になり、タバコの自動販売機が使えるようになった頃になると、タバコを買いに行くついでに歩き回った。一見健康的な朝の散歩に見えるが、もちろん早起きではなく寝てないだけで、しかも腹の中は真っ黒だった。

夏が近づき、夜が明けるのが日に日に早くなっていく。今日もまた暑くなることを予感させる朝日を浴びながら、私は落ちている現金を探した。

それらしきものが落ちていると私は軽く蹴り、さりげなく感触を確かめた。明らかに札束ではないだろうというものばかりだった。そのたび私は信じられないほどガックリと肩を落とし、歩き出した。

しかし、「いや、もしかしたら」という気持ちが私を引き返させる。足で蹴っただけで判断するのは危険かもしれない。あのとき拾い上げ、きちんと中身を調べていたら……!? と後悔したときにはもう遅いのだ。私は戻り、蹴ったものを拾い上げ中身を確認する。

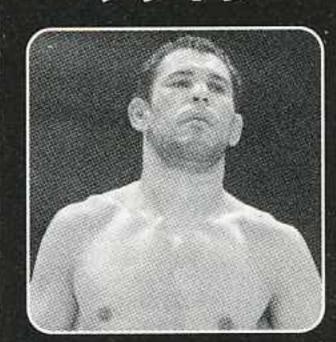
中身はたいがいどうでも良いものだった。ただのゴミだった。ゴミを拾い上げた私の横を、部活の朝練に向かうらしき高校生がさわやかに自転車で通り過ぎて行く。その若者の後姿を目で追おうとするものの、朝日が眩しすぎて見ることができなかった。いや、本当に朝日のせいだったのだろうか？ あの若さが、希望に満ち溢れた姿が、そして朝からゴミを拾い上げ落ち込まなくて良い生活が眩しかったのかもしれない。

ふと足元を見ると『週刊ゴング』が落ちていた。昨夜の雨に濡れていて、とても読めるような状態ではなかったが、ジャイアント・

ヤジロベー タイプ
ヒョードル

付き合いが悪く無愛想に見られがち。だが意外と面倒見がよく、我が身をかえりみずに人のためにつくし、周りから頼りになる存在。ただし、何事も自分の思い通りにいかないと気が済まないワガママな性格も持ち合わせている。いったん意固地になるとテコでも動かなくなり周囲に迷惑をかけてしまうので、自分を抑えることも大切。

戦績 第22回天下一武道会予選敗退
備考 森で狩りをしながら平和に暮らしていた、食いしん坊の剣の達人

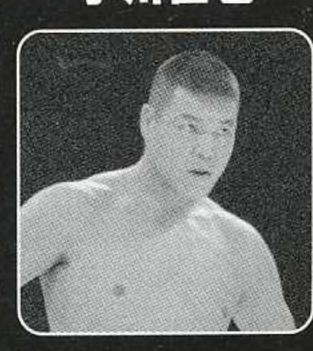
天津飯 タイプ
ノゲイラ

チャラチャラしたことが大嫌いな勤勉タイプ。脇目をふらずに我が道を行くことで、大きな仕事を成し遂げる。しかし、自信過剰の度が過ぎると、ガツンとその鼻っ柱をたたき折られることもあるので注意が必要。修行の旅を続けながらも、世界の危機には必ず駆けつける放浪の武道家である。

戦績 第22回天下一武道会優勝
第23回天下一武道会第2回戦進出
備考 地球人第2位

ヤジロベー タイプ
ハリトーノフ

重要な局面で闘いに参加してくれない、臆病者の面倒くさがり屋。そのうえ口も悪いが、PRIDE初登場時は悟空と互角に戦えるほどの強さを持っていた。強気な発言と弱気な行動のギャップが笑いを生むこともしばしばだが、いざというときには思わぬ活躍で仲間を助ける義侠心と度胸のよさを持っている。

戦績 第22回天下一武道会予選敗退
備考 「オレはおめえたちのようなバカとちがって死にたくねえんだよ」

クリリン タイプ
小川直也

お調子者で、いつもたくさんの仲間に囲まれている。しかし、一見ヘラヘラしているようでいて、その内側には秘めた野望を抱いている。たまには意外な一面を見せて、周囲をアッ！ と言わせてみよう。いざというときに頼れるヤツ、という評価につながるかも。

戦績 第21回天下一武道会第2回戦進出
第22回天下一武道会第2回戦進出
第23回天下一武道会第1回戦進出
第25回天下一武道会途中棄権
備考 地球人ナンバーワンの戦士

RADICAL CALENDAR

07 July

10 SAT.

新日本■滋賀・滋賀県立体育館(18:00)
ZERO-ONE■新潟・新潟市体育館(18:30)
NOAH■東京・東京ドーム(18:00)
闘龍門■沖縄・北谷公園屋内体育館(18:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)
PWC■福岡・博多スターレーン(18:00)
EWF■千葉・FFエンターテインメントアリーナ(19:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
Style-E■東京・西調布格闘技アリーナ(18:30)
全女■新潟・新潟フェイズ(18:30)
IKUSA■東京・お台場SDM(16:30)

11 SUN.

新日本■岐阜・岐阜産業会館(16:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
K-DOJO■千葉・BlueField(15:00)
ジャガー横田興行■東京・新木場1st RING(13:00&18:00)
GAEA■東京・後楽園ホール(12:00)
新日本キック■東京・後楽園ホール(17:00)
DEMOLITION■東京・東京FMホール(18:00)

12 MON.

全日本■大阪・大阪府立体育会館 第二競技場(18:30)

14 WED.

新日本■山形・山形市総合スポーツセンター・サブアリーナ(18:30)
全日本■香川・善通寺市民体育館(18:30)
DDT■東京・新木場1st RING(19:00)

15 THU.

新日本■秋田・秋田県立体育館(18:30)

16 FRI.

WWE■東京・日本武道館(18:00)
新日本■秋田・大館市民体育館(18:30)
闘龍門■福岡・小倉北体育館(18:30)
修斗■東京・後楽園ホール(18:30)

17SAT.

WWE■東京・日本武道館(18:00)
みちプロ■宮城・仙台市ニューワールドテニスクラブ(18:30)
闘龍門■宮崎・延岡市民体育館(18:30)
IWA■神奈川・茅ヶ崎青果地方卸売市場(17:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
K-DOJO■静岡・清水マリンビル(18:30)
全女■岐阜・飛騨高山ビッグアリーナ サブアリーナ(18:30)
NEO■東京・北沢タウンホール(18:30)
K-1■ソウル・ジャンシル体育館(15:00)

18 SUN.

新日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
全日本■東京・両国国技館(17:00)
みちプロ■岩手・矢巾町民総合体育館(15:00)
闘龍門■長崎・長崎ncc&スタジオ(18:00)
大日本■東京・後楽園ホール(18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
FUCK!■大阪・羽曳野J2K道場(14:00)
K-DOJO■愛知・名古屋西区ワンダーシティー(18:30)
GAEA■大阪・大阪ドーム スカイホール(15:00)
全女■東京・後楽園ホール(12:00)

19 MON.

新日本■北海道・月寒グリーンドーム(15:00)
みちプロ■秋田・秋田市内予定
闘龍門■長崎・佐世保市民体育館(16:00)
IWA■山梨・富士山アリーナ(18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
K-DOJO■東京・北沢タウンホール(17:00)
東海プロ■愛知・名古屋市総合体育館 第3競技場(13:15)
JWP■東京・JWP道場(12:00)
AtoZ■神奈川・横浜文化体育館(15:00)
GAEA■愛知・昭和スポーツセンター(13:30)
JDスター■東京・後楽園ホール(12:00)
PRIDE武士道-其の四-■愛知・名古屋レインボーホール(15:00)
シュートボクシング■宮城・宮城県スポーツセンター(13:00)

20 TUE.

新日本■北海道・旭川地場産業振興センター(18:30)

みちプロ■福島・塩川町民体育館(19:00)
IWA■群馬・渋川市総合公園体育館(18:30)

21 WED.

新日本■北海道・釧路市厚生年金体育館(18:30)
みちプロ■秋田・戸沢村中央公民館体育館(19:00)
闘龍門■大分・大分イベントホール(18:30)
IWA■東京・後楽園ホール(18:30)

22 THU.

全日本■東京・後楽園ホール(18:30)
闘龍門■熊本・熊本興南会館(18:30)
AtoZ■北海道・八雲町総合体育館(18:30)

23 FRI.

新日本■青森・青森市民体育館(18:30)
みちプロ■秋田・仁賀保町民体育館(19:00)
闘龍門■福岡・久留米リサーチパーク(18:30)
AtoZ■北海道・北檜山町民体育館(18:30)

24 SAT.

新日本■岩手・一ノ関文化センター体育館(18:30)
みちプロ■宮城・中田町勤労者体育センター(19:00)
NOAH■東京・ディファ有明(18:00)
闘龍門■佐賀・諸富町文化体育館(18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)
JDスター■宮城・石巻市総合体育館(18:30)
AtoZ■北海道・札幌テイセンホール(18:30)
全日本キック■東京・後楽園ホール(18:30)

25 SUN.

ハッスル4■神奈川・横浜アリーナ(15:00)
NOAH■新潟・長岡市厚生会館(17:00)
みちプロ■岩手・釜石市民体育館(15:00)
闘龍門■鹿児島・鹿児島アリーナ(16:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
K-DOJO■新潟・新潟フェイズ(17:00)
FWF■千葉・八日市場市野外特設リング(18:30)
ターザン後藤一派■埼玉・春日部インディーズアリーナ(14:00)
Style-E■東京・西調布格闘技アリーナ(14:00)
全女■茨城・取手市ふれあい道路セントラルグループ(19:00)
JWP■東京・東京キネマ倶楽部(13:00)
NEO■東京・東京キネマ倶楽部(17:00)
AtoZ■北海道・共和町民センター(18:00)
パンクラス■東京・後楽園ホール(13:30&18:00)

26 MON.

新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
NOAH■富山・高岡テクノドーム(18:30)
全女■群馬・伊勢崎第2市民体育館(18:30)
AtoZ■北海道・旭川大成市民センター(18:30)

27 TUE.

ZERO-ONE■福島・いわき市総合体育館(18:30)
みちプロ■岩手・二戸ショッピングセンター　ニコア(18:00)
AtoZ■北海道・江差町生涯学習センター(18:30)

28 WED.

NOAH■静岡・駿河健康ランド屋外特設リング(18:30)
みちプロ■岩手・湯田町勤労者体育センター(19:00)
AtoZ■北海道・函館市民体育館(18:30)

29 THU.

ZERO-ONE■東京・後楽園ホール(18:30)
PWC■東京・北沢タウンホール(18:45)
AtoZ■北海道・帯広市総合体育館(18:30)

30 FRI.

ZERO-ONE■大阪・大阪府立体育会館第2競技場(18:30)
NOAH■石川・サンアリーナ川北(18:30)
みちプロ■岩手・水沢市体育館(18:30)
闘龍門■岡山・岡山卸センターオレンジホール(18:30)
大阪プロ■東京・後楽園ホール(18:30)
AtoZ■北海道・釧路鳥取ドーム(18:30)

31 SAT.

ZERO-ONE■東京・ディファ有明(18:00)
NOAH■大阪・高石市臨海スポーツセンター第2体育館(18:00)
みちプロ■青森・青森産業館(18:30)
闘龍門■愛知・岡崎市竜美ヶ丘会館(18:30)
DDT■東京・後楽園ホール(18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
AtoZ■北海道・北見市民トレーニングセンター(18:30)

08 August

01 SUN.

ZERO-ONE■東京・後楽園ホール(18:30)
NOAH■愛知・愛知体育館(16:00)
みちプロ■宮城・古川市総合体育館(14:00)
闘龍門■東京・ディファ有明(16:00)
大日本■大阪・鶴見緑地花博記念公園水の館付属展示場(18:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
華☆激■愛知・ワンダーシティHDFイベントホール(15:00)
Style-E■東京・西調布格闘技アリーナ(14:00)
JWP■東京・JWP道場(17:00)
AtoZ■北海道・上磯町総合体育館(18:00)

02 MON.

AtoZ■北海道・伊達市体育館(18:30)

03 TUE.

LLPW■福島・白河市中央体育館(19:00)

05 THU.

AtoZ■東京・新宿アイランド広場
SMACKGIRL■東京・後楽園ホール(18:30)

06 FRI.

闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)
NEO■東京・北沢タウンホール(19:00)
AtoZ■埼玉・所沢市民体育館(18:30)

07 SAT.

新日本■神奈川・相模原市立総合体育館(18:30)
みちプロ■福島・いわき市平体育館(18:30)
闘龍門■愛知・刈谷あいおいホール(18:30)
U-STYLE■大阪・梅田ステラホール(17:00)
大日本■福島・船引町営体育館(18:30)
WMF■東京・北沢タウンホール(18:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
全女■東京・バトルスフィア東京(18:30)

08 SUN.

新日本■大阪・大阪府立体育会館(16:00)
バトラーツ■埼玉・桂スタジオ(17:00)
大日本■宮城・塩釜水産物卸市場(15:00)
大阪プロ■大阪・IMPホール(13:00)
OZアカデミー■神奈川・横浜文化体育館(13:00)

09 MON.

新日本■兵庫・神戸ワールド記念ホール(18:30)

10 TUE.

新日本■愛知・愛知県体育館(18:30)
みちプロ■岩手・花泉町民体育館(18:30)

11 WED.

新日本■石川・石川県産業展示館4号館(18:30)
みちプロ■青森・むつ市民体育館(18:30)

12 THU.

みちプロ■青森・黒石市中央スポーツ館(18:30)
大阪プロ■大阪・フェスティバルゲート2F(14:00)

13 FRI.

新日本■東京・両国国技館(18:00)
みちプロ■山形・鶴岡市体育館(18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
AtoZ■東京・亀戸サンストリート マーケット広場(19:00)

14 SAT.

新日本■東京・両国国技館(18:00)
NOAH■宮城・築館町総合運動公園体育館(17:00)
みちプロ■新潟・新潟フェイズ(19:00)
闘龍門■京都・京都KBSホール(18:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
NEO■東京・後楽園ホール(12:00)

“怖いもの知らず”な男も見参!!
7·25『ハッスル4』へ劇的に動く!

“俺だけの王道”がまさかのハッスル、ハッスル!!

後楽園ホール
6·28『ハッスル・ハウス』大爆発!

ハッスル度300%!!

構成／ジャン斉藤
撮影／平工幸雄
designed by matsu（Two Three）

ビビッてたじろぐ人気振り！
もうフィギュアをつくるしかない！

髙田総統大炎上!!

小川君、『PRIDE』での闘い振りは、『めざましテレビ』で拝見したよ！

7・25「ハッスル4」まで
300%ハッスル!!

超満員札止めの後楽園ホール、歓声鳴りやまず！ ハッスル、ハッスル!!

大成功となった『ハッスル』初のハウスショー『ハッスル・ハウス』。そこには、安生司令長官、中村カントク、怪しいモンスター戦士たちなど、ファンにとっては初御披露目のハッスルキャラが続々と登場したが、「お前、誰だ？」「GMの笹原です！」のやりとりでおなじみの、**あの笹原GMに「笹原！」コールが発生！**『ハッスル』がつくりだしたムードに、いかに観客がハッスルしていたことがわかるだろう。

その空前絶後なハッスル熱にトドメを刺したのは、試合をせずとも今年の『東スポ』プロレス大賞MVP候補の大本命、髙田総統だった！ 大会途中の煽り映像から大ハッスルしていた総統。『ハッスル3』でのモンスター軍敗北の罰として、なんと**必殺（?）のスタンディング・アキレス腱固めでヤドカリの脚をブッ壊した！** こうして総統登場への観客の期待は刻々と膨らんでいったのだ。

そしてメインイベント終了後、怪しいスモークとともに、ついにその高貴な姿をバルコニーに現したのであった。ビターンッッッ!!!!!

★

髙田総統（以下総統） プロレスファンの諸君！ 我こそが『髙田モンスター軍』総統、髙田だ！

【地鳴りのような歓声が沸き起こる】

総統 すべての人々が尊敬、崇拝してする私の姿を、一目見ようと足を運んでくれたことに対して感謝だけはしておこうか。今日はいつもよりブーイングが多いから非常に気持ちがいいね。

【ここでやっとブーイングが起こる】

総統 さて！ 本題に入ろう。この小さな小さな古びた"プロレスの聖地"といわれる後楽園ホールで、いや……モンスターホール！

【観客爆笑】

総統 面白いだろ？（ニヤリ）。我がモンスター軍の素晴らしいパフォーマンスをじっくり堪能してもらえたかな。諸君らが見たとおり、ハッスル軍なんてものは、しょせんあの程度のものなんだよ……。

【突如として小川直也のテーマ曲が流れ始め、暴走王が姿を現した！ イントロ部

分でそれとわかった観客は一斉に「お・が・わ」コール!! このニューテーマ曲は、『ＰＲＩＤＥ』＆『ハッスル』を含めてまだ3回しか流れていないのに、察知するのが早すぎだよ！】

小川（以下チキン） おい髙田！ いつも偉そうに上からものを見てるんじゃねえ！ いつまでも見下してるんじゃねえぞ、この野郎！

総統 **ずいぶんと人気があるじゃないか、キミは（小馬鹿にした口調で）**。おい、よく聞け。相も変わらずよく吠えてくれるな。**背ぇ高ノッポのギョロ目が!!**

【チキンの容姿を的確に言い当てる！ おなじみのフレーズに観客爆笑！】

総統 そのチキンぶりもずいぶんと板についてきたな。感心するよ。これからも、チキンはチキンらしく、チキンとして精一杯生きていくがいい！

チキン うるせえ!!

総統 **黙って聞け、黙って聞けぇっ!!**

【あまりにも傲慢な総統だが、罵声が飛ぶどころか逆に声援が飛ぶ！】

総統 いいか、よく聞け。ひとつ言い忘れていたことがある。この前の『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』、ハッスル査定試合、勝利おめでとう！

チキン テメエに"おめでとう"なんて言われる筋合いねえんだよ！

総統 （無視して）**キミの闘い振りは、『めざましテレビ』（フジテレビ／月～金、5時25分～8時に放送）で拝見したよ！**

チキン ナ、ナメてんじゃねえぞ、この野郎ッ!!

【総統はめざましテレビウオッチャーだった!? ハッスルな告白に小川はビビッてたじろぎ、観客は声援を送る！】

総統 君のハッスル査定試合の採点を聞きたいか？ いや、聞かなくていい！ 60点だ！ 赤点ギリギリだがな、次の『ハッスル4』には出してあげようじゃないか。嬉しいだろう？ ただし！ ただし、だ！ **君のプロレスはいつも赤点だから、もうすぐ落第だ！**

【観客爆笑】

チキン うるせえんだよ！ てめえに採点される筋合いはねえんだよ。てめえは自分の脳ミソを査定してろよ！

総統 **黙れ、チキン！（すかさず一喝）**。

【タイミング抜群な総統の切り返しに観客は爆笑！ チキンを手の平で転がす総統の話術はもう誰にも止められない】

総統 まだ私の話は終わっていない。ひとつ聞きたいんだが答えてくれ。いつもお前の横でチョロチョロしている破壊王と呼ばれてる男は、いつも破壊されてるよね？ **あのブタはどこにいった!?**

【観客は「橋本」コールを送るが、そのコールをかき消すかのように総統は続ける】

総統 まだいる、まだいる、まだいる！ **ロートルの黒パンツの長州**はどこにいる？ まだいる！ 川田クン？ **川田ク～ン？**（**頭の悪い子供にささやくように**）。**君はいまだに引きこもっているのかい？**

【観客爆笑】

総統 まあ、そんな奴らはどうでもいい（散々自分で振っておきながら）！ **ハッスル軍でひとりだけ頑張っているのは、このチキンだけだ**。それだけは認めよう。

ハッスル劇場

【総統の口からチキンを賞賛する言葉が送られた！ 館内はドヨメキに包まれる】

総統 ただ、ハッスル軍自体はまったくまとまりがない！ 小さな小さな集団に過ぎないんだよ！ さらに一言、私から下々の諸君にニュースがある。我がモンスター軍に、新たなモンスターが加わった！

【観客からは「高山!?」との声が飛ぶ】

総統 **新しいモンスターは"怖いもの知らず"の**……この男だ!!

新しいモンスターを紹介しよう!
"怖いもの知らず"のこの男だ!!

【テンガロンハットを被りサングラスをかけた高山善廣似の大男が悠然と姿を現した。観客からは「高山」コール！】

総統 どうだ諸君。ビビったか？ たじろいだかぁ～っ!? 諸君、次の『ハッスル4』を楽しみにしているよ……バッドラック!!

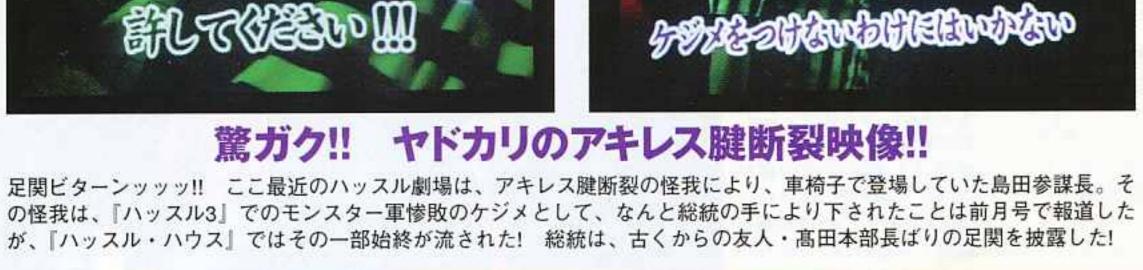
チキン おい、ちょっと待て！ **誰だ、そのデカいのは～!?**

『髙田モンスター軍』はスモークとともに姿を消した。チキンは気を取り直してマイクアピール】

チキン え～、今日はすいませんでした。

驚ガク!! ヤドカリのアキレス腱断裂映像!!

足関ビターンッッッ!! ここ最近のハッスル劇場は、アキレス腱断裂の怪我により、車椅子で登場していた島田参謀長。その怪我は、『ハッスル3』でのモンスター軍惨敗のケジメとして、なんと総統の手により下されたことは前月号で報道したが、『ハッスル・ハウス』ではその一部始終が流された！ 総統は、古くからの友人・髙田本部長ばりの足関を披露した！

チキン「橋本、アンタ全然ハッスルしてねえんだよ!!」
ポーク「お前の存在をかき消せるのはオレだけだ。言われなくても、ハッスルするぞぉ!」

（対抗戦に負け越したのは）ハッスル軍のメンバーを選抜したオレにも責任がある。すみませんでした。

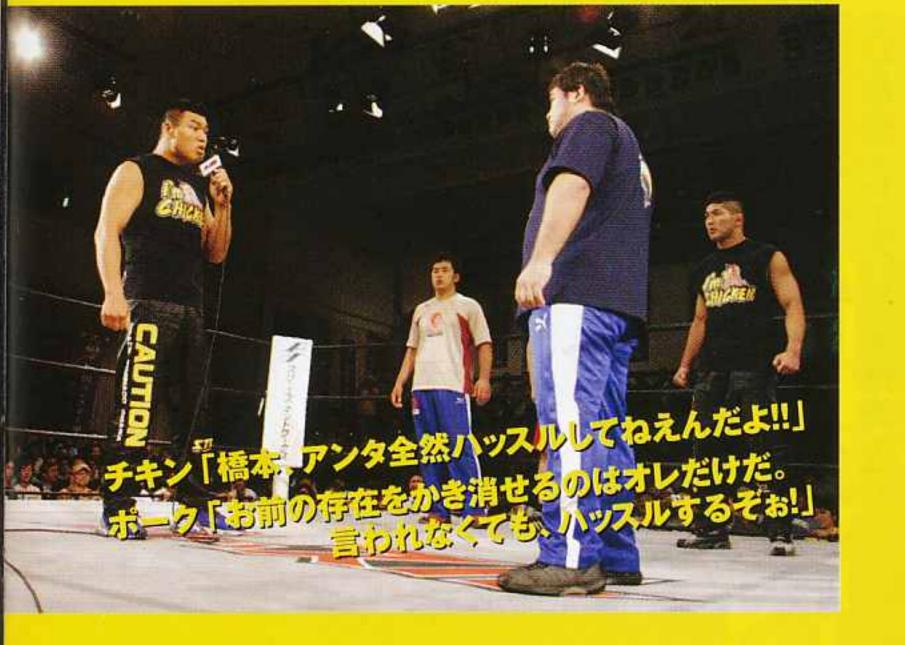
【拍手&歓声】

チキン（ハッスル軍のメンバーに向かって）お前ら、これでいいのかよ！　橋本～ぉ！　早く出て来い、この野郎！

【なんと！　ＯＨ結成以来「橋本さん」と呼び続けていた小川が、破壊王を〝この野郎〟付きで呼び捨てだ！　すると、破壊王が登場。小川とリング上で対峙した】

チキン　橋本！　オレもよ、ハッスルが足りないかもしれないけどさ、**アンタ、全然ハッスルしてねえんだよ!!**　オレは今日で暴走王はヤメだ！　ハッスル軍のキャプテンとして、**〝ハッスル・キャプテン〟を名乗るぞぉ！**

【突然の〝暴走王〟返上、そしてハッスルキャプテンの就任宣言！　さっそく観客からは「キャプテ～ン！」と声援が飛ぶ】

チキン（以下キャプテン）　アンタも〝破壊王〟はダメだよ。**〝ハッスル・キング〟を名乗れよ！**

橋本（以下キング）　……小川、**お前は先にハッスルしただけだよ。**お前に言われなくても、ハッスルするぞぉ！（卑猥に腰を振りながら）。**お前のすごい存在をかき消せるのは、オレだけだと思っているからな。それから髙田！　ちょっといい顔してるからって、この野郎！**

【観客爆笑】

キング『ハッスル４』では、破壊……じゃなくて、なんだっけ？

【ニワトリは起きたことを三歩あるくと忘れてしまうが、破壊王は一歩も歩かずにニューニックネームをど忘れ！】

キング（思い出して）ハッスル・キングだ！　キングということは王様だ。ハッスルさせてもらうぞ、この野郎!!（再び卑猥に腰を振りながら）。

キャプテン（キングを含むハッスル軍に向かって）おい、いま変わらねえとよ、**いまハッスルしないとよ、プロレス終わっちゃうぞ！**

【一瞬静寂が走る】

キャプテン　男には一生に一度、ハッスルしなきゃいけないときがあるんだよ。それと川田！　アンタ、どこだ!?

【観客の大「川田」コールが館内を包む中、通路に川田が姿を現し、リングに視線を向ける】

キャプテン　**アンタよ、いつもそんなところにいるから、髙田の野郎に引きこもりって言われるんだよ！**

【観客爆笑！　川田はムッとした表情で引き返そうとするが……】

キャプテン　おい、待て！　ここに来い、ここに!!

【大「川田！」コール発生】

キャプテン（場内を見渡しながら）この声が聞こえないのかよ！

【「川田！」コールが徐々に音量を増していく。その声援を受けて川田は意を決したのか、リングに歩を進める。そしてマイクを握った】

川田（以下王道）　小川、お前に呼ばれてきたんじゃないぞ。お客さんが大切だから来たんだ！

キャプテン　じゃあよ、お客さんのためにやってくれよ！

王道　何を？

キャプテン　**ハッスル（ポーズ）に決まってんだろ!!**　どうですか、お客さんーーーっ!?

【またまた大「川田！」コール発生】

王道　……本当に大切なのはお客さんなんだけどな、**ハッスルの仕方、俺、知らないんだよ。**

【観客爆笑！　**破壊王が川田に指導するが、破壊王流のハッスルポーズはあまりにも卑猥すぎるので川田は引いてしまったのか、リングを降りかける。**しかし、観客の「川田！」コールがその歩を踏み止まらせた】

キャプテン　今日は、川田に音頭を執ってもらってもいいですかーーっ？

【大歓声&拍手】

王道　**……仕方ねえからやってやるよ！**

【再び大歓声&拍手】

王道　皆さん、ご起立ください。石狩（太一）！　俺ひとりじゃ恥ずかしいから横にこい！（笑顔で）。

【観客爆笑】

王道　次のハッスル頑張るために、いきますよ。**やりたかないけど、お客さんのためにいきますよ！**　いくぞーッ！

観客　オーーーーッ!!

王道&その他大勢　スリー、ツー、ワン！　ハッスル、ハッスル、ハッスル!!!!!!

★

〝俺だけの王道〟がまさかのハッスル、ハッスル!!　ハッスルキングも完全復活の兆しを見せ、『ハッスル４』に向けてハッスル軍は気勢をあげたが、恐るべしは髙田総統である。容赦ない言葉の鉄槌。小川を超えるかのような人気振り。高山善廣似の大男を新たな配下に加え、その善悪を超越した存在はさらにスケールアップ！　はたしてハッスル軍は、このカリスマを越えることができるのか？　7月25日『ハッスル４』。己の殻を破ってハッスルした奴だけにその権利はある！

ハッスル劇場

7・25『ハッスル4』まで
300%ハッスル!!

王道「やりたかないけど、お客さんのためにいきますすよ！いくぞーッ!」

お客さんの大声援に背を押され、ハッスルポーズで最後を締めた川田!!　わずか一度の指導で完璧にハッスルしたのは、さすが太田プロ所属のタレントだけはある。破壊王はノゲイラに続いて、ハッスルポーズの伝授に成功。オーちゃんの『PRIDE・GP』での奮闘は、『ハッスル』盛況のため――その喜びもひとしおだろう。『ハッスル4』でもこの一体感を再現できるのか!?　もうハッスルするしかない!!

『ハッスル・ハウス』

このエネルギーを『ハッスル4』に放て!!

文／ジャン斉藤

ビッた！　とにかく、たじろいだ!!

観客のあまりのハッスルぶりに、後楽園ホール関係者が「近年希にみる盛り上がりです！」と、ビビってたじろいだといわれる6・28『ハッスル・ハウス』！

これはあくまでハウスショー的な位置づけで、『ハッスル』本戦の繋ぎを果たす役割のイベントだ。これが抜群に面白かった！　ズバリ言おう！　こんなに面白いイベントの放送を約1ヶ月も待たせるなんて、『サムライTV』は罪作～り、罪作～り～～ぃ♪　と、内海美幸ばりに思わず口ずさんでしまうほど、面白かったのである。なにしろ髙田総統が大炎上すれば、高山善廣似の大男がドカンと登場！　小川の檄に破壊王が燃えあがり、そして川田がまさかの「ハッスル、ハッスル!!」――場内を揺るがせるサプライズが、所狭しと散りばめてあった。

マッチメイクだけみれば、とくに派手さがあったわけではないが、「ハッスル軍vsモンスター軍」というわかりやすい枠組み、モンスター軍の怪しさ、まったくナンセンス極まりない敗者アフロマッチなど、過剰なまでの味付けがプロレスの醍醐味を最大限に引き出した。誤解を恐れずに言えば、〝馬鹿馬鹿しいことに真剣に向かい合うエネルギー〟が、観客の心の中に、その世界観を素直に受け入れることができる余白をつくりえたのだ。

現在のプロレス界は、総合格闘技の大波に押される一方、プロレス自体も様々な価値観が乱立、団体側も観る側も金属疲労のようなものを起こしている。プロレスを能動的に観戦できる余白をつくることはなかなか難しい状況ではあるのだが、『ハッスル』には、観客を能動的に観戦させせるエネルギーがあったわけだ。

そのエネルギーとは何か？　いまの『ハッスル』は得てして「笑い」が全面に押し出されている印象がある。しかし、それはあくまでひとつの手段に過ぎないということだ。

「橋本！　アンタ、全然ハッスルしてねえんだよ!!」「いまハッスルしねえとよ、プロレスは終わっちまうぞ！」――小川の叫びには、ハッスル軍に対して、いや、プロレス界の危機的状況に対する苛立ちがあった。喜び、怒り、哀しみ、楽しさ――レスラーたちの、あらゆる真剣で重たい感情を、敢えて軽く明るいハッスル・テイストに仕立て上げていく。その〝軽く明るいハッスル・テイスト〟の裏にある〝プロレス改革〟に向けて走っていく真剣さがエネルギーを生み出しているのだ。

2200人、超満員札止めの後楽園ホール。チケットは発売当初から飛ぶように売れた。わずかな当日券も16：00の時点で立ち見席が残るだけ。ついには完売!!

その『ハッスル』は、次回の『ハッスル4』から、『ファイテング・オペラ』という冠が付けられることになった。オ、オペラですか？　内海美幸じゃダメ？

この『ファイテング・オペラ』の定義は、近いうちに笹原GMの口から披露されるに違いないが、「オペラ」を辞書でひも解くと、「歌唱を中心とする舞台劇。扮装した歌手の歌と管弦楽・舞踊・振りなどで構成される」とある。「ファイティング」は「闘う」意であるからして、強引に解釈すれば、「闘いを中心とする舞台劇。扮装したレスラーの肉体&思想闘争を、豪華で過剰で幻想的な舞台装置で構成される」ことになる。

そんな舞台に相応しく、『髙田モンスター軍』から〝ファイテング・オペラ座の怪人〟ともいえる、「マスクド・ノーフィアー」なる怪覆面が登場するという噂がある――。ノーフィアーといえば……ま、まさか!?

さらにパワーアップを図るモンスター軍。ハッスル軍の逆襲はなるのか？　いや、それよりも、だ！　『ハッスル・ハウス』で生んだ熱をどこまでスケールアップさせられるのか？　それがハッスル軍に課せられたもう一つの宿命だろう。

さあ！　踊るんだったらいましかない！　『ハッスル4』横浜アリーナは、そ～れ、ハッスル、ハッスル!!　ビターンッッッッ!!!!

サムライTV中継で
あの大興奮がよみがえる!!

ハッスル・ハウスvol.1
～髙田モンスター軍の逆襲～

7/21（水）22:00～　7/21（水）25:00～
7/25（日）17:00～　7/27（火）13:00～
7/30（金）16:00～

「サムライTV チャンネルインフォメーション」
【電話番号】03-5766-7119
【受付時間】月曜日～金曜日 12:00～18:00

ハッスルキングの
大進撃となれ!!

ファイテングオペラ
ハッスル4

【日時】7月25日（日）　開場／14:00、開演／15:00　【会場】神奈川・横浜アリーナ
【ハッスル予定人物】"ハッスル・キャプテン" 小川直也、"ハッスルキング" 橋本真也、"俺だけの王道" 川田利明、"な～にがやりたいんだコラ!!" 長州力、中村カントク、"おまえ誰だ？" GMの笹原です!!　ゼブラーマン、その他ハッスル軍の皆さん
【ビターン予定人物】髙田総統、恐れを知らない男、島田参謀長、安生司令長官、ケビン・ランデルマン、ジャイアント・シルバ、マーク・コールマン、ダン・ボビッシュ、その他モンスター軍の皆さん

【チケット】VIP席￥30,000（専用入場ゲート、グッズ付き）／RRS席￥15,000／スタンドS席￥8,000／スタンドA席￥5,000／ハッスルシート￥12,000（花道横・ハッスルグッズ付）
※ハッスルシートはDSE、PRIDEオフィシャルサイト、PRIDE携帯端末オ フィシャルサイト、チケットぴあ、ローソンチケットのみで販売となります。
【お問い合わせ】DSE　03-5464-1531　http://www.so-net.ne.jp/pride/index_flash.html

毎回好評のハッスルポスター。『ハッスル4』のものは西遊記をモチーフにしているが、長州はデフォルメなしでも違和感なし!!　タココラ!!

7·25『ハッスル4』まで

300%ハッスル!!

髙田総統・非公認 査定させてよ!!

6.28 後楽園ホール

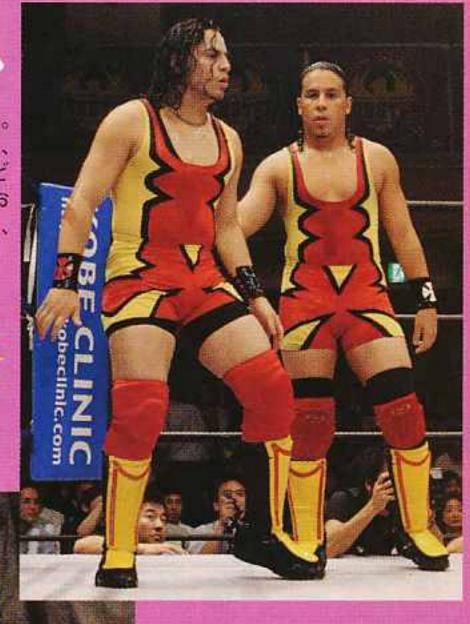
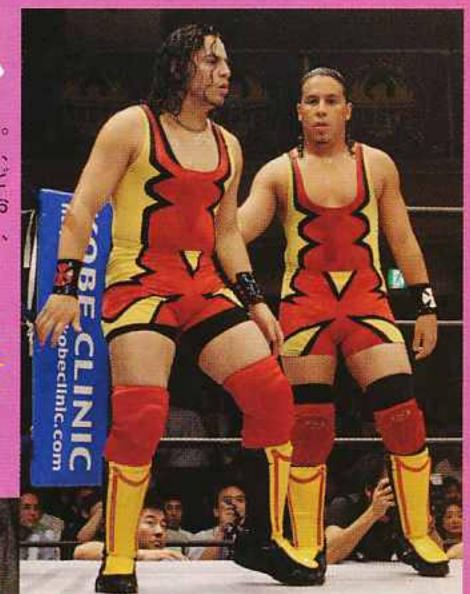
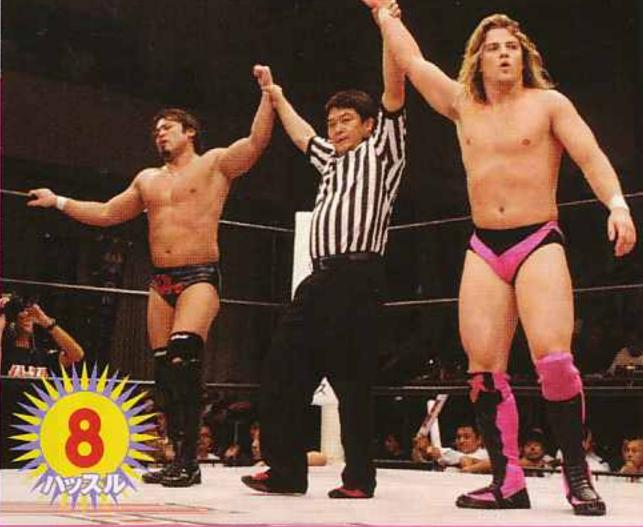
『ハッスル・ハウス』編

》》》マキシモ・ブラザーズ

ホセ&ジョエル

兄弟だけあってリズムの良いタッグワーク。ルチャ系の動きでしっかりと会場を温め、オープニングマッチの役目をはたした。どっちがホセでジェエルなのかわからないお客さんが多かったと思うので、もう一度、呼んで白黒つけろ!!

》》》ハッスル・イケメンコンビ

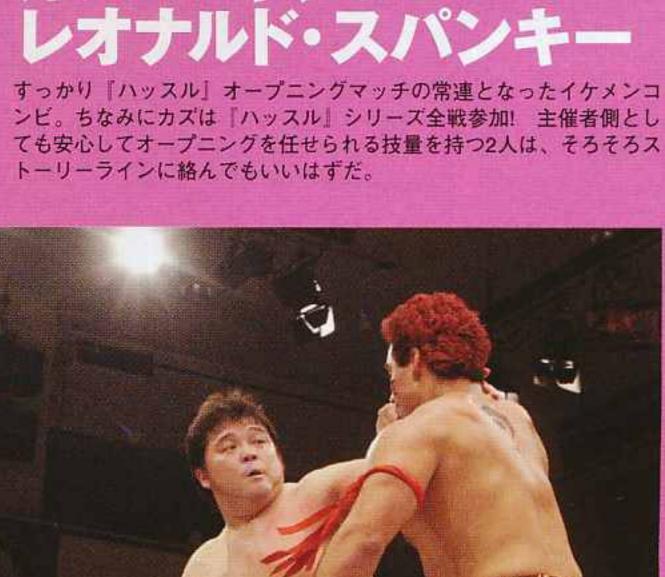
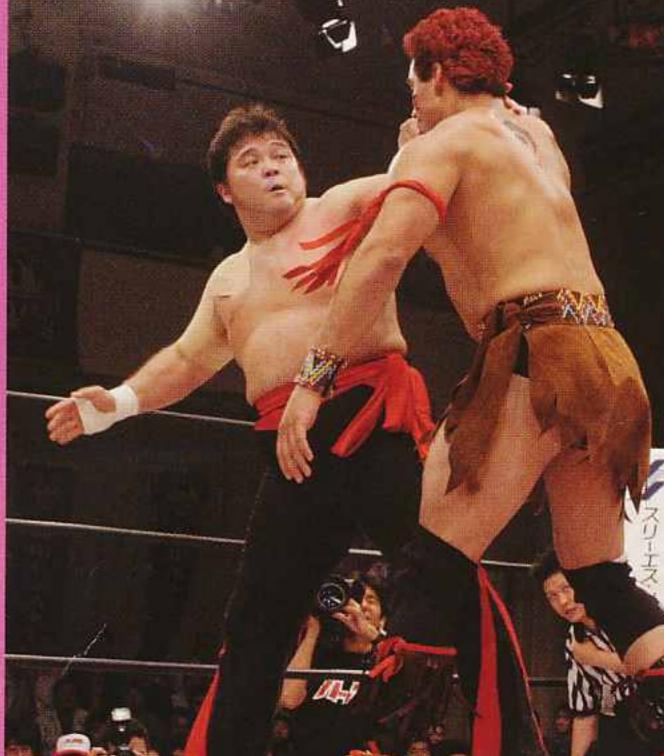
カズ・ハヤシ&レオナルド・スパンキー

すっかり『ハッスル』オープニングマッチの常連となったイケメンコンビ。ちなみにカズは『ハッスル』シリーズ全戦参加! 主催者側としても安心してオープニングを任せられる技量を持つ2人は、そろそろストーリーラインに絡んでもいいはずだ。

》》》海賊亡霊

ムッシュ・ド・バルバロッサ

マスクを剥がされ戦闘不能に陥ったジェイソン・ザ・レジェンドに、総統が「ビターン!!」と大海賊の魂を注入!! 新たなモンスターとして甦り、軍鶏侍を一蹴!! そして意気揚々とZERO-ONEのツアーにジェイソンとして乗り込んだ……って、2足のワラジかよ!!

》》》ハッスルキング

橋本真也

負ければアフロヘア!! 敵は肩狩り酋長! そんなシチュエーションに、あの何とも大袈裟なテーマ曲『爆勝宣言』で入場を果たした、ヨッ、破壊王～ぉ!! それだけでもうお腹いっぱい! ジョーサン戦といい、破壊王は"イロモノ成敗マッチ"がよく栄えるのだ。

》》》貧弱人食い魚

ザ・ピラニア・モンスター

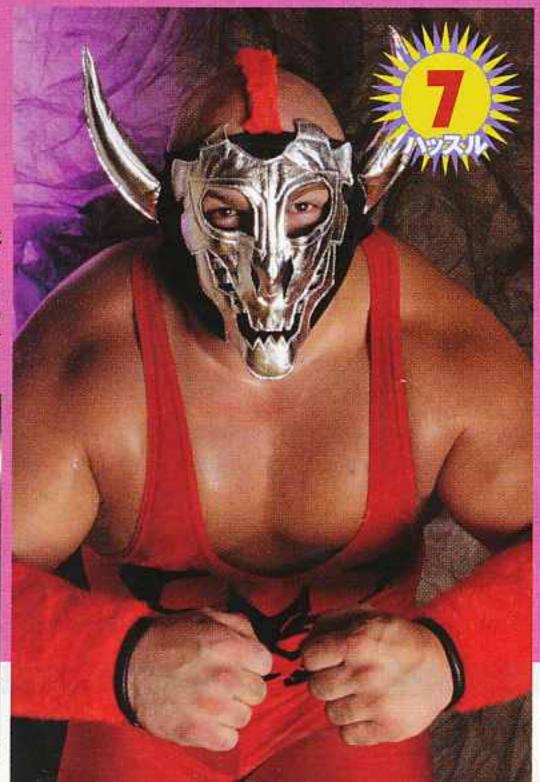
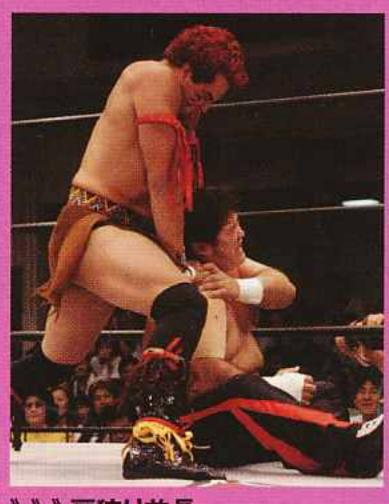
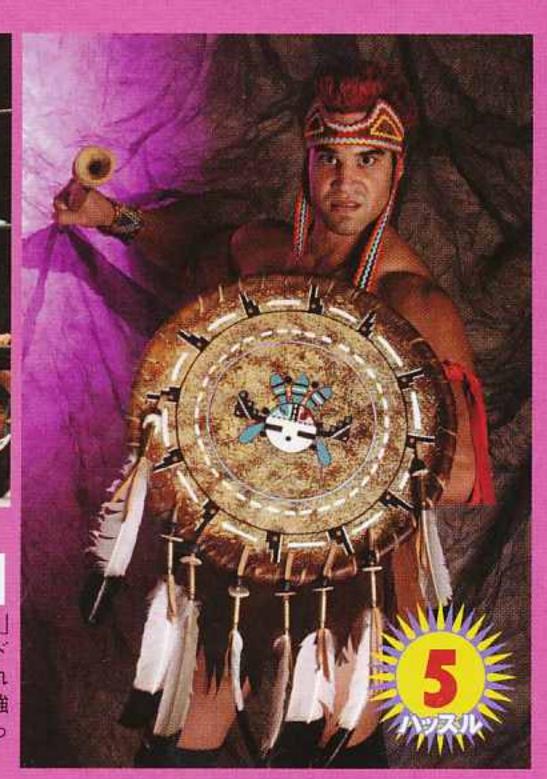
ボビッシュとのタッグでメインに登場したピラニアだが、これまたヘナチョコな攻撃を繰り出して、観客からは「ぇぇぇぇ～～～～!!」と突っ込みを浴びる。水中じゃないと本領発揮はならず? 長南亮ばりに「こんなピラニアは勘弁!!」と叫びたい。

》》》最後の近鉄魂

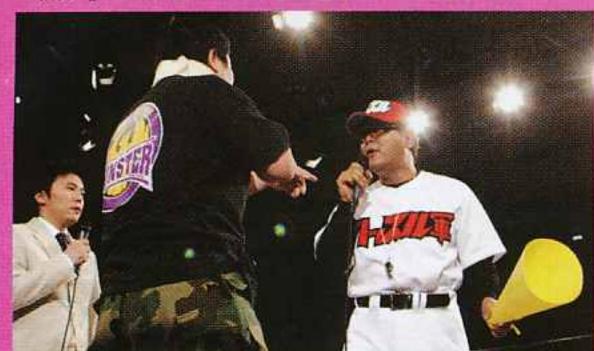
ダン・"ザ・バッファロー"・ボビッシュ

不甲斐ないピラニアを相棒に、ひとり奮戦したのはボビッシュ。川田や坂田とハードヒットな攻防を繰り広げ、さすがは猛牛と唸らせた。『ハッスル3』に続いて坂田との絡みは面白い。これは名勝負に発展する可能性もあるぞ!

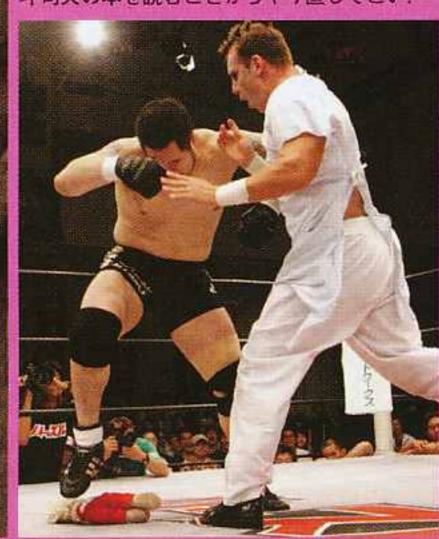
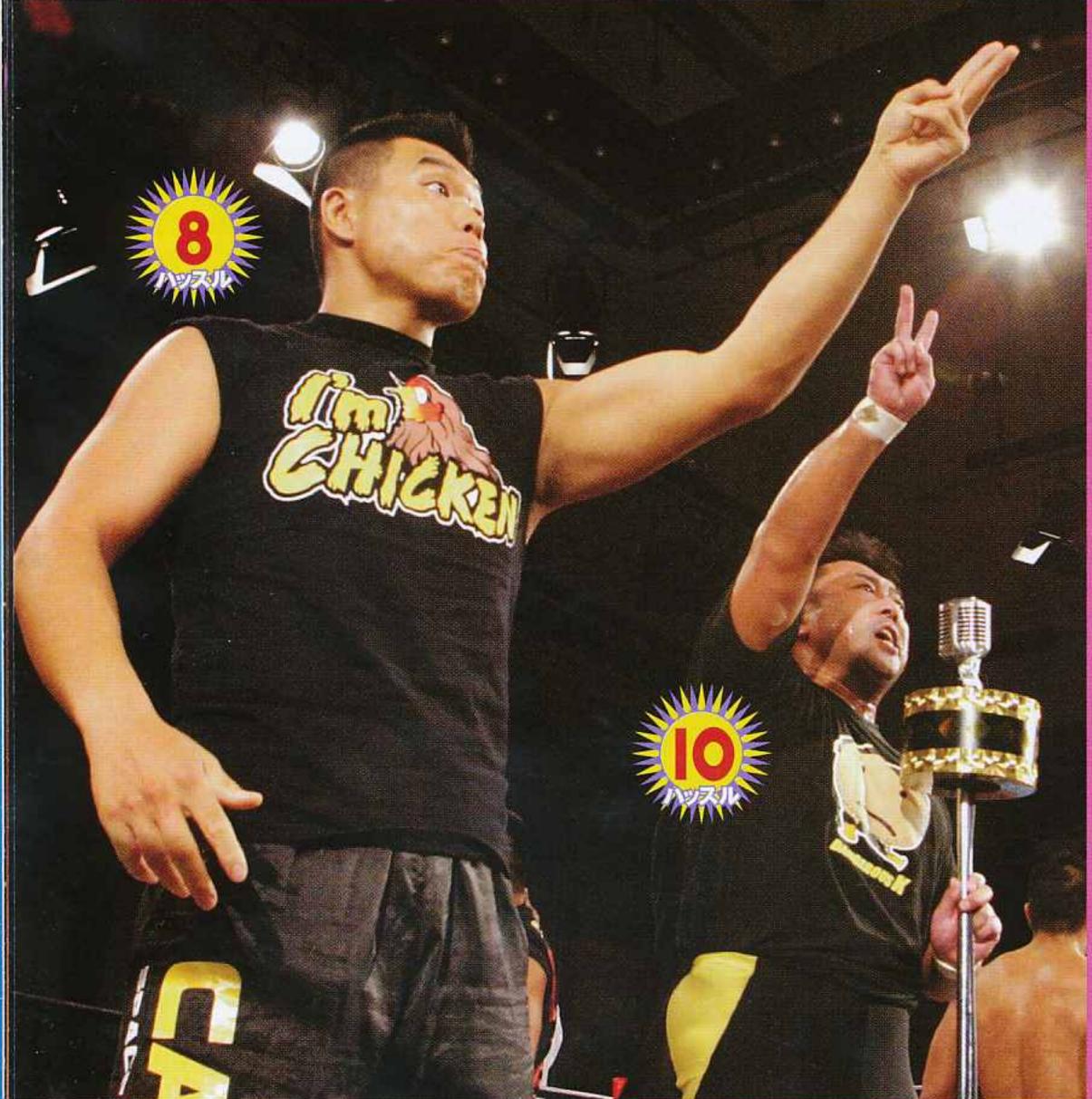
》》》肩狩り酋長

KATAKARI

肩を攻撃するたびに「カタカリ～～ッ!!」と大絶叫! インディアンダンスもドンドコ踊るが、逆に破壊王にドンドコ踊られるわで最後は腕十字で惨敗! これにて強制アフロヘアに!……って、アフロになっても差し支えない髪型じゃんか!

》》》ハッスル軍カントク

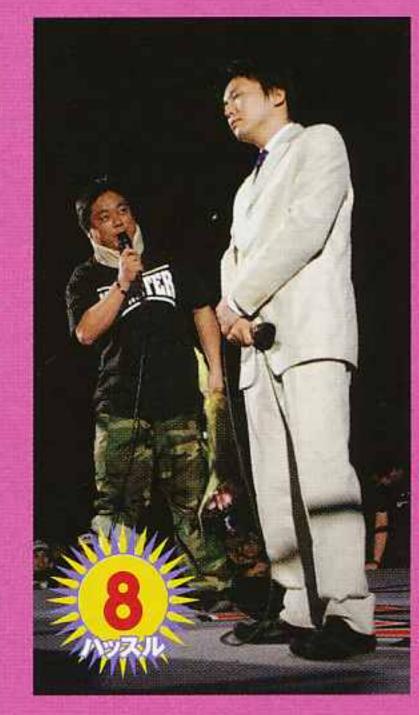
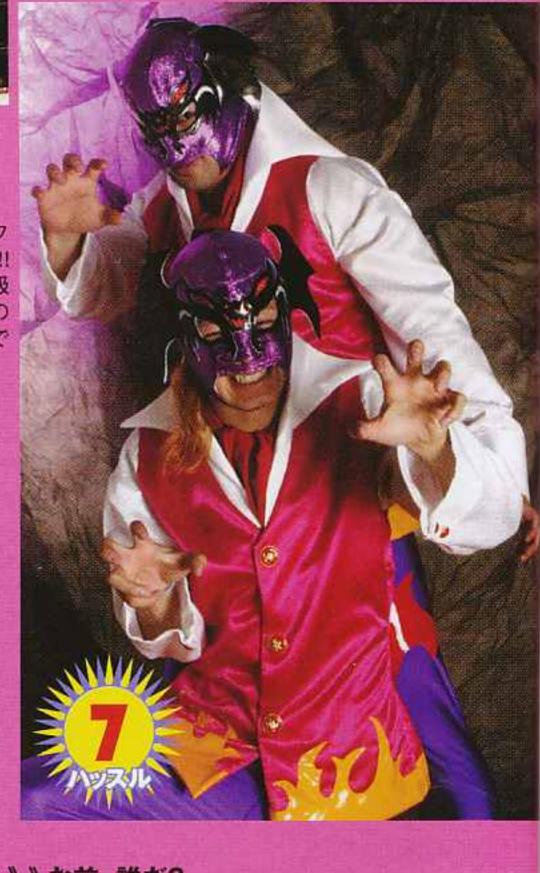
中村カントク

中村部長、ヘ〜ンシン!! テーマ曲は甲子園でおなじみの「コンバットマーチ」。そのリズムに合わせた「中村!!」コールに、「オイ〜スッ!!」と長さんばりに応える。この格好をみたヤドカリは「あんた、馬鹿か!!」とズバリ指摘したが、「生まれたときからこの格好!!」と胸を張るんだから問題なし! この姿勢でいけ!

》》》究極のオタク

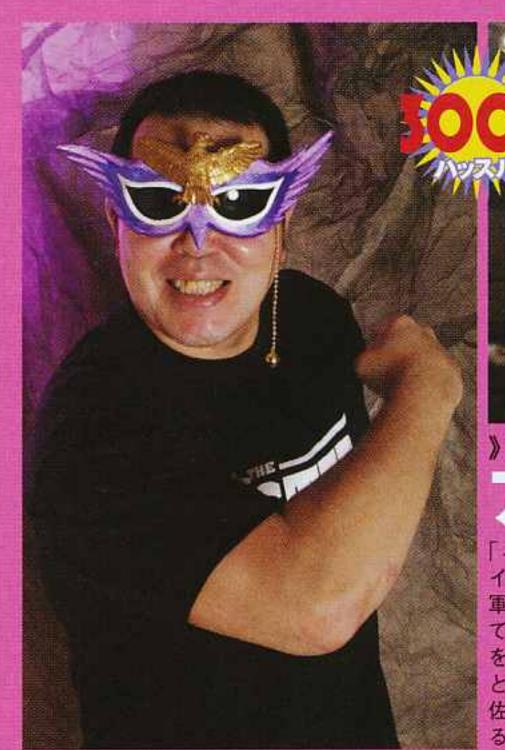
サイコ・ザ・デス

髙田総統に「逝ってよし!」と送り出された"究極のオタク"。不審極まりない動作、奇声を挙げては気味の悪さは伝わってくるが、愛する人形への執着さがイマイチ。とりあえず岡田斗司夫の本を読むことからやり直してこい!

》》》ザ・フライング・バンパイア

16世&23世

吸血鬼の末裔なので、十字架を彷彿させるクロスチョップ系の技の禁止を試合前に要求!! もはやなんでもありのモンスター軍だが、吸血鬼らしく噛みつき攻撃を繰り出したものの、基本的には、華麗なルチャ系のムーブで観客のため息を誘う。再登場を期待!

》》》お前、誰だ?

笹原GM

ヤドカリvsカントクの口喧嘩を「シャッラプ!!」と封じ込めた我らがGM。「笹原!」コールも渦巻いたが、ギョロ目との一連のやり取りを活かさない手はない。今後はぜひ「お前、誰だ?」の大声援を送ろう!

》》》モンスター軍司令長官

アンジョー

「ミ〜がアンジョー司令官デ〜ス!」とインチキ日本語を駆使するモンスター軍の新メンバー。某"200%男"に似てなくもないが、「日本のプロレス界を300%、デストロ〜イレマ〜ス!!」と100%も違うから、きっと別人だ。佐山仮面に近い? 相手を小馬鹿にするセコンドぶりは裏MVPとの声も。

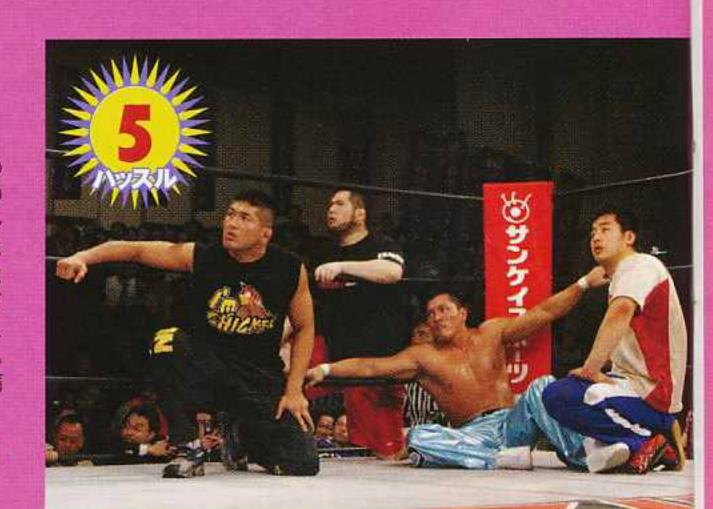
》》》俺だけの王道

川田利明

ついにハッスルした"俺だけの王道"!! 川田は「お客さんのために」という理由でハッスルしたわけだが、総統に「キミは"お客さんのために"と言ったよね?」と、言葉尻を捉えられて無理難題を押しつけられても、それはそれで楽しみではある。とにかく、ハッスルしたから満点だ!!

》》》ハッスル・キャプテン

小川直也

破壊王に檄を飛ばし、川田にはハッスルポーズを要求! 『ハッスル・ハウス』大団円の立て役者となったギョロ目は10ハッスル!!……と、言いたいところだが、髙田総統との舌戦では、総統の容赦ない言葉の鉄槌の前に敢えなく完封負けしたので、こんな査定となりました!

坂田亘、横井宏考、崔リョウジ、
石狩太一、藤井軍鶏侍

ハッスル選抜軍

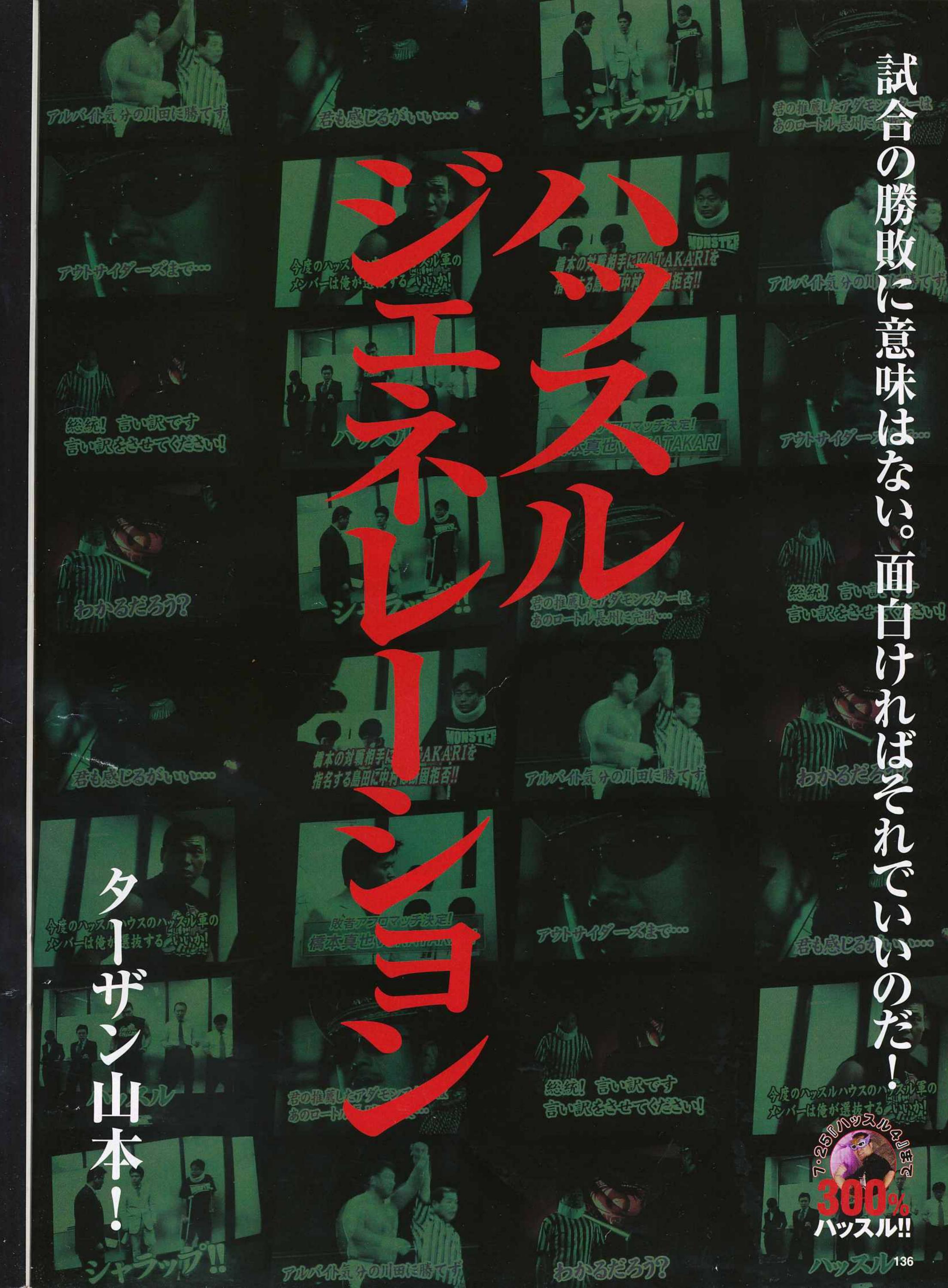
奮戦むなしくモンスター軍に負け越してしまったハッスル選抜軍。そして笹原GMや中村カントクのほうが声援を浴びたりしてるので、オーちゃんの檄に応えるべく、根底からの見直しが必要なのかもしれない。ハッスル、ハッスル!!

ハッスルジェネレーション

試合の勝敗に意味はない。面白ければそれでいいのだ！

ターザン山本！

7・25『ハッスル4』まで
300%
ハッスル!!

『ハッスル』の是か非を問うのはナンセンス。あくまでこれはジェネレーションがテーマなのだ。

『ハッスル』に関してはそれを時代の看板にするための言葉を急に思い付いた。それは〝ハッスルジェネレーション〟だ。もうこの言葉で十分である。

あとは何もいうな!! 必要ない。

〝ハッスル〟と〝ハッスルジェネレーション〟を必ずいつもセットにして使えなのだ。

今、マット界は何もかもが崩れ去ろうとしている。それを一言でいうと〝ギャップ〟という言葉で表すことができる。この言葉ほどぴったりくるものはない。

いろんな形で存在する感情の中で〝ギャップ〟という言葉が、もっとも時代の真実をあらわしている気がするのだ。

「ギャップを感じる……」というあの感じのことである。ところでギャップの元の意味は「感情や意見の相違、食い違い、いき違い」のことをいう。

そうした場合、その相違がもたらすものといったら対立とか対決とかになってくる。ギャップはそういった直接、表面に出てしまうような対立のことではないのだ。

「なんとなく違うんだよなあ……」という、ややぼんやりした感じなのだが、それでいてどこかが決定的に違っているというような含みもある。

それがギャップという言葉の私流の定義である。つまり少しの違いがやがては大事（おおごと）になっていく。ギャップという言葉にはそういった怖さがある。

だからギャップは一見するとたしかに、紳士的な言い方である。

ここで話を元に戻そう。『ハッスル』以前と『ハッスル』以後という言い方をしてもいいような気がする。

そのためにはやはり『ハッスル』には絶対に時代の付焼刃（つけやきば）で終わってしまったらまずいのだ。

『WRESTLE―1』（『W―1』）はあれは完全な企画倒れだった。『ハッスル』の前に同じようなものとして『W―1』があったという言い方は、プロレスファンなら誰でも納得するはずである。

ただ『W―1』は外国人レスラーのゴールドバーグをエースにしようとした。そこに失敗の要因の一つがあった。

これに対して『ハッスル』は日本人選手の小川直也が主役なのだ。この差はきわめて大きい。ゴールドバーグは外国人にありがちな出稼ぎ根性でやってきただけ。

小川は『ハッスル』にそれこそ自分を賭けている。ゴールドバーグと小川では全然、本気度が違うのだ。

『ハッスル』が成功すれば『ハッスル』以前と『ハッスル』以後という言葉がガ然生きてくるのだ。すでにそれは現実的なものになりつつある。

時代は今、固まった状態（ゲル）が少しずつそれが液化状態（ゾル）に移行している。ゲルからゾルへ。ゾルからゲルへと時代はそれを繰り返していく。

『ハッスル』は時代が初めて新しい形としてゲル化していく最初の産物かもしれない!! そういう気配があるのだ。そして誰もが現在、ジェネレーションギャップのど真ん中にいる。

長州が言った〝ど真ん中〟は、時代のど真ん中のことではない!! 時代はどこも平均してゾル化しているので、メインストリートを意味するど真ん中などあるはずがない!!

ジェネレーションギャップという現象自体が、もはや時代のど真ん中にいる証拠であると言いたい。

問題はその次にある。それは何かというと、「お前はジェネレーションギャップを言い渡された側の人間なのか、それとも言い渡した側の人間なのか?」ということである。

そしてジェネレーションギャップと言った瞬間に人や団体は〝勝ち組〟と〝負け組〟に振り分けられてしまうのだ。

時代のゲル化、ゾル化という言い方の中にも、どこか〝勝ち組〟と〝負け組〟の存在を匂わすものがある。

そういったことを考えた上で私は〝ハッスルジェネレーション〟という言葉を使いたいのだ。この言葉を思い切って印籠にするというのも一つの手である。

「控え、控えよ。頭（ず）が高い」といって髙田総統が『ハッスル』の水戸黄門になるのだ。また〝ハッスルジェネレーション〟をリトマス試験紙にするのだ。

「君はハッスル世代? それとも非ハッスル世代?」とみんなに問い掛けていくのだ。そこで『ハッスル』の是か非を問うのはナンセンス。あくまでこれはジェネレーションがテーマなのだ。

では〝ハッスルジェネレーション〟とは何なのか? 試合の勝ち負けはあくまでその場限りのものとして、決してあとにはひきずらない。

だから試合の記録は残さない。そこで誰が勝とうが負けようが、その日、その時、面白ければいいのであって勝敗にはあまり意味はないという考え方をとるのだ。

そういうプロレスがあってもいいのではないか? 〝ハッスルジェネレーション〟のプロレスはそれを目指せである。

6月28日、後楽園大会の『ハッスル・ハウス』は会場に行かないとカードがわからなかった。先にカードを発表すると、そのカードをファンが試合を見る前から、あれこれジャッジメントしてくる。

私はそれがもうしょっぱいというのだ。『ハッスル』はカードを発表するなである。その方が逆にインパクトがある。〝ハッスルジェネレーション〟は、時代との最後の決着戦を意味している言葉になったら最高である。そうしたら本当に〝ハッスルエイジ〟になるのだ。

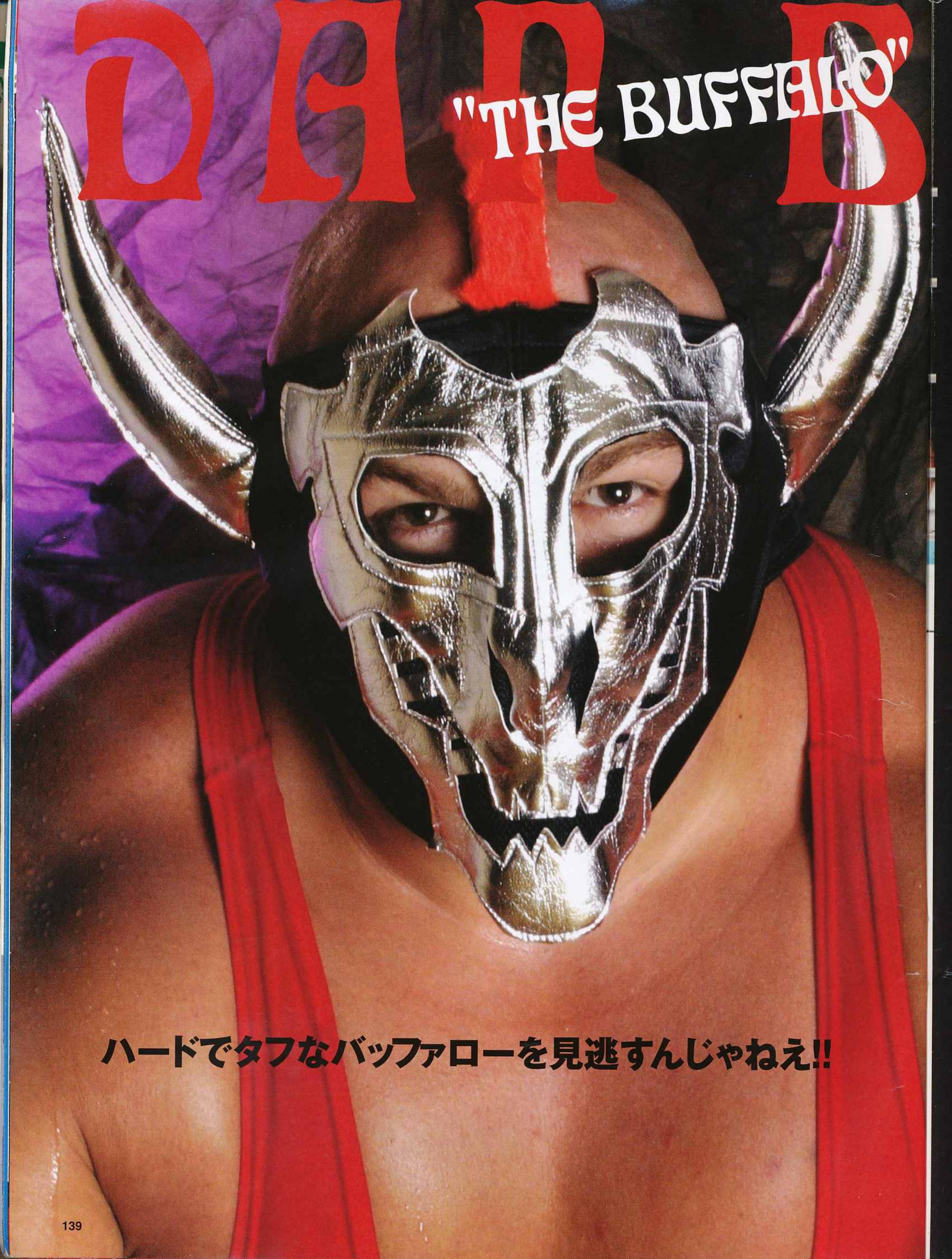
OBISH

髙田モンスター軍の怒れる猛牛
ダン・ボビッシュ

丸太ん棒のように太い腕、大型冷蔵庫によう分厚い肉体、そしてその身体から繰り出される技は、どれもがインパクト十分！『ハッスル』ではそれほどキャラ立ちしていないが、まさしく“モンスター”を名乗るに相応しいダン・ボビッシュ!! WJでのエピソードも飛び出した！ ドゥ・サ・タココラッ!!

聞き手／ジャン斉藤　撮影／菊池茂夫、平工幸雄
designed by matsu（Two Three）

DAN B
"THE BUFFALO"
ハードでタフなバッファローを見逃すんじゃねえ!!

――ボビッシュさん！『ハッスル・ハウス』でのモンスター振りはお見事でした！

ボビッシュ　あんがとよ！　ハードでタフなファイトができたから、俺も満足してい るぞ。

――最近の日本のプロレス界には、ハンセンやブロディ、ベイダー級のモンスターが不在で久しいんですが、ボビッシュさんにはその可能性を感じましたよ！

ボビッシュ　そうか、そうか。でも、俺はプロレスデビューしてまだ1年ちょっとだからな。今後はもっともっと成長を遂げると思うから、期待していてくれっての。

――え？　ボビッシュさんはプロレスデビューしてから、まだ1年ちょっとなんですか？

ボビッシュ　そうだよ。プロレスのデビューはWJの旗揚げ戦（03年3月1日）のときだ。ドン・フライのおっさんとタッグを組んで、ケンスキー＆ハセ（健介＆馳）と闘ったんだよな。

――いやあ、まさかデビュー戦だとは思えない動きでしたね！

ボビッシュ　俺は小さい頃からプロレスは見てたからな。どういう動きをすればファンが喜ぶかは、少しは理解してるつもりだぜ。

――ボビッシュさんは、プロレスを子供の頃から見られてたんですか？

ボビッシュ　大好きだったよ！　プロレスを見るために、親父と一緒にTVにかじりついたもんだ。3歳のころから見始めて、いまのいままで大のプロレスファンさ。

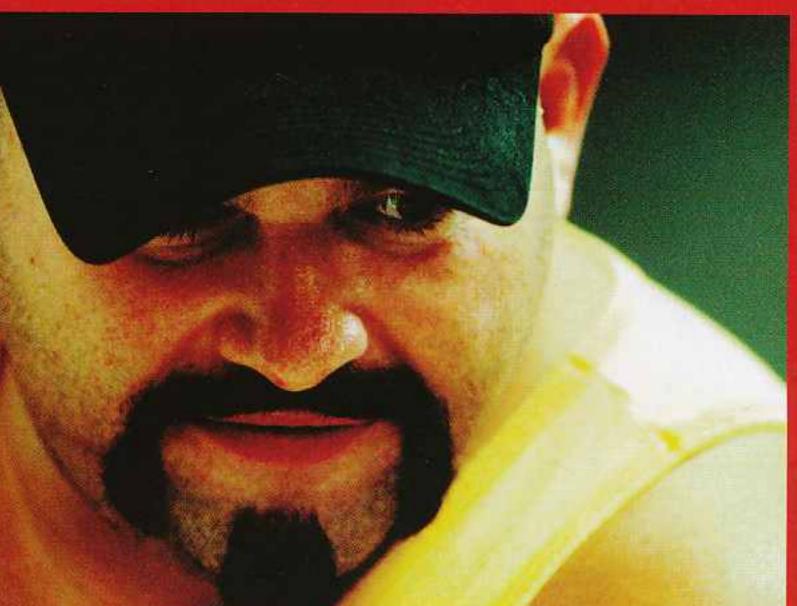
――小さい頃のアイドルは誰になります？

ボビッシュ　それは難しい質問だ！　なにしろほとんどのレスラーがお気に入りだからな。誰かひとりをあげるとすれば、タッグチームになるけど、ロード・ウォリアーズ!!　彼らとWJで知り合ったことは、まるで夢のようことだったよ。

――ホークが亡くなられたときはショックだったんじゃないですか？

ボビッシュ　最悪の気分だったぜ。俺が初めて『PRIDE』に出たときに、ウォリアーズのテーマ曲『アイアンマン』を入場曲にしたのは、彼らの尊敬の念、そしてホーク追悼の思いを込めていたんだ。みんなもよ、心の中でいつも『アイアンマン』を口ずさんでくれよ。そうすれば、ホークはみんなの心の中でずっと生き続けるってわけだ。

――ロード・ウォリアーズは不滅！　ってわけですね。話は戻りますが、子供の頃からプロレスに夢中になったのはどうしてですか？

ボビッシュ　やっぱりな、ビッグガイのハデに殴り合いに痺れちまった！　とにかく興奮したもんさ。それに、プロレスはエンターテイメント的な要素が詰まった人間ドラマでもある。もっともいまの歳になると、ディーバにしか目がいかねえがなぁ。ガハハハ！

WJの宴会は面白かったぞ。酔いが回るとみんなで殴り合いだからな！

――ボビッシュさんの視線はディーバに釘付けですか（笑）。

ボビッシュ　もうたまらんわ！　ディーバ、バンザ～イだよ！

――なるほど（笑）。大学時代にレスリングで活躍されたときは、プロレスラーになることを見据えていたんですか？

ボビッシュ　いやいや、この巨体だから、身体を動かしてねえと気が済まねえんだよ。レスリング、フットボール、そしてストリートファイト！　なんでもござれってわけだ。でも、レスリングでは大学のチャンピオンになって、プロレスラーになろうと思っていろいろテストを受けてみたが、ど～こも引っからなくてな。

――あらら。それは残念でしたね。

ボビッシュ　それでプロのフットボーラーになろうと、NFLのクリーヴランド・ブラウンズに入団テストを受けたら、さすがは俺様、最終選考まで残ったが、これまたダメになっちまった。どいつもこいつも見る目がねえよ。コンチクショウ！　しょうがねえから、バーやクラブのバウンサーになって、夜の街に11年間もこの身体を投じていたんだよ。

――11年間もバウンサー！　腕っぷしに自信はあったんですね。

ボビッシュ　若ぇ頃からストリート・ファイトでは負けなしさ。町いちばんタフなバウンサーとして、俺の名前は知れ渡っていたんだぜ。

――危険と隣り合わせな職業だから、危ない目にも遭われたと思うんですけど。

ボビッシュ　しょっちゅう喧嘩が起きていたし、2回ほど銃を突き付けられたこともあったよ。一度はすぐに奪い取って、そのクソったれをすかさずホールドアップしてやったけどよ。ガハハハ！

――笑い事じゃないですよ（笑）。

ボビッシュ　もう一度は、銃を構えられたまんま10分間ずっと口論さ。「バカ！」「アホ！」だの言い合ってよ。あれはスリリングだったなぁ～。ガハハハ！

――だから笑い事じゃないですって（笑）。バウンサー以外にも、マイク・タイソンのボディガードを務めていたのは有名な話ですよね。

ボビッシュ　89年から90年にクリーヴランドでマイク・タイソンのボディガードを務めていた。毎日というわけじゃなくて、ディナーとか特別なイベントの際にマイクをガードしたってわけさ。たしか一回につき500ドルだったから、いい小遣い稼ぎになったよ。

――タイソンは人間的にどうでしたか？　いつも何かしら問題を起こしてますよね。

ボビッシュ　いや、良い奴だったよ、マイクは。ただカメラやプレスが群がると、スッゲエ悪態ついていた。それが本当のマイクなのか、俺に見せた顔が本当の姿なのか？　それはよくわからんわ。

――で、初めてリングに上がったのは、ブラジルのVT大会だったわけですよね。

ボビッシュ　96年10月のことだ。それからUFCに出たり、『キング・オブ・ザ・ケージ』ではチャンピオンにもなった。将来的には、日本は格闘技がメジャーな国だからぜひ行きたいとは思ってたんだよ。

――初来日はプロレスのリングとなりましたが、日本のプロレスにはどういうイメー

ジを持ってたんですか?
ボビッシュ　一言で言えば、ストロング・スタイルだ。コンタクトは激しいし、俺からすると、ショー的な要素が強いアメリカのプロレスよりは、そんな日本のプロレスのリングでデビューを飾れたのは幸運だったよ。WJには荒くれ者のレスラーが多かったから、プロレスを勉強するには最適だったな。

——そのWJでいちばん仲が良かった選手は誰ですか?
ボビッシュ　仲が良かったのはケンゾー（鈴木健想）になるな。アイツは何度も俺の家に遊びに来ている。やけにウマが合うんだよ。いまケンゾーはWWEで頑張って

「ハッスル・ハウス」からはオーバーマスク（139ページ参照）を付けて入場。顔にはペイントを施し、コスチュームも新調。"バッファロー"キャラに磨きをかけた。

るんだろ。一段落付いたら、また一緒にゆっくり遊びてえよな。

——健想さん以外で交流があった選手はいませんか？

ボビッシュ　テンルー（天龍源一郎）のおっさんは面白かったなぁ〜。タフでナイスガイ。ジョークも飛ばす。テンルーは日本でも人気はあるんだろ？

——男気がある選手だから、日本ではかなり人気は高いですね。

ボビッシュ　テンルーにはよく騙されたもんだよ。飲みにいったときなんかは、知らないあいだに俺のビールに焼酎をたんまり注ぎやがったりよ。そのせいで次の日はヒッデエ二日酔いさ。フラフラで試合をしたら、テンルーが「ボビッシュ、なぜあんなに焼酎を飲んだ？」って言われてな。やられた！　いっぱい喰わされたことに気が付いたんだよ（笑）。

——天龍さんはお酒が強いから、飲み比べなんかもされたんですか？

ボビッシュ　飲んだなぁ〜。テンルーのおっさんには2回も潰されたよ!!

——2回も潰されましたか（笑）。

ボビッシュ　WJの宴会は面白かったぞ〜！　なにしろフクダのボス（当時WJ社長）やテンルー、チョウシュー（長州力）たちは酔いが回ると、お互いに殴り合うんだからな！

——うわ〜！　その光景は見たかったですよ！

ボビッシュ　挙げ句にはみんな服を脱いでチョップ合戦がスタートさ（笑）。すげえバカ騒ぎで腹を抱えて笑ったもんだ！

——まさしくマグマな飲み会だったわけですね（笑）。そんな明るく楽しく激しいWJは、当時と比べると規模が小さくなってしまいましたが、その理由はどうしてだと思いますか？

ボビッシュ　わからん！　あれだけ選手が揃っていたのに、どうしてプロモーションが小さくなったのかは、こっちが聞きたいぐらいだわ。

——WJは『X—1』というバーリ・トゥード大会を開催しましたが、ボビッシュさんはメインイベントに登場しましたよね。

ボビッシュ　新たな試みにチャレンジするのは良いことだと思うぜ。『X—1』があれっきりだったのは、それは残念な話だけどよ。

——その『X—1』には、他の選手のセコンドとしてシャノン・〝ザ・キャノン〟・リッチが来日してましたが、彼とは親交はあったりします？

ボビッシュ　ん？　なんでリッチの質問なんかするんだ？

——いや、リッチは面白いファイターというか、ズバリ言うと、あの目立ちたがり屋の精神が気になってしょうがないので、何か興味深いエピソードがあれば聞きたかったんですよ。

ボビッシュ　ああ、そういうことかいな。リッチは俺が試合で日本に行こうとすると、かならず「俺も連れて行け！」と頼み込んでくるぞ。

——ワハハハ！　さすがはリッチです（笑）。

ボビッシュ　『X—1』のときも会う人会う人に、ビジネスカードを配っていたしな。ファンにまで配っていたぐらいだから、きっと日本で何かやりたいんだろ。お前さんもリッチの宣伝してやってくれよ。

——しっかりしておきます（笑）。似たような目立ちたがり屋で、イズマイウという方もいらっしゃるんですが、何か接点があったりしますか？

ボビッシュ　イズマイウ？　俺はあんまり好きじゃねえなぁ。

——あ、ボビッシュさんもですか！　ファンの評判は良いですけど、関係者&選手には最悪ですねえ（笑）。

ボビッシュ　いや、とくに嫌いってわけじゃねえ。じつは97年にブラジルのVTトーナメントに出たときに、相手選手のセコンドがイズマイウだったんだ。それで、試合中にもつれ合って場外に出かかったら、イズマイウが「ストップをしろ！　ウガー！」ってレフェリーにアドバイスして、レフェリーがストップを命じて俺もそれに従って動きを止めたんだ。そしたら相手がその隙に乗じて腕ひしぎを極めてきやがった。俺が「ストップだろ！」って吠えたら、イズは何て言いやがったと思う？

——まぁ、イズのやることはだいたい想像はつきますけど（笑）。

ボビッシュ　あの野郎、「おい、レフェリー！　試合は終了だ。いまボビッシュが〝試合を止めろ〟、つまりギブ・アップだから、言ったんぞ！」って口泡飛ばして抗議しやがったんだって！　あれには呆れた。

——ワハハハ！　やっぱり！

ボビッシュ　だから良い印象がねえんだよ。ただそんだけ。

——よくわかりました（笑）。最後の質問になりますが、ボビッシュさんが闘うための原動力って何ですか？

ボビッシュ　いま3歳になる娘だよ。あの娘のためなら何でもできるんだよ〜（デレデレ）。

——ボスである髙田総統の存在は？

ボビッシュ　いわなもがな。総統のために闘うのも当たり前だっつ〜の！　ドゥ〜・ザ・ハッスル!!

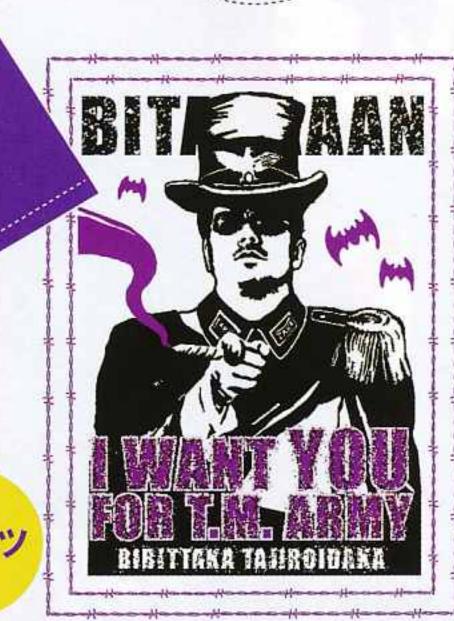
【04年6月某日／『髙田モンスター軍』秘密アジトにて収録】

プロレスは3歳のころから見てる。いまはディーバにしか目がいかねえがな（笑）

DAN"THE BUFFALO"BOBISH

近鉄ナインに分け与えたいほどの猛牛振りでリングを暴れ回るボビッシュは、『髙田モンスター軍』に所属するモンスター。プロレスのみならずMMAでも活躍。『キング・オブ・ケージ』のヘビー級チャンピオンに君臨していたこともある。1970年1月26日生まれ。186センチ、150キロ。

ハッスル&紙のプロレス Tシャツ&タオル コラボグッズ ビターン!!と発売決定!!

第1弾は髙田総統だ!!

【完成予想図】
※デザインは変更する場合があります

Tシャツ

フェイスタオル

日本全国で大ブームの兆し

ハッスルグッズ

『紙プロ』通販で買いますかー!!

ハッスルロゴフェイスタオル

Color :イエロー、ブラック、ブルー、グリーン
Price :¥2100(税込み)

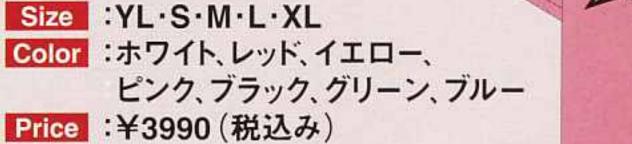
ハッスルロゴメッシュキャップ

Color :レッド、イエロー、ブラック、ブルー、ピンク、グリーン
Price :¥3150(税込み)

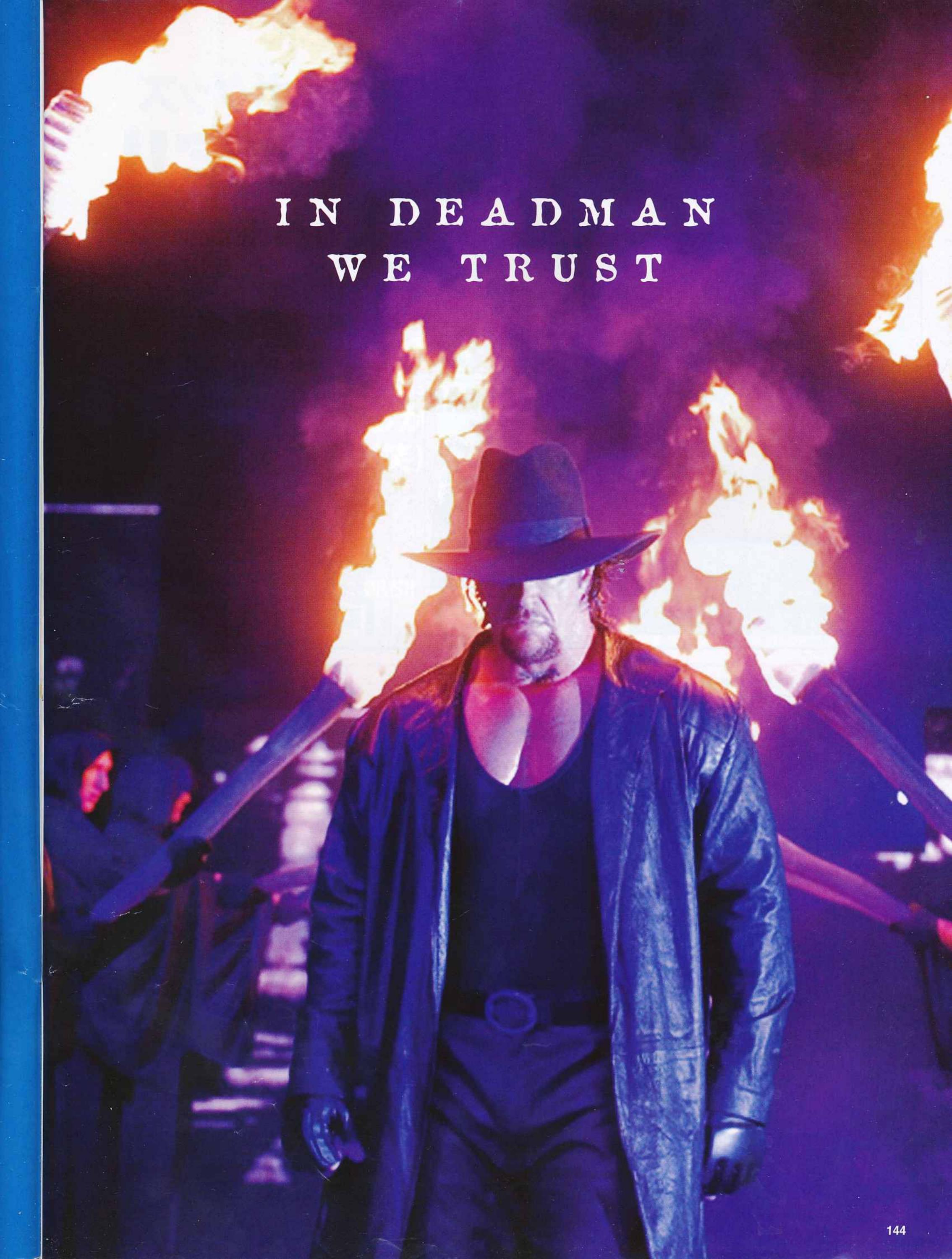
通販方法はP160にハッスル、ハッスル!!

ハッスルロゴTシャツ

Size :YL・S・M・L・XL
Color :ホワイト、レッド、イエロー、ピンク、ブラック、グリーン、ブルー
Price :¥3990(税込み)

グッズ売場に注目!!

ハッスル&紙プロ コラボグッズは7・25『ハッスル4』から販売開始!!

IN DEADMAN WE TRUST

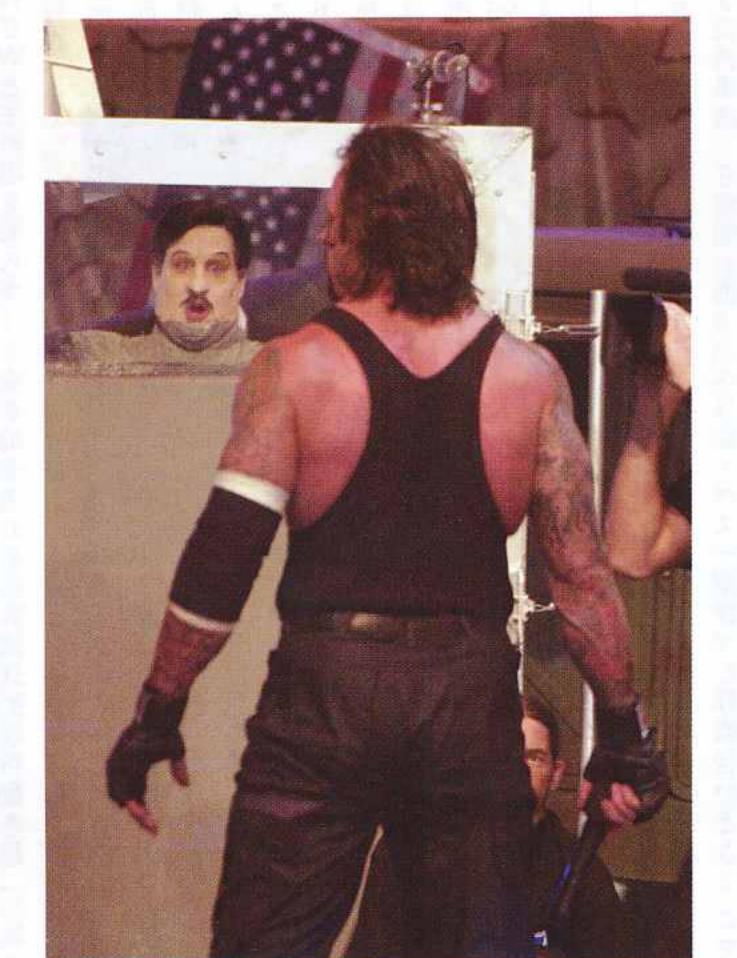
お楽しみ 01

♪死んだはずだよ デッドマン!?
地獄から黄泉がえるのはアンダーテイカーだけじゃない!!

ちょうど1年ぶりに『SMACKDOWN!』が日本にやってくる。本誌が毎月お伝えしているように、この1年間でリング上の風景は大きく変わった。ブロック・レスナーはWWEを離脱してNFLに挑戦、カート・アングルは長期戦線離脱、クリス・ベノワは『RAW』へ移籍してチャンピオンとなり、エディ・ゲレロが『SMACKDOWN!』の頂点に立った。

3月の『レッスルマニアXX』以降、WWEは積極的に「アメリカンプロレスのルネッサンス運動」を展開している。トラックや放水車などを使った大掛かりなプロモを排して、試合内容重視で観客を魅了するというプロレスの原点に立ち返ろうというものだ。

『SMACKDOWN!』において、その中核を担うのがTAJIRIをして「神の領域」と言わしめた〝プロレスの達人〟エディ・ゲレロであり、人種差別的なネタでマイノリティのヒートを買うジョン・ブラッドショー・レイフィールド（JBL）であり、昨年11月の『サバイバーシリーズ』で生き埋めにされてから〝怪奇派〟として劇的な復活を遂げたジ・アンダーテイカーだ。彼らがリング上で見せるのは、いずれもアメリカンプロレスの古典的な手法である。しかし、世界最大規模のWWEが本気になって原点回帰に取り組むと、実際にとんでもない化学反応が起こる。

僕が現地MSGでみた今年の『レッスルマニアXX』。キラ星のようなスーパースターが次々と登場する中、アンダーテイカーは一人だけ際立っていた。他を寄せ付けない圧倒的な存在感を全身に漲らせ、松明が揺らめき、スモーク充満する中をゆったりと歩く……それだけでMSGが一瞬で別世界になってしまったのだ。アンダーテイカーが目深に被った帽子の奥で白目をひん剥くだけで、大の大人が小便をチビリそうになるのだからハンパではない。

復活以前、昨年11月の『サバイバーシリーズ』までのアンダーテイカーはハーレーにまたがりバンダナに革ジャンという〝アメリカン・バッドアス〟路線だった。地に足のついた、どこにでもいそうな不良キャラで人気を博す。妻・サラが誘拐されるというアングルまであった（テイカーの首には妻の名前のタトゥーが彫ってある）。イラク開戦直後の『レッスルマニア19』では星条旗を振りかざして入場している。試合でもオープンフィンガーグローブを着用してボクシング・スタイルのパンチを多用、UFCの会場にひょっこり現れたりもしていた。

アンダーテイカーをコントロール出来るはずだった唯一の存在、ポール・ベアラーは、6月27日の『グレート・アメリカン・バッシュ』でテイカーの手によって生コンクリートに沈められるという惨劇が発生! 日本には（おそらく）来ない。是非、武道館で見たかったのだが……。

だが、昨年11月、テイカーはビンス・マクマホンと敗者生き埋めマッチを行い、弟・ケインの乱入によって敗北を喫して会場に深く掘られた穴に突き落とされた。その上からブルドーザーで土を盛られ、文字通りの「デッドマン」となる。

そして復活。WWEが提唱した「アメリカンプロレスのルネッサンス運動」と時を同じくして、封印していた怪奇派キャラでアンダーテイカーは甦った。JBLが人種差別発言で人々を本気で怒らせるように、アンダーテイカーは入場一発で人々を本気で震え上がらせる。

一度、素の顔を晒し、怪奇派としてのキャラクターを捨てたはずのテイカーが、再びキャラクターを身に纏う。そこに我々は何を見るのか？ アンダーテイカーの作り出す世界観がどこまで我々を支配するのか？ もっと言えば、日頃、WWEについてエラそうなことを語っている我々がアメリカンプロレスをどこまで知っていたのか？ そんなことが試される試合になるはずだ。

もし、生のデッドマンを見て、「つまんねえなぁ」などと感じるようであれば、「REST IN PEACE」という言葉を贈りたい。（坂井ノブ）

ネタバレ注意

WWE『SMACKDOWN!』presents

Return of the Deadmanを楽しむ13の方法

ニッポンの夏、『SMACKDOWN!』の夏！ というわけで、今年の夏も彼らがやってくる。『レッスルマニアXX』以降、原点回帰にバク進する『SMACKDOWN!』を楽しく見る秘訣、『紙プロ』読者の皆さんにコッソリ教えます。

構成／坂井ノブ　原稿／阿部タケシ、長谷川博一　写真／George Napolitano、乾晋也
designed by matsu (Two Three)

お楽しみ 02

世界の中心で「オラレイ!」を叫ぶ エディ・ゲレロ（ラティーノ・ヒート）に熱い声援を送れ!

今年のスマック日本ツアー、筆者の最大の楽しみはヒスパニック初のWWE王者として凱旋するエディ・ゲレロ。団体が誇るリング・マスター。立って良し、寝て良し。プラス飛んで良し、ズルして良しの万能型レスラー。アメリカの田舎のUFO目撃者のような話しぶりもいいど試合が大味だからなあ…」というの（翻訳のせいか?）。「アメプロもいいけが、日本のプロレスを愛する人々の長らくの論拠だったが、普段あれだけテクニカルなファイトを見せられるとアメリカ=大味の仮説が吹き飛んでしまう。つまりはWWEの最近の変化や進化を端的に示す新たなアイコンがエディ・ゲレロなのだ。中肉中背。ロングタイツ。身のこなしが敏捷で、得意技はフロッグ・スプラッシュ。と来ると、個人的にはつい三沢光晴と対比したくなる。かつての全日本・四天王時代にエディも存在していたなら、さぞや三冠戦の名勝負を輩出していただろう、など感じさせる所も実に日本人好み。

エディはテキサス州の西の端エルパソの出身。リオ・グランデの大河をはさんでメキシコのファアレスという町と背中合わせ。住民の9割はメキシコから移住したヒスパニックという環境で育った。父親は名レスラーのゴリー・ゲレロ。チャボ（・クラシック）、マンドへクターの3人の兄もレスラーで、彼は末っ子。クラシックは実の兄ながら17才も違うし、チャボ・ゲレロは2つ違いで甥っ子というから、父は盛んというか母は大変というか…。父ゴリーはエルパソでプロモーター業も営み、エディは父の試合会場をちょこまか走り回る、落ち着きのないキッドだった。自宅近くの遊び場にあるリングでプロレスの手ほどきを受けて87年にプロ・デビュー。遊び場にリングがあるなんて、中学時代からザ・ロックとリング上でプロレスごっこをしてたというジャマールのエピソードとも重なる話。蛙の子は蛙の世界。が、それゆえに兄弟とプロモーターの両方の期待に応えねばならない二重のプレッシャーは、絶えずエディにつきまとってしまう。

EMLL、AAAとルチャのマットで活躍し、新日本プロレスのマットにも本名、そして2代目ブラックタイガーとして来日。順調にキャリアを伸ばし、ECW、WCWと主戦場を変える。WCWでは世界クルーザー級王座も獲得。しかし成果を上げると同時にモチベーションも失いがちになり、この頃から飲酒とドラッグ常用の癖が目立ち始めるようになる。ダークな歴史は、ここから。99年にはフロリダでストーンして時速130マイルのスピードでガードレールをぶち破る、大きな交通事故。8時間もの間、エディは生死の境をさまよった。半年後にリングに復帰するが、ペインキラー（鎮痛剤）の服用も増え、01年11月にはDUI（飲酒運転罪）で逮捕され、新聞沙汰となる。同年12月のクリスマスには、エルパソで再びD.O.A（デス・オン・アライバル）状態となり、救急車で病院に収容。00年からエディはWWEのリングに上がっていたが、窮状を見るに見かねたビンスは彼を解雇。『SMACKDOWN!』にも出演したヴィッキー夫人からも一度、離婚を宣告される。過去の栄光を全て失ったエディはリハビリ施設に入り、キリスト教の信仰に目覚め、人生をやり直した。施設を退院しフリーの身でいる02年3月には新日リングに再び参戦したこともある。この時期、WWEから再契約の話が来ていて、蝶野正洋によれば、日本でエディは随分悩んでいたそうだ。

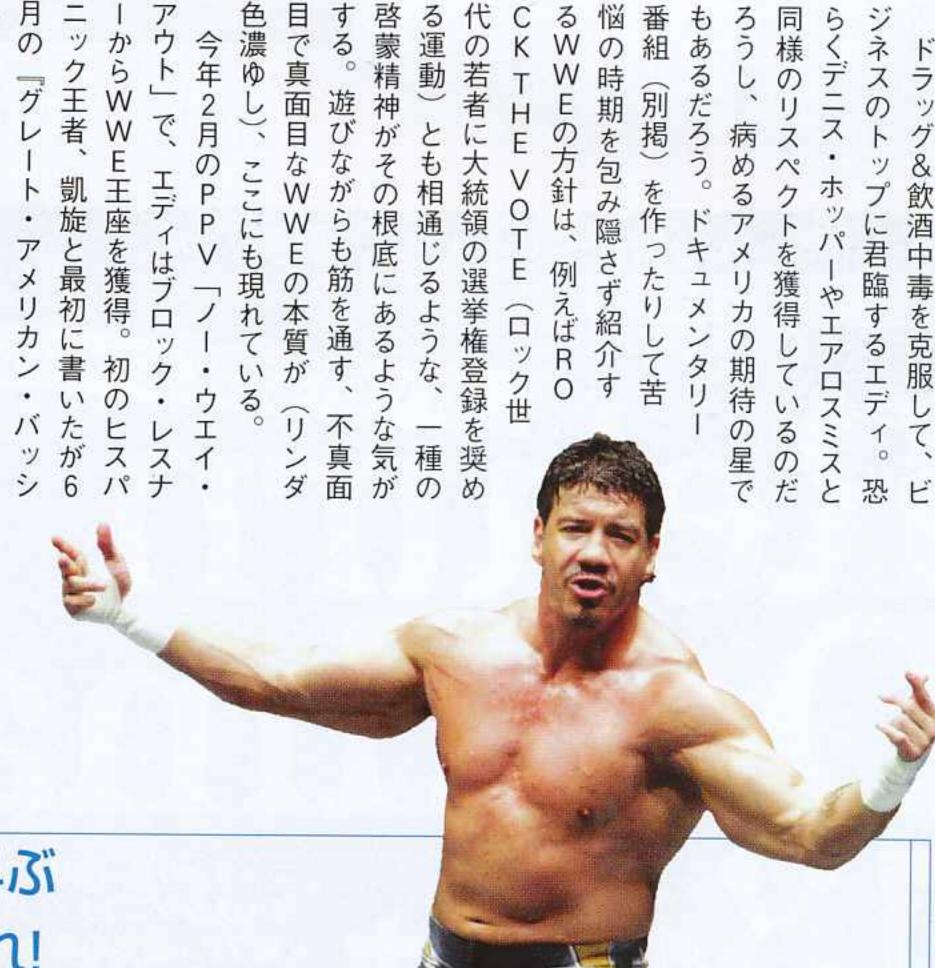
性格が不真面目なら逃げ道もあるのだろうが、エディは、その正反対の人。仕事に人一倍のめり込む性質で、元々強迫性障害（強い衝動に襲われると不安を抑えるために非論理的な行動を起こしてしまう神経症の1つ）の問題を抱えているという。最近のJBLとの一連の闘いでも、激しく流血して16針も縫ったり、目に青タンを作ったりと、メインイベンターの責任感に満ちた無茶を働いている。やりすぎて当たり前、人生無茶リブレというか（懐かしい!）、矢沢永吉の「トラベリン・バス」がぴったり似合いそうな人生である。キャラクターへのなりきり方も人一倍。かつてはラティーノ・ヒートの愛称で、〝ママシータ〟のチャイナとベタベタしたり、甥っ子チャボとロス・ゲレロスを結成してLIE（嘘をつき）、CHEAT（ズルして）&STEAL（盗む）の生き方を実践したりして、どれも大ヒット。エディのもう一つの、というか実は最大の魅力と思う、メキシコ系ならではの陽気さやスットボケの感覚は、いつも実に良い加減でキャラクターを彩るのだ。

ドラッグ&飲酒中毒を克服して、ビジネスのトップに君臨するエディ。恐らくデニス・ホッパーやエアロスミスと同様のリスペクトを獲得しているのだろうし、病めるアメリカの期待の星でもあるだろう。ドキュメンタリー番組（別掲）を作ったりして苦悩の時期を包み隠さず紹介するWWEの方針は、例えばROCK THE VOTE（ロック世代の若者に大統領の選挙権登録を奨める運動）とも相通じるような、一種の啓蒙精神がその根底にあるような気がする。遊びながらも筋を通す、不真面目で真面目なWWEの本質が（リンダ色濃ゆし）、ここにも現れている。

今年2月のPPV「ノー・ウエイ・アウト」で、エディはブロック・レスナーからWWE王座を獲得。初のヒスパニック王者、凱旋と最初に書いたが6月の『グレート・アメリカン・バッシュ』では、JBLにベルトを取られたらしい。しかしカート・アングルGMの身勝手な裁定によるもので、ベルトを賭けた両者の闘いは今しばらく続くのではないだろうか。レスナーの電撃退団、クリス・ベノワの『RAW』へのシフト、アングルのケガ欠などで、テクニシャン・エディの本領が発揮される相手がなかなか見つからない昨今。それよりもドラマに冴えを見せる、新しい移民=エディvs古くからの移民=JBLの抗争が旬の話題とされている。

正当派のエディを応援するにはJBLのような揶揄は要らない。「エーディ、エーディ!」と連呼すればいい。我らのはにかみのジャパニーズ・メキシカン・スマイルで、ズルして頂きのメキシカン・スマイルを呼び出そう。エディ・ゲレロは世界の中心で「オラレイ!」を叫ぶ。

（長谷川博一）

お楽しみ **03**

WWE版アホでマヌケなアメリカ白人!?
人種差別主義王者JBLには「ヤンキー・ゴーホーム!」の洗礼を!

白人の白人による白人のためのアメリカを訴える、テキサス出身のネオ・コン支持者。ジョン・ブラッドショー・レイフィールド（JBL）のキャラクターをかいつまんで紹介すると、そんな所になるだろう。不法入国者＝特にメキシコ系移民をその標的にし、チャンピオン＝エディ・ゲレロを挑発しつづけるJBL。とある日にはテキサス・ロングホーンを先っちょに付けた白のリムジンでNYの高級ホテルに颯爽と現れ、散髪・ネイルケア・靴磨き・ひげ剃りを同時にオーダー。従うのは、みなヒスパニックの労働者。機嫌良さげにJBLは、のたまう。「役に立つ移民もいるんだな！」「お前達、英語話せないだろう！」「こりゃあ移民局が来たら大変な驚きだろうな！」鏡に我を映しながら「ホセ、何が見える？　教えてやろう。最高にハンサムでリッチなWWE王者、JBLだ！」……。

「言うじゃなぁ〜い？」とギター侍ならツッコミを入れたくなるような、ゲスなWASP野郎。それがJBL。心から嫌える新たなヒールの登場に、筆者の心は複雑に燃えさかる（笑）。ヒット中の映画に当てはめるなら、JBLは、いわば「闘う華氏911」。11月の米・大統領選を待たずして、本物のヒールが日本に見参するのだ。

WWEのファンなら、彼のその前のキャラもご存知だろう。ブラッドショーのリングネームでファルークと共にAPAというチームを結成。何よりもビールとギャンブルを愛するテキサスの荒くれ者を長らく演じていた。得意技はクローズライン・フロム・ヘル（ラリアット）。ブロディ、ハンセンを愛し、テリー・ゴディからの影響も隠さない彼は典型的なアメリカのラフ・ファイター。スマックの控え室では、アンダーテイカーとAPAが若手のお目付役だったというし、スマックのいわゆるポリスマンも彼だった、という説もある。

昨年は左腕の上腕二頭筋の治療に専念していたが、この春からJBLという新たなキャラを得て戦列復帰。見事なヒール振りを発揮するが、6月のドイツ遠征では度が過ぎて、リング上で「ハイル・ヒトラー！」のポーズを演じてしまう。間もなくケーブル局CNBCのレギュラー番組を降ろされる羽目に（彼の副業は証券アナリスト、専門書も出版している）。洒落にならない冗談をかましてしまったが、WWEはこれからもJBLのキャラをサポートしていくという。

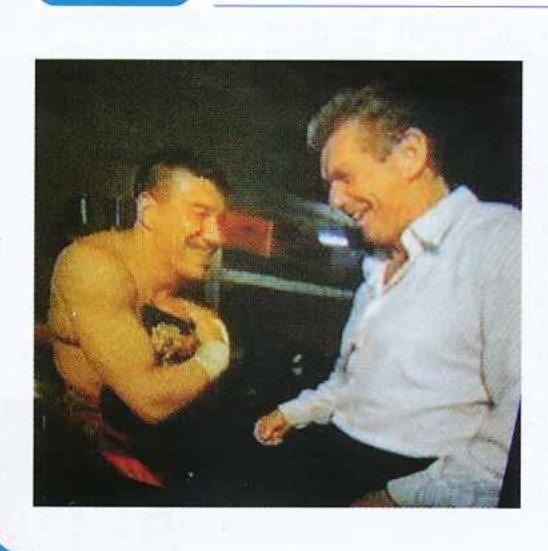
実際にテキサス州スィートウォーターという町に生まれ、父親は銀行家。JBLも10代の頃からアルバイトに精を出す、勤勉な白人だったらしい。米軍基地への慰問にも積極的な愛国者で、過去にはアフガニスタン、イラク、クエートなどの基地も訪問。父親はかつて陸軍に在籍し、兄弟は海兵隊にいたという。事実を膨らませてフィクションを仕立て上げるのがWWEのお家芸だが、こうしてみるとJBLのキャラ設定の殆ども、本人のルーツに基づいているのが分かる。こういう熟考ぶりが団体の奥の深さでもある。アナリストのレギュラー番組を得た彼はテキサスを離れ、NYに移住、おまけに再婚までしてしまった。彼を経済界に紹介するきっかけとなった人物はミック・フォーリー。「フォーチュン」誌の取材で「資産の運用についてなら、俺よりブラッドショーの方がずっと積極的だよ！」と答えたのが関係者の耳に届いたのだそうだ。

経済家宣言〜NY転居〜レギュラー失職（笑）と、慌ただしい人生を送るJBL。日本のリング上でも、是非日本人に分かる毒舌を披露してほしいもの。「ネンキン、ビンボー！」でもいい。「ミツビシ、エンジョー！」でもいい。我々ファンも、先日のトルコの反米デモのように「ヤンキー、ゴーホーム！」なんて声高に叫びながら、愛国者の困ったちゃんを迎えたいものである。（長谷川博一）

6月27日に行われたPPV『グレート・アメリカン・バッシュ』において、因縁が加速度的にヒートアップするJBLとエディはテキサス・ブルロープ・デスマッチで激突した。

これまたアメリカ人至上主義のGMカート・アングルの陰謀によって、JBLは王座を奪取！　果てしなく続く抗争もアメプロの原点だ。

お楽しみ **04**

セックス!　ドラッグ!　プロレスリング!
日本未放送のエディ特番で見せた熱演、そしてビンスとの抱擁!!

去る5月、エディ・ゲレロのドキュメンタリー番組「CHEATING DEATH, STEALING LIFE〜THE EDDIE GUERRERO STORY〜」が米放送局UPNにて放送された。ヒスパニック自慢の文化ともいえる車＝ローライダーを走らせながら、幼少時を振り返るエディ。当時の8ミリ・フィルム（末っ子でママっ子の素顔が丸出し！）や新日マットでのクリス・ベノワ戦など秘蔵映像も豊富。特に薬物&アルコール中毒に悩む時期は長時間語られ、パーティで騒いだり、ブレイクダウンに悩む様子は本人自ら再現フィルムに出演（笑）。しかしザ・ロック、HHHに次いでWWEが俳優としてエディをプッシュしている、との噂も合点がいく好演ぶり。一度は全てを失ったエディがこの2月、遂にWWE王座を手に入れ、バックステージでビンス・マクマホンと固く抱き合うシーンには涙、涙。ドラッグを克服したエディ、若い世代にとっての新たなロールモデルとして、大変な人気を集めているさまが想像できる。（長谷川博一）

お楽しみ 05

Word Life!(これマジ!)『SMACKDOWN!』のNO.1若手有望株とNO.1アナウンサーの友情がフナキのフィギュアに結実!

日本人レスラーなら一度は経験したい日本武道館の舞台に、WWEの一員として上がれる——。今まで何度も凱旋しているフナキだが、今回の来日はかつてない期待で胸が膨らんでいるという。

武道館はいわずと知れた日本プロレス界で、最も権威のあるアリーナのひとつ。フナキ自身、日本のインディー在籍時代にセコンドとして武道館に足を踏み入れたが、試合をするのは初めてだという。

二日間ともストーリーラインに縛られないカードなので(P149参照)、できることなら最終日くらいはスーパースターも観客もハッピーになれるカードが観たい。ミックスドマッチはいろんな意味で男性ファンには〝ハッピー〟だが、個人的にはジョン・シナとのコンビが観たいのだ。二人でラップを楽しんでいる時にFBIが乱入、そのままタッグマッチになだれ込むという流れなら最高だ(ホ●ムメ●ド家族の乱入は勘弁で)!

ジョン・シナとフナキは公私共に仲が良い。それにシナはフナキに絶大な信頼を寄せているという。今年3月、『デイリースポーツ』の取材でフナキにインタビューした際、様々なエピソードをうかがった。現在フナキは、バックステージにおけるボーイズ達のアドバイザーとして、絶大なる信頼を受けているという。試合を終えたボーイズは、フナキに駆け寄り「ショー!試合どうだった?」と感想を聞いてくる者が多く、ジョン・シナもその一人。お互い様々な意見を交換し、プロとしてのあり方を学びあっているという。二人に関するエピソードは他にもある。

先日、WWEのフィギュアを発売しているメーカーの「ジャックス」が、シナの新作フィギュア製作の為、打ち合わせをした。その席でシナは「今回リリースされるラインナップにフナキはあるのか?」と切り出した。この問いに対しメーカー側は「えー、残念ながら今回フナキは含まれてません!」とバッサリ。するとシナは「なんでフナキのフィギュアを作らないんだ!あんなにWWEに貢献してるのに!必ず作ってくれ!これマジ!」と一喝した。なんと素敵な友情!これマジ!

このシナの一言で、フナキは初のフィギュア商品化が決定!出来上がったサンプルを観たフナキは満面の笑み!シナもフナキ以上に大喜びしたという。じつに微笑ましい!

そんなシナは「いつかはフナキとタッグを組んでみたい!」と常に言っており、フナキも望むところだそうだ。両者が切望するタッグ結成。日本の地で実現すれば、両者とも格別な思いでリングに上がり、我々を存分に楽しませてくれると思うのだが。(阿部タケシ)

お楽しみ 06

『SMACKDOWN!』の明日のエースを探せ!

WWEに新人が登場する場合、まず『SMACKDOWN!』のリングに上がる場合が多い。『SMACKDOWN!』は若手有望株の宝庫でもあるのだ。ついにデビューを果たした「名高い人」ケンゾー・スズキもその一人。ゲイシャ・ガールこと浩子夫人(写真・右下)を引き連れ、連勝街道を突き進んでいる。まだ『SMACKDOWN!』の世界に完全にフィットしたとは言い難いので日本ツアーにラインナップされなかったのは正解だと個人的には思う。プロモでは「日本を背負って」とまで言ってる以上、中途半端なままの凱旋では去年のウルティモ・ドラゴンになりかねない。WWEのナイス判断だ!そんな中、『SMACKDOWN!』でヒールとして急成長中なのが、〝フレンチ野郎〟レネ・デュプリー(写真・左上)だ。愛犬のフィフィ(プードル)を連れ、フランス国旗を背負って入場する嫌味な男で、敵を倒しておいて頭の付近で踊る「フランス踊り」は必見だ。これで、まだ20歳だというんだからWWEの人材は層が厚い!(ノブ)

お楽しみ 07

7/23発売の新作DVDを各1名に読者プレゼントします!

夏!水着!ケツ!ディーバ!オッパイ!メキシコ!簡単に説明すれば、そんな感じだろう。今作ではメキシコのリゾート地であふれんばかりの巨乳&絶世の美脚を惜しげもなくディーバたちが披露する。新顔のディーバも加わり、セクシー度は200%アップ!さらに特典映像では過去に行われたビキニ戦やブラ&パンティ戦などが股間を直撃!『コンフィデンシャル』のディーバ特集なども収録。末永くお付き合いできる一本だ。

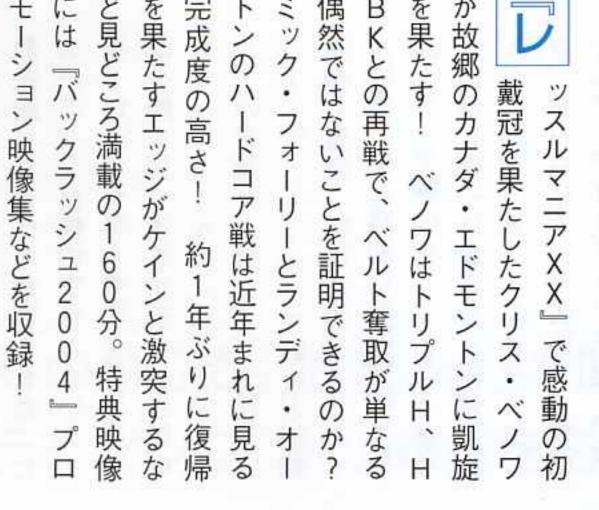
1名様にプレゼント!

『ディーバサウス・ボーダー』セルDVD:¥4700(本編55分/特典映像127分)7月23日発売
提供■ユークス

レッスルマニアXX』で感動の初戴冠を果たしたクリス・ベノワが故郷のカナダ・エドモントンに凱旋を果たす!ベノワはトリプルH、HBKとの再戦で、ベルト奪取が単なる偶然ではないことを証明できるのか?ミック・フォーリーとランディ・オートンのハードコア戦は近年まれに見る完成度の高さ!約1年ぶりに復帰を果たすエッジがケインと激突するなど見どころ満載の160分。特典映像には『バックラッシュ2004』プロモーション映像集などを収録!

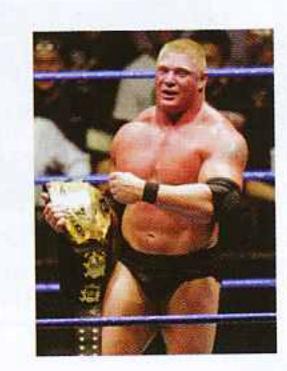
1名様にプレゼント!

『バックラッシュ2004』セルDVD:¥3800(本編160分/特典映像23分)7月23日発売
提供■ユークス

お楽しみ 08

ケツ丸出しビキニの裏に潜むディーバの厳しい現実とは?

とにかく、まずはこの写真を堪能して頂きたい。昨年、局部のみを隠す97%全裸の衝撃的なビキニで日本中をアッと言わせたのはセイブルだった。今年もセイブルはもちろんトリー・ウィルソン、ドーン・マリー、ミス・ジャッキーが来日する。だが、個人的に最も期待していた〝アマゾネス〟ことシャニークワはOVWで調整中のため来日がお流れに! あのムチさばき、あのスレンダー・ボディ、あの巨乳が拝めないのかとガックリしているところに、追い討ちをかけるような衝撃ニュースが入ってきた。6月中旬、OVWの参謀ジム・コルネットと口論。それが発端で、調整先のOVWでは練習をサボる毎日らしく、レスリングを学ぶ姿勢が薄れてきたのではないか? との噂が。現在、彼女はリストラ対象となっており、窮地に立たされているという。さらに女性初のクルーザー級王者に君臨して世間を騒がせたジャクリーンもリストラ対象の一人になっているというから、リング上でレスリングをしたいディーバには受難の時代なのかもしれない。たしかに「ケツと花火はWWEの華」なのだが、それ以外のディーバに活躍する道がないとなると、それはそれで寂しい。(阿部タケシ)

お楽しみ 09

昨年の日本ツアーの主役だったレスナーは今、NFLに挑戦中!

ESPN公式サイトにWWEから4500万ドル(45億円!)という破格の契約提示を受けながら、家族を選択したという美しい話が掲載されている。また、4月に起こしたバイク事故でアゴや左手の骨折などに加え、〝テスティクル〟を強烈に打ちつけ、数週間ポコ●ンが紫色に変色し腫れ上がっていた事実を赤裸々に告白。苦痛を呼ぶ男は、かつてない苦痛に見舞われていた模様だ。ミネソタ・バイキングスとインディアナポリス・コルツのトライアウトは、どちらも契約にはいたらなかったが、フィラデルフィア・イーグルズ、サンフランシスコ・49ersのトライアウトを受ける予定。NFLへの可能性はまだ残されている。(阿部)

お楽しみ 10

オースチン自伝を5名様に読プレ!

離脱してしまったが、過去最高のWWEスーパースターの一人、ストーンコールド・スティーブ・オースチンの日本語版の自伝が発売された。WWEが抱える問題を鋭く指摘している点やテキサスの田舎モン丸出しなオースチンの親戚の写真など必読!

『ストーンコールド・トゥルース』(エンタープレイン:¥2000)

※読者プレゼントの応募方法はP157を参照してください!!

WWE『SMACKDOWN! Return of the Deadman Tour』

▼7/16 東京・日本武道館 18:00開始

●SMACKDOWN! GMミスター・アングルpresents

【WWE世界ヘビー級選手権】
エディ・ゲレロvsジョン・ブラッドショー・レイフィールド

【スペシャル「GREAT AMERICAN BASH」PPVマッチ】
ジ・アンダーテイカーvsダッドリー・ボーイズ

【トリプルスレット・US選手権】
ジョン・シナvsレネ・デュプリーvs RVD

【クルーザー級選手権】
レイ・ミステリオvsチャボ・ゲレロJr.

チャーリー・ハースwithミス・ジャッキーvsルーサー・レインズ

ビリー・ガンvsモーデカイ

【ディーバマッチ】
トーリー・ウィルソンvsドーン・マリー〈br〉
※リングアナ　セイブル

スパイク・ダッドリー&フナキvsF.B.I.(ジョニー・スタンボリ&ナンジオ)

ビリー・キッドマンvsマーク・ジンドラック

▼7/17 東京・日本武道館 18:00開始

【WWEヘビー級選手権】
エディ・ゲレロvsジョン・ブラッドショー・レイフィールドvsジ・アンダーテイカー

【US選手権】
ジョン・シナvsレネ・デュプリー

【WWEタッグ選手権】
RVD&レイ・ミステリオvsダッドリー・ボーイズ

スパイク・ダッドリーvsチャボ・ゲレロ

ビリー・キッドマンvsモーデカイ

チャーリー・ハースwithミス・ジャッキーvsマーク・ジンドラック

ビリー・ガンvsジョニー・スタンボリ

【ミックスド・タッグマッチ】
フナキ&トーリー・ウィルソンvsナンジオvsドーン・マリ
※リングアナ セイブル

当初、参戦が発表されていたチャボ・クラシックは解雇された。ストーリーラインへの不満からクリエイティブ・チームと衝突して無断欠場をした模様。ビッグ・ショーとリコは負傷のため欠場。ポール・ロンドンが外された理由は分からないが、見たかったのになぁ……。

お楽しみ 11

WWE FC会員限定のイベントに2組4名ご招待!

【日時】7月16日(金)・17日(土)**【会場】**九段会館ホール(地下鉄九段下駅徒歩1分)

WWEのオフィシャルFC「WWEファンクラブ」は7月16・17日に武道館からほど近い九段会館ホールにて会員限定イベント「SKY PerfecTV! presents SUPERSTARS MEETING」を開催します! 内容はスーパースターとの撮影会やプレゼント大会、トークショーを予定してます。このイベントのチケットを抽選でペアで各日2組4名様ご招待!! 希望日を明記して7月13日(火)必着でP157の読者プレゼント募集要項を参照の上、ご応募ください!!

WWE FC ホームページ　http://www.wwefanclub.ne.jp

【お問い合わせ】
WWEファンクラブ事務局　TEL.03-5738-5722

お楽しみ 12

"オリンピック・ヒーロー"から一転して卑屈なGMに大転身! 今年の「YOU SUCK!!」大合唱は愛を込めずに力を込めよう!

今回の日本ツアー、カート・アングルは車椅子に乗った卑屈なGMとして来日する。昨年はベビーフェイスとして、日本のファンから愛ある声援（「YOU SUCK!」）を浴び満面の笑みで登場したが、今年は仏頂面で手を組み、眉間にシワを寄せて登場するだろう。

数十メートル上からビッグ・ショーに叩き落された翌週、リング上から行なったプロモでカートは涙を流した。その涙は、試合が出来ない自分に対する本当の涙だったという噂もある。それ以来、ズボンの上からギプスをはめたカートは車椅子に乗ってGMの職務をこなしている。

アマレスで輝かしい実績を持つ彼だが、4年に一度必ず浮上するのが"カート・アングル、オリンピック出場"の噂。もちろん、今年のアテネ・オリンピック前にも出場の噂は浮上した。そんな噂に対して本人はTSN canadaでこうコメントした。

「オリンピックに出場できる万全な体調は作れないし、年齢的にも時期は過ぎた。2000年にも噂された。実際もう一度って気持ちはあったけど、膝は最悪だし、首はガタガタ。アマレスは競技自体も生存競争も実に激しい世界だ。アマレスに関しては引退だね」

では、プロレスに関してはどうなのだろうか？ 残念ながら「レッスルマニアXX」で行なったエディ・ゲレロとの一戦から体調は未だボロボロ。首の状態は最悪で、時折手足に痺れを感じるという。決して大柄ではない体で、テイカーやビッグ・ショーといった自分よりも大きいレスラーと戦い続け、ハードなバンプで肉体を酷使してきた。デビューして5年という、短い期間でトップレスラーに登り詰めたが、その代償は計り知れないものだった。

「現在のGM役は楽しんで演じている」というカートだが、我々が観たいのは車椅子に腰掛け、暴言を吐く姿ではなく、ファンを唸らせるムーブで度肝を抜く"リアルオリンピック・ヒーロー"の姿である。もちろん、本人もこのまま終ることは考えていないはず。

「レッスルマニアXX」以前に放送された「Byte this」出演の際、「レッスルマニアXXでは誰と戦いたい?」という問いに対し、カートは意外な人物の名前を挙げた。

「ブレット・ハートと闘いたい。彼も紙面を通じて僕を評価してくれている。最高の試合をする自信がある!」

現在までにWWEが度々接触しているブレット・ハート。ハート家とWWEとの因縁を考えれば、現実的に不可能に近いが、プロレス界に"絶対"はない。カートも未だその一戦が行なえることを信じてやまない。

カートは現在、8月のPPV「サマースラム」での復帰に照準を絞り、必死にリハビリに励んでいる。

（阿部タケシ）

従者のルーサーも遂にデビューした。現在、カート・アングルはプロレスが出来ない体でJBLと結託してエディを苦しめている。

お楽しみ 13

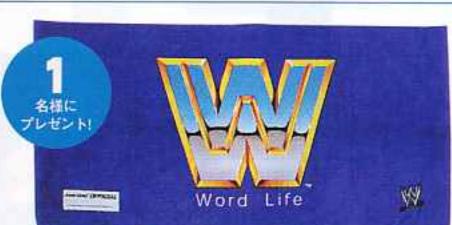
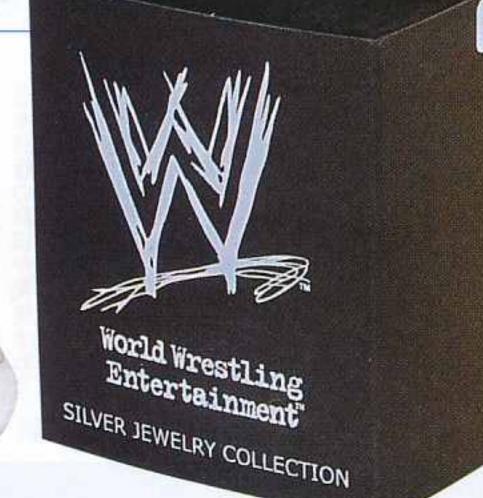
観戦する際の"たしなみ"としてWWEグッズはマスト! 今夏の『SMACKDOWN!』新作アイテムをご紹介!

Photo／Butsuzou Tonari

ミステリオ BASEBALLジャージ
カッコいい! サイズはM～XL。
¥10290（税込）

エディ・ゲレロ ダイス
エディが登場する際、ローライダーのバックミラーにはこのダイスがぶら下がってます。ズルして頂き! ¥1890（税込）

1名様にプレゼント!

ジョン・シナ タオル
WWF時代のロゴをモチーフにジョン・シナの決め台詞「Word Life!!」を大フィーチャー。
¥4725（税込）

アンダーテイカー・シルバーリング
テイカーの強さ、恐ろしさ、おどろおどろしさを込めたシルバーリング「EVIL RING」が遂に発売! ¥29400（税込） 製造：JAP工房

ジョン・シナ カモフラTシャツ
シナの決め台詞「You can't see me!!」が胸に入ったカモフラ柄のTシャツ。サイズはM～XXL。¥5145（税込）

ミステリオ イラストTシャツ
ミステリオの必殺技「619」が胸に入ってます。サイズはM～XLまで。
¥5145（税込）

アンダーテイカー タオル
シナのタオル同様、ドデカいです。ビーチで使うもよし、会場で広げるもよし!
¥4725（税込）

1名様にプレゼント!

1名様にプレゼント!

エアーWWEチェアー
高級感溢れるWWEソファー……ではない。空気を注入して、夏のビーチとかでゆったり座りたい逸品。¥7140（税込）

NON STOP

WWE日本大会が開催される日本武道館から最も近いWWE専門店がこちら!

[NONSTOP]
東京都千代田区神田錦町3-6
錦町スクウェアビル1F

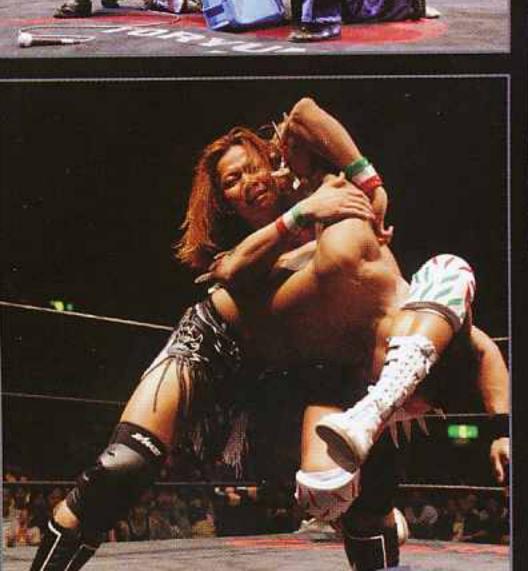
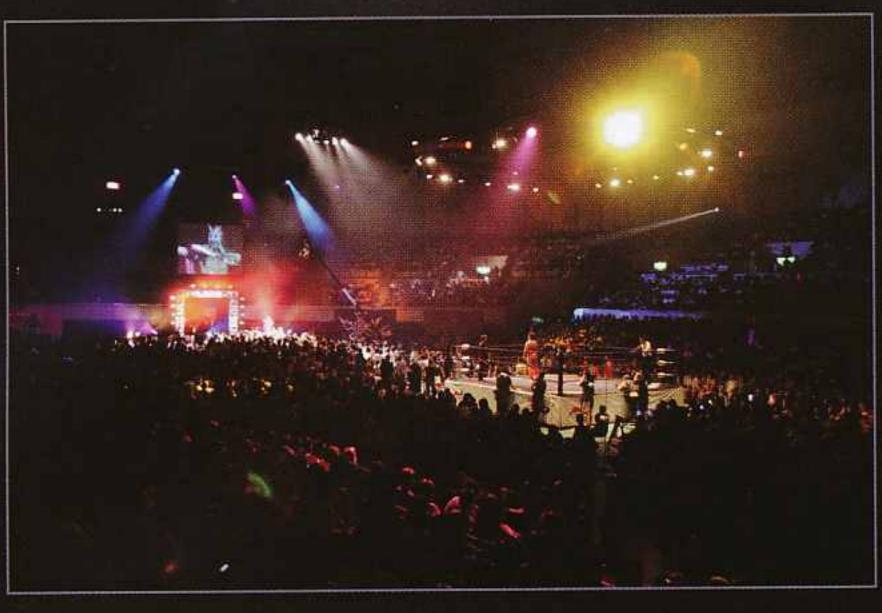
【最寄り駅】JR「御茶ノ水」駅 徒歩10分／都営新宿線「小川町」駅 徒歩5分／東京メトロ「新御茶ノ水」駅 徒歩5分・「神保町」駅 徒歩7分 【営業時間】12:00～21:00／無休

ウルティモ・ドラゴンのサイン会を開催!!

ジャックス・パシフィック社初の日本限定フィギュア「ウルティモ・ドラゴン」（¥2310・税込）発売を記念してウルティモ・ドラゴンのサイン会を開催!! 当日、限定フィギュアをお買い上げの方、先着350名様対象です。オフィシャル・プロモフォト（¥1575）を当日ご購入の場合、こちらにもサイン可能です。ポラ2ショット撮影（¥800：ポラロイドは当方にてご用意いたします）もあります。詳細はホームページをチェック!!

【日時】7月19日（月・祝）13:00～15:30
【場所】東京都千代田区神田錦町3-6 NONSTOP店内
【HP】http://www.nonstop.co.jp/

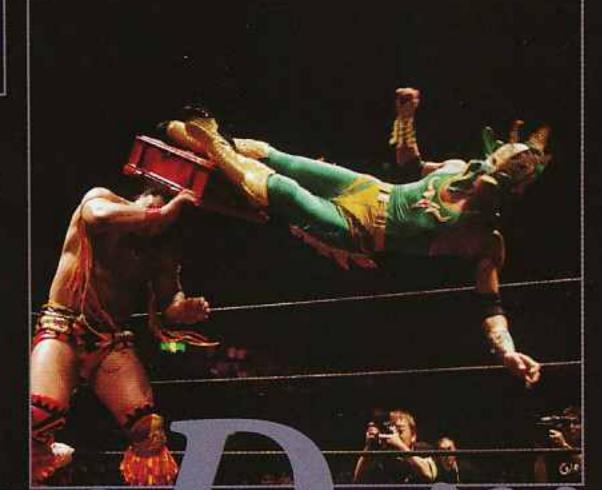
※このページで紹介した商品はNON STOPで購入できます。なお、読者プレゼント応募方法はP157を参照!!

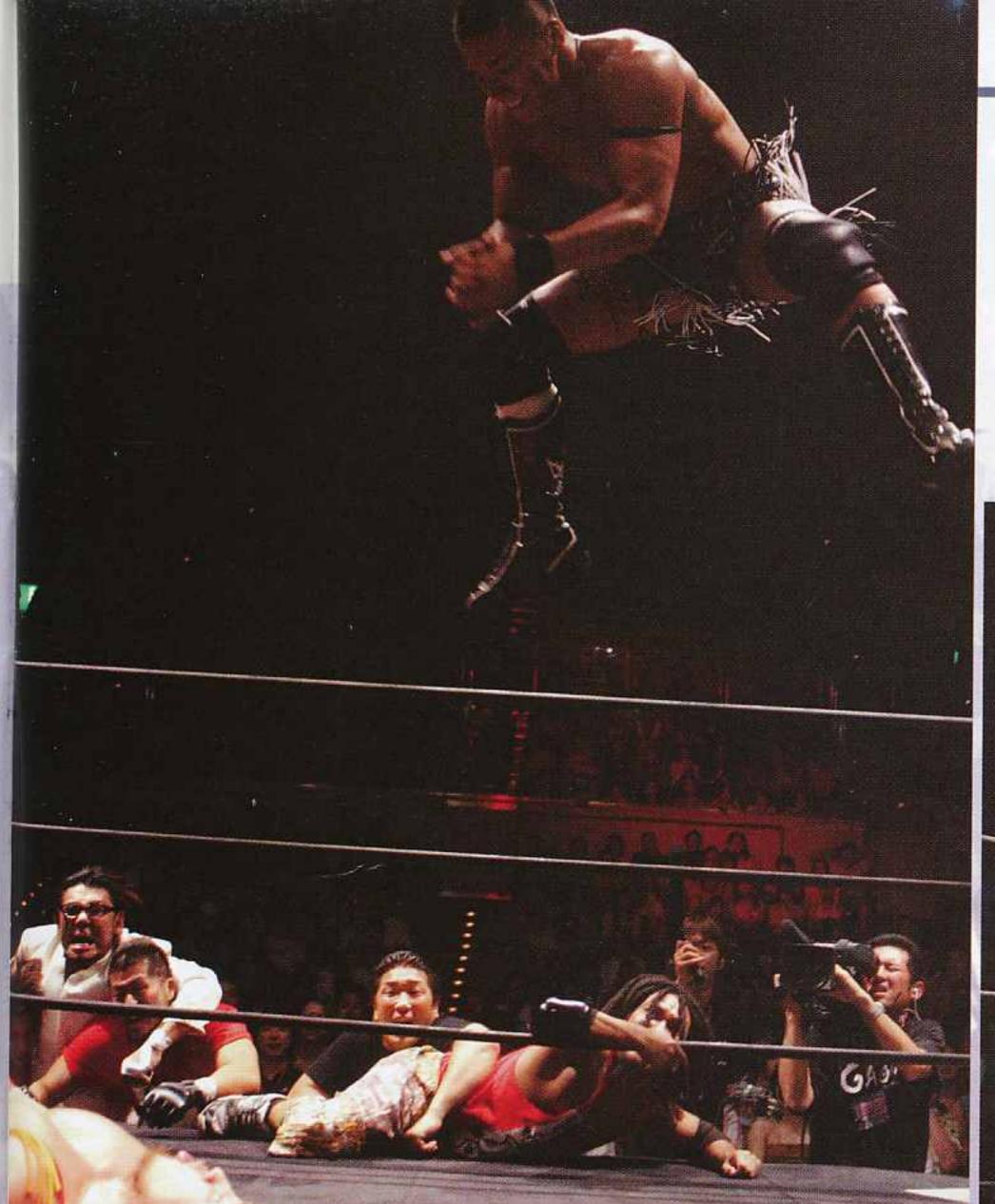
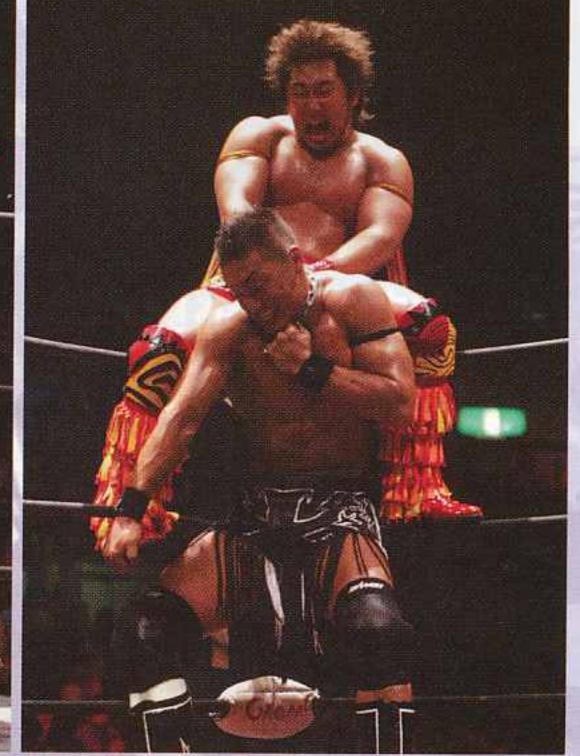
闘龍門神戸ワールド記念ホール大会、大成功!!

子供たちの挑戦はさらなる高みへ

闘龍門

Independence Day

5周年の独立記念日

7·4

写真／平工幸雄　構成／ささきぃ

designed by Tani-Yan（Two three）

CIMA 第4代UDG王者に輝く!!

イタリアンコネクション＆ＤＦ連合軍からはＹＯＳＳＩＮＯ、ドラゴンキッド帝国からは国王キッド、悪冠一色から近藤修司、Ｃ－ＭＡＸからＣＩＭＡが参戦したＵＤＧ王座決定トーナメント。決勝に勝ち残ったのは近藤とＣＩＭＡだった。悪冠一色軍団の介入、近藤のチェーン首吊りなどに苦しまされるＣＩＭＡだったが、大鷲透の暴走に怒った岡村社長がリングイン、１対１の闘いに。近藤のキングコング・ラリアットをナカユビで返したCIMAが、ロープ際で倒れた近藤にトカレフ。最後はシュバインからマッドスプラッシュへつなぎ、22分にわたる激闘を制した。

感無量のＣＩＭＡ、決着後に絶叫。ベルトを手にマイクを持つと「ありきたりの言葉で非常に申し訳ないけど、ありがとう!! 6回目の神戸ワールド記念ホールに来て、はじめて最高の快感を味わいました」とマイク。最後は「同じ日にデビューした俺の双子」マグナムへ向かって「もう後悔はないな。行く道行くぞ。どんどんでかくしていこうぜ」と呼びかけ、しっかりと抱き合った。最後にマイクを渡されたマグナムは「トコトンまでいってやろうと思います!! みんな応援よろしく、ありがとう!!」とマイク、リング上全員で円陣を組んで気合い。5周年記念の大会を、あらたな第一歩へのスタートでしめくくった。

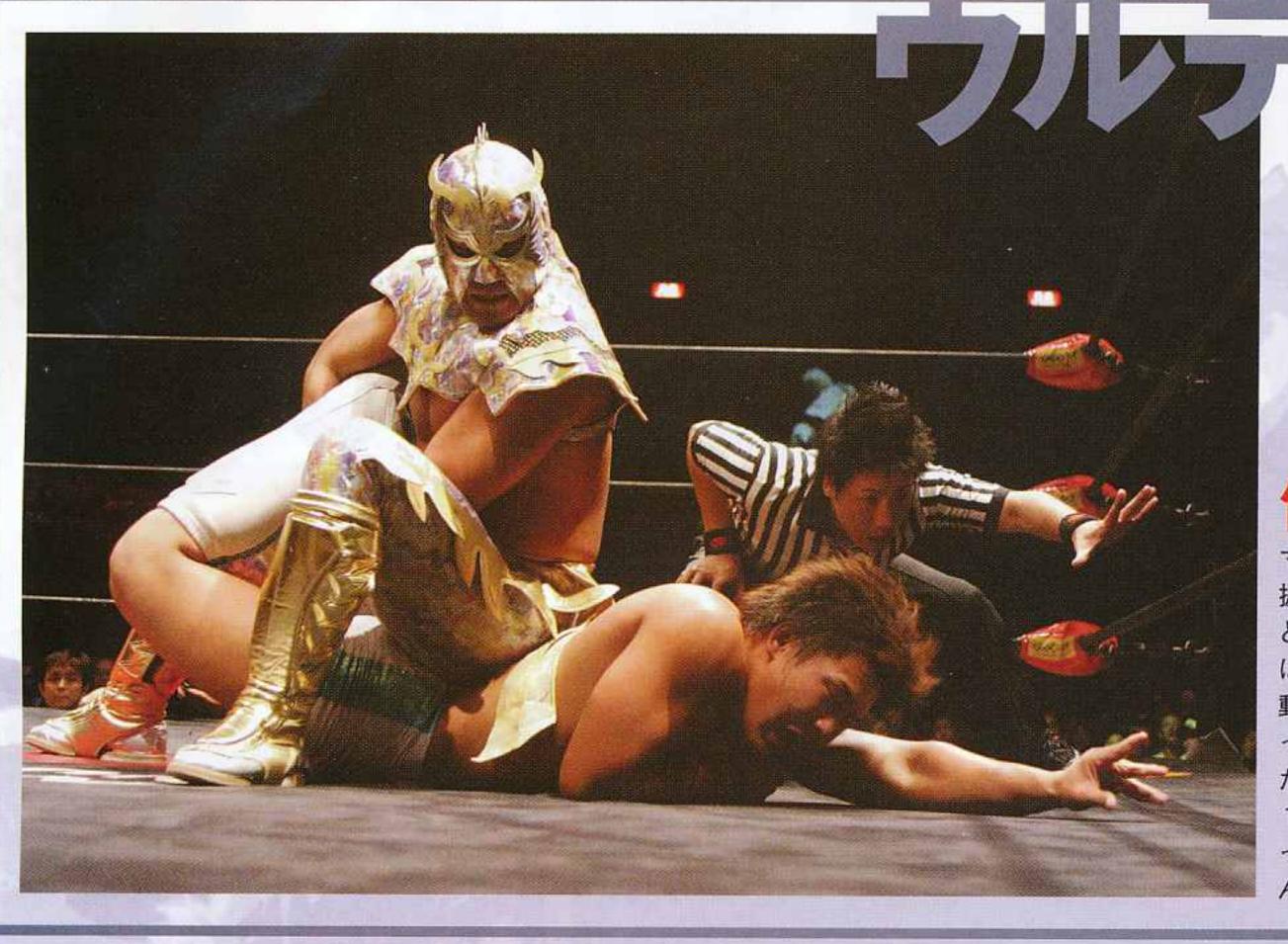
「大会がどうなろうと自分には関係ない。自分は自分の試合をするだけ」

——ビッグマッチを前にした選手から、そんな言葉を聞くことがやたらと増えた。フリー選手だけではなく、団体の中枢を担うはずの選手でさえ「いさかい」や「いきちがい」の末、団体の命運がかかっているはずの大会前に「大会がどうなろうと関係ない」と吐く。そう言っておいて気にかけているのではなく、本当に大会がどうでもいいとしか思えない試合をする。かつて、団体内派閥に心惑わされることなく、最高の試合を見せる、そんな志の高さを思わせる言葉だったはずが、乱発されることによって無責任な言い訳に代わっていった。７月４日、闘龍門５周年記念・神戸ワールド記念ホールを見た後には、そんな言葉がさらに空虚に思える。

「この大会を闘龍門のベスト興行にする使命があった。全員の使命だった」。正面から自分の責任を背負い込み、自分の役目を全うしたＣＩＭＡが試合後にそう語った。

５周年記念大会へ向かう闘龍門のエネルギーは、他団体の「ビッグマッチ」へ向かうそれとはレベルが違っていた。６月20日『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』準決勝の裏では、当然のようにディファ有明をギチギチに埋めた。大会へ向かうリング上のストーリーをはじめ、ビッグマッチというのは、ここまで気合を入れて取り組むべき大会なのだな、と感心させられるほどだった。

最高の日に、最高の試合を、最高の舞台設定で見せるために、地方大会ひとつ、やや大きめの大会ひとつ取っても当然すべきことがある。試合は完璧、マイクも当然。宣伝カー

ウルティモ校長 闘龍門最後の闘い!!

健介ファミリーの長男が闘龍門初登場。スーパージュニアのリベンジに挑んだが、ウルティモがマヤ式原爆固め勝利。迎えに来たお父さん、健介と握手をかわした。ウルティモは「非常に残念ですけども、ウルティモ・ドラゴンが闘龍門で試合するのは今日で最後です」とマイク。今後は他団体での活動のほか、メキシコでの選手育成を行っていくと語った。「俺はこの闘龍門JAPANに必要ない。選手たちでやっていけると思う。闘龍門はお客さん1人1人が育ててくれた団体です。これからも育てていってください」。控室では、選手たちがモニターを囲んで師の言葉に耳を傾けていた。

健介 フロリダブラザーズ入り!!

フロリダ・ブラザーズ登場後「この男がリベンジにやってきました!!」のアナウンス、そして聞こえてきたのは「テイク・ザ・ドリ〜ム」!! フロリダの「負けたらフロリダ・ブラザーズに入ってクダサイ」という提案を受け入れた健介。「神戸の異人館から、この世で最も怖い生き物を連れてきた」の言葉とともに、北斗晶が登場!! ビビりまくるフロリダ。そこに営業副部長としてチケットを売りさばいたストーカー市川が登場、果敢に北斗に向かっていくが、ノーザンライト・ボムであっさり撃沈。腰がひけているフロリダだったが逃げ切れず試合スタート。健介のパワーと北斗の前にやられまくるも、最後は夏季限定・新開発のイスで北斗をひっかけることに成功。見事勝利した。

試合後、健介は約束どおり「マイ・ネーム・イズ・ケンスキー……」とフロリダ入り。「終わったな、佐々木健介も。もう家に帰ってこなくていいよ」と北斗に叱られるもマイケルは「終わったのはあの人の女の華デース」と一言。健介は「いいなぁ、そこまで言えるって」と感心していた。

で走ることとさえする。闘龍門UDG決定トーナメント、健介ファミリー登場、ウルティモ・ドラゴンとの別れ。M2Kの復活、マグナムTOKYOの復帰。この日のために用意されたストーリーが、濃縮されてリング上で展開される。

すべてが必死だけど悲壮感はない。志は高いけれど、観客には敷居が低い。あくまでも笑えて、大会が終わると元気になる。

他団体のプロレスを基準に語っていては、この日の大会を伝えることは出来ない。「7月4日はアメリカの独立記念日でもあるけれど、闘龍門の独立記念日でもある」。CIMAが試合後に語っていた言葉だが、「ウルティモ・ドラゴンからの独立」だけではなく、この日の闘龍門はまたひとつ「プロレス」の概念から独立した「闘龍門」という新しいエンターテイメントのジャンル確立へ近づいた。

努力という古臭い言葉が、こんな素晴らしい大会を生み出すのなら、それも悪くない。驚くほど殊勝な、そんな気持ちにさせられた大会だった。

闘龍門JAPAN、名称変更!! 新団体名はドラゴン・ゲート!!

7月5日、浅草「花やしき」内で闘龍門JAPAN全選手と岡村社長、ウルティモ・ドラゴンが公開記者会見を行い、団体名称の変更を発表した。またUDG王者となったばかりのCIMAはベルトを返納し「ウルティモ・ドラゴンの弟子として胸を張れるよう大きくなりますので、どうか温かく息子たちの旅立ちを見守ってください。今までどうもありがとうございました」と涙の挨拶。今後、メキシコの闘龍門とDRAGON GATEは別々の道を歩いていくことになる。

1859 POINT

『紙のプロレスRADICAL』&
『紙のプロレスHand』読者が選ぶ

紙プロ大賞2004

KAMI-PRO AWARD 2004

上半期結果発表

MVP 小川直也

MVPはブッチギリの得票数で小川直也に決定──ッ!! 『PRIDE・GP』の活躍はもちろんだが、『ハッスル』に懸ける想いが共感を生んだことも見逃せない。思えば01年『紙プロ』大賞で、オーちゃんは『猪木祭り』銭ゲバ騒動の余波でワーストMVPに選ばれてしまった。その後はZERO-ONEのリングでプロ観に磨きかけ、今回の『PRIDE・GP』の参戦では、『ハッスル』というステージを通して、その崇高なるオーちゃんの動機がファンの心に届いたともいえる。

3th PRIZE 125 POINT 髙田総統

古くからの友人・高田本部長を差し置いて、あの高田総統がBEST5入り!! もともとは徹底したヒールキャラであったが、的を射た発言の数々に総統信者は急増中。先日はヤドカリのアキレス腱をヘシ折る魔人ぶり！ 麻薬的な魅力が総統にはあるのだ。ビターンッッッ!!!!

2th PRIZE 261 POINT ケビン・ランデルマン

『PRIDE・GP』を盛り上げた影のMVPといっても過言ではない。ミルコ・クロコップを破り、ヒョードル戦でもあわやのシーンをつくりだしたキングコングは、その人間臭さも魅力のひとつ。「俺も怖かったんだ!!」──ミルコ戦勝利後の独白に、心を打たれたファンも少なくない。

6nd PRIZE E・ヒョードル 84 POINT

7nd PRIZE ミルコ・クロコップ 81 POINT

8nd PRIZE 須藤元気 69 POINT

9nd PRIZE セルゲイ・ハリトーノフ 39 POINT

10nd PRIZE ドラゴン・キッド 25 POINT

5th PRIZE 87 POINT 藤田和之

サップのあまりのだらしなさに喰われた感はあるが、それでも日本人初のサップ越えは勲章だ！ プロレスでは棚橋戦で評価を上げ、現IWGP王者にも君臨。新日本が事実上の"アントン政権"を樹立したことで、新日本・下半期の鍵を握る男でもある。

4th PRIZE 96 POINT 佐々木健介

古巣・新日本にカムバックした健介は、当初ヒールで売り出されるはずだったが、その朗らかな人柄や正直すぎる性格が功を奏して、超ベビーフェイスとしてブレイク!! "鬼嫁"北斗晶、中島君が両脇を固め、健介ファミリー旋風がヴァーとマット界を席巻した。

Worst Fighter

順位	名前	ポイント
1 nd PRIZE	ボブ・サップ	1348 POINT
2 nd PRIZE	谷川貞治	287 POINT
3 nd PRIZE	永田裕志	148 POINT
4 nd PRIZE	A・イグナショフ	87 POINT
5 nd PRIZE	中西学	75 POINT

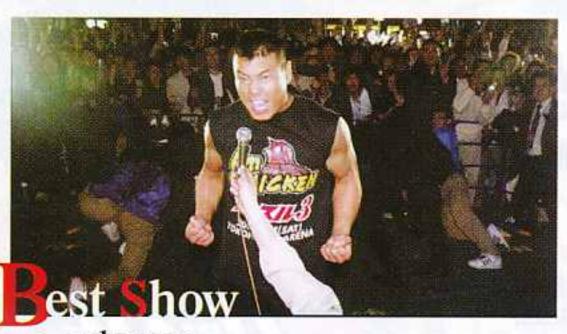
Worst Match

順位	大会	対戦	ポイント
1 nd PRIZE	5・22『ROMANEX』さいたま	藤田和之 vs ボブ・サップ	786 POINT
2 nd PRIZE	5・22『ROMANEX』さいたま	中邑真輔 vs A・イグナショフ	488 POINT
3 nd PRIZE	3・27K-1WGPさいたま	武蔵 vs 曙	212 POINT
4 nd PRIZE	5・23『武士道・其の参』横浜アリーナ	高瀬大樹 vs K・ニュートン	155 POINT
5 nd PRIZE	5・3新日本プロレス東京ドーム	武蔵 vs 柴田勝頼	144 POINT

Worst Show

順位	大会	ポイント
1 nd PRIZE	5・22『ROMANEX』	712 POINT
2 nd PRIZE	5・3新日本プロレス	501 POINT
3 nd PRIZE	K-1すべての興行	256 POINT
4 nd PRIZE	3・14K-1新潟	133 POINT
5 nd PRIZE	5・23『武士道・其の参』	122 POINT

K-1、MMA、プロレスと大車輪の働きをみせたサップだが、試合は総じて酷評を浴びた。サップ低調の影響が及んだのか、内容は決して悪くなかった『ROMANEX』がワーストショーに選出され、K-1興行は軒並みダメ出しを喰らう事態に。タイソン騒動ではすっかり"狼少年"状態の谷川さんもランクイン！ んあ〜!!

Best Show

順位	大会	ポイント
1 nd PRIZE	PRIDE.GP開幕戦	1001 POINT
2 nd PRIZE	PRIDE.GP2nd	745 POINT
3 nd PRIZE	6・28『ハッスル・ハウス』	89 POINT
4 nd PRIZE	2・4U-STYLE後楽園大会	66 POINT
5 nd PRIZE	4・24闘龍門代々木大会	45 POINT

『PRIDE・GP』開幕戦＆2ndがワンツーフィニッシュ!! 大差は付けられたが、異常な盛況振りだった『ハッスル・ハウス』が3位に付け、田村vs高阪のU-STYLE、闘龍門恒例のビッグマッチと、爆発的なライブ熱を生じたイベントがそれぞれ選出された。

825 POINT

4・25『PRIDE・GP』さいたまスーパーアリーナ

Best Bout
ミルコ・クロコップ vs ケビン・ランデルマン

ミルコまさかの一回戦敗退！『PRIDE』のリングには"絶対"はないことがあらためて如実となった一戦。優勝候補が消えたサプライズや、ミルコ失神というショッキングな結末、勝利に感極まるランデルマンの姿。すべてが印象的だった。その後のランデルマンの躍進、ミルコの新たな復讐譚の幕が開き、それぞれのドラマを生んでいる。

3th PRIZE 125 POINT
小橋健太 vs 高山善廣
4・25NOAH日本武道館

『PRIDE・GP』のその裏で、"純プロ・最後の砦"が意地を見せた！ NOAHからは取材拒否状態で情報およそ皆無、試合の模様をまったく伝えていない『紙プロ』に、これだけのポイントが集計されたのは凄い!! 武道館を揺るがす怒濤の熱戦だったのだ。

2th PRIZE 803 POINT
小川直也 vs ステファンレコ
4・25『PRIDE・GP』さいたま

オーちゃんの大義ある『PRIDE・GP』参戦は、K-1戦士を打撃で吹っ飛ばすシーンから幕を開けた。圧勝のオーちゃんは試合後にハッスルポーズを披露すると、あらゆる分野でそれをマネる人間が続出。『ハッスル』にとって大きなターニングポイントとなった一戦だ。

順位	大会	対戦	ポイント
5 nd PRIZE	5・22『ROMANEX』さいたま	須藤元気 vs ホイラー・グレイシー	101 POINT
6 nd PRIZE	4・25『PRIDE・GP』さいたま	A・R・ノゲイラ vs 横井宏考	90 POINT
7 nd PRIZE	6・20『PRIDE・GP』さいたま	R・アローナ vs R・ジャクソン	88 POINT
8 nd PRIZE	5・22『ROMANEX』さいたま	藤田和之 vs B・サップ	77 POINT
9 nd PRIZE	6・20『PRIDE・GP』さいたま	吉田秀彦 vs M・ハント	75 POINT
10 nd PRIZE	6・5大阪府立体育館	藤田和之 vs 棚橋弘至	62 POINT

4th PRIZE 105 POINT
ヒョードル vs ランデルマン
6・20『PRIDE・GP』さいたま

危険な角度で叩き付けたランデルマンのスラムも圧巻だったが、何事もなく攻勢に転じたヒョードルにもビックリ!! わずかな試合タイムながらも、レベルアップし続ける『PRIDE』のリングを象徴するかのような濃密な展開。

YOU! YOU! YOU! オマエらのためのプレゼントだ!!
RADICAL PRESENT
PRIDE
必勝
合格
サイン入り!!
★ランデルマンサイン入りはちまき
YOU! YOU! YOU! お前らのためにランデルマンのサイン入りはちまきをプレゼントだ! これがあれば、ランデルマンがミルコを轟沈させたように、不可能を可能にする力で受験戦争も乗り切れること間違いなし! 【ランデルマン提供】
3 名様
2 名様
1 名様
★破壊王&ミノタウロ・サイン色紙
ヒースを下し『PRIDE GP』決勝トーナメントに勝ち上がったノゲイラと、"肩刈り酋長" KATAKARIに勝利しアフロを免れた破壊王。夢の対談を果たした二人のサイン色紙をプレゼント! 【橋本&ノゲイラ提供】
★破壊王はちまき
編集部のどこからか発見されたもの。どの試合で使用したのか全く不明ですが、間違いなく破壊王のモノです。ホントですよ! 【編集部提供】
PRIDE
HUSTLE
勢いに乗りまくる『ハッスル』から、ハッスルグッズが続々登場! ハッスルロゴTシャツは『紙プロ』でも好評発売中だ! 7色のハッスルTを日替わりで着たおして、毎日ハッスルハッスル!! 【DSE提供】
01★ハッスルロゴTシャツ S~XL ブラック/イエロー/グリーン/ピンク/ブルー/レッド/ホワイト ¥3990
02★ハッスルメッシュキャップ ブラック/イエロー/グリーン/ピンク/ブルー/レッド ¥3150
03★ハッスルフェイスタオル ブラック/イエロー/グリーン ¥2100
04★ハッスルプロレスラーTシャツ S~XL ¥3990
05★ハッスルキーホルダー ¥1050
06★ハッスルストラップ ¥1050
07★ヒース・ヒーリングストラップ ¥1050
08★吉田秀彦黒帯ストラップ ¥1260(表&裏)
09★柔黒帯ストラップ ¥1050
10★JIU-JITSUブラックベルトストラップ ¥1050
[TEL] 03-5464-1531 [HP] http://www.so-net.ne.jp/pride/
各 1 名様
03
02
01
ハッスル
3・2・1
ハッスル! ハッスル!!
Heath Herring
07
08
ハッスル
ハッスル
JIU-JITSU
柔
吉田
HIDEHIKO
10
09
04
06
05
RADICAL No.76

ART JUNKIE

セットで1名様

★AJロゴ復刻Tシャツ
¥3990 S~L ホワイト/レッド/グリーン
★ティグラーマスクポストカード

数多くの格闘家とのコラボTシャツを実現し、No Art,No LifeなART JUNKIEが、AJロゴ復刻Tシャツ＆ポストカードをセットで『紙プロ』読者にプレゼント! 商品の問い合わせはGROUND COBRAまで。 【ART JUNKIE提供】
[TEL] GROUND COBRA 092-711-1021
[HP] http://homepage2.nifty.com/groundcobra/

P-STATION

01 02 03

各1名様

01★オブライトTシャツ S~XL ¥3800
02★ブロディTシャツ S~XL ¥3800
03★ブッチャーTシャツ S~XL ¥3800

レジェンドレスラーとカリスマグラフィッカーPowerGraphixxのコラボTシャツをプレゼント! デンジャラスKが監修した本格芋焼酎“俺の王道”も下記のアドレスから入手可能だ!
【P-STATION提供】
[TEL] 03-5453-0035
[HP] http://www.thread.jp/new/index.html

GREAT ANTONIO

各1名様

01 02 03

01★bock Tシャツ ¥4200 XS、M~XL ホワイト
02★サミー・リーTシャツ ¥4200 XS、M~XL ヘリテッジグレー/カリビアンブルー
03★藤波辰爾Tシャツ ¥4200 XS、M~XL ヘリテッジグレー/ホワイト

グレートアントニオでは現在リニューアル記念セール実施中! 名作Tシャツの数々が格安で手に入るチャンスだ。しかも1万円以上お買い上げの方は送料・手数料が無料。下記のアドレスにレッツ・アクセス!! 【グレートアントニオ提供】
[TEL] 03-3219-9550 [HP] http://www.great-antonio.jp/

HISAO MAKI

1名様

★梶原兄弟すてごろTシャツ
¥3200 キッズサイズ、S、M、L

男気が溢れに溢れまくるTシャツが完成! 残念ながらイベント限定商品のため発売が未定です。一般発売されるよう下記のアドレスに書き込もう! 【吉田豪提供】
[HP] http://www.ARTS-MA.com/maki

PUREBRED

1名様

★KILLER BEE Tシャツ
¥4200 L~XL ホワイト、ブラック

山本KID徳郁が所属するキラービーが、『紙プロ』読者にTシャツをプレゼント! 今号には間に合わなかった7・7『K-1 WORLD MAX』でのKIDvs安廣の一騎打ち。またしても狂乱ファイトが飛び出すのか!? 【KILLER BEE提供】
[TEL] 03-5447-1388
[HP] http://www.killerbee-tokyo.com/

HARDCORE

01

FRONT

02

HARDCORE 3 MONSTERS!

01★技の一号 力の二号
¥4500 チビ、S~L ブラック
※プリントはホワイトとエメラルドグリーンの2種類あります
02★モンスタープリンス
¥3500 キッズM~L、S~L ブラック/ブルー

ドラキュラとフランケンと狼男の三人組と怪物王子という愉快痛快なTシャツと、“暴走ライダーvsヘルショッカー”の暴走戦士追悼Tシャツ。暴走ライダー軍にはデモリッション、ラシアンズ、超合金戦士が参加だ!!
【ハードコアチョコレート】
[HP] http://hardcore.hp.infoseek.co.jp/

各1名様

HARUICHIBAN

3名様

★春一番FOCK FEAR Tシャツ
¥3200 キッズサイズ、S、M、L

どこかで見たようなデザインの春一番Tシャツが堂々完成! 共通点は、もちろんアルコール。いつ何時、誰の挑戦でも受けるTシャツを、馬鹿になって着れコノヤロー!
【スプリングサービス提供】
[TEL] 052-903-8059
[HP] http://www.haruichiban.com/

DSE

★ブラジル土産のTシャツいろいろ

太っ腹! 選手発掘を目的にブラジルに渡った榊原DSE代表が、『紙プロ』読者のためにお土産を提供してくれました!! 欲しいTシャツの番号を明記してお送り下さい。【榊原代表提供】

各1名様

01

WorldSize

02

J.R. BUSKAPE
M.M.A.

03

J.R. BUSKAPE
M.M.A.

04

05

Kioto
ATAMA

06

応募要項

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名 ③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦『紙プロ』でやって欲しい企画
⑧PRIDEのワンマッチで見たいカード

応募券

【宛 先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「ガクトパワーでゲッツ!」係まで
※締切は2004年8月2日(月)当日消印有効

GAME

1名様

★PlayStation2ソフト『オンラインプロレスリング』 ¥5040

前号のネタバレ通信ページでもプレゼントした『オンラインプロレスリング』を今号もプレゼント! 作成したエディットレスラーを使って全国の仲間と対戦可能な、21世紀型プロレスゲームだ! 【ユークス提供】
[TEL] 03-5453-0035
[HP] http://www.yukes.co.jp/
【対応周辺機器】PlayStationBB Unit、PlayStationネットワークアダプタ、USB-Ether
【利用料】1ヶ月525円(税込・クレジットカード)、30日630円、60日1155円、90日1575円(税込・ウェブマネーによる一定期間)

CD

各3名様

★feel/いかレスラーの歌
¥1050 7月14日発売
※©「いかレスラー」制作委員会
【avex mode提供】
[HP] http://www.ika-movie.com/

★タッグ・オブ・ウォー ¥3000
【IWA JAPAN提供】
[HP] http://www.iwajapan.jp/

DVD

ハイレベルな攻防が連発した『プロ柔術 GI-03』と、全36試合を収録した『SMACKGIRL』のDVDをそれぞれ1名様に! そして格闘技史上に残る『PRIDE GP 2004 開幕戦』のDVDを3名様に大盤振る舞いだ!!

01 02 03

各1名様

3名様

01★『プロ柔術 GI-03』(202分) ¥5,880
02★『SMACK GIRL No.4』(192分) ¥5,880
【クエスト提供】 [TEL] 03-3360-3810 [HP] www.queststation.com

03★『PRIDE GP 2004 開幕戦』(135分) ¥5040
【メディアファクトリー提供】 [TEL] 03-5469-4880 [HP] http://www.mediafactory.co.jp/
〈10:00〜18:00/土日、祝日は除く〉

PlayStation 2

THE キャットファイト ～女猫伝説～

SIMPLE2000シリーズ Vol.55

絶賛発売中!!
¥2,000(税別)

川畑千秋、石山絵理、坂本奈緒子

Red Devil KIS'S 3姉妹が SIMPLE 2000シリーズ Vol.55 THE キャットファイトで ～女猫伝説～ 激突!!

ソフト価格がすべて￥2000ポッキリで大好評の『SIMPLE2000シリーズ』から、またまた注目の新作が登場！　今回紹介するのは、総勢10名のキャットファイターが、オープンフィンガー・グローブをはめて何でもありの闘いを繰り広げる『THEキャットファイト』だ！　キャットファイトというだけあって、パンチ、キックはもちろんのこと、パイプイスや釘バット、さらには日本刀やマシンガンといった凶器も使用できるといういろんな意味で危ない格闘ゲームなのだ！　さらにはキャットファイトのもう一つの醍醐味（？）でもあるコスチュームもバリエーションは豊富。ゲームをクリアするごとにコスチュームは増えていき、最大11種類のコスチュームに着替えることも可能というから野郎どもにはたまらない！　どうですかーッ⁉

そんなゲームの発売を聞きつけ乱入してきたのがキャットファイトならぬ女子格闘技の世界で暴れまくるレッドデビル・キッスの3人。「キャットファイトがナンボのもんだ。凶器を使わせたらアタシたちに敵うわけがない！」と息巻く3人が早速、コントローラーを奪い取り勝手にゲームを開始！　果たして、レッドデビル・キッス最強の女は誰なのか⁉

まもなく試合開始のゴングです‼

坂本奈緒子
1975年7月21日、東京都出身。O型。身長160cm、体重48kg。Red Devil KIS'Sの次女的存在。ちなみにRed Devil KIS'SのSは坂本のS。女子総合を中心に、女子キック、女子ボクシング等でも活躍中!

石山絵理
1976年8月2日、神奈川県出身。A型。身長160cm、体重49kg。Red Devil KIS'Sの長女的存在。ちなみにRed Devil KIS'SのIは石山のI。女子総合を中心に、女子キック、女子ボクシング等でも活躍中!

川畑千秋
1977年12月7日、静岡県出身。A型。身長160cm、体重49kg。Red Devil KIS'Sの三女的存在。ちなみにRed Devil KIS'SのKは川畑のK。女子総合を中心に、女子キック、女子ボクシング等でも活躍中!

THE キャットファイト登場キャラクター

	双葉理保	Lisa Blanchett	苗美玲	新山みすず	広瀬香織
読み	ふたば　りほ	リサ　ブランシェット	ミャオ　メイリン	にいやま　みすず	ひろせ　かおり
身長	160cm	174cm	149cm	151cm	151cm
サイズ	B95・W59・H85	B100・W53・H87	B75・W43・H77	B92・W46・H82	B81・W47・H82
誕生日	12月20日	8月6日	11月8日	10月21日	7月14日
血液型	B型	AB型	B型	A型	B型
家族構成	父・母	母・弟(2人)	母・父・兄・姉・弟(2人)・妹	母・父・兄	父
趣味	スケートボード・バスケット	スケートボード・バスケット	太極拳	ピアノ	ネイルアート
好きなもの	甘いもの	格闘番組	フカヒレスープ	あらいぐまのぬいぐるみ	クラブ・ダンス
嫌いなもの	納豆	ブランド品	うそ	オバケ	勉強
宝物	友達からのぬいぐるみ	集めているバンダナ	集めているメガネ各種	あらいぐま系グッズ	ターンテーブル
理想の人	体格がガッチリしていてたくましい人	ちょっと頼りないけど、やさしい人	カンフー映画の主人公的男性	やさしく頼れるお兄ちゃんみたいな人	かっこ良くて甘えさせてくれる人
好きな場所	水族館	ストリート	眼鏡屋さん	ゲームセンター	カラオケ
投げ技	グラビアンキュート	Sexy dynamites!	イーアルサンダー	スイカップぼんばぁ	ダンシングコスプレイヤー
セクシー大乱舞	ピンクピクゥ!	It's s show time!	メイリンの底力、見せるアルよー!	もう止まらなーい!	来た来た来たぁ～!

Red Devil KIS'S 最強決定戦！

この『THEキャットファイト』に登場するのは全部で10名の女の子。日本人から、外国人、さらにはサイボットまで、いずれもセクシー美女ばかり。もちろん、キャットファイトだけに、コスチュームもいろんな種類が楽しめます。たまりません！

ゲームをクリアするごとにコスチュームが増え、最大11種類のコスチュームに着替え可能なのが、このゲームのウリの一つ。ビキニだけじゃなく、セクシーなラバースーツからキュートな体操着まで、とにかく勝って勝って着替えまくるんだぁ！

『THE キャットファイト』は悩殺コスチューム満載♥

試合が進むにつれエキサイトしまくりの２人。このゲームには冗談が通じないガチンコなパンチやキックの「ブサイク攻撃」と、見た目も美しく色気ムンムンな「セクシー攻撃」があるが、２人は「ブサイク攻撃」を連発しまくりだ！

さすが、格闘家だけに試合が始まると目つきがガラリと変わります。まだ２人ともコントロールさばきは、ぎこちないが、天性の感なのか坂本が越中ばりのヒップアタックをぶちかませば、一方の石山も華麗なボディーアタック！

『THEキャットファイト』のウリの一つが恐怖の「凶器★デスマッチ」。興奮した観客が投げ込んだ釘バットをキャッチした坂本が川畑に殴りつけるも、逆にマシンガンを手にした川畑が、情け容赦なくマシンガンをブッ放し勝利！

勝ち上がった坂本が勢いに乗って、このまま優勝してしまうのかと思われたが、川畑も意地を見せる。観客の目を意識したセクシー大開脚キックを連発し着実にダメージを与えていく川畑。一方の坂本もセクシーアタックで猛反撃だ！

川畑がこのまま突っ走って優勝するのか!?　それとも石山が反撃するのか!?と思った矢先に観客から投げ込まれた日本刀を手にした川畑は石山を斬りつけ、更にマシンガンをゲット。逃げまどう石山に連射しまくりでKO！（即死？）

この試合、川畑が勝てば優勝となるが、試合前から石山の気迫が凄い。最初からセクシー攻撃や挑発でセクシーゲージがいっぱいになれば発動できるセクシー大乱舞狙いの石山だったが、川畑の顔面騎乗気味のヒップドロップに苦悶！

1回戦

勝ち抜き戦で２連勝したら優勝とのルールで、いざ始まったレッドデビル・キッスバトル。一回戦で激突するのは坂本奈緒子vs石山絵理。坂本は広瀬香織、石山はリサ・ブランシェットを選択。勝ち抜くのはどっちだ!?

2回戦

一回戦を勝ち抜いた坂本が優勝を賭けて川畑千秋と対戦。要領をつかんだ坂本は再び、広瀬香織を選択。一方の川畑はMONAを選択し、ゴング！　石山の妨害にもめげず川畑が勝利し、優勝のチャンスをゲッツだ！

3回戦

これに勝てば優勝の川畑は、またもやMONAを選択。石山は一回戦に引き続きリサを選択。格闘家だけに闘いは画面上だけでなく、互いの体を直接攻撃！ 結局、2連勝で優勝を決めたのは川畑千秋だ!!

優勝は川畑千秋だ！

【３人の一言感想】☆優勝して嬉しいです！　今までやった格闘系ゲームと比べて、このゲームはいろんな工夫がされてて、セクシーなのに残酷なところもあって凄く楽しかったです！　（川畑）
☆普段、格闘ゲームをやってるとムチャムチャ押すと大技が出たりする時があるんですけど、このゲームは、そういうまぐれ系の大技がなかったのが敗因かな……負け惜しみだけど（笑）　（石山）
☆女の子でも絶対楽しめる！　もっとマシンガン撃ちたい！　（坂本）

	TAM-5595 MOE Mk-II	白鳥絵里子	神崎瀬里奈	水咲麗子	TAM-5592 MONA
読み	モエ　マークII	しらとり　えりこ	かんざき　せりな	みずさき　れいこ	モナ
身長	175cm	172cm	160cm	168cm	170cm
サイズ	B95・W56・H89	B95・W56・H89	B86・W49・H85	B85・W53・H83	B94・W44・H88
誕生日	１月23日	2月17日	9月5日	3月3日	１月11日
血液型	シリコンジェルE型	O型	O型	B型	ハイドロジェルB型
家族構成	妹多数	母・父・姉	母・父・姉	母・妹	妹多数
趣味	格闘技の探求	ショッピング・海外旅行	晩酌	読書・演劇鑑賞	感情の探求
好きなもの	格闘技紹介ホームページ	ブランド品	お酒・お金	生徒	電気
嫌いなもの	いい加減な設計者	カメラ小僧	汚いもの	無知	水分
宝物	道場破りで奪った看板	ミスD3の優勝トロフィー	自分のお店	父の腕時計	AIプロセッサー
理想の人	殴っても平気な丈夫な身体を持った人間	お金持ちで優しい人ストリート	自分よりお酒が飲める人	父のようなしっかりした人	整備士
好きな場所	運動機能測定ルーム	南の島	夜の繁華街	教室	充電ルーム
投げ技	ヘルキッス・インパクト	サーキットデビュー	同伴ラストよろしく	卒業不可	エレクトリックディスチャージ
セクシー大乱舞	リミッター解除っ!マジギレフラグ、オン!	アタシのアピールタイムが来たようね!	さぁ!ラストオーダーよ～ん!	さぁ、みんな注目	充電完了!モナ、行きますっ!

お問い合せ　株式会社ディースリー・パブリッシャーサポートセンター
［TEL］東京：03-5786-1374　大阪：052-774-0638　［HP］http://www.d3p.co.jp　※ゲームの内容、裏技等に関するご質問にはお答えできません

『COZY BAKA』Tシャツ〈ブラック〉
¥3,465 XS or S or M or L or XL

『カズ・H』Tシャツ〈ブラック〉
¥3,465 XS or S or M or L or XL

『紙プロ』通販方法

★2003年3月末までに発売された商品は消費税サービス!!
★全国どこでも送料一律500円（離島、山間部は除く）
★代引御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。
★通販は『紙プロHand』でも可能です。

代引 郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、年齢を書いたメールを
kapra@kamipro.com
まで送り下さい。
申し込みメール確認後、佐川急便にて発送。代金引換でのお受け取りになります。商品代金のほかに送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）。代引手数料約¥315がかかります（代引金額によって異なります）。御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。

郵便振替 希望商品の代金＋送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）を郵便振替で送り下さい。
郵便振替の宛先は
00130-3-769154
(株)ダブルクロス
郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

電話注文の場合
すべて代引きとなります
平日15:00〜22:00
(株)ダブルクロス 03-3403-5142

赤いキャップの頑固者Tシャツ〈レッド〉
¥3,800 S or M or L or XL

田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,800 S or M or SOLD OUT or XL

田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or SOLD OUT

トートバック〈ネイビーorブラック〉
¥1,500

リング・アフロラグラン長袖Tシャツ〈グレー×黒〉
¥~~4,500~~ ➡SALE ¥2,500 S or M or SOLD OUT

ガファリ・バスターズTシャツ〈ホワイト〉
¥3,000 XS or S or M or L or XL

マット・ガファリTシャツ〈キナリ〉
¥3,500 S or M or L or SOLD OUT

紙のプロレス RADICAL
No.76
2004年7月25日発行

No.77は
8月6日(金)発売!
※地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（"ビターン"で洗脳されたため非番）

補欠
斉野もみじ

スーパーバイザー
吉田豪

助っ人
片山ボン
ジャイ子

電気部
ささきぃ
スモーノブ

アートディレクター
出田さん(TwoThree)

デザイン
ヒサくん
マツくん
タニやん
ブンちゃん
ノグッチー
しらき(以上TwoThree)

トメさん
はなえちゃん
黄川田洋志（以上さおとめの事務所）

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
福島俊彦
福島勝儀
菊池茂夫

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林"ヘックション"一枝

体調
プリン体・入江(TwoThree)

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

祝!!『PRIDE・GP』ベスト4進出!!
この夏はロシアがいただき!!

ハリトーノフTシャツ
¥3,990 S or M or L or XL

RTT トリコロールTシャツ
¥3,990 S or M or L or XL
NEW

*RTTとはロシアン・トップチームの略です

ヒョードルSARU Tシャツ
¥3,800 S or M or L or XL

『紙プロ』通販グッズは
電話注文できます!!
TEL.03-3403-5142
【平日15:00〜22:00】

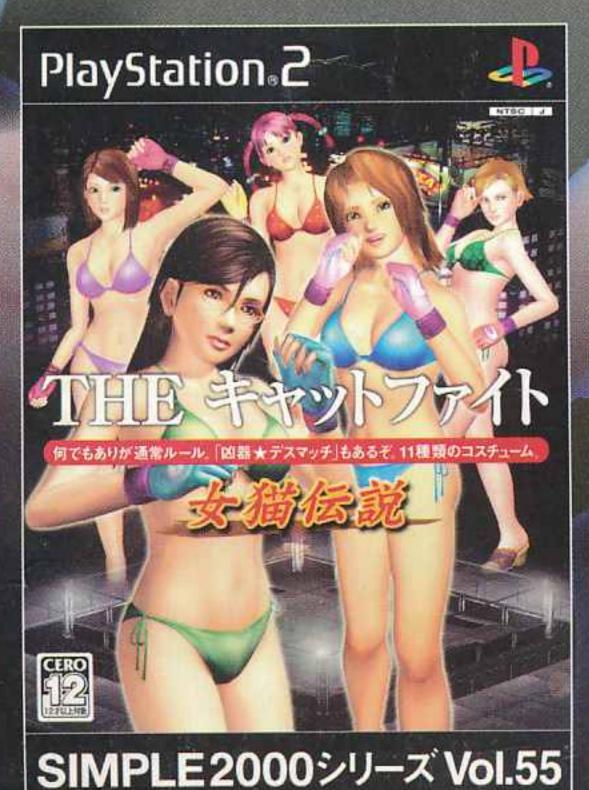
『PRIDE』HPで絶賛販売中!!
http://www.so-net.ne.jp/pride/
『紙プロHand』でも購入可能!!

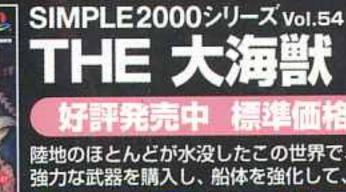
『ヒョードル』キーホルダー
¥1,200

『ロシアン・トップチーム』キーホルダー
¥1,200

ロシアン・トップチームTシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or ~~L~~ SOLD OUT or ~~XL~~ SOLD OUT

ロシアン・トップチームTシャツ〈レッド〉
¥3,800 ~~S~~ SOLD OUT or ~~M~~ SOLD OUT or L or XL

通販完売商品は直販店にある!? 【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン(TEL.03-3221-6237) ★東京イサミ(TEL.03-3352-4083) ★リングソウルZ神戸 (TEL.078-393-3514) ★宮城・スクワット(TEL.022-264-8160) ★福岡天神ビブレGROUND COBRA (TEL.092-711-1021) ★浜松市・Buddy(TEL.053-450-7888)

紙のプロレス RADICAL WANIMAGAZINE MOOK 253 2004 NO.76
プロレス大爆発へ最後の挑戦!! ハッスルするならしいほしかねえ!!
平成16年8月10日発行 編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188
ワニマガジン社 定価：本体838円＋税

9784898297339

ISBN4-89829-733-1
C9476 ¥838E

1929476008381

雑誌 69860—53

印刷：図書印刷株式会社